

静岡県 障害のある方の実態調査

令和3年11月

静岡県健康福祉部障害者支援局

目 次

I	調査の概要.....	2
II	調査の結果.....	3
1	あなたについて.....	3
2	住まい・暮らしについて.....	9
3	障害福祉サービス等の利用状況について.....	35
4	仕事や家計について.....	54
5	生活の環境や安全・安心について.....	65
6	社会参加について.....	84
7	悩み事に対する相談について.....	92
8	その他.....	98
III	付録：調査票.....	111

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、障害のある方の生活の実情と施策に対する意向等を把握し、第5次静岡県障害者計画作成の基礎資料とするために実施しました。

2 調査内容

- | | |
|----------------------|---------------|
| ① あなたについて | ② 住まい・暮らしについて |
| ③ 障害福祉サービス等の利用状況について | ④ 仕事や家計について |
| ⑤ 生活の環境や安全・安心について | ⑥ 社会参加について |
| ⑦ 悩み事に対する相談について | ⑧ その他 |

3 調査方法

(1) 調査対象

下記を対象とし、郵便による調査票回収又は静岡県電子申請サービスによる入力により回答を収集しました。

[身体障害のある方、知的障害のある方への調査]

県内の身体障害者手帳所持者及び療育手帳所持者から無作為に抽出し、郵便にて調査票を配布しました。

[精神障害のある方への調査]

県内の精神科医療機関の協力を得て、各医療機関を通じて入通院者に配布しました。

(2) 配布数 県内在住の障害のある方 10,000人

[配布数内訳]


障害種別	配布数
身体障害のある方	4,000人
知的障害のある方	3,000人
精神障害のある方	3,000人
合 計	10,000人

(3) 調査期間 令和2年9月～11月

4 回収結果

発送数	10,000票
回収数 (回収率)	4,615票 (46.2%)
うち、郵送の回収数	3,988票 (39.9%)
うち、電子申請サービスの回収数	627票 (6.3%)

5 調査結果参照の際の注意点

- ・図表中の「N」は、回答総数 (Number) を示しています。
- ・すべての集計は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、回答比率を合計しても、100%にならない場合があります。
- ・回答比率 (%) は、その設問の回答者数を基数 (N) として算出しました。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超える場合があります。
- ・調査結果を図表にして表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています (無回答を除く)。
- ・「前回調査」とは、平成28年8月に実施した「障害のある方の実態調査」のことを指しています。
- ・サンプル数が20以下のものについては、コメントを省略しています。

Ⅱ 調査の結果

1 あなたについて

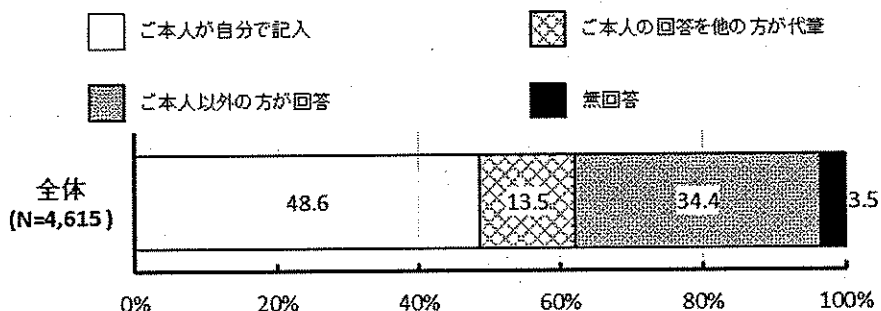
問1 はじめに、調査票の記入者をお答えください。(単数回答)

調査票の記入者は、「ご本人が自分で記入」が48.6%と最も多く、次いで「ご本人以外の方が回答」が34.4%、「ご本人の回答を他の方が代筆」が13.5%となっています。(図表1)

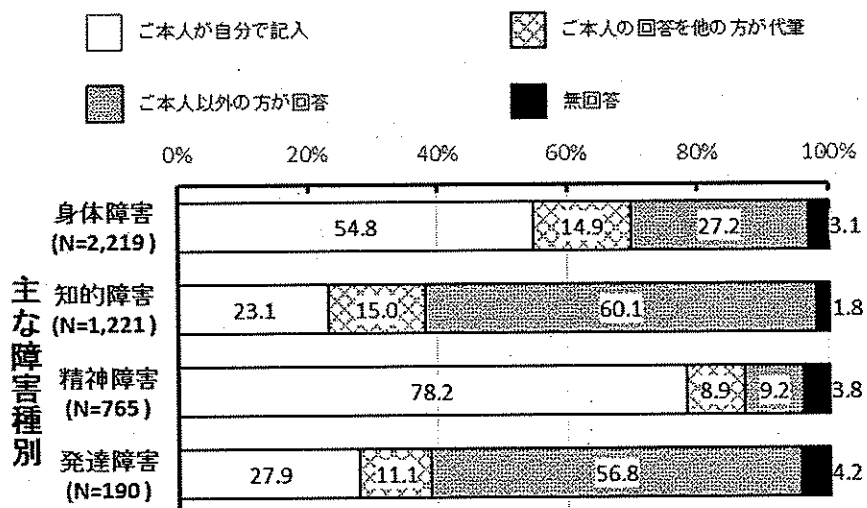
前回調査とは、大きな差異はみられません。

主な障害種別では、身体障害・精神障害において「ご本人が自分で記入」が半数を超えて多く、知的障害・発達障害において「ご本人以外の方が回答」が半数を超えて多くなっています。(図表2)

図表1：全体集計



図表2：主な障害種別 集計

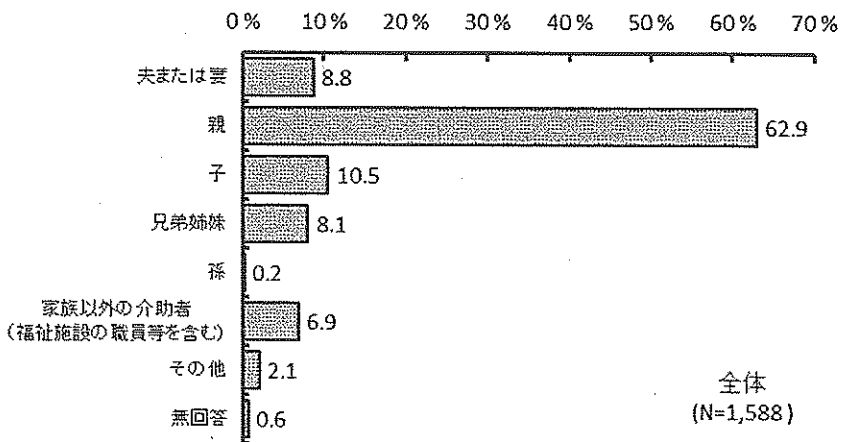


問1 ご本人以外の方が記入する場合は、回答いただく方を教えてください。(単数回答)

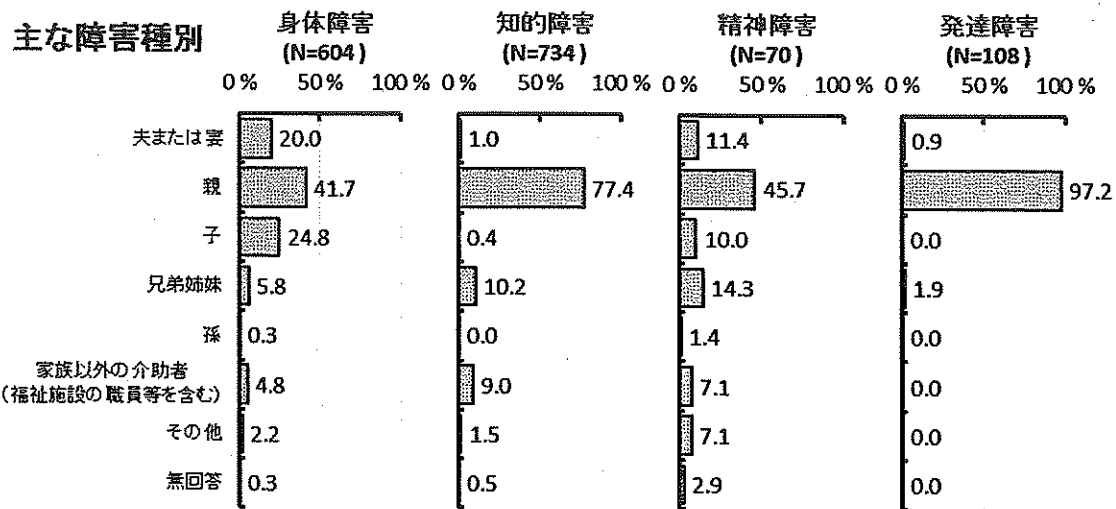
ご本人以外の回答者は、「親」が62.9%と最も多く、次いで「子」が10.5%、「夫または妻」が8.8%、「兄弟姉妹」が8.1%、「家族以外の介助者(福祉施設の職員等を含む)」が6.9%などとなっています。(図表3)

前回調査とは、大きな差異はみられません。

図表3：全体集計



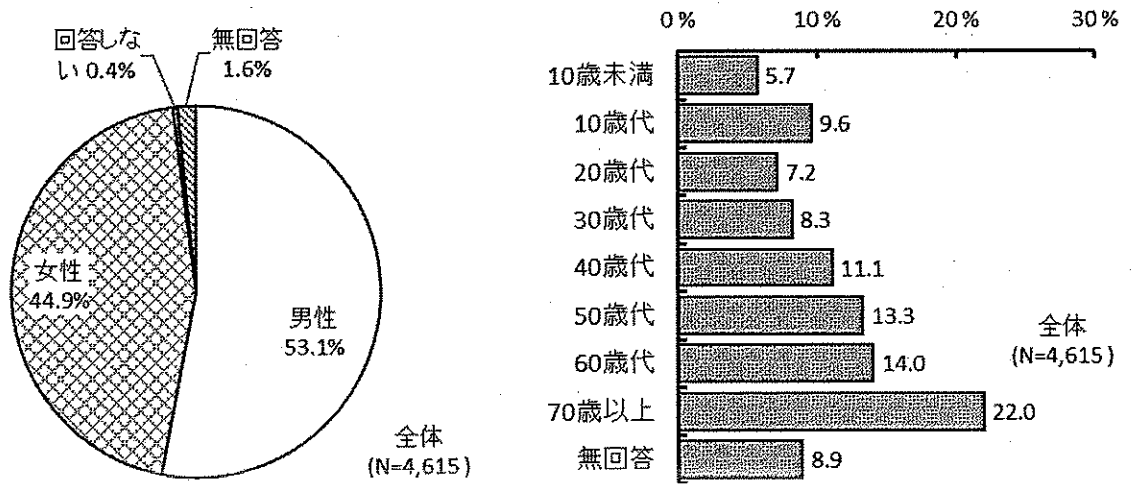
図表4：主な障害種別 集計



主な障害種別では、いずれの種別においても「親」が多くなっています。(図表4)

問2 あなたの性別と年齢を教えてください。(令和2年9月1日現在)

図表5：全体集計



性別は、「男性」が53.1%、「女性」が44.9%となっています。また、年齢は、「70歳以上」が22.0%と最も多く、次いで「60歳代」が14.0%、「50歳代」が13.3%などとなっています。(図表5)

前回調査とは、大きな差異はみられません。

問3 お住まいの市・町はどちらですか。

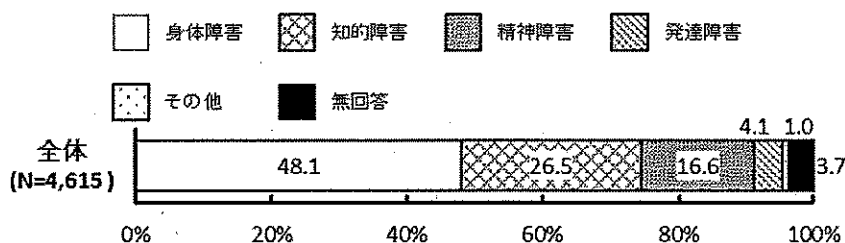
図表6：全体集計

	身体障害		知的障害		精神障害		発達障害		その他		無回答		合計		
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	
東部	沼津市	112	5.0	29	2.4	31	4.1	4	2.1	1	2.1	2	1.2	179	3.9
	熱海市	30	1.4	13	1.1	5	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	48	1.0
	三島市	65	2.9	21	1.7	14	1.8	4	2.1	2	4.3	2	1.2	108	2.3
	富士宮市	86	3.9	48	3.9	50	6.5	4	2.1	1	2.1	5	2.9	194	4.2
	伊東市	30	1.4	21	1.7	9	1.2	3	1.6	0	0.0	1	0.6	64	1.4
	富士市	139	6.3	71	5.8	54	7.1	16	8.4	6	12.8	17	9.8	303	6.6
	御殿場市	42	1.9	22	1.8	8	1.0	4	2.1	0	0.0	4	2.3	80	1.7
	下田市	14	0.6	7	0.6	7	0.9	1	0.5	1	2.1	2	1.2	32	0.7
	裾野市	23	1.0	20	1.6	5	0.7	5	2.6	0	0.0	1	0.6	54	1.2
	伊豆市	18	0.8	18	1.5	1	0.1	2	1.1	1	2.1	4	2.3	44	1.0
	伊豆の国市	36	1.6	17	1.4	4	0.5	0	0.0	0	0.0	4	2.3	61	1.3
	東伊豆町	12	0.5	4	0.3	8	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	24	0.5
	河津町	4	0.2	3	0.2	3	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	10	0.2
	南伊豆町	8	0.4	4	0.3	3	0.4	1	0.5	1	2.1	2	1.2	19	0.4
	松崎町	6	0.3	4	0.3	1	0.1	2	1.1	0	0.0	0	0.0	13	0.3
	西伊豆町	7	0.3	2	0.2	2	0.3	0	0.0	1	2.1	0	0.0	12	0.3
函南町	24	1.1	13	1.1	6	0.8	0	0.0	1	2.1	2	1.2	46	1.0	
清水町	19	0.9	12	1.0	4	0.5	1	0.5	1	2.1	0	0.0	37	0.8	
長泉町	22	1.0	21	1.7	2	0.3	2	1.1	0	0.0	1	0.6	48	1.0	
小山町	11	0.5	19	1.6	4	0.5	2	1.1	1	2.1	2	1.2	39	0.8	
中部	静岡市	461	20.8	250	20.5	139	18.2	34	17.9	10	21.3	28	16.2	922	20.0
	島田市	44	2.0	26	2.1	16	2.1	4	2.1	1	2.1	7	4.0	98	2.1
	焼津市	66	3.0	35	2.9	13	1.7	9	4.7	0	0.0	3	1.7	126	2.7
	藤枝市	73	3.3	26	2.1	22	2.9	7	3.7	2	4.3	7	4.0	137	3.0
	牧之原市	25	1.1	20	1.6	10	1.3	2	1.1	1	2.1	4	2.3	62	1.3
	吉田町	25	1.1	13	1.1	0	0.0	4	2.1	2	4.3	4	2.3	48	1.0
	川根本町	3	0.1	7	0.6	0	0.0	1	0.5	0	0.0	0	0.0	11	0.2
西部	浜松市	479	21.6	312	25.6	182	23.8	37	19.5	4	8.5	24	13.9	1038	22.5
	磐田市	87	3.9	50	4.1	54	7.1	14	7.4	0	0.0	4	2.3	209	4.5
	掛川市	78	3.5	23	1.9	18	2.4	8	4.2	1	2.1	5	2.9	133	2.9
	袋井市	27	1.2	23	1.9	15	2.0	6	3.2	3	6.4	4	2.3	78	1.7
	湖西市	35	1.6	11	0.9	11	1.4	4	2.1	0	0.0	1	0.6	62	1.3
	御前崎市	20	0.9	9	0.7	7	0.9	2	1.1	1	2.1	1	0.6	40	0.9
	菊川市	25	1.1	17	1.4	22	2.9	2	1.1	4	8.5	4	2.3	74	1.6
	森町	8	0.4	8	0.7	1	0.1	2	1.1	0	0.0	2	1.2	21	0.5
県外	1	0.0	0	0.0	3	0.4	1	0.5	0	0.0	0	0.0	5	0.1	
無回答	54	2.4	22	1.8	31	4.1	2	1.1	1	2.1	26	15.0	136	2.9	
全体	2219	100.0	1221	100.0	765	100.0	190	100.0	47	100.0	173	100.0	4615	100.0	

問4 あなたの主な障害は次のどれですか。障害が複数ある場合は、ご自分で主な障害と考えているものをお選びください。(単数回答)

主な障害は、「身体障害」が48.1%と最も多く、次いで「知的障害」が26.5%、「精神障害」が16.6%などとなっています。(図表7)

図表7：全体集計

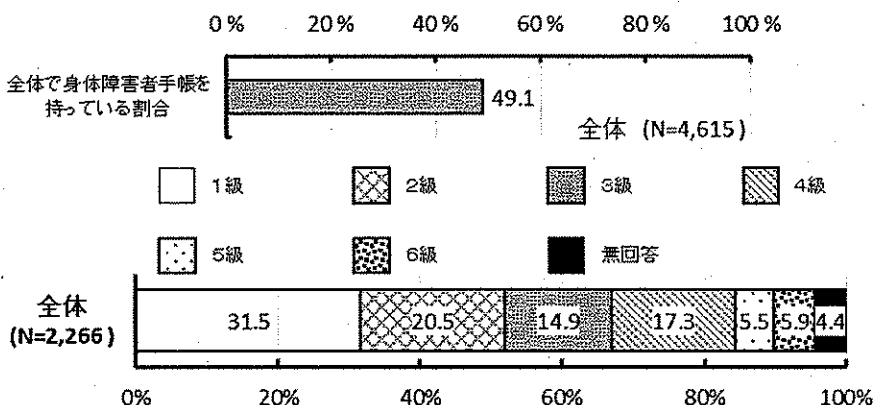


身体障害者手帳を持っている方にお聞きします。
問5 お持ちの手帳の障害等級は何級ですか。(単数回答)

身体障害者手帳を持っている割合は、全体の49.1%となっています。

身体障害者手帳の等級は、「1級」が31.5%と最も多く、次いで「2級」が20.5%、「4級」が17.3%、「3級」が14.9%などとなっています。(図表8)

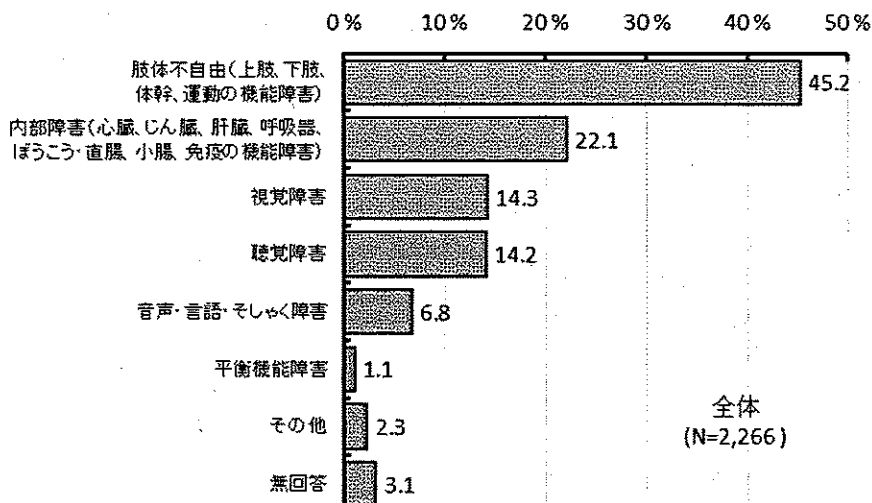
図表8：全体集計



身体障害者手帳を持っている方にお聞きします。
問5-2 身体障害者手帳に表示されている、あなたの障害区分を教えてください。(複数回答)

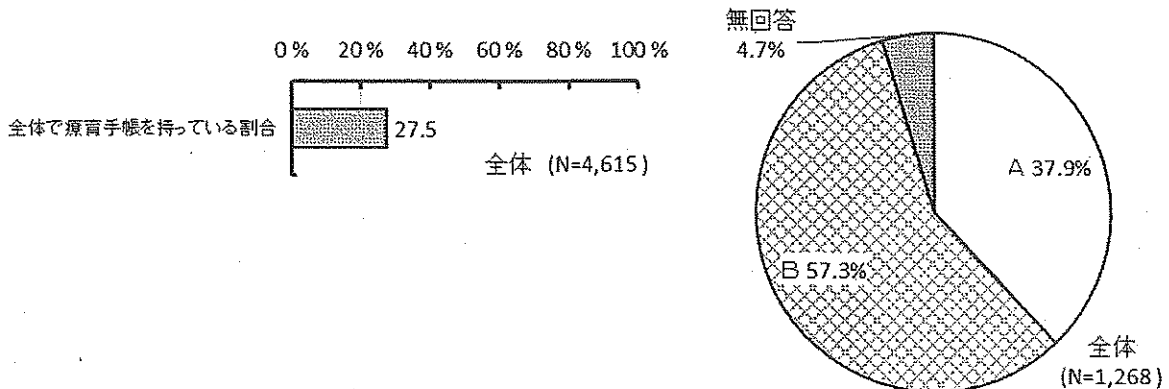
身体障害者手帳に表示されている障害区分は、「肢体不自由」が45.2%と最も多く、次いで「内部障害」が22.1%、「視覚障害」が14.3%、「聴覚障害」が14.2%などとなっています。(図表9)

図表9：全体集計



療育手帳をお持ちの方にお聞きします。
 問6 お持ちの手帳に記載してある障害の程度を教えてください。(単数回答)

図表 10：全体集計

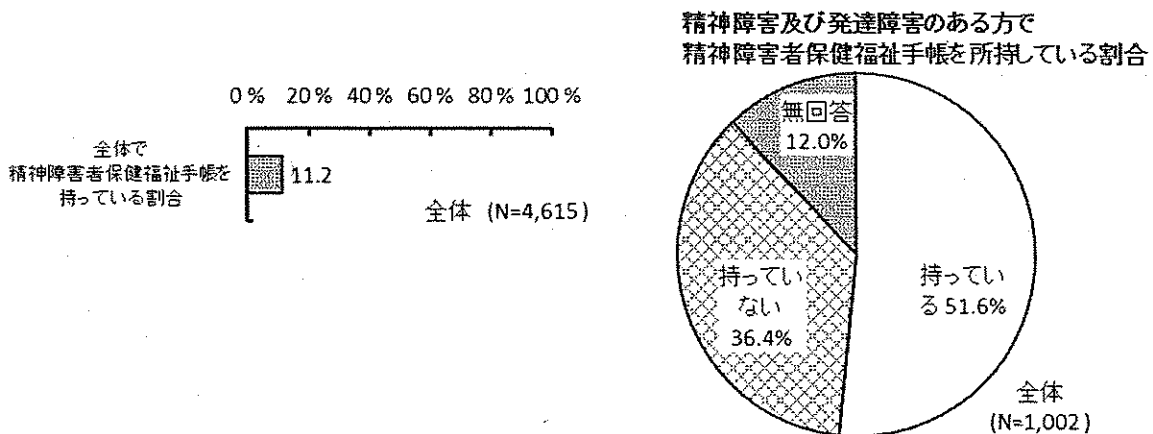


療育手帳を持っている割合は、全体の27.5%となっています。

療育手帳の程度は、「B」が57.3%、「A」が37.9%となっています。(図表 10)

精神障害及び発達障害のある方にお聞きします。
 問7 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(単数回答)

図表 11：全体集計



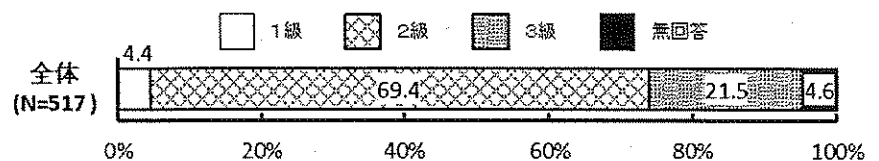
精神障害者保健福祉手帳を持っている割合は、全体の11.2%となっています。

精神障害及び発達障害のある方で、精神障害者保健福祉手帳を所持している割合は、51.6%となっています。(図表 11)

問7で精神障害者保健福祉手帳を「持っている」と回答された方にお聞きします。
 問7-2 お持ちの手帳に記載してある障害の程度をお答えください。(単数回答)

図表 12：全体集計

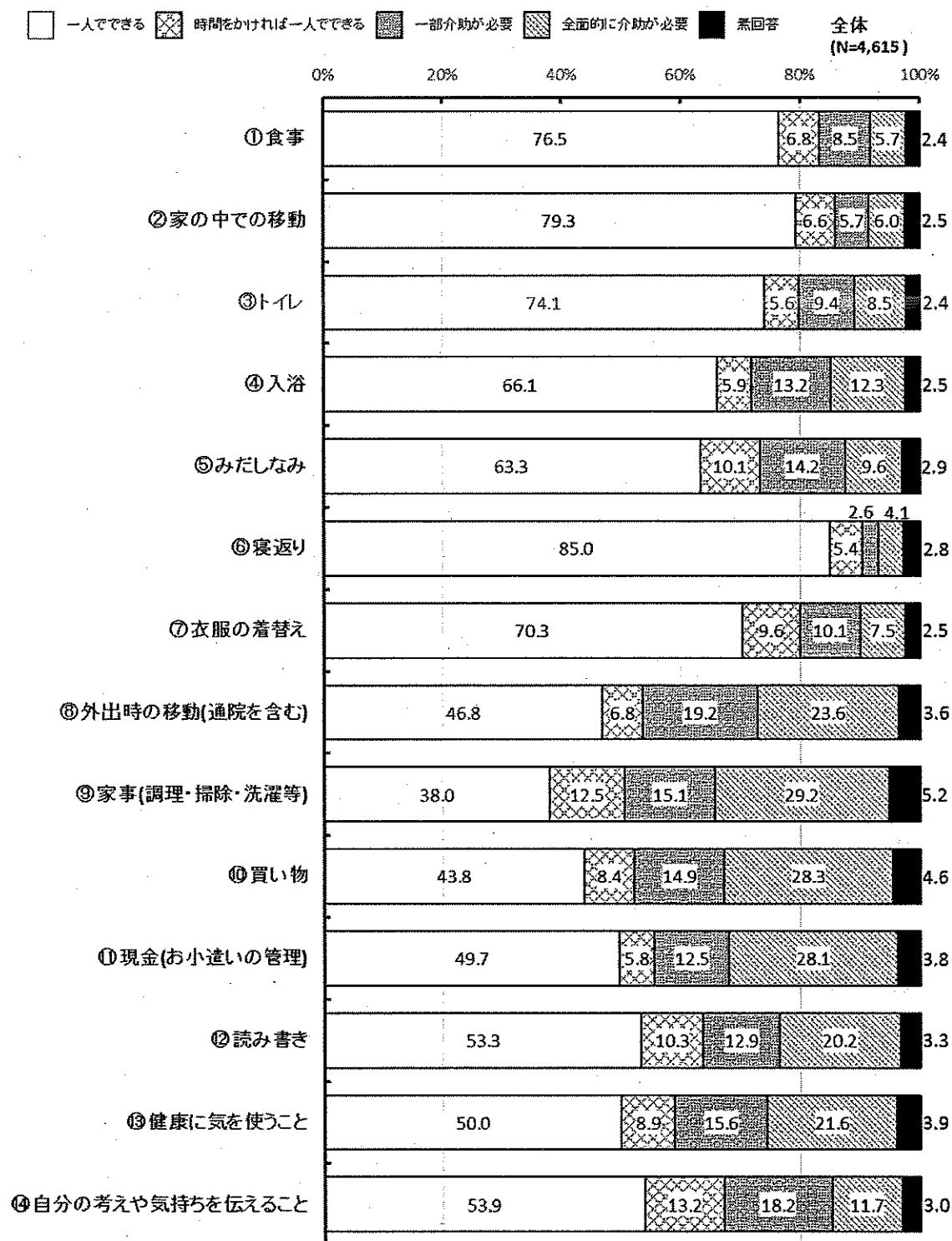
精神障害者保健福祉手帳の等級は、「2級」が69.4%と最も多く、次いで「3級」が21.5%、「1級」が4.4%となっています。(図表 12)



2 住まい・暮らしについて

問8 次の各項目について、あなたはどの程度一人で行えますか。(補装具等をお使いの方は、使用した状態でお答えください。)(それぞれ単数回答)

図表 13：全体集計

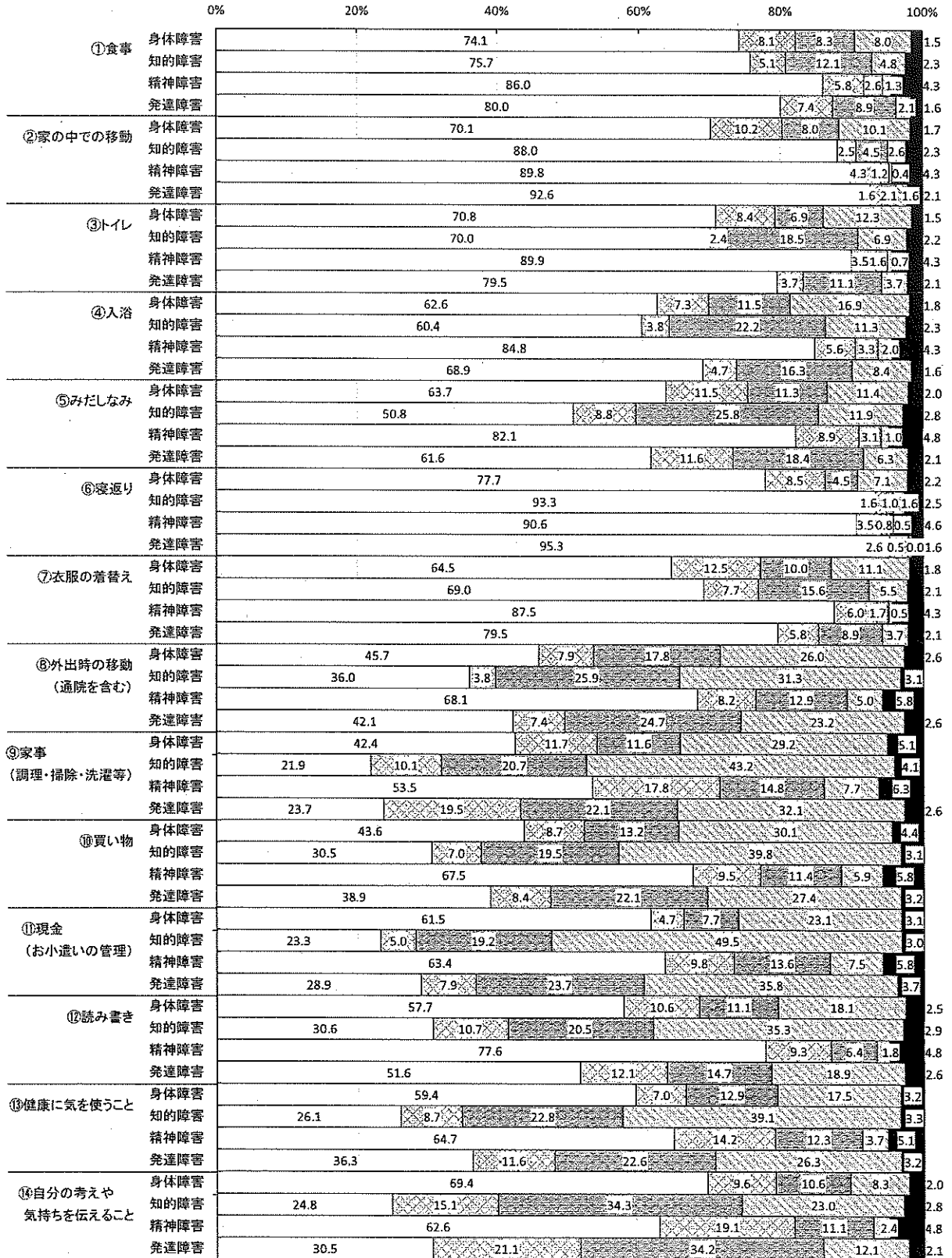


「一人で行える」ことは、《①食事》、《②家の中での移動》、《③トイレ》、《⑥寝返り》、《⑦衣服の着替え》において7割を超えて多くなっています。(図表 13)

図表 14：主な障害種別 集計

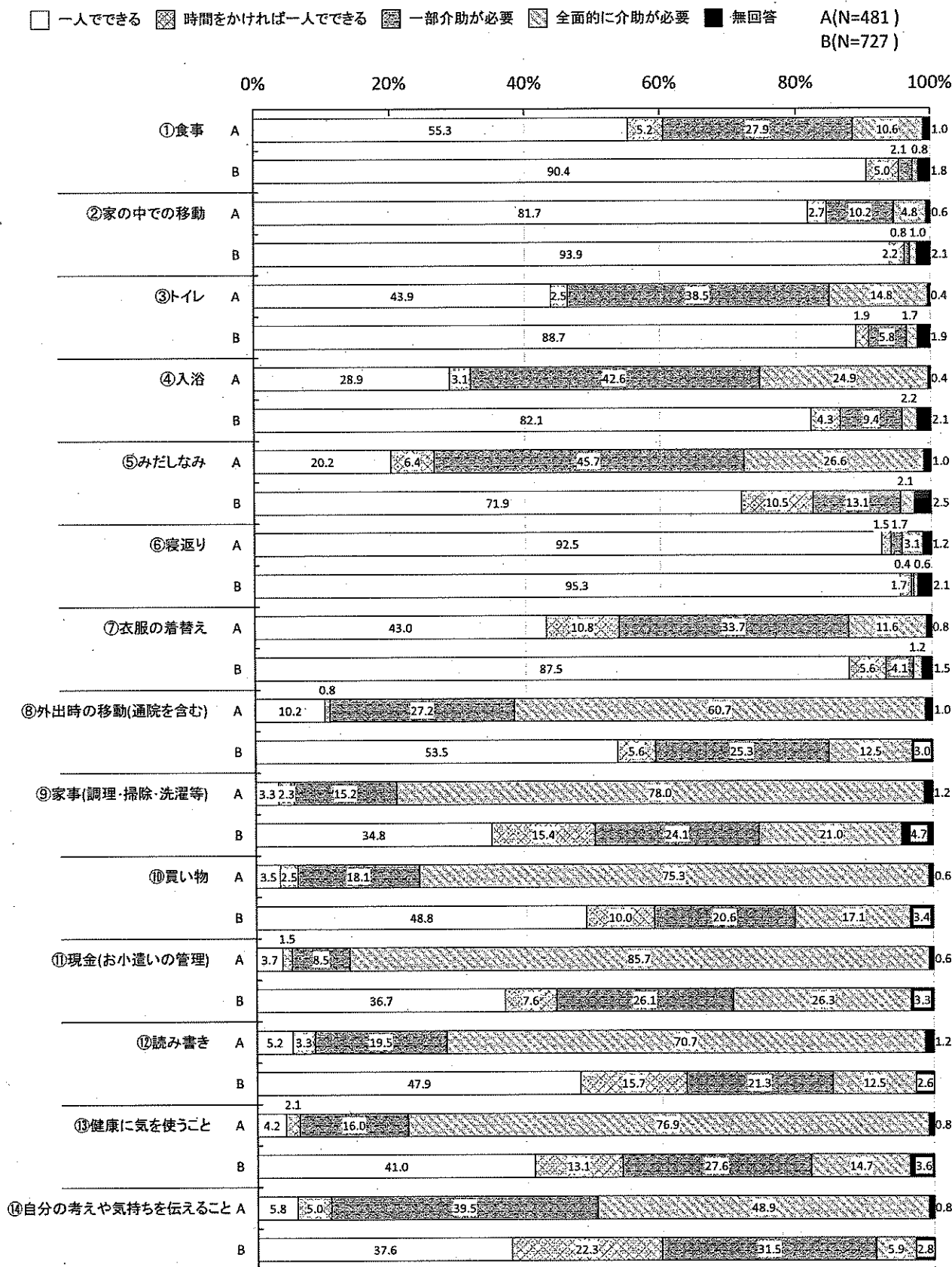
□ 一人ができる ▨ 時間をかければ一人ができる ▩ 一部介助が必要 ▪ 全面的に介助が必要 ■ 無回答

身体障害(N=2,219) 知的障害(N=1,221) 精神障害(N=765) 発達障害(N=190)



主な障害種別では、《⑨家事（調理・掃除・洗濯等）》がすべての障害種別において「一人ができる」が6割を下回っています。また、知的障害は7項目において「一人ができる」が半数を下回り、精神障害は半数を下回った項目が無しとなっています。(図表 14)

図表 15：療育手帳程度別 集計



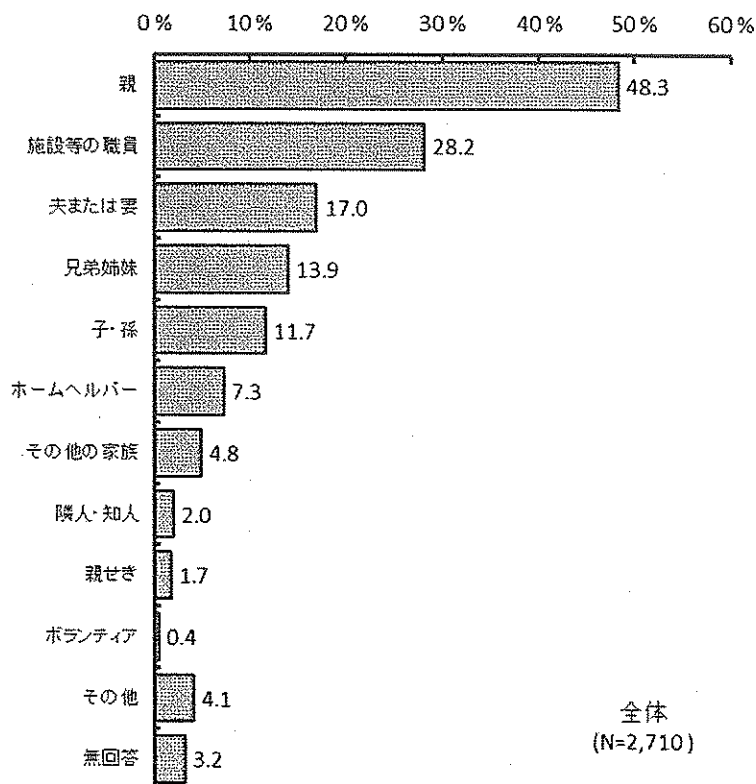
療育手帳程度別では、すべての項目において「一人できる」は、AよりBで多くなっています。また、《⑧外出時の移動(通院を含む)》、《⑨家事(調理・掃除・洗濯等)》、《⑩買い物》、《⑪現金(お小遣い)の管理》、《⑫読み書き》、《⑬健康に気をを使うこと》は、Aにおいて半数以上が「全面的に介助が必要」と回答しています。(図表 15)

問8で「一部介助が必要」、「全面的に介助が必要」と回答された方にお聞きします。
 問8-2 あなたを介助してくれるのはどなたですか。(複数回答)

介助してくれる方(介助者)は、「親」が48.3%と最も多く、次いで「施設等の職員」が28.2%、「夫または妻」が17.0%、「兄弟姉妹」が13.9%、「子・孫」が11.7%などとなっています。(図表16)

※回答肢「その他」4.1%の中では、「医者や看護師」が1.2%、「学校の先生」が0.8%となっています。

図表16：全体集計

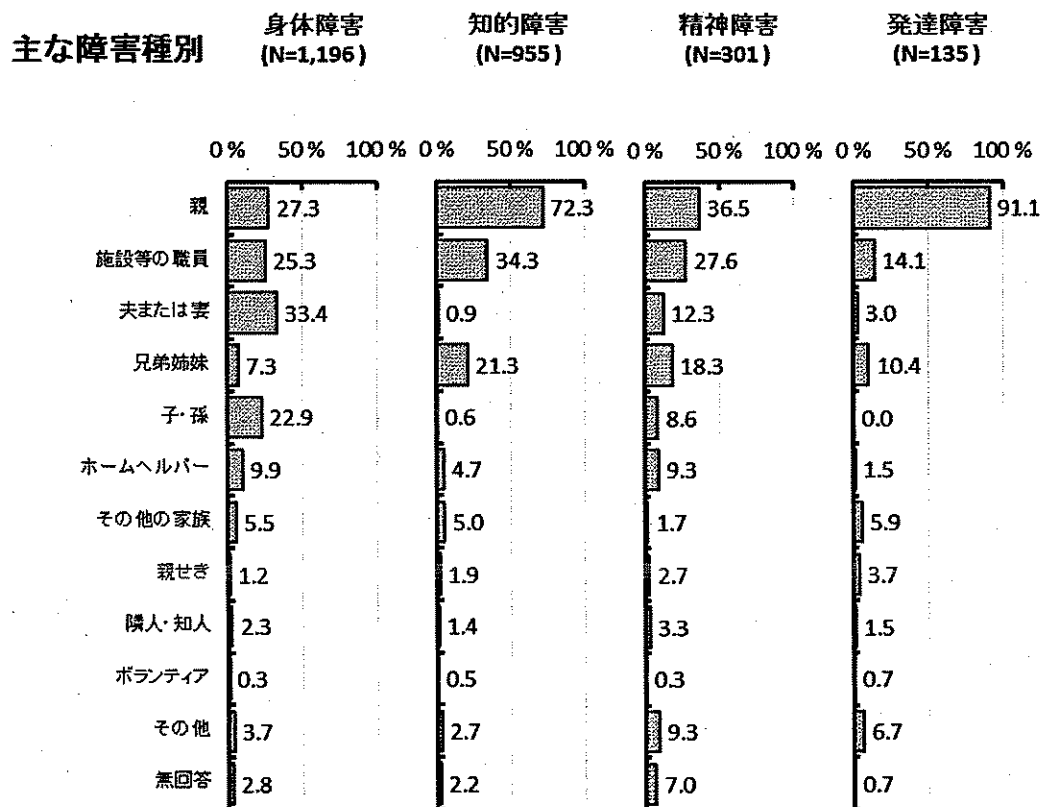


図表17：年代別集計

	調査数	夫または妻	親	子・孫	兄弟姉妹	その他の家族	親せき	ホームヘルパー	隣人・知人	ボランティア	施設等の職員	その他	無回答
10歳未満	252	0	245	0	32	33	6	2	3	0	40	10	3
10歳未満 (%)	100.0	0.0	97.2	0.0	12.7	13.1	2.4	0.8	1.2	0.0	15.9	4.0	1.2
10歳代	328	0	311	0	59	33	9	9	2	0	69	17	4
10歳代 (%)	100.0	0.0	94.8	0.0	18.0	10.1	2.7	2.7	0.6	0.0	21.0	5.2	1.2
20歳代	207	6	178	0	27	9	3	11	6	2	50	5	8
20歳代 (%)	100.0	2.9	86.0	0.0	13.0	4.3	1.4	5.3	2.9	1.0	24.2	2.4	3.9
30歳代	213	15	163	4	25	5	3	14	8	2	56	12	4
30歳代 (%)	100.0	7.0	76.5	1.9	11.7	2.3	1.4	6.6	3.8	0.9	26.3	5.6	1.9
40歳代	294	24	171	13	41	3	8	27	7	1	96	15	16
40歳代 (%)	100.0	8.2	58.2	4.4	13.9	1.0	2.7	9.2	2.4	0.3	32.7	5.1	5.4
50歳代	274	55	93	20	53	5	3	26	6	1	80	17	16
50歳代 (%)	100.0	20.1	33.9	7.3	19.3	1.8	1.1	9.5	2.2	0.4	29.2	6.2	5.8
60歳代	303	92	27	46	69	7	5	36	9	0	97	16	12
60歳代 (%)	100.0	30.4	8.9	15.2	22.8	2.3	1.7	11.9	3.0	0.0	32.0	5.3	4.0
70歳以上	597	226	1	203	40	25	6	61	10	2	214	12	13
70歳以上 (%)	100.0	37.9	0.2	34.0	6.7	4.2	1.0	10.2	1.7	0.3	35.8	2.0	2.2

ヤングケアラーに関して、当事者が20歳代以下の方は787人(前回712人)回答があり、その内、介助者が兄弟姉妹の方は118人(前回128人)であったため、その割合(18%)は前回(15%)と同程度となっています。(図表17)

図表 18：主な障害種別 集計

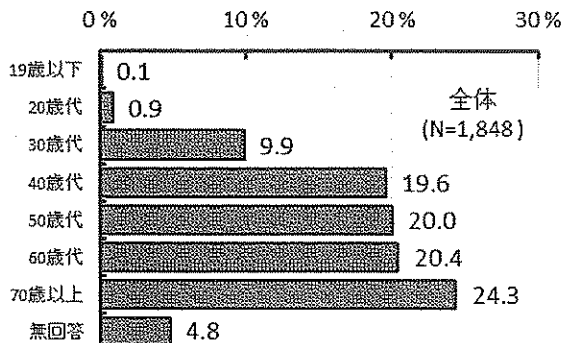


主な障害種別では、身体障害において「夫または妻」、「親」が多くなっています。また、知的障害・精神障害・発達障害においては「親」が最も多く、次いで「施設等の職員」、「兄弟姉妹」の順が多くなっています。(図表 18)

問8で「一部介助が必要」、「全面的に介助が必要」と回答された方にお聞きします。
 問8-2 あなたを主に介助してくれる方(複数いる場合は主に介助している方)の年齢層を教えてください。(単数回答)

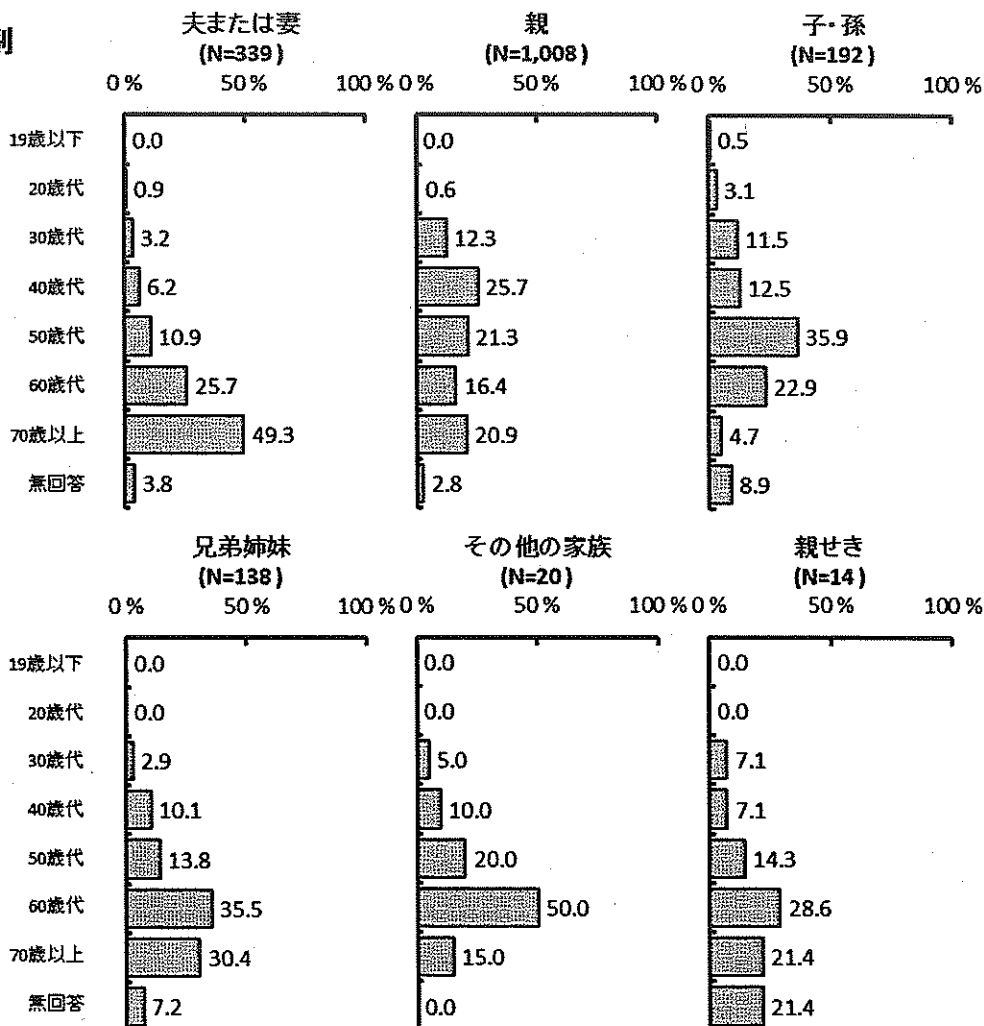
主な介助者の年齢層は、「70歳以上」が24.3%と最も多く、次いで「60歳代」が20.4%、「50歳代」が20.0%、「40歳代」が19.6%などとなっています。(図表19)

図表19：全体集計



図表20：主な介助者別 集計

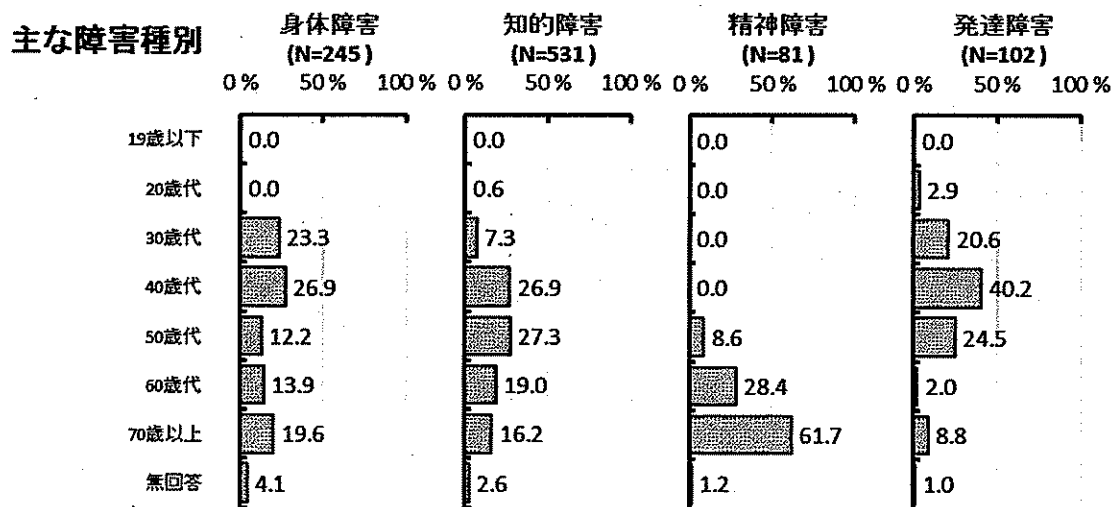
主な介助者別



主な介助者別では、夫または妻において「70歳以上」が49.3%と多くなっています。また、子・孫において「50歳代」が35.9%と多くなっています。(図表20)

なお、図表20は、図表19のうち「主に介助してくれる方」が特定できた回答のみ集計しています。

図表 21：主な障害種別 集計（介助者が親に限定）



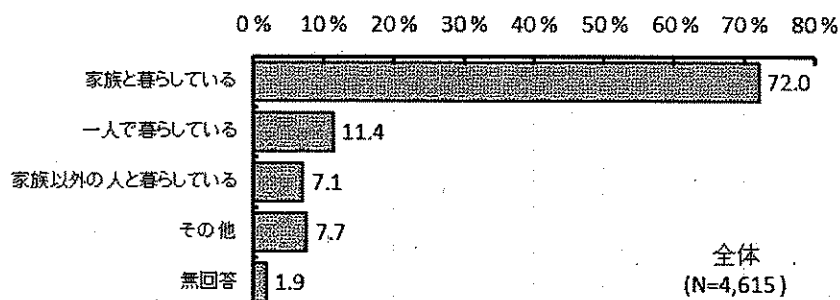
主な障害種別の介助者が親の場合の年代は、身体障害・発達障害において「40歳代」が最も多く、知的障害において「50歳代」が最も多くなっています。また、精神障害において「70歳以上」が61.7%と最も多くなっています。（図表 21）

問9 あなたは現在、どなたと暮らしていますか。（単数回答）

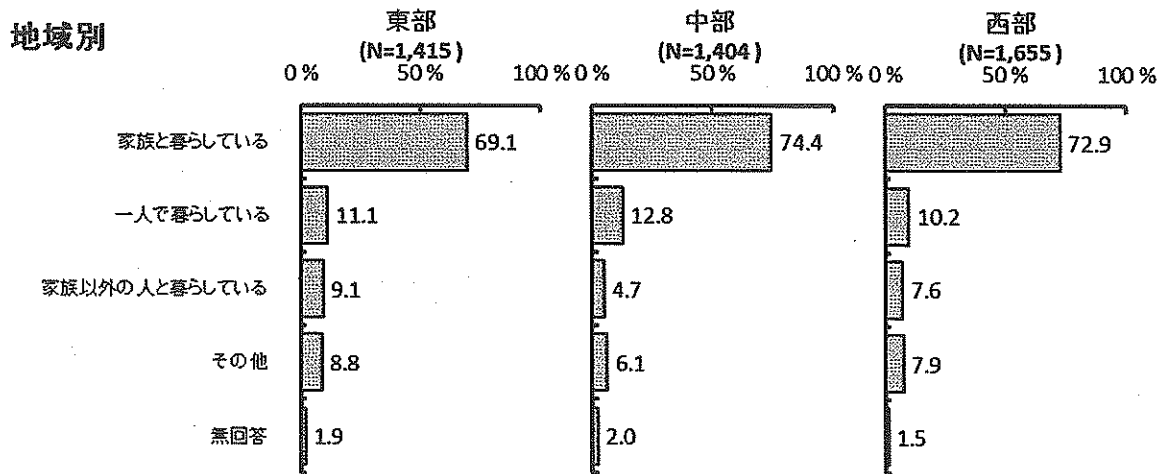
現在の暮らしの状況は、「家族と暮らしている」が72.0%と最も多く、次いで「一人で暮らしている」が11.4%、「家族以外の人と暮らしている」が7.1%などとなっています。（図表 22）

※回答肢「その他」7.7%の中では、「入院中」が3.3%と多い。

図表 22：全体集計

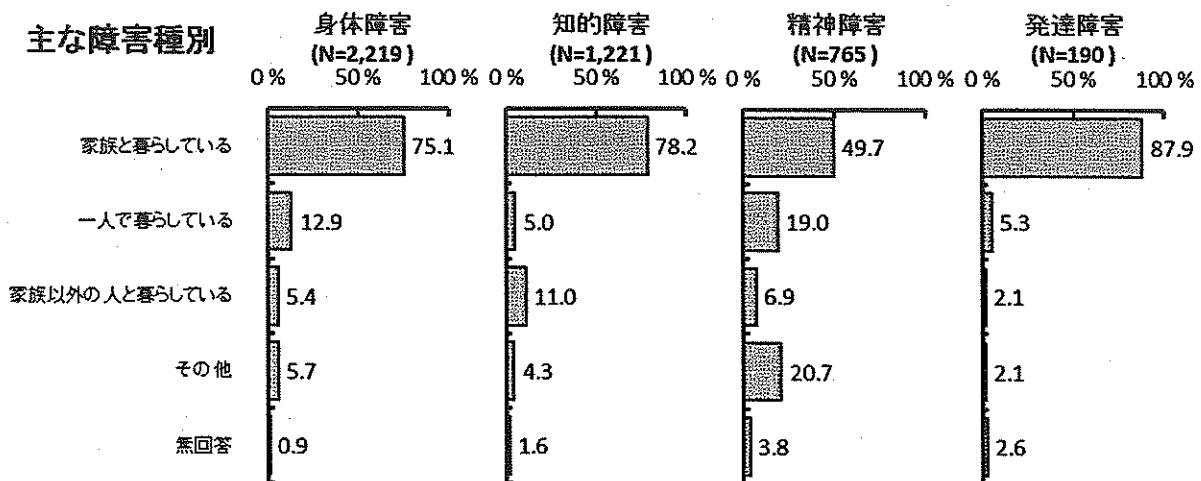


図表 23：地域別 集計



地域別では、「家族と暮らしている」が東部は69.1%と唯一7割を下回っています。(図表 23)

図表 24：主な障害種別 集計



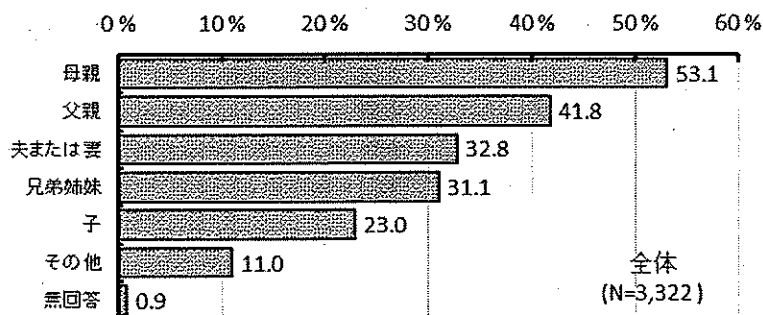
主な障害種別では、精神障害で「一人で暮らしている」が19.0%と前回の14.8%よりも多くなっており、「家族と暮らしている」は49.7%と前回の49.5%とほぼ変わりありません。(図表 24)

問9で「家族と暮らしている」と回答された方にお聞きします。
 問9-2 いっしょに暮らしている方はどなたですか。(複数回答)

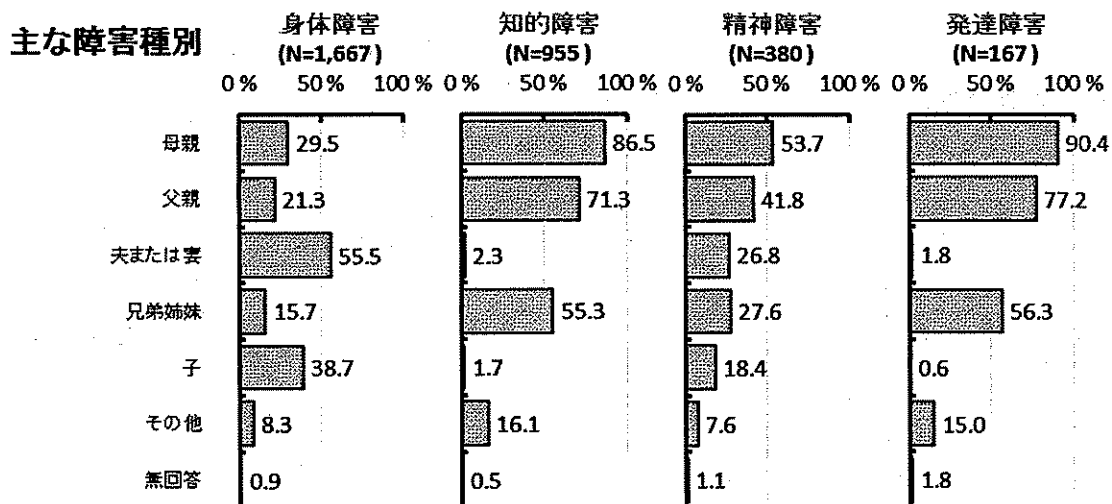
いっしょに暮らしている方は、「母親」が53.1%と最も多く、次いで「父親」が41.8%、「夫または妻」が32.8%、「兄弟姉妹」が31.1%などとなっています。(図表25)

※回答肢「その他」11.0%の中では、「祖父母」が6.5%、「孫」が1.7%と多くなっています。

図表25：全体集計



図表26：主な障害種別集計

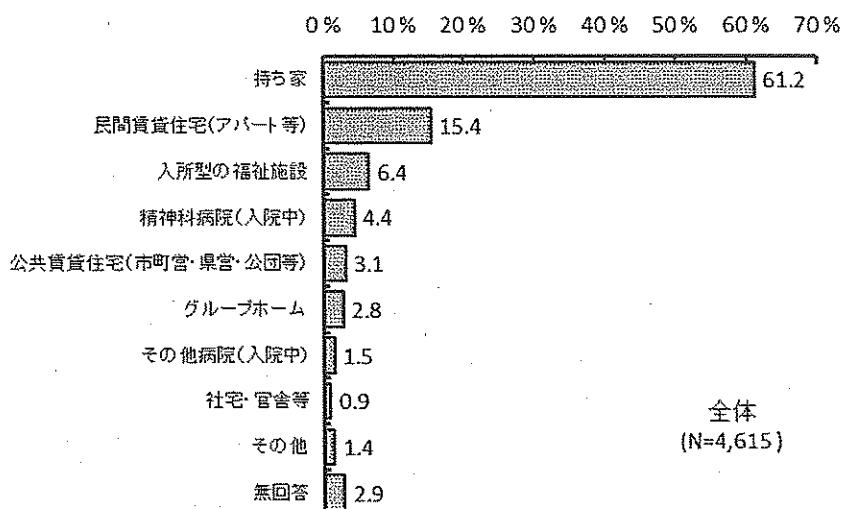


主な障害種別では、身体障害において「夫または妻」、「子」が多くなっています。また、知的障害・発達障害において「母親」、「父親」、「兄弟姉妹」が多く、精神障害においては「母親」、「父親」が多くなっています。(図表26)

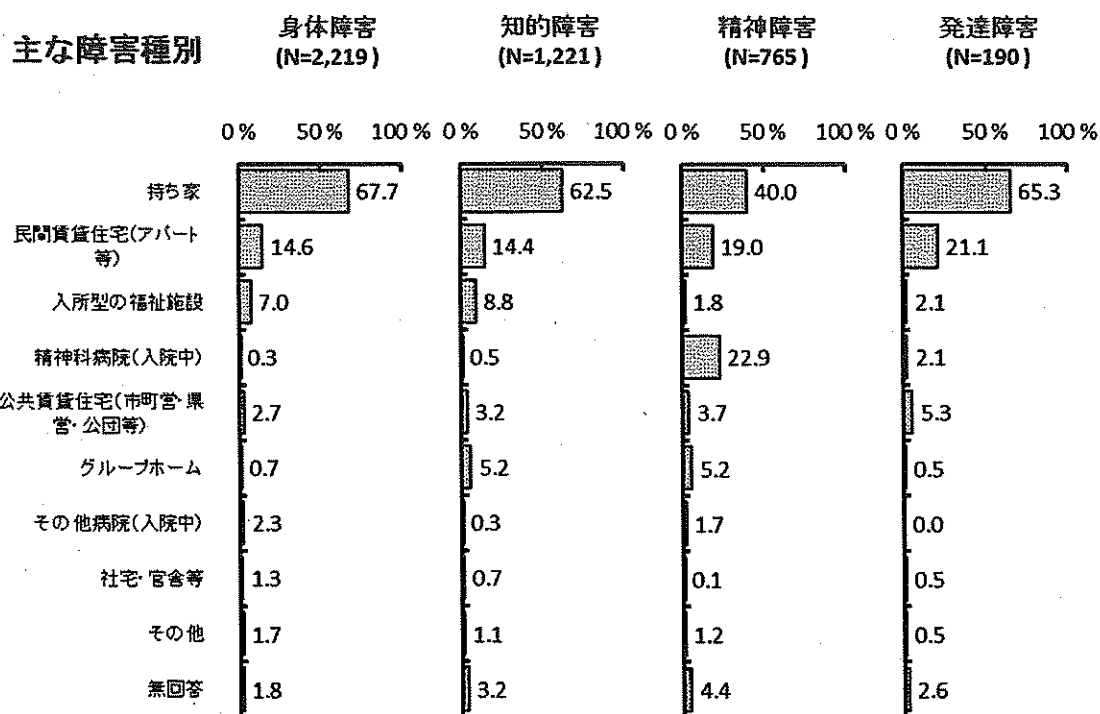
問 10 あなたは現在、どこで暮らしていますか。(単数回答)

生活している場所は、「持ち家」が61.2%と最も多く、次いで「民間賃貸住宅(アパート等)」が15.4%、「入所型の福祉施設」が6.4%などとなっています。(図表 27)

図表 27：全体集計



図表 28：主な障害種別 集計



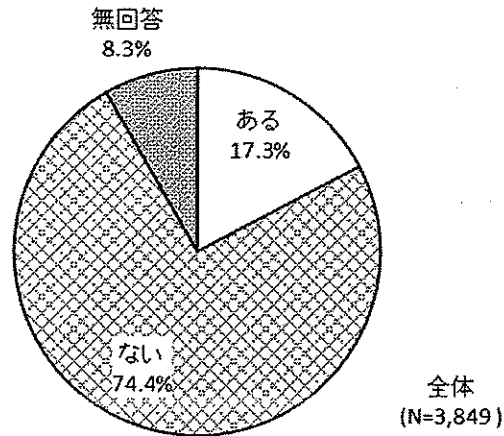
主な障害種別では、知的障害において「民間賃貸住宅(アパート等)」が14.4%と前回の11.0%よりも多くなっています。精神障害においても「民間賃貸住宅(アパート等)」が19.0%と前回の13.1%よりも多くなっています。(図表 28)

問 10 で「持ち家」、「民間賃貸住宅」、「公共賃貸住宅（市町営・県営・公団など）」、「社宅・官舎など」、「グループホーム」と回答された方にお聞きします。

問 10-2 以前、入所型の福祉施設または精神科病院等に入所・入院されていたことがありますか。（単数回答）

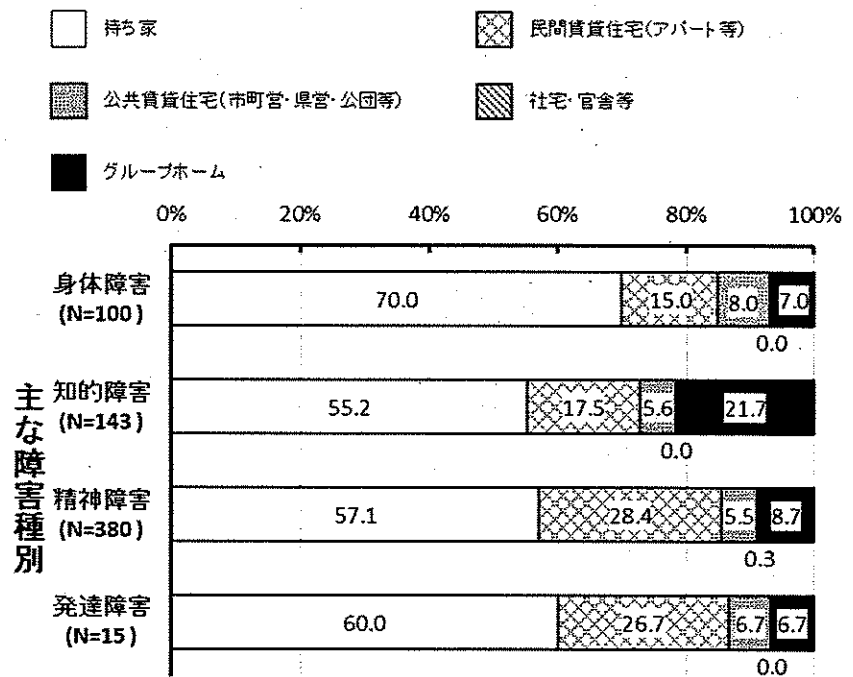
入所型の福祉施設または精神科病院等への入所・入院の経験は、「ある」が 17.3%、「ない」が 74.4% となっています。（図表 29）

図表 29：全体集計



「ある」と回答した方の主な障害種別の現在の住まいは、すべての障害種別において「持ち家」が半数を超えて多く、次いで「民間賃貸住宅(アパート等)」が多くなっています。また、知的障害において「グループホーム」が 21.7% と多くなっています。（図表 30）

図表 30：主な障害種別 集計（「ある」と回答した方の現在の住まい）

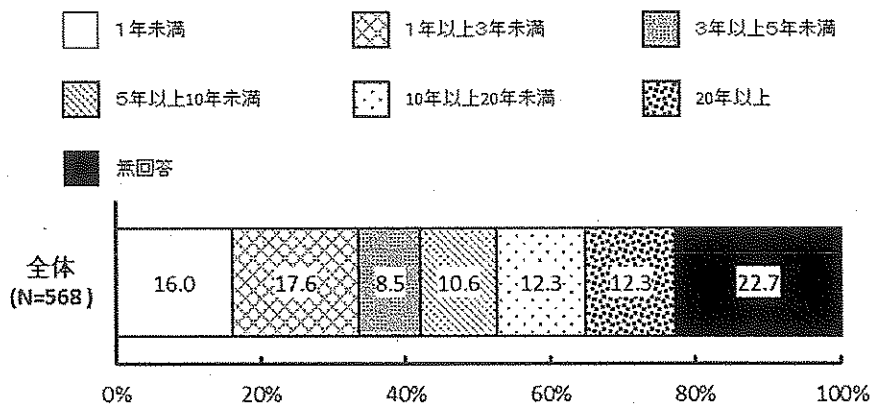


問 10 で「精神科病院（入院中）」、「その他病院（入院中）」及び「入所型の福祉施設」と回答された方にお聞きします。

問 11 福祉施設・病院等で、これまであわせて何年間生活していますか。（単数回答）

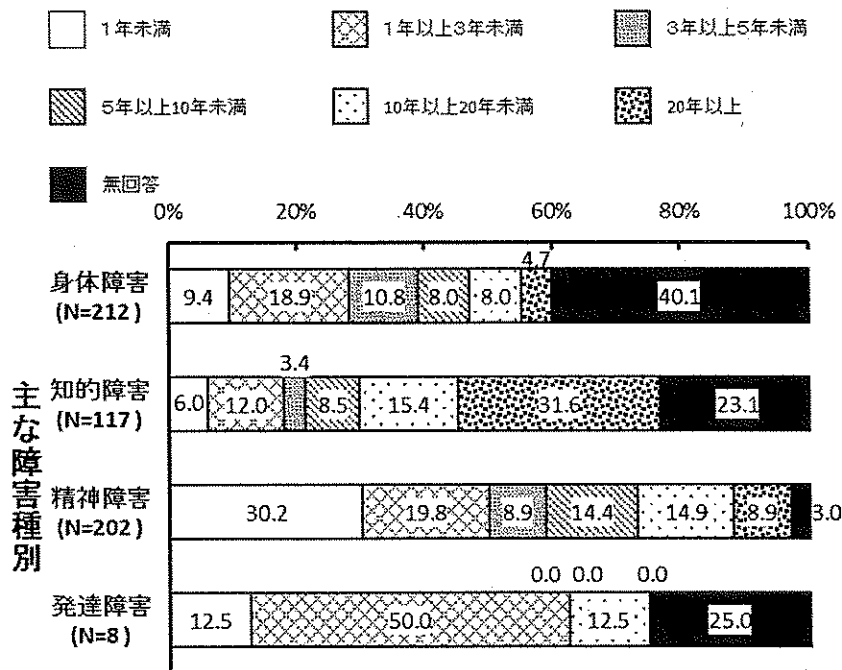
これまで福祉施設・病院等に入所・入院している期間の合算年数は、「1年以上3年未満」が17.6%と最も多く、次いで「1年未満」が16.0%、「10年以上20年未満」が12.3%、「20年以上」が12.3%、「5年以上10年未満」が10.6%などとなっています。（図表31）

図表 31：全体集計



主な障害種別では、知的障害において「10年以上20年未満」が15.4%、「20年以上」が31.6%と半数弱が10年以上の生活となっています。（図表32）

図表 32：主な障害種別 集計



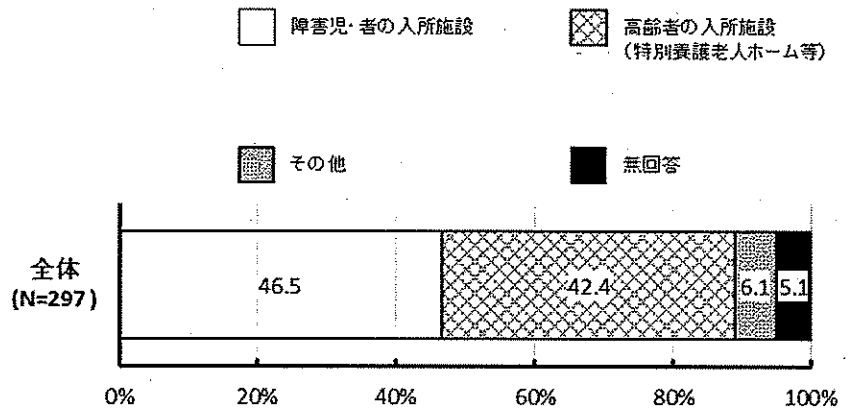
問 10 で「入所型の福祉施設」と回答された方にお聞きします。

問 11-2 現在、入所している福祉施設の種類の種類はどれですか。(単数回答)

現在、入所している福祉施設は、「障害児・者の入所施設」が 46.5%と最も多く、次いで「高齢者の入所施設（特別養護老人ホーム等）」が 42.4%、「その他」が 6.1%となっています。

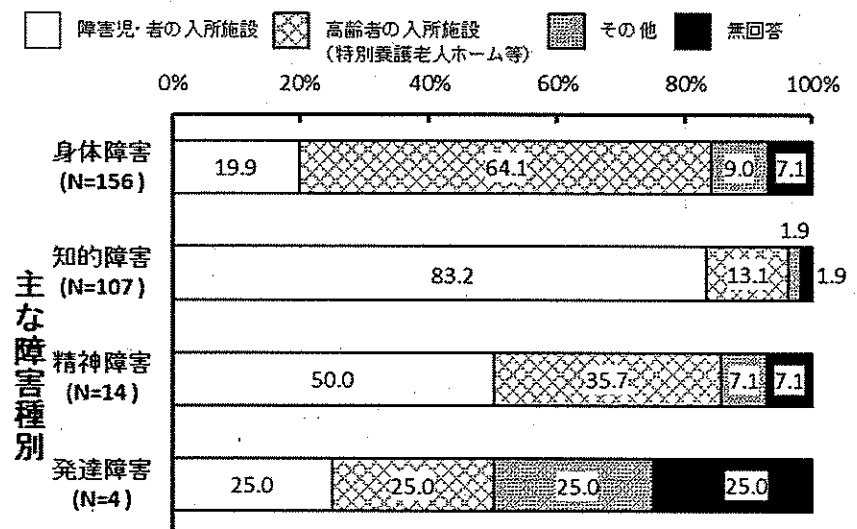
(図表 33)

図表 33：全体集計



主な障害種別では、身体障害において「高齢者の入所施設（特別養護老人ホーム等）」が 64.1%と最も多く、知的障害において「障害児・者の入所施設」が 83.2%と最も多くなっています。(図表 34)

図表 34：主な障害種別 集計



図表 35：主な障害種別・年代別 集計

		調査数	障害児・者の入所施設	高齢者の入所施設 (特別養護老人ホーム等)	その他	無回答
身体障害	10歳未満	3	2	0	1	0
	10歳未満(%)	100.0	66.7	0.0	33.3	0.0
	10歳代	1	0	0	1	0
	10歳代(%)	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20歳代	0	0	0	0	0
	20歳代(%)	-	-	-	-	-
	30歳代	2	2	0	0	0
	30歳代(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代	10	9	0	1	0
	40歳代(%)	100.0	90.0	0.0	10.0	0.0
	50歳代	12	5	6	0	1
	50歳代(%)	100.0	41.7	50.0	0.0	8.3
	60歳代	20	9	10	1	0
60歳代(%)	100.0	45.0	50.0	5.0	0.0	
70歳以上	95	2	77	9	7	
70歳以上(%)	100.0	2.1	81.1	9.5	7.4	
無回答	13	2	7	1	3	
無回答(%)	100	15.4	53.8	7.7	23.1	
小計	156	31	100	14	11	
小計(%)	100.0	19.9	64.1	9.0	7.1	
知的障害	10歳未満	1	1	0	0	0
	10歳未満(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	10歳代	7	7	0	0	0
	10歳代(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	5	5	0	0	0
	20歳代(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	11	9	0	1	1
	30歳代(%)	100.0	81.8	0.0	9.1	9.1
	40歳代	27	26	0	0	1
	40歳代(%)	100.0	96.3	0.0	0.0	3.7
	50歳代	20	18	2	0	0
	50歳代(%)	100.0	90.0	10.0	0.0	0.0
	60歳代	12	7	4	1	0
60歳代(%)	100.0	58.3	33.3	8.3	0.0	
70歳以上	19	11	8	0	0	
70歳以上(%)	100.0	57.9	42.1	0.0	0.0	
無回答	5	5	0	0	0	
無回答(%)	100	100.0	0.0	0.0	0.0	
小計	107	89	14	2	2	
小計(%)	100.0	83.2	13.1	1.9	1.9	

		調査数	障害児・者の入所施設	高齢者の入所施設 (特別養護老人ホーム等)	その他	無回答
精神障害	10歳未満	0	0	0	0	0
	10歳未満(%)	-	-	-	-	-
	10歳代	0	0	0	0	0
	10歳代(%)	-	-	-	-	-
	20歳代	0	0	0	0	0
	20歳代(%)	-	-	-	-	-
	30歳代	1	1	0	0	0
	30歳代(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代	1	1	0	0	0
	40歳代(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	50歳代	1	1	0	0	0
	50歳代(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	60歳代	3	2	0	1	0
60歳代(%)	100.0	66.7	0.0	33.3	0.0	
70歳以上	6	0	5	0	1	
70歳以上(%)	100.0	0.0	83.3	0.0	16.7	
無回答	2	2	0	0	0	
無回答(%)	100	100.0	0.0	0.0	0.0	
小計	14	7	5	1	1	
小計(%)	100.0	50.0	35.7	7.1	7.1	
発達障害	10歳未満	0	0	0	0	0
	10歳未満(%)	-	-	-	-	-
	10歳代	0	0	0	0	0
	10歳代(%)	-	-	-	-	-
	20歳代	3	1	0	1	1
	20歳代(%)	100.0	33.3	0.0	33.3	33.3
	30歳代	0	0	0	0	0
	30歳代(%)	-	-	-	-	-
	40歳代	0	0	0	0	0
	40歳代(%)	-	-	-	-	-
	50歳代	1	0	1	0	0
	50歳代(%)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	60歳代	0	0	0	0	0
60歳代(%)	-	-	-	-	-	
70歳以上	0	0	0	0	0	
70歳以上(%)	-	-	-	-	-	
無回答	0	0	0	0	0	
無回答(%)	-	-	-	-	-	
小計	4	1	1	1	1	
小計(%)	100.0	25.0	25.0	25.0	25.0	
その他(※)	16	10	6	0	0	
その他(%)	100.0	62.5	37.5	0.0	0.0	
全体	297	138	126	18	15	
全体(%)	100.0	46.5	42.4	6.1	5.1	

※縦軸のその他は、「主な障害の種別」や「年代」の回答が無い方を示す。

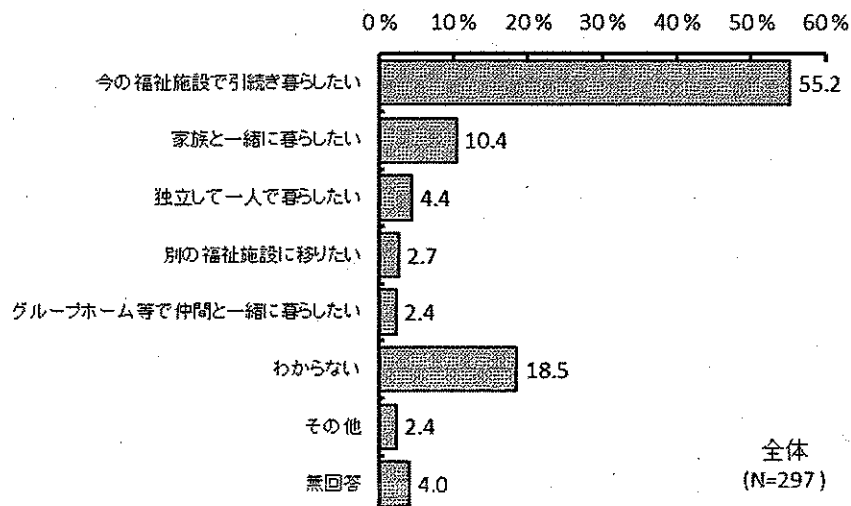
主な障害種別・年代別では、身体障害の50歳以上において「高齢者の入所施設（特別養護老人ホーム等）」が最も多く、知的障害の全ての年代において「障害児・者の入所施設」が最も多くなっています。（図表 35）

問 10 で「入所型の福祉施設」と回答された方にお聞きします。
 問 11-3 今後、あなたはどこで暮らしたいですか。(単数回答)

今後、暮らしたい場所は、「今の福祉施設で引き続き暮らしたい」が 55.2%と過半数を占めています。

一方、「家族と一緒に暮らしたい」は 10.4%と前回の 17.0%よりも低くなっています。(図表 36)

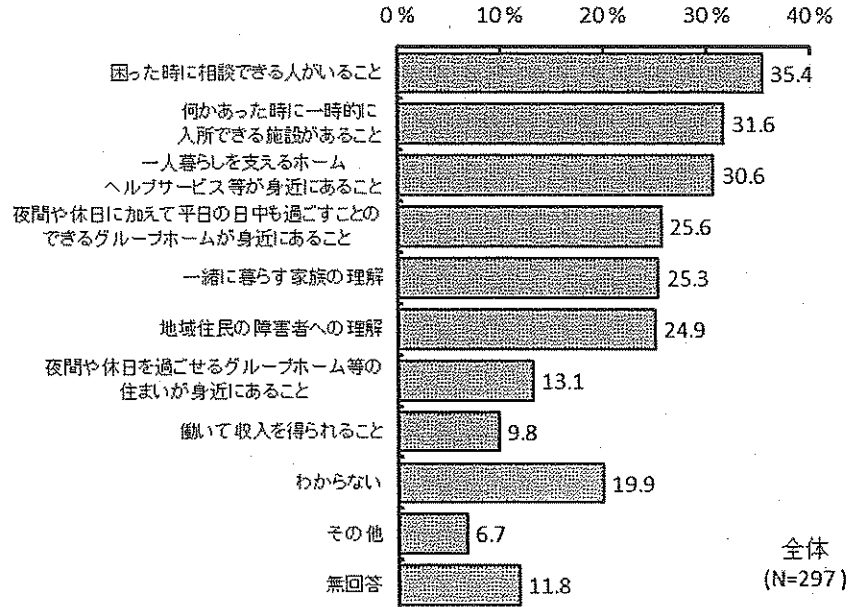
図表 36：全体集計



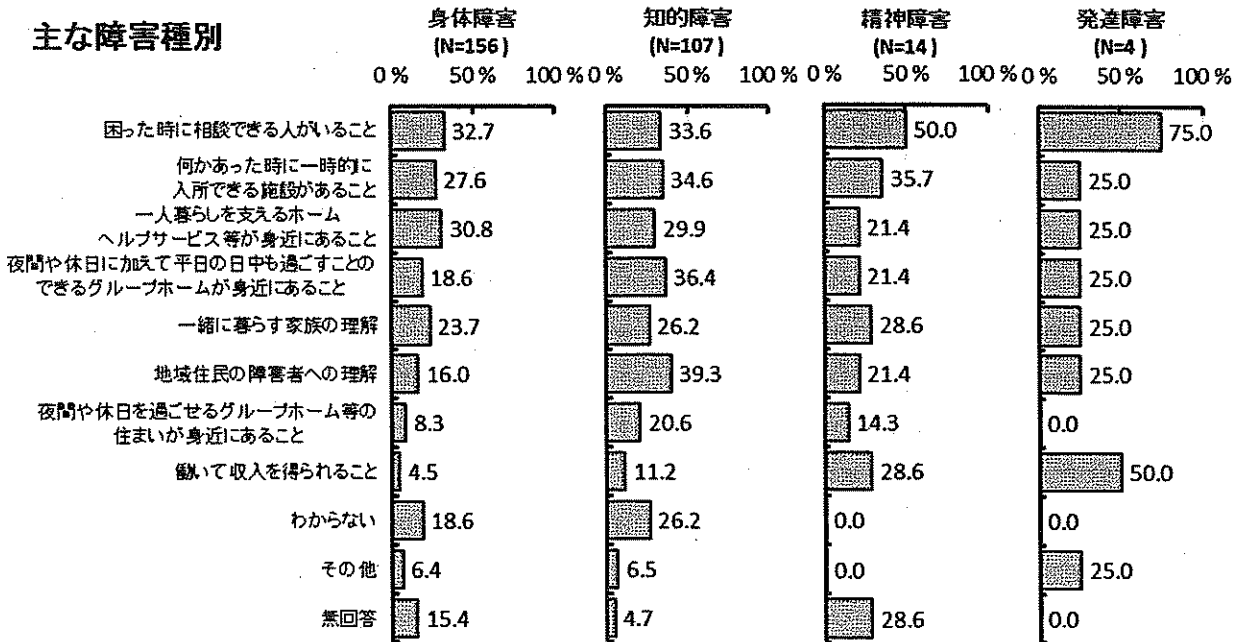
問 10 で「入所型の福祉施設」と回答された方にお聞きします。
 問 11-4 入所型の福祉施設以外で暮らすためには、どのようなことが必要だと思いますか。
 (複数回答)

図表 37：全体集計

入所している福祉施設以外で暮らすために必要だと思う事柄で3割を超えて多いのは、「困った時に相談できる人がいること」が35.4%と最も多く、以下、「何かあった時に一時的に入所できる施設が有る事」が31.6%、「一人暮らしを支えるホームヘルプサービス等が身近にあること」が30.6%となっています。(図表 37)



図表 38：主な障害種別 集計

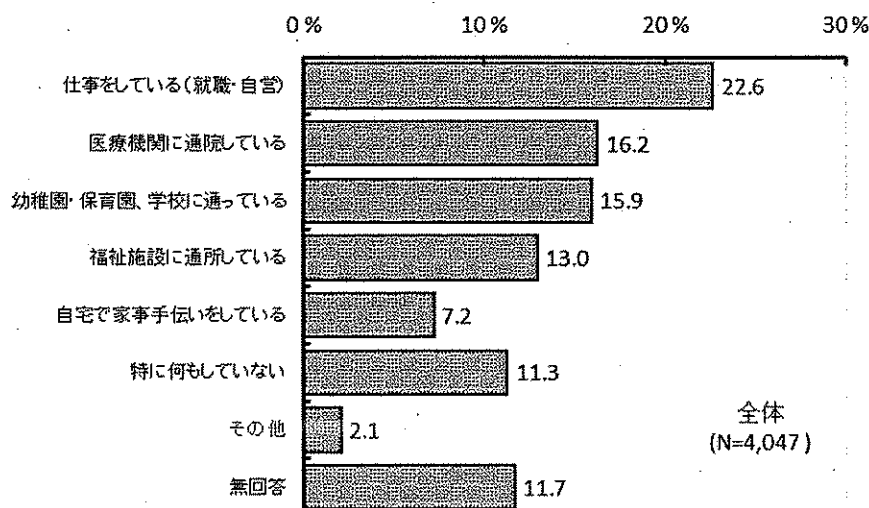


回答数の多い、身体障害と知的障害を比較すると、知的障害において「地域住民の障害者への理解」、「夜間や休日に加えて平日の日中も過ごすことのできるグループホームが身近にあること」、「夜間や休日を過ごせるグループホーム等の住まいが身近にあること」などが多くなっています。(図表 38)

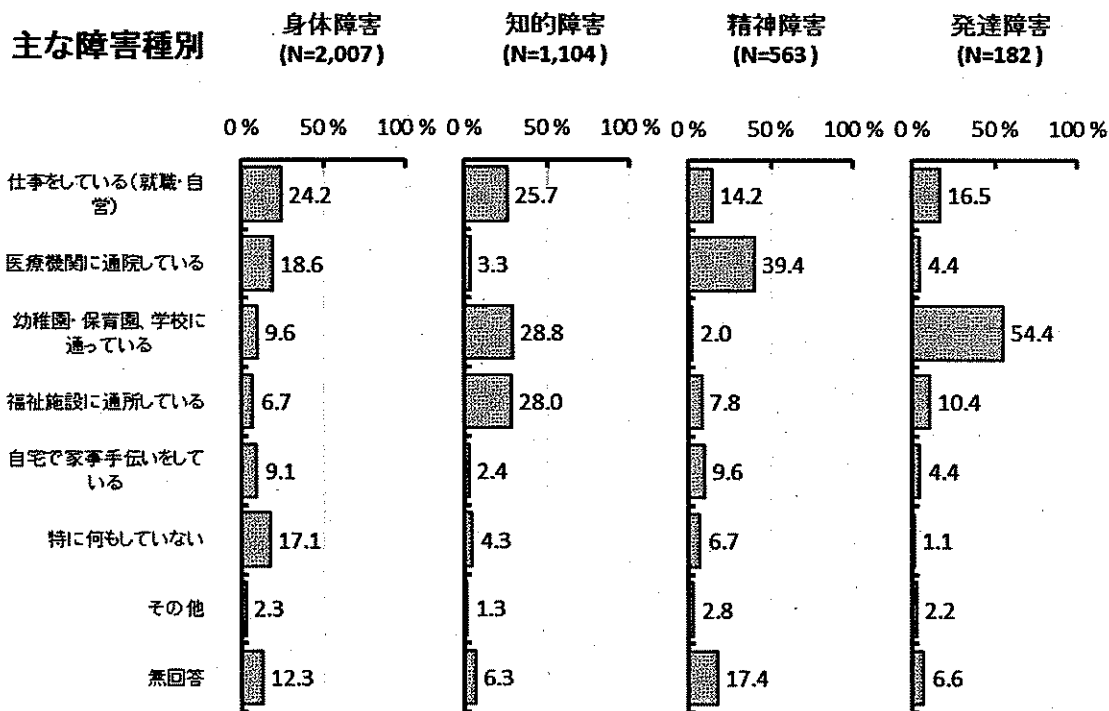
問 12 あなたの現在の日常生活の様子について、主に該当するものはどれですか。(単数回答) (問 10で「精神科病院(入院中)」、「その他病院(入院中)」及び「入所型の福祉施設」を選択した方は、この問は回答不要です。)

現在の日常生活の様子は、「仕事をしている(就職・自営)」が22.6%と最も多く、次いで「医療機関に通院している」が16.2%、「幼稚園・保育園、学校に通っている」が15.9%、「福祉施設に通所している」が13.0%などとなっています。(図表 39)

図表 39：全体集計

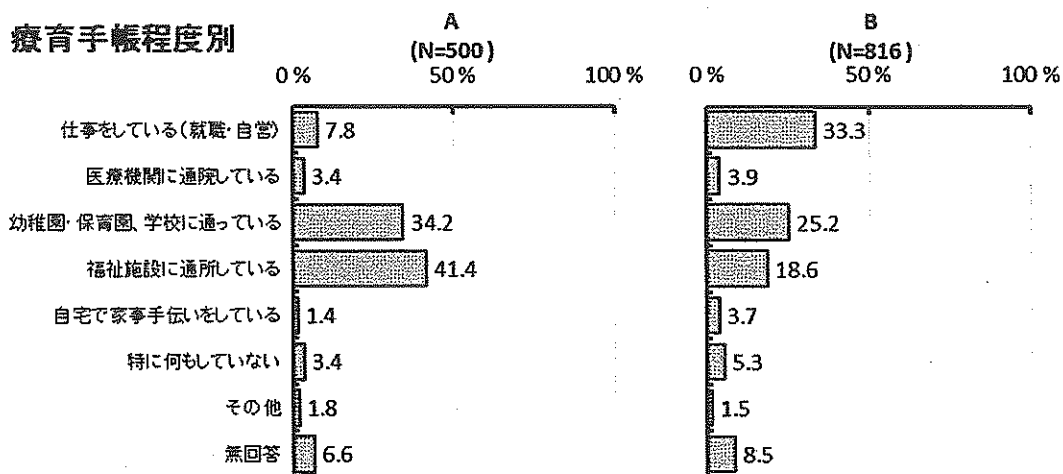


図表 40：主な障害種別 集計



主な障害種別で最も多い回答は、身体障害において「仕事をしている(就職・自営)」が24.2%、知的障害において「幼稚園・保育園、学校に通っている」が28.8%、精神障害において「医療機関に通院している」が39.4%、発達障害において「幼稚園・保育園、学校に通っている」が54.4%という結果でした。(図表 40)

図表 41：療育手帳程度別 集計

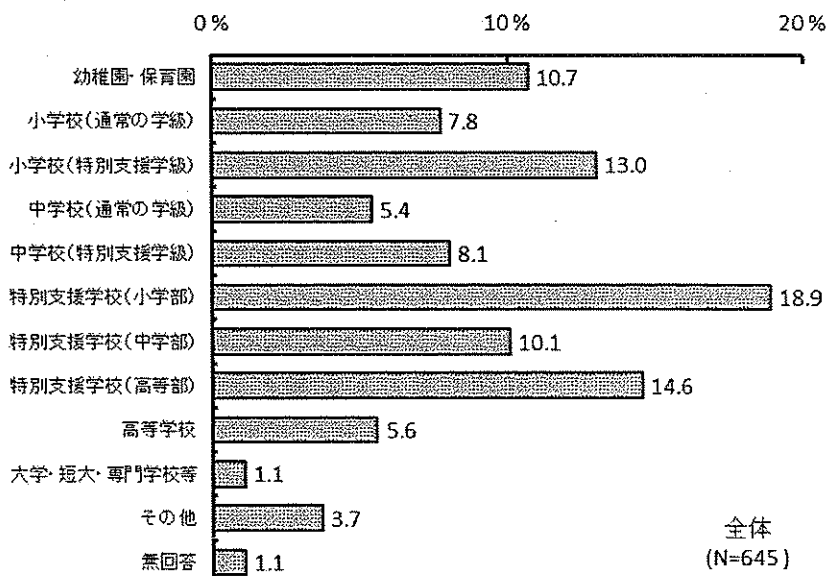


療育手帳程度別では、Aにおいて「幼稚園・保育園、学校に通っている」、「福祉施設に通所している」がBより多く、Bにおいて「仕事をしている(就職・自営)」が33.3%とAより25.5ポイント高くなっています。(図表 41)

問 12で「幼稚園・保育園、学校に通っている」と回答された方にお聞きします。
問 12-2 通園・通学している学校等は次のどれですか。(単数回答)

通園・通学している学校等は、「特別支援学校(小学部)」が18.9%と最も多く、次いで「特別支援学校(高等部)」が14.6%、「小学校(特別支援学級)」が13.0%、「幼稚園・保育園」が10.7%などとなっています。(図表 42)

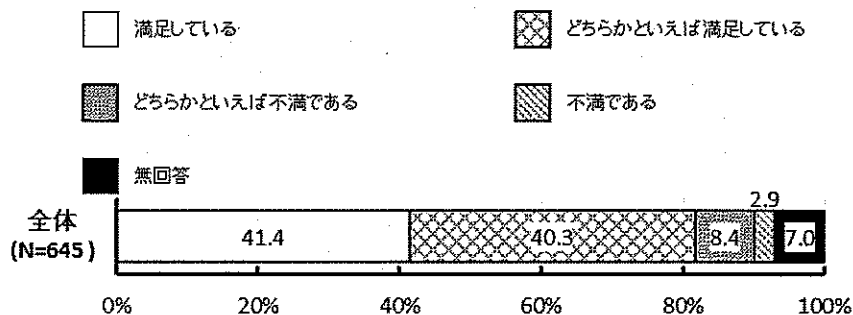
図表 42：全体集計



問 12 で「幼稚園・保育園、学校に通っている」と回答された方にお聞きします。

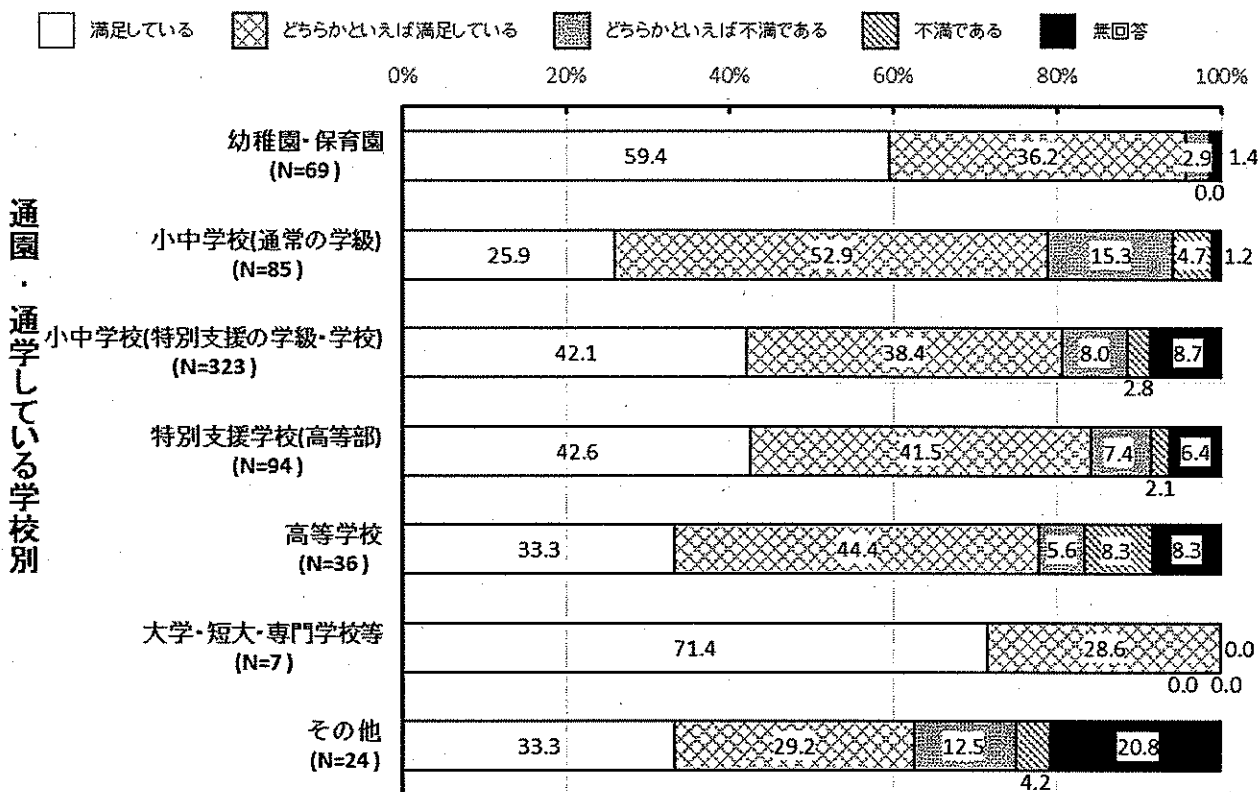
問 12-3 あなたは、通園・通学している学校等に対して、ニーズに応じた教育や障害に応じた配慮といった点で満足していますか。(単数回答)

図表 43：全体集計



通園・通学している学校等に対して、ニーズに応じた教育や障害に応じた配慮などの点の満足状況は、「満足している」が41.4%と最も多く、次いで「どちらかといえば満足している」が40.3%、「どちらかといえば不満である」が8.4%、「不満である」が2.9%となっています。また、『満足している+どちらかといえば満足している』は、81.7%となっています。(図表 43)

図表 44：通園・通学している学校別 集計



通園・通学している学校別では、幼稚園・保育園において「満足している」が5割を超えて多くなっています。また、『満足している+どちらかといえば満足している』は、幼稚園・保育園において95.6%と最も多く、高等学校において77.7%と最も少なくなっています。(図表 44)

問 12-3で「どちらかといえば不満である」または「不満である」と回答された方にお聞きします。
 問 12-4 学校等に対して、要望があれば具体的に教えてください。

問 12-3 の通園・通学している学校等に対する満足度で、「どちらかといえば不満である」または「不満である」を選択した方が、学校等に対する要望として記入されていたのは、「教師の障害への理解不足・障害特性に応じた指導について」が 20 件と最も多く、次いで「送迎・付き添いなどの親の負担について」の順となっています。(図表 45)

図表 45：学校などへの要望 分類後の件数

(単位:件)	つに理教 い応解師 てじ不の た足障 指・害 導特へ に性の	増保 員育 に士 つ・ い教 て師 の	に教 つ材 い・ て授 業内 容	にな送 つど迎 いの・ て親付 のき添 負担い	つ学 い校 ての 設備 等に	い じめ につ いて	そ の 他	計
身体障害	4	1	1	3	4	0	6	19
知的障害	10	2	4	3	2	0	11	32
精神障害	1	0	0	0	0	0	1	2
発達障害	5	1	2	1	0	1	3	13
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	1	0	0	0	1
計	20	4	7	8	6	1	21	67

主な意見（抜粋）

【教師の障害への理解不足・特性に応じた指導について】

- ・障害に合った専門家の指導、支援があると良い。地域格差を強く感じる。
- ・個々の状態に合わせての学習、活動をさせてもらえないので、出来る様にしてもらいたい。
- ・発達障害の知識や、特性の理解、多様性の容認等が、先生（や関係者）によって差がある。
- ・学校での引継ぎが出来ていない為、担任の先生が理解していない。
- ・普通級にいるので何も対応してもらえない。普通級でも障害に対しての対応があれば良い。
- ・医療的ケアと一括りにされ、実際の発達の状態からすればもう少し高度なカリキュラムを受けられると思うが、看護体制を理由に受けられないことが多々ある。

【保育士・教師の増員について】

- ・1クラス37人に先生が1人。補助の先生もほとんど付いていない状態で埋もれてしまう。人数が多いなら補助の先生をつけてほしい。
- ・支援学級でも先生によってだいぶやり方、手のかけ方に違いがあるので、先生が代わると本人もとまどう。通常のクラスでの活動時にそこの担任との間でもっと連携を取らないと本人が困ることが多い。支援学級でももう少し先生がいた方が担任の負担が少なくできるのではと思う。一人の先生ではなかなか細かく見られない。

【教材・授業内容について】

- ・タブレットの持ち込み等、合理的配慮の幅を広げて欲しい。
- ・小学校5年まで支援学級に在籍していましたが、6年から通常学級へ移りました。本当は、3年の時に通常学級へ行きたい旨を伝えましたが、願い叶わず。支援学級では自分のレベルで学習していましたが、6年になり、通常の6年生の学習をしていて、かなり勉強が難しいです。
- ・高等学校に特別支援学級がなく、中学卒業後の進路に不安がある。特別支援学校では子供に合っていないと考える為。
- ・将来について、自立していく支援、必要性をしっかりと身につけさせたい。

【送迎・付き添いなどの親の負担について】

- ・幼稚園にも子供につく支援員を与えてほしい。親が付き添い、園生活を送っているのは、子供の成長（自立の面で）の妨げになっている。
- ・酸素吸入が必要な時のみ行う為、母親が常時付添をしている為、母親は仕事ができない。母親が病気の時、兄弟の学校行事、家事の為、学校に行けない日もある。
- ・高等部でも地域の交通機関の状況に応じてスクールバスの利用を許可してもらいたい（現在は療育手帳がBのため、スクールバスの許可はもらえない）。また感染症が原因でバスが減っていることもあるし、感染のリスクもあるので。
- ・移動教室などの時の移動支援をしてほしい。

【学校の設備等について】

- ・トイレをもう少し最新の物にしてもらいたいです。AI、PCといった授業も充実させてほしい。
- ・学校が古い為色々と不便、普通学校に通学するのはやめた方がよいのか。
- ・階段が狭くて、3階まで距離がある。

【いじめについて】

- ・クラス内でのいじめに対してもう少し対応してほしい。

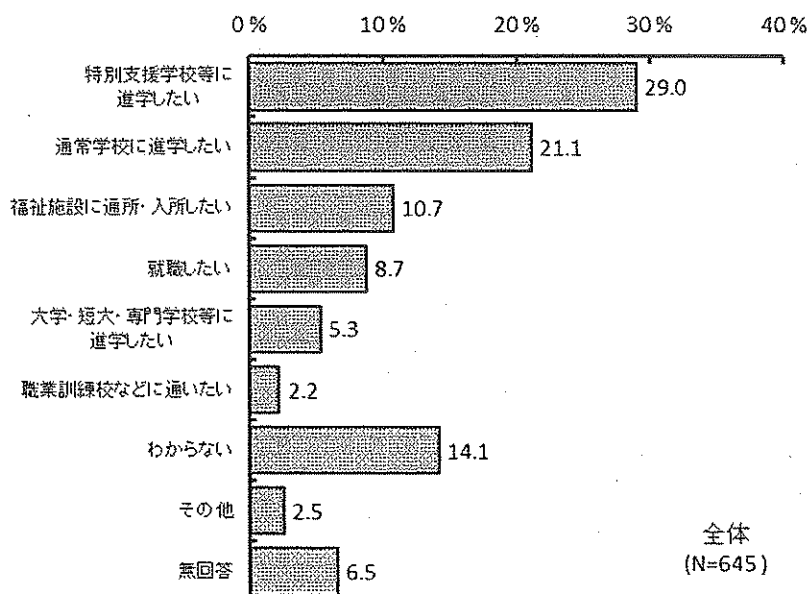
【その他】

- ・自宅から遠いので自主登校になったらバスを乗り換えをしなくてはいけないので不安だけです。スクールバス登校または近くに学校ができればと思っています。
- ・療育手帳がないので特別支援学校高等部には行けずに私立の高校進学するしかなかったが、勉強が苦手なコミュニケーションもとれないタイプなので不登校である。私立なので経済的にも大変。
- ・心のサポート。スクールカウンセラーを常に相談できるようにしてほしい。
- ・学校への要望というより、県教委です。新しく特別支援学校の設立により、子供の気持ちを思い、今通っている特支に残りたいのですが、学区だと言って全く取り合ってもらえない。子供にとって、どの環境がいいのか？をもっと考えてほしい。
- ・看護師がお休みの時は学校にいけないこと、前もってわかっていれば手段もあると思う（看護師がいないと導尿できない）。
- ・学校との相談がしにくい。困ったときどこに相談すればいいか説明がなかった。

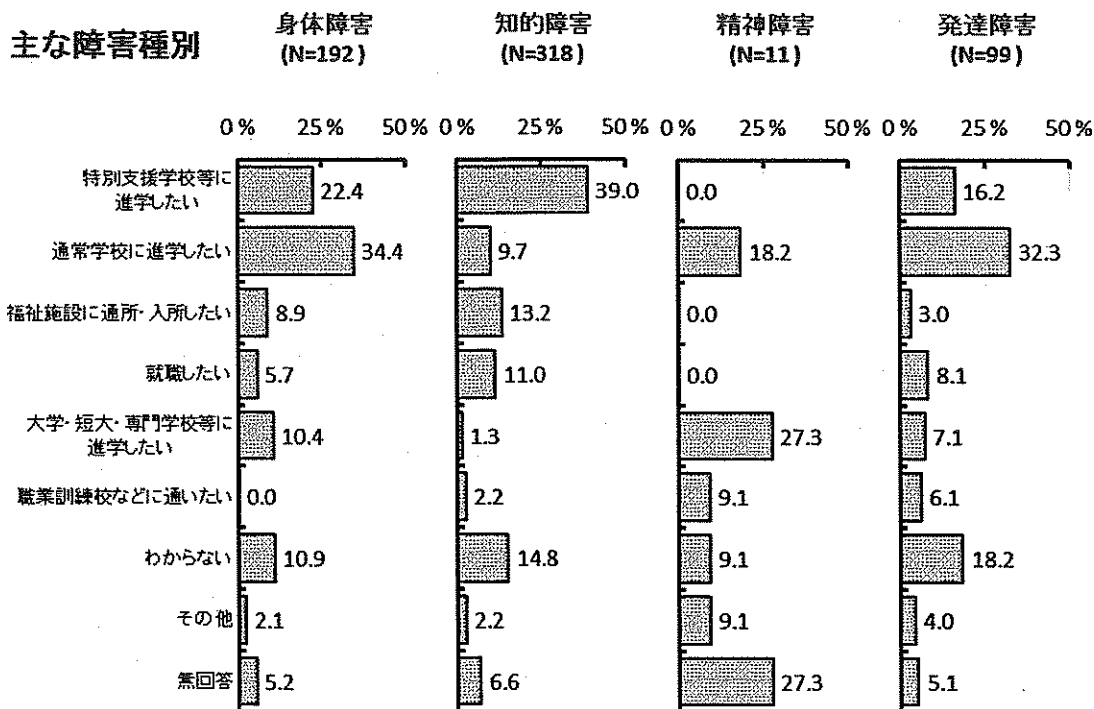
問 12 で「幼稚園・保育園、学校に通っている」と回答された方にお聞きます。
 問 12-5 卒園・卒業後の進路をどう考えていますか。(単数回答)

図表 46：全体集計

卒園・卒業後の進路は、「特別支援学校等に進学したい」が 29.0%と最も多く、次いで「通常学校に進学したい」が 21.1%、「わからない」が 14.1%、「福祉施設に通所・入所したい」が 10.7%などとなっています。(図表 46)

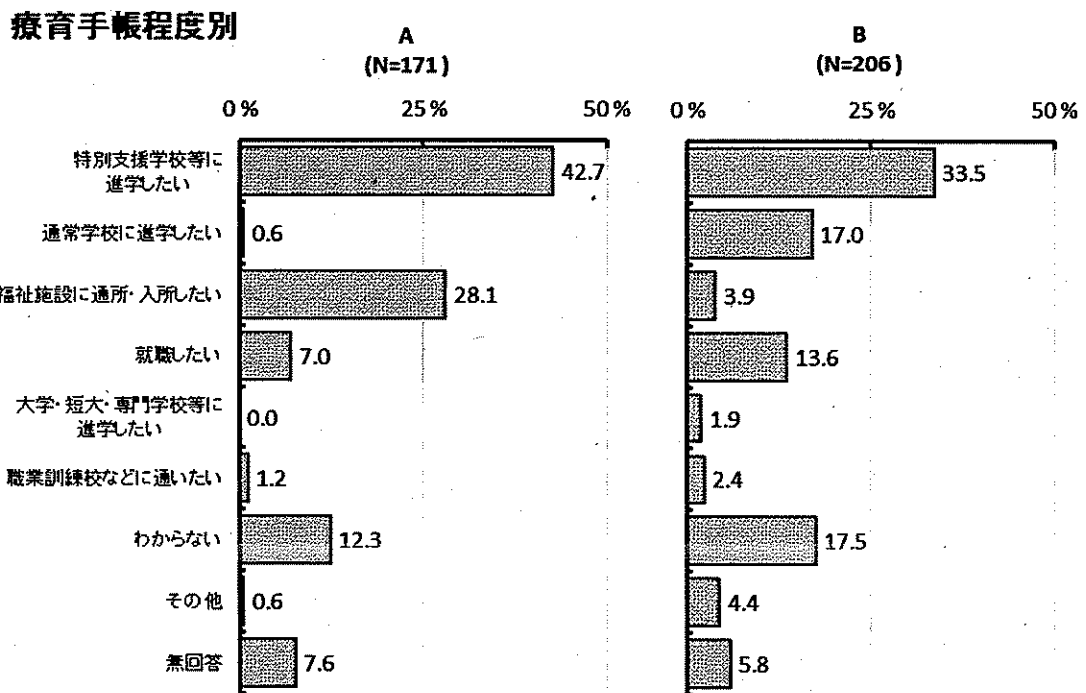


図表 47：主な障害種別 集計



主な障害種別では、身体障害・発達障害において「通常学校に進学したい」が 3 割を超えて多くなっています。また、知的障害において「特別支援学校等に進学したい」が 39.0%と 3 割を超えて多くなっています。(図表 47)

図表 48：療育手帳程度別 集計

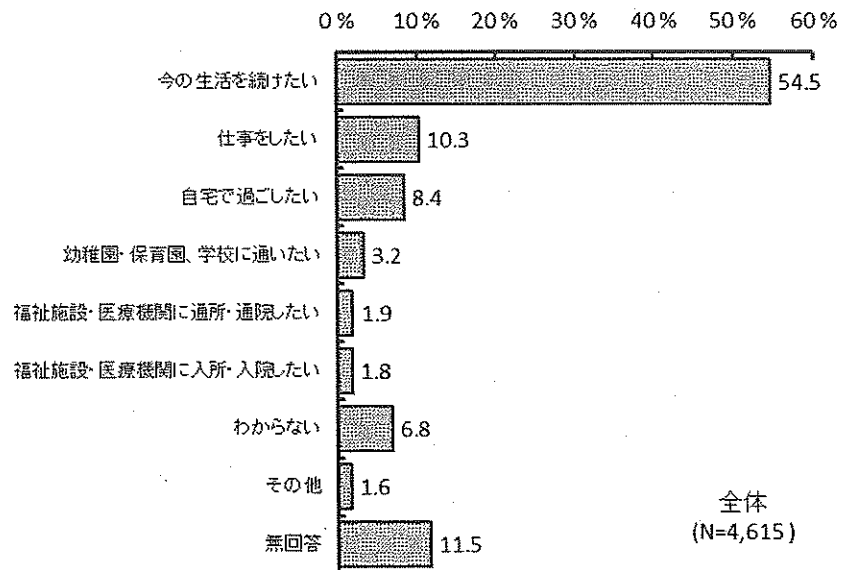


療育手帳程度別では、Aにおいて「福祉施設に通所・入所したい」が28.1%とBより24.2ポイント高く、Bにおいて「通常学校に進学したい」、「就職したい」がAより高くなっています。(図表 48)

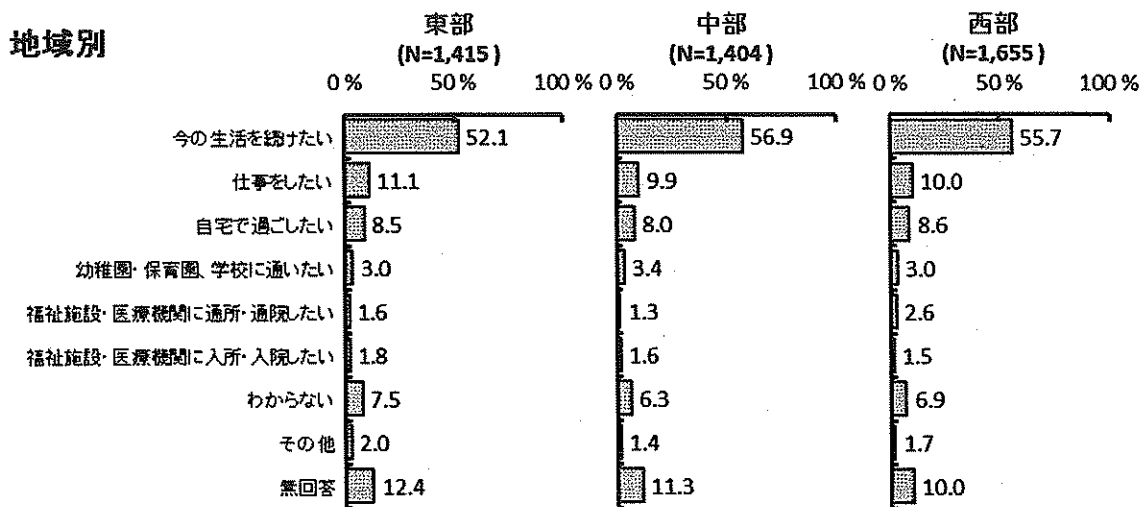
問 13 あなたが望んでいる日常生活について、教えてください。(単数回答)

望んでいる日常生活は、「今の生活を続けたい」が54.5%と最も多く、次いで「仕事をしたい」が10.3%、「自宅で過ごしたい」が8.4%などとなっています。(図表 49)

図表 49：全体集計

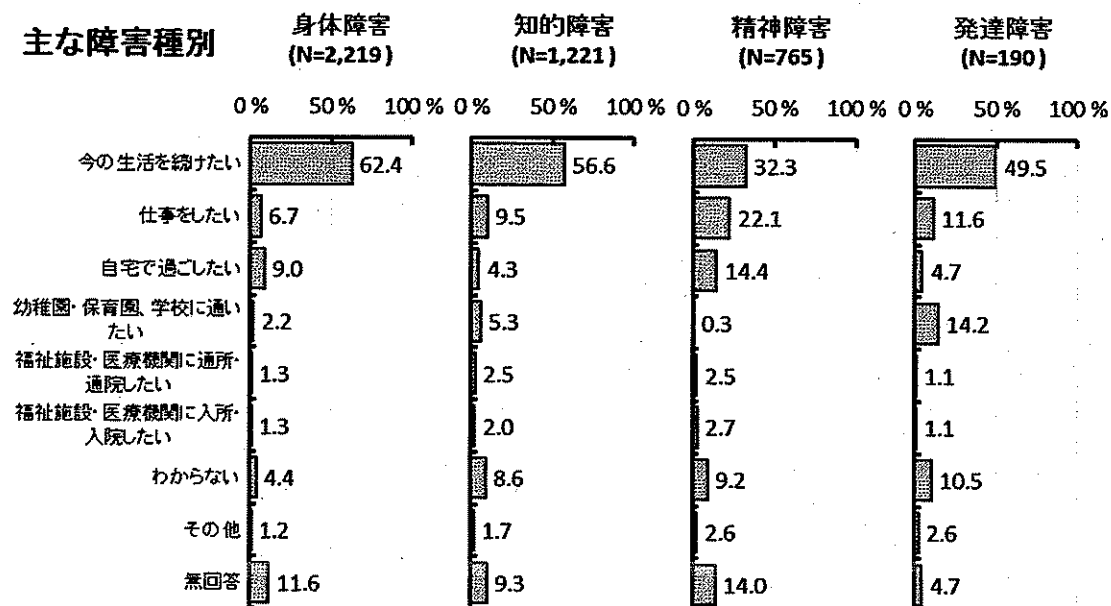


図表 50：地域別集計



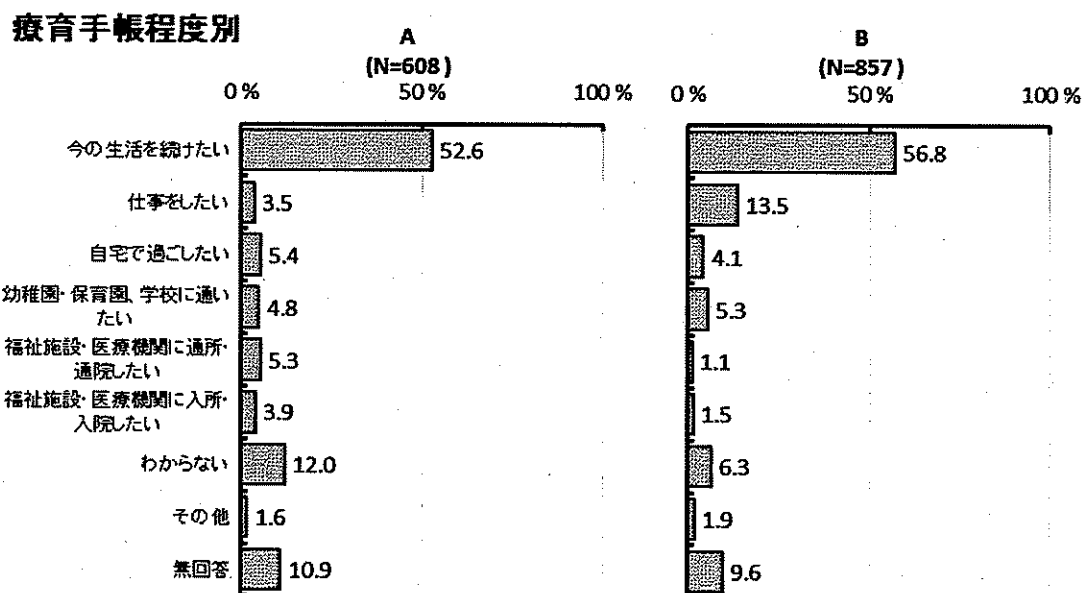
地域別で大きな差異はみられません。(図表 50)

図表 51：主な障害種別 集計



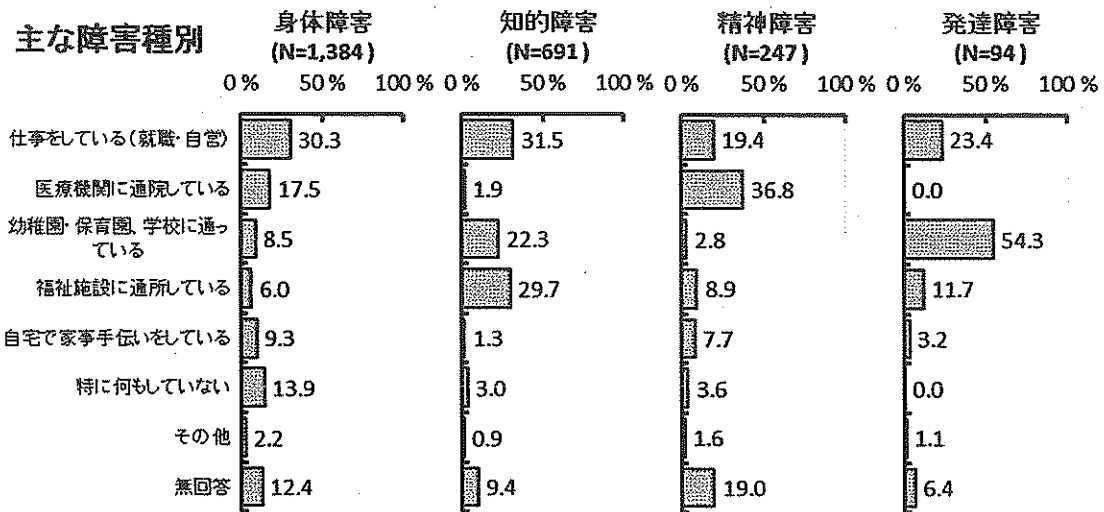
主な障害種別では、「今の生活を続けたい」は身体障害が 62.4%と 6 割を超えて高く、精神障害は 32.3%と低くなっています。逆に、「仕事をしたい」は精神障害が 22.1%と 2 割を超えて高く、身体障害は 6.7%と低くなっています。(図表 51)

図表 52：療育手帳程度別 集計



療育手帳程度別では、「仕事をしたい」が B は 13.5%と A (3.5%) より 10.0 ポイント高くなっています。(図表 52)

図表 53：主な障害種別 集計（問 13 で「今の生活を続けたい」と回答した方の日常生活の様子）



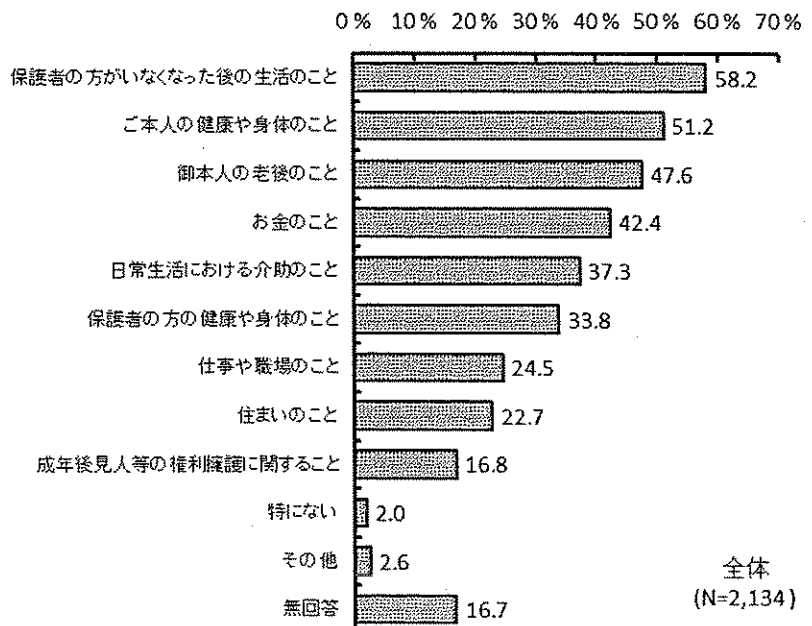
今の生活を続けたいと回答した方の主な障害種別の日常生活の様子は、身体障害及び知的障害において「仕事をしている(就職・自営)」が3割以上で最も多くなっています。また、精神障害において「医療機関に通院している」が36.8%、発達障害において「幼稚園・保育園、学校に通っている」が54.3%と、それぞれ最も多くなっています。(図表 53)

御本人の保護者の方(親御様やご家庭等で介助されている方)にお聞きします。

問 14 御本人が生活していく上で今後心配になることは何ですか。(複数回答)

図表 54：全体集計

保護者視点からの、今後の御本人(対象者)が生活していく上で心配点は、「保護者の方がいなくなった後の生活のこと」が58.2%と最も多く、次いで「御本人の健康や身体のこと」が51.2%、「御本人の老後のこと」が47.6%などとなっています。(図表 54)

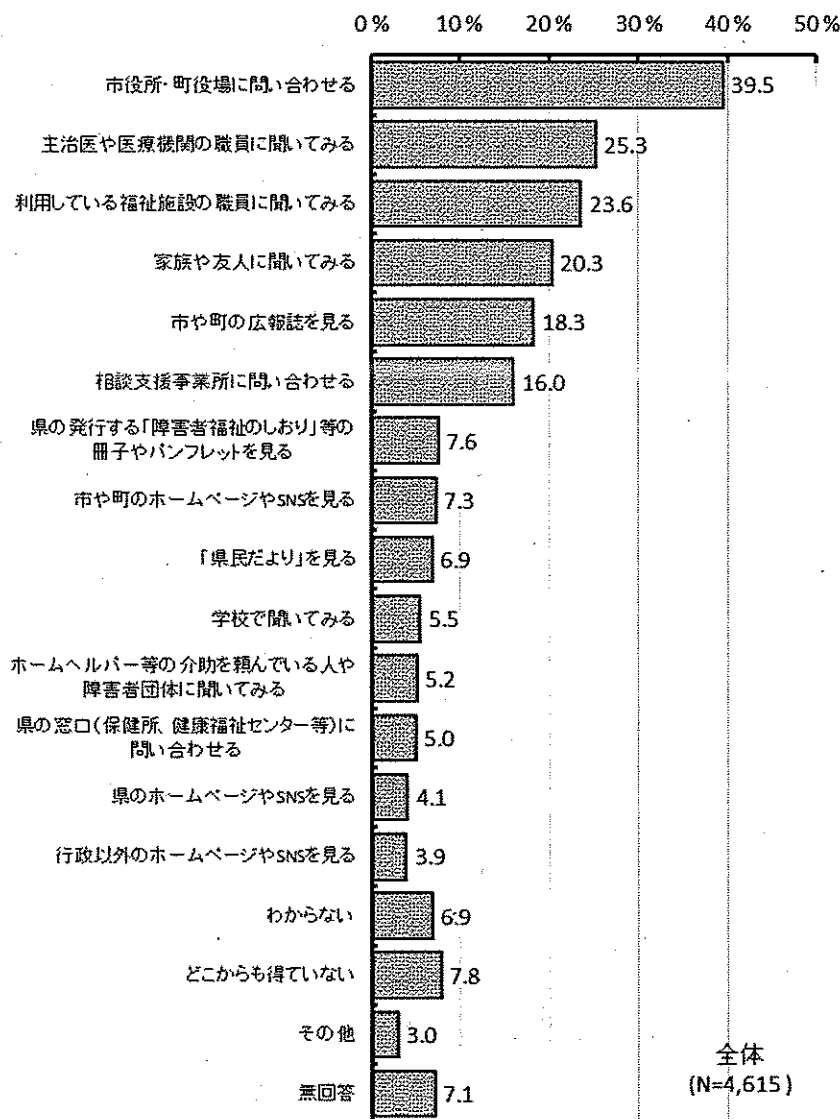


3 障害福祉サービス等の利用状況について

問 15 あなたは、ふだん障害福祉に関する情報をどこから得ていますか。(複数回答)

障害福祉に関する情報の入手先は、「市役所・町役場に問い合わせる」が39.5%と最も多く、次いで「主治医や医療機関の職員に聞いている」が25.3%、「利用している福祉施設の職員に聞いてみる」が23.6%、「家族や友人に聞いてみる」が20.3%、「市や町の広報誌を見る」が18.3%などとなっています。(図表55)

図表 55：全体集計



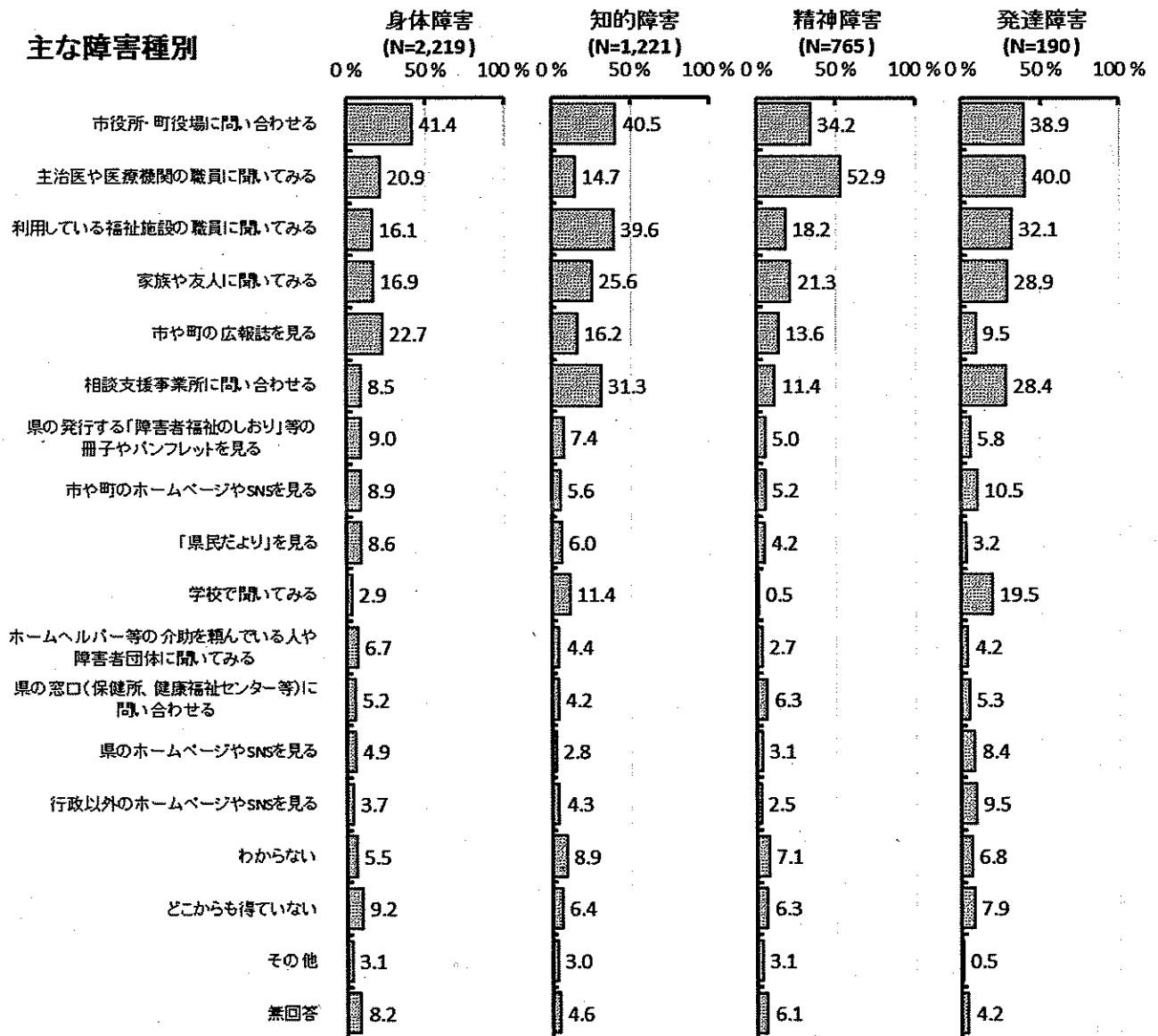
図表 56：年代別 集計

	調査数	市役所・町役場に問い合わせる	県の窓口（保健所、健康福祉センター等）に問い合わせる	相談支援事業所に問い合わせる	市や町の広報誌を見る	冊子やパンフレットを見る	県の発行する「障害者福祉のしおり」等の「障害者福祉」を見る	「県民だより」を見る	SNSを見る	市や町のホームページやSNSを見る	県のホームページやSNSを見る	SNS以外のホームページを見る
10歳未満	265	141	25	90	42	31	13	40	17	32		
10歳未満 (%)	100.0	53.2	9.4	34.0	15.8	11.7	4.9	15.1	6.4	12.1		
10歳代	444	176	13	135	61	34	22	38	24	34		
10歳代 (%)	100.0	39.6	2.9	30.4	13.7	7.7	5.0	8.6	5.4	7.7		
20歳代	331	124	12	94	41	19	14	32	16	24		
20歳代 (%)	100.0	37.5	3.6	28.4	12.4	5.7	4.2	9.7	4.8	7.3		
30歳代	381	154	32	85	80	28	25	19	13	9		
30歳代 (%)	100.0	40.4	8.4	22.3	21.0	7.3	6.6	5.0	3.4	2.4		
40歳代	512	201	32	89	89	42	31	46	31	21		
40歳代 (%)	100.0	39.3	6.3	17.4	17.4	8.2	6.1	9.0	6.1	4.1		
50歳代	612	235	41	76	109	37	35	56	25	30		
50歳代 (%)	100.0	38.4	6.7	12.4	17.8	6.0	5.7	9.2	4.1	4.9		
60歳代	645	277	23	47	127	52	48	42	24	11		
60歳代 (%)	100.0	42.9	3.6	7.3	19.7	8.1	7.4	6.5	3.7	1.7		
70歳以上	1,013	351	40	71	241	79	105	32	14	8		
70歳以上 (%)	100.0	34.6	3.9	7.0	23.8	7.8	10.4	3.2	1.4	0.8		

	障害者団体やヘルパー等の介助を受ける	頼みごとやヘルパー等の介助を受ける	ホームヘルパー等の介助を受ける	主治医や医療機関の職員に聞いてみる	利用している福祉施設の職員に聞いてみる	家族や友人に聞いてみる	学校で聞いてみる	わからない	どこからも得ていない	その他	無回答
10歳未満	12	133	117	101	76	4	2	10	4		
10歳未満 (%)	4.5	50.2	44.2	38.1	28.7	1.5	0.8	3.8	1.5		
10歳代	17	111	129	144	149	35	45	11	13		
10歳代 (%)	3.8	25.0	29.1	32.4	33.6	7.9	10.1	2.5	2.9		
20歳代	14	54	94	95	3	35	33	6	12		
20歳代 (%)	4.2	16.3	28.4	28.7	0.9	10.6	10.0	1.8	3.6		
30歳代	16	91	105	87	2	31	34	7	15		
30歳代 (%)	4.2	23.9	27.6	22.8	0.5	8.1	8.9	1.8	3.9		
40歳代	22	130	145	95	2	43	41	14	29		
40歳代 (%)	4.3	25.4	28.3	18.6	0.4	8.4	8.0	2.7	5.7		
50歳代	27	177	116	84	2	44	48	16	37		
50歳代 (%)	4.4	28.9	19.0	13.7	0.3	7.2	7.8	2.6	6.0		
60歳代	39	150	105	82	0	38	49	26	54		
60歳代 (%)	6.0	23.3	16.3	12.7	0.0	5.9	7.6	4.0	8.4		
70歳以上	74	210	188	162	0	60	80	36	127		
70歳以上 (%)	7.3	20.7	18.6	16.0	0.0	5.9	7.9	3.6	12.5		

年代別では、いずれの年代でも「市役所・町役場に問い合わせる」が最も多くなっています。また、「相談支援事業所に問い合わせる」、「利用している福祉施設の職員に聞いてみる」、「家族や友人に聞いてみる」は年代が高くなるほど回答割合が少なくなる傾向にあります。（図表 56）

図表 57：主な障害種別 集計

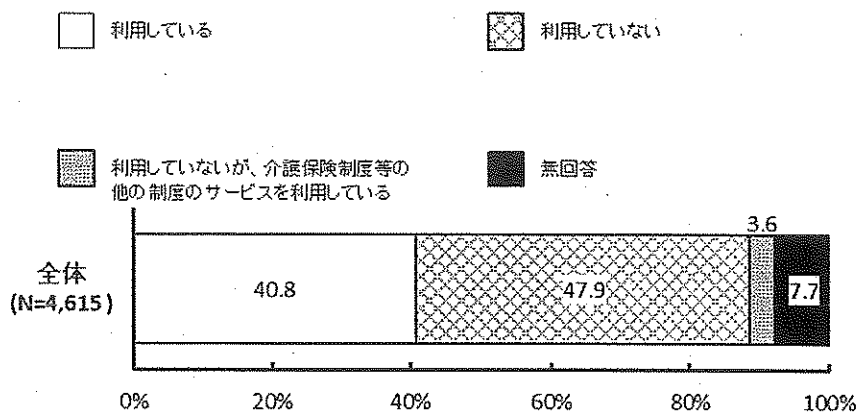


主な障害種別の特徴をみると、身体障害は「市役所・町役場に問い合わせる」が41.4%と多く、次いで「市や町の広報誌を見る」が22.7%となっています。知的障害は「市役所・町役場に問い合わせる」(40.5%)と「利用している福祉施設の職員に聞いてみる」(39.6%)が4割前後、「相談支援事業所に問い合わせる」は31.3%となっています。精神障害と発達障害では「主治医や医療機関の職員に聞いてみる」の割合が最も多く、それぞれ52.9%、40.0%となっています。(図表 57)

問 16 あなたは現在、障害福祉サービス等を利用していますか。(単数回答)

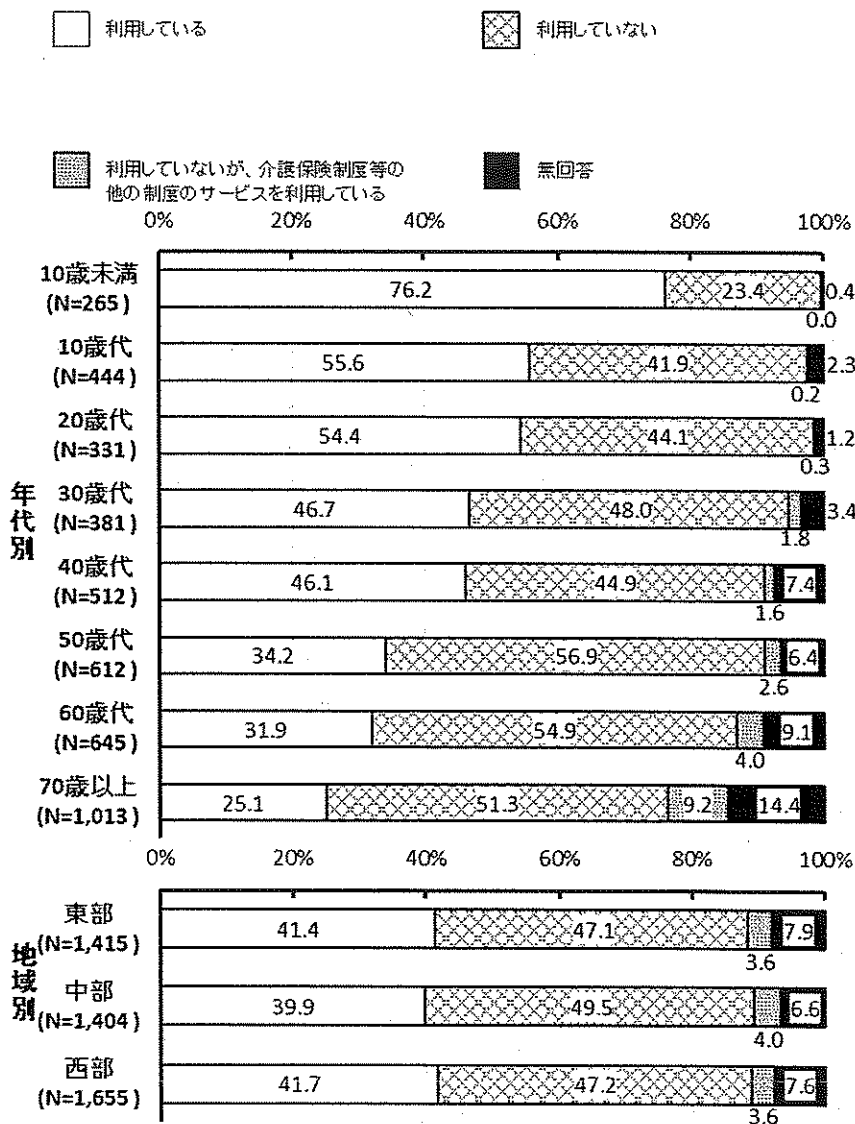
障害福祉サービス等の利用状況は、「利用していない」が47.9%と最も多く、次いで「利用している」が40.8%、「介護保険制度などの他の制度で福祉サービスを利用している」が3.6%となっています。(図表58)

図表 58：全体集計



年代別では、年代が高くなるほど「利用していない」が多くなる傾向にあります。また、70歳以上において「介護保険制度などの他の制度で福祉サービスを利用している」が9.2%と多くなっています。(図表59)

図表 59：年代別・地域別 集計

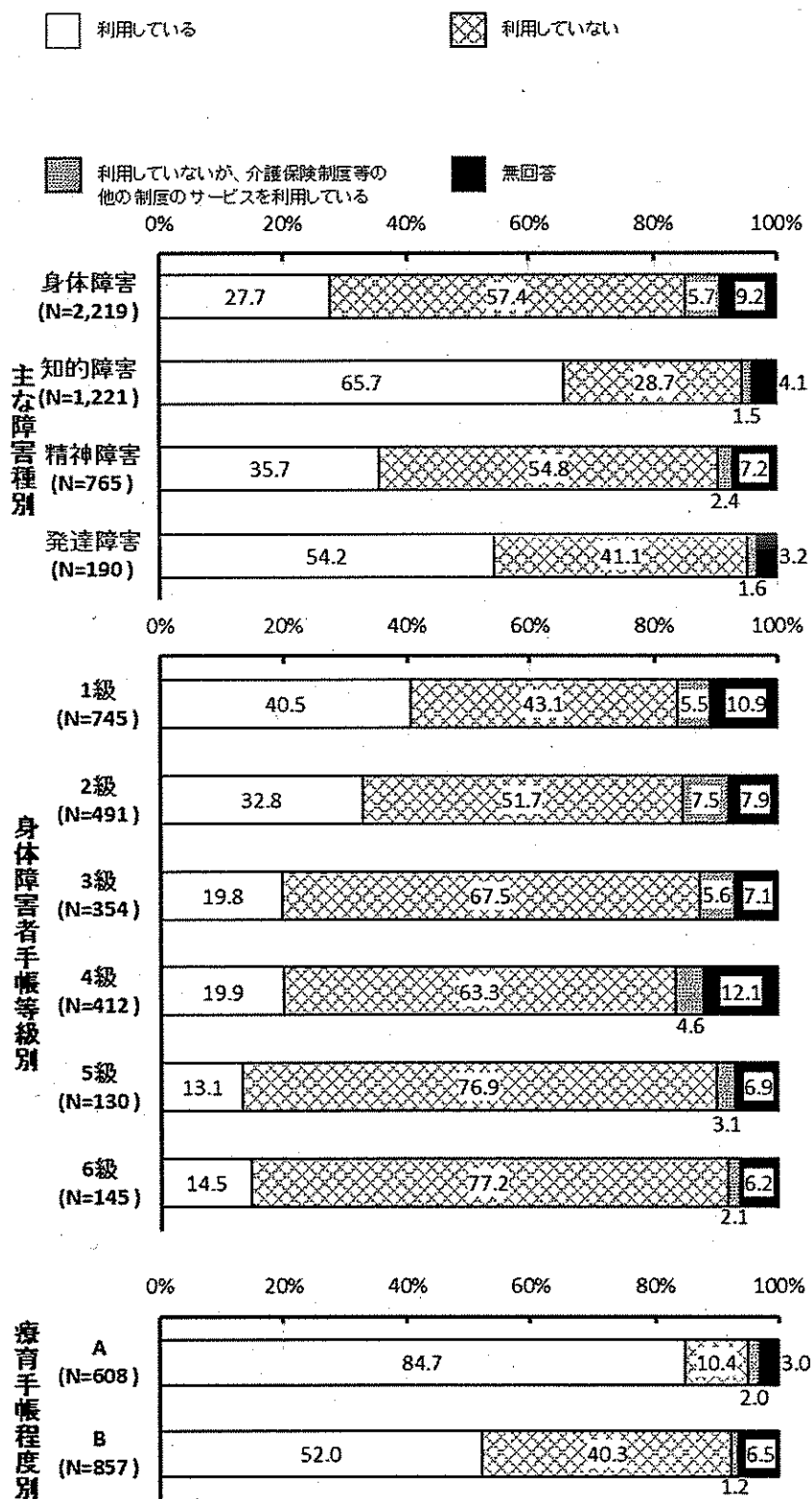


主な障害種別では、身体障害・精神障害において「利用していない」が半数を超えて、逆に知的障害・発達障害において「利用している」が半数を超えています。(図表 60)

身体障害者手帳等級別では、1級において「利用している」が40.5%、2級～6級において「利用していない」が半数を超えています。(図表 60)

療育手帳程度別では、Aにおいて「利用している」が84.7%とBより32.7ポイント高くなっています。(図表 60)

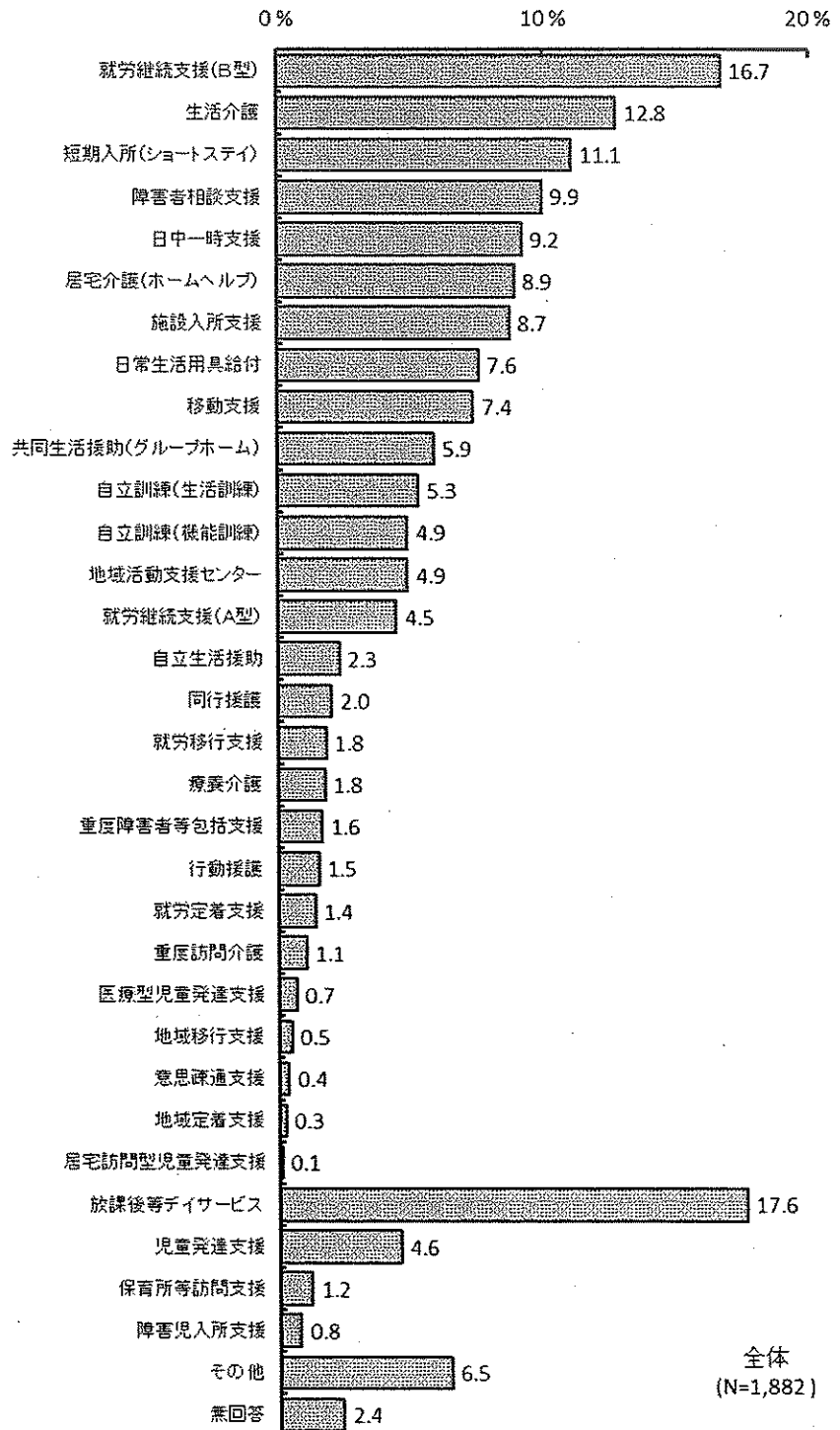
図表 60：主な障害種別・身体障害者手帳等級別・療育手帳程度別 集計



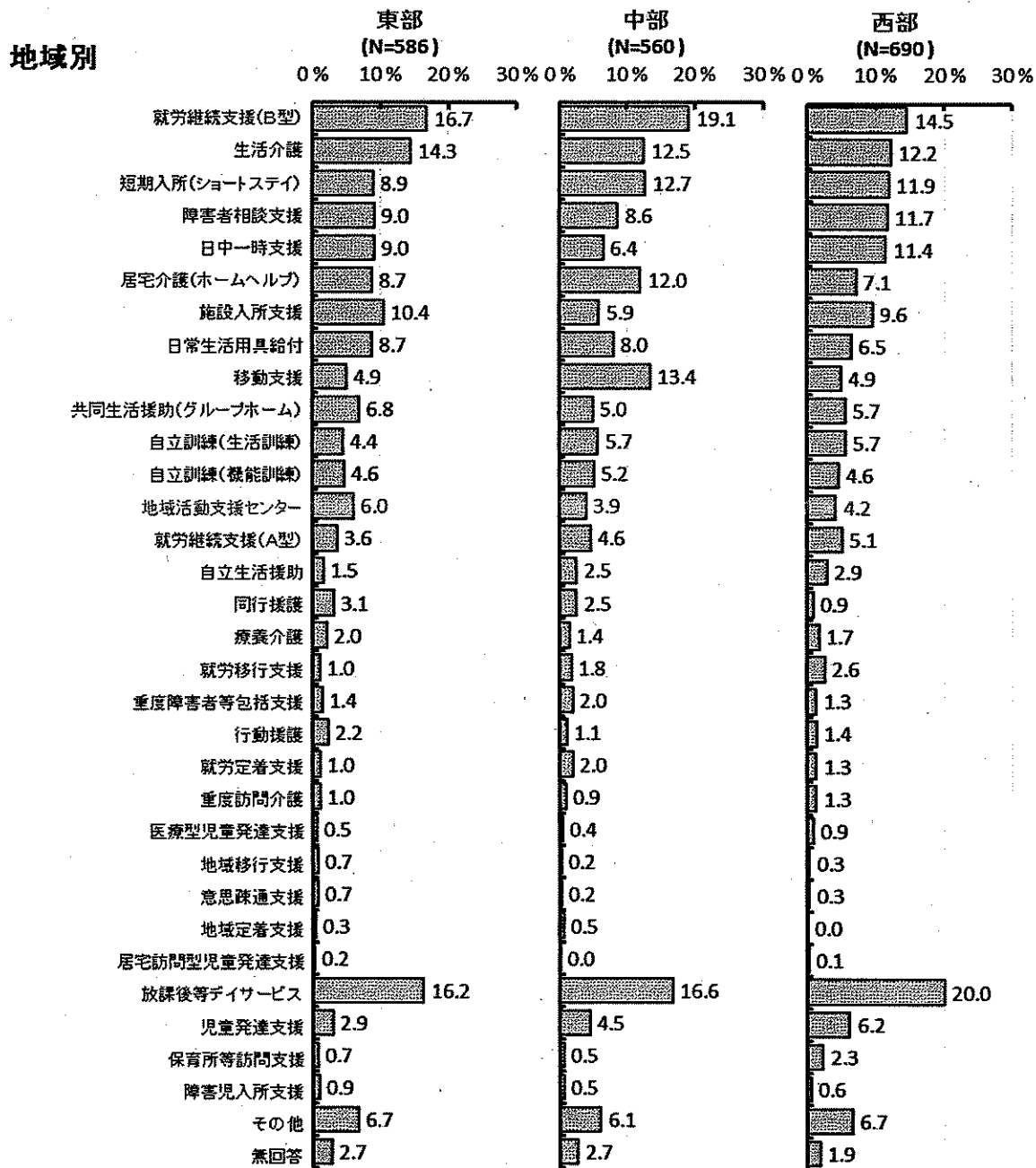
問 16 で障害福祉サービス等を「利用している」と回答された方にお聞きします。
 問 16-2 現在どのようなサービスを利用していますか。(複数回答)

利用しているサービスは、「放課後等デイサービス」が17.6%と最も多く、次いで「就労継続支援（B型）」が16.7%、「生活介護」が12.8%、「短期入所（ショートステイ）」が11.1%、「障害者相談支援」が9.9%などとなっています。(図表 61)

図表 61：全体集計



図表 62：地域別 集計



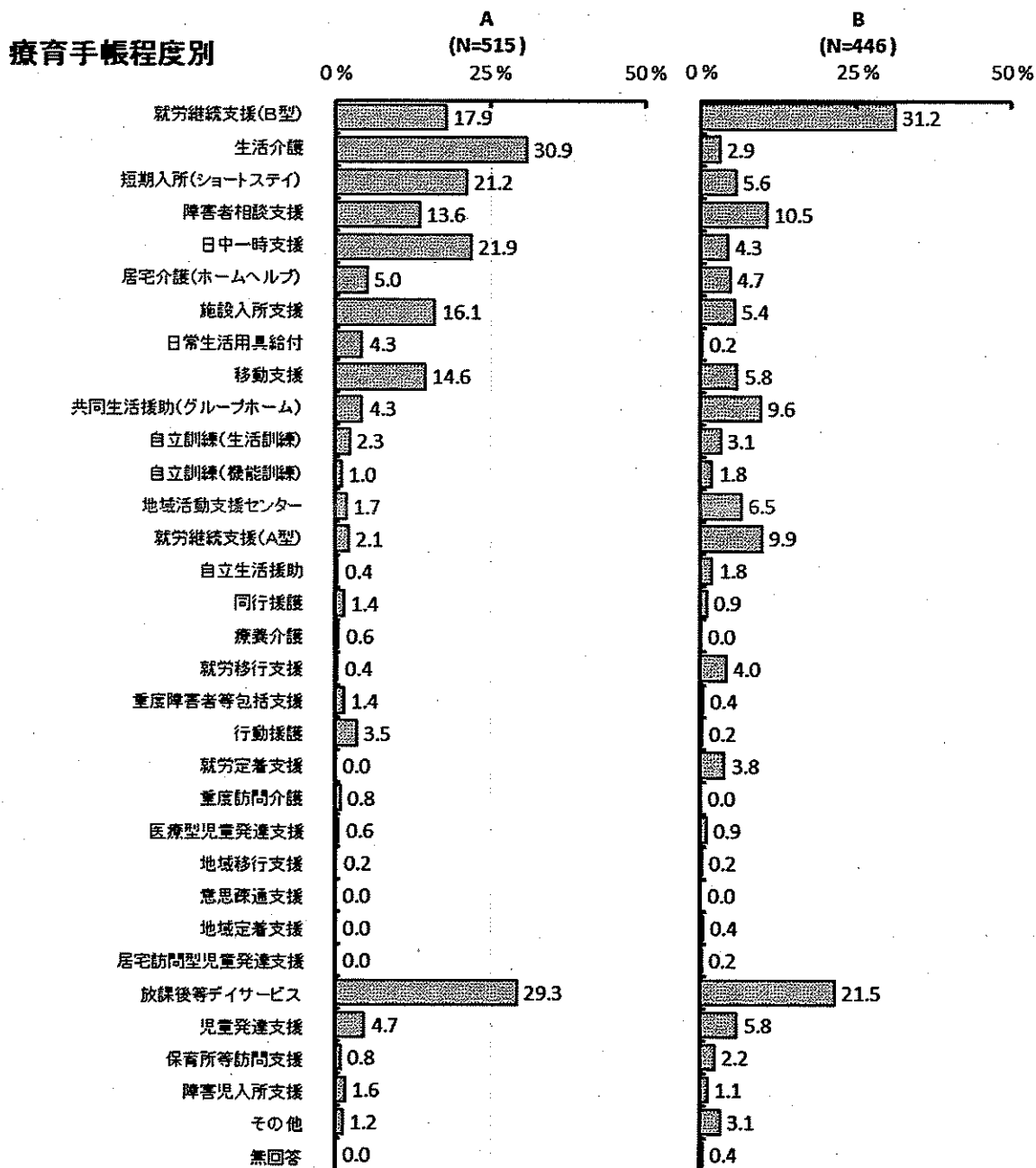
地域別では、中部で「移動支援」が他地域に比べやや高く、「施設入所支援」が他地域に比べやや低くなっています。(図表 62)

図表 63：主な障害種別 集計



主な障害種別ごとによく利用されているサービスをあげると、身体障害では「日常生活用具給付」(20.5%)と「居宅介護(ホームヘルプ)」(15.1%)、知的障害では「就労継続支援(B型)」(25.2%)と「放課後等デイサービス」(25.2%)、精神障害では「就労継続支援(B型)」(20.1%)と「共同生活援助(グループホーム)」(12.5%)、発達障害では「放課後等デイサービス」(46.6%)、「児童発達支援」(18.4%)となっています。(図表 63)

図表 64：療育手帳程度別 集計



療育手帳程度別では、AはBに比べ「生活介護」、「短期入所（ショートステイ）」、「障害者相談支援」、「日中一時支援」、「施設入所支援」、「移動支援」、放課後等デイサービスが多く、BはAに比べ「就労継続支援（B型）」、「共同生活援助（グループホーム）」、「地域活動支援センター」、「就労継続支援（A型）」が多くなっています。（図表 64）

図表 65：年代別 集計

	調査数	居宅介護（ホームヘルプ）	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等包括支援	療養介護	生活介護	短期入所（ショートステイ）	施設入所支援	自立生活援助	共同生活援助（グループホーム）	自立訓練（機能訓練）	自立訓練（生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援（A型）	就労継続支援（B型）
10歳未満	202	4	0	0	0	2	1	0	13	2	0	0	5	1	0	0	0
10歳未満 (%)	100.0	2.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.5	0.0	6.4	1.0	0.0	0.0	2.5	0.5	0.0	0.0	0.0
10歳代	247	9	1	1	6	0	1	8	17	2	0	1	2	0	3	2	20
10歳代 (%)	100.0	3.6	0.4	0.4	2.4	0.0	0.4	3.2	6.9	0.8	0.0	0.4	0.8	0.0	1.2	0.8	8.1
20歳代	180	12	2	1	3	1	0	50	48	6	3	6	3	5	13	17	65
20歳代 (%)	100.0	6.7	1.1	0.6	1.7	0.6	0.0	27.8	26.7	3.3	1.7	3.3	1.7	2.8	7.2	9.4	36.1
30歳代	178	10	1	3	3	1	3	27	35	10	7	13	7	13	4	17	56
30歳代 (%)	100.0	5.6	0.6	1.7	1.7	0.6	1.7	15.2	19.7	5.6	3.9	7.3	3.9	7.3	2.2	9.6	31.5
40歳代	236	28	3	4	4	6	4	45	21	34	9	23	5	10	6	16	69
40歳代 (%)	100.0	11.9	1.3	1.7	1.7	2.5	1.7	19.1	8.9	14.4	3.8	9.7	2.1	4.2	2.5	6.8	29.2
50歳代	209	22	2	5	4	4	4	35	14	30	10	21	8	18	5	16	41
50歳代 (%)	100.0	10.5	1.0	2.4	1.9	1.9	1.9	16.7	6.7	14.4	4.8	10.0	3.8	8.6	2.4	7.7	19.6
60歳代	206	41	2	13	3	4	8	27	18	23	5	22	16	19	1	8	32
60歳代 (%)	100.0	19.9	1.0	6.3	1.5	1.9	3.9	13.1	8.7	11.2	2.4	10.7	7.8	9.2	0.5	3.9	15.5
70歳以上	254	35	6	9	5	10	11	32	22	45	7	8	34	23	0	0	6
70歳以上 (%)	100.0	13.8	2.4	3.5	2.0	3.9	4.3	12.6	8.7	17.7	2.8	3.1	13.4	9.1	0.0	0.0	2.4

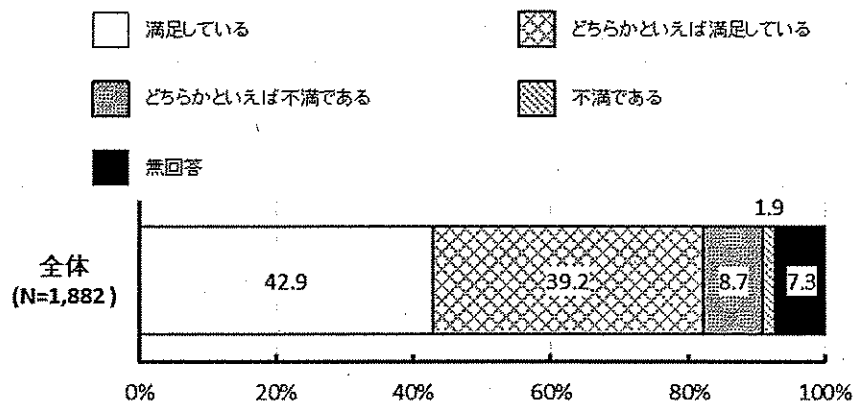
	就労定着支援	児童発達支援	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	居宅訪問型児童発達支援	保育所等訪問支援	障害児入所支援	地域移行支援	地域定着支援	障害者相談支援	意思疎通支援	日常生活用具給付	移動支援	地域活動支援センター	日中一時支援	その他	無回答
10歳未満	0	69	11	109	2	14	5	0	0	11	0	22	1	0	19	6	0
10歳未満 (%)	0.0	34.2	5.4	54.0	1.0	6.9	2.5	0.0	0.0	5.4	0.0	10.9	0.5	0.0	9.4	3.0	0.0
10歳代	3	6	1	191	0	8	7	0	0	30	0	13	19	3	47	4	0
10歳代 (%)	1.2	2.4	0.4	77.3	0.0	3.2	2.8	0.0	0.0	12.1	0.0	5.3	7.7	1.2	19.0	1.6	0.0
20歳代	9	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	8	33	12	36	5	0
20歳代 (%)	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.8	0.0	4.4	18.3	6.7	20.0	2.8	0.0
30歳代	7	0	0	0	0	0	0	2	2	21	1	7	23	11	23	10	0
30歳代 (%)	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	1.1	11.8	0.6	3.9	12.9	6.2	12.9	5.6	0.0
40歳代	3	0	0	0	0	0	0	2	0	29	1	12	19	20	16	24	5
40歳代 (%)	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	12.3	0.4	5.1	8.1	8.5	6.8	10.2	2.1
50歳代	1	0	0	0	0	0	0	1	1	28	1	13	15	12	7	20	8
50歳代 (%)	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	13.4	0.5	6.2	7.2	5.7	3.3	9.6	3.8
60歳代	1	0	0	0	0	0	0	1	1	15	2	28	11	6	5	11	9
60歳代 (%)	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	7.3	1.0	13.6	5.3	2.9	2.4	5.3	4.4
70歳以上	0	0	0	0	0	0	0	1	1	12	1	31	9	17	8	32	15
70歳以上 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	4.7	0.4	12.2	3.5	6.7	3.1	12.6	5.9

年代別では、20歳未満において「放課後等デイサービス」が最も多くなっています。また、20歳以上60歳未満において「就労継続支援（B型）」が最も多くなっています。（図表 65）

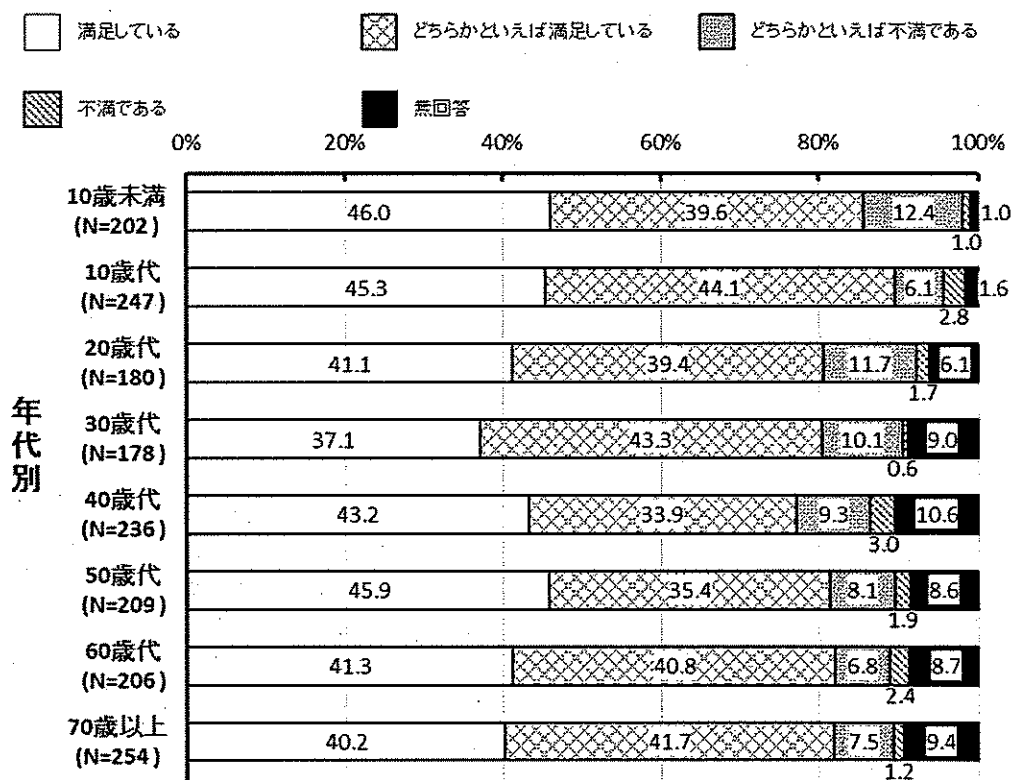
問 16 で障害福祉サービス等を「利用している」と回答された方にお聞きます。
 問 16-3 現在利用しているサービスに満足していますか。(単数回答)

障害福祉サービスの満足状況は、「満足している」が42.9%と最も多く、「どちらかといえば満足している」が39.2%と続いています。また、『満足している+どちらかといえば満足している』は、82.1%となっています。(図表 66)

図表 66：全体集計



図表 67：年代別 集計



年代別では、30歳代以外の全てにおいて「満足している」が4割を超えて多くなっています。また、『満足している+どちらかといえば満足している』は40歳代以外の全てにおいて8割を超えて多くなっています。(図表 67)

問 16-3で「どちらかといえば不満である」または「不満である」と回答された方にお聞きします。
 問 16-4 不満がある理由を、具体的に教えてください。

問 16-3 の障害福祉サービス等への満足度で、「どちらかといえば不満である」または「不満である」を選択した方が、不満である理由として記入されていたのは、「職員・スタッフの態度や質に関する事」が最も多く、次いで「サービスの利用量が少ないこと」の順となっています。(図表 68)

図表 68：不満がある理由 分類後の件数

(単位:件)	職員・スタッフの態度や質に関する事	サービスの利用量が少ないこと	予約がいっぱいで利用できないこと	利用したいときや土日等に利用できないこと	サービスの内容に関する事	サービス提供事業所に関する事	工賃・賃金が安いこと	本人のニーズと合わないこと	使いたいサービスが使用できないこと
身体障害	8	6	3	8	2	1	0	4	
知的障害	10	10	7	2	5	2	5	3	
精神障害	3	3	1	3	4	4	3	0	
発達障害	2	2	1	0	0	1	0	1	
その他	2	0	1	0	0	0	0	0	
無回答	1	1	2	0	0	1	0	0	
計	26	22	15	13	11	9	8	8	

(単位:件)	その他のサービス・制度に関する事	役所・役場や手続きに関する事	サービス利用の経費負担に関する事	ヘルパーや他の利用者、近所の人との関係や関わりに関する事	サービス利用の時間・送迎等に関する事	サービスの質に関する事	その他	計
身体障害	6	4	7	0	2	1	8	60
知的障害	1	2	0	2	3	3	8	63
精神障害	1	1	0	3	0	1	9	36
発達障害	0	1	0	0	0	0	1	9
その他	0	0	0	0	0	0	0	3
無回答	0	0	0	0	0	0	2	7
計	8	8	7	5	5	5	28	178

主な意見（抜粋）

【職員・スタッフの態度や質に関すること】

- ・職員が機嫌悪いとあたってくる。先に入っている人を大事にする。
- ・専門的な説明をしてくれない。困っている事に寄り添わない姿勢、問題解決について個人に押し付け共に協力しようとする姿勢が見られない。対応する力がないならそれなりの努力を。
- ・パワハラがあり解決できなく事業所を辞めさせてくれない。
- ・1人1人にあった個別支援計画を立てるが実際には実施されていない。ある程度専門の勉強をした人が見てくれると有難い。

【サービスの利用量が少ないこと】

- ・利用日数を昨年より減らされた理由が知りたい。
- ・人手不足を理由に施設が一泊二日しか利用させてくれない、遠方の親戚の冠婚葬祭に行けない。
- ・将来のことを考えるとグループホームが少ない。
- ・就労の日数が増えないから。
- ・身体介助をとまなう移動支援を提供してくれる事業所が少なく選べない。

【利用したいときや土日等に利用できないこと・予約がいっぱい利用できないこと】

- ・ショートステイを利用したいのですが、希望日が取れない。土日祝の利用ができない事。
- ・デイサービスが混んでいて利用できない日が多い。定員数がすぐにいっぱいになる。
- ・平日、仕事をしているので、月～金曜日全て利用しているため土日は利用が難しい（日数が足りなくなるため）仕事の休みと子供の休みが一緒のため何も用ができない。
- ・短期入所の電話が繋がらず希望日にとれない。

【サービスの内容に関すること】

- ・長期間の機能訓練をやっただけなら助かります。
- ・リハビリで機能を用いて四肢の回復を目的に運動療法をしているが、内容が中途半端な気がしている。機能が向上・回復へ向かうのか、現状維持目的なのか分からない。自己判断・自己責任で運動しているように思える。
- ・一人で外出できないのでサービスを利用しているが、通院にしか利用できない。それ以外は出掛ける事もできないので、ずっと家の中で過ごす事になる。意味がない。
- ・労働時間を、増やして欲しい。
- ・同行援護を利用するに当たり利用条件が市内同行のみとしている事業者ばかりで市外でのイベント参加が出来ない点。現在利用している社協は同行中の外食に関し同席しないとしており食事のトラブル（食器を倒す等）に対応出来ない。

【サービス提供事業所に関すること】

- ・外出先で、昼食をする際今までは、ガイドと一緒に食べていたのですが、「ガイドは、食わずに後ろに立ってみていなさい」。これでは、周囲の目もあり食べた気もしません。また、ガイドも嫌だろうと思います（ハラメント）。
- ・自分よりも障害が重い人の方が仕事をしている。普通の人に見えるのだから仕事をしたい。

【工賃・賃金が安いこと】

- ・賃金が仕事の内容に見合っていない、職員が欠員のため障害者に目が行き届いていない、施設外就労なのに手当がない、ハローワークの求人票と異なる仕事内容。
- ・日数が少ない。工賃が安い。食事代と交通費を支払うと毎月赤字。

【本人のニーズと合わない・本人が嫌がること】

- ・ヘルパーが見つからない。福祉サービスの内容が子どもの現状に合わずなかなか利用しづらい。
- ・ショートステイの施設が閉鎖的で子供が怖がる。
- ・本人に合った専門的な介助が受けられていない。

【使いたいサービスが使えないこと】

- ・利用したい施設が市の中心部に集中しているため、利用を希望したい地域（山間部）に施設がない。希望していても人数制限があり利用できない。
- ・小さい頃に利用していたものが20歳になると利用できなくなった（更新できなくなった）。
- ・希望のサービスを受けられる事業所を選べないから。事業所を増やして欲しい。働いている親が預けられる営業時間の事業所が少ない。
- ・ショートステイを使いたい、病気を持っているからという理由で断られる事があった。それでなくてもショートステイを受け入れてくれる所が少ないのに困ります。その他に移動支援は本人持ち出しの金額が多い。行先に指導者がいると実費になるなど、なかなか制限が厳しい。それに加えて付き添ってくれるヘルパーさんの質に問題もある。

【その他のサービス・制度に関すること】

- ・訪問看護師さんにもお世話になっていますが、居住地が身体上の理由もあり自宅と社宅の2か所を希望していましたが、全ての物（介護用品及びストマ物品・医薬品等）をもって移動する事を強要され、それは不可能の事で現在は実行していません。介護保険や行政の縛りもあると思います。
- ・移動支援について、利用の仕方についてよく理解できていない（冊子がほしいです）通所にも利用できるサービスが欲しい（親とか本人が困ったときに手伝うようなもの）。
- ・補助が全国共通でなく、ばらつきがあること。

【役所・役場や手続きに関すること】

- ・受給者証を申し込み、手にする間実費となるので支払いが負担（発行までに時間が掛かる）。
- ・本人の変化がない場合は手続きなしにしてほしい。障害福祉サービスの更新手続きが毎年あり、不満です。
- ・給付の手続きが面倒。給付を受ける物によって見積を出してもらおう場所が異なる。

【サービス利用の経費負担に関すること】

- ・ストーマ装具の補助金が足りないので半年間で2~3万円の負担になること。
- ・両耳装具が必要な人でも片耳装具しか支援給付が出来ないのは違和感がある。必要としている人にはちゃんと給付してほしい。

【ヘルパーや他の利用者、近所の人との人間関係や関わりに関すること】

- ・周りが信頼できない、仕事内容（同じことの繰り返し）。
- ・ヘルパーさんがよく代わるので馴染むまで気をつかう。
- ・自立訓練の対人ストレス。

【サービスの時間・送迎等に関すること】

- ・遅い（早めに来てほしい）。
- ・移動支援を利用しているが市民プール利用日は現地まで送迎をしなければならず、高齢なため大変。
- ・移動支援がないため、一時預かりへお願いするにも、送り迎えが必要。近場にないため、片道40分の時間がかかる。その為、用事があっても預けられず、連れて行く事になり、大変。

【サービスの質に関すること】

- ・支援になっていると思えない。食事をとることを出来ないせいか昼前に帰らされる。
- ・通所が月一回と少なめでなかなか成果がでない。いろいろな方法も試してほしい。

【その他】

- ・コロナで外出が制限されている。
- ・色々な障害の利用者に合わせるのが大変です。自分はケアにならない。相談もしにくいです。
- ・作業所ではなくバイトをしたい。
- ・地域とつながる活動がない。地域の方々との交流があれば良いと思う。
- ・利用したい施設が公共交通機関でつながっておらず不便。
- ・乳幼児期における相談機関の情報開示が少なく感じる。

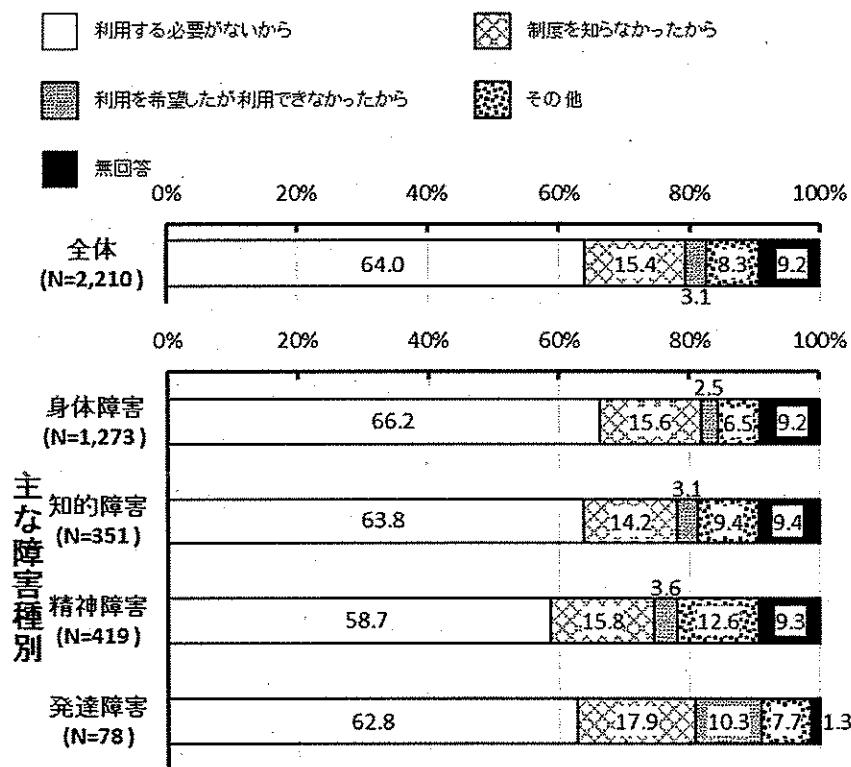
問 16 で障害福祉サービス等を「利用していない」と回答された方にお聞きします。
 問 17 サービスを利用していない理由は何ですか。(単数回答)

サービスを利用していない理由は、「利用する必要がないから」が64.0%と最も多く、次いで「制度を知らなかったから」が15.4%、「利用を希望したが利用できなかったから」が3.1%となっています。(図表 69)

※回答肢「その他」8.3%の中では、「入院中や体調不良などのため利用できない」が1.3%、「利用したくないから」が1.0%と多くなっています。

主な障害種別では、精神障害以外の3つ全てにおいて「利用する必要がないから」が6割を超えて多くなっています。(図表 69)

図表 69：全体・障害種別 集計

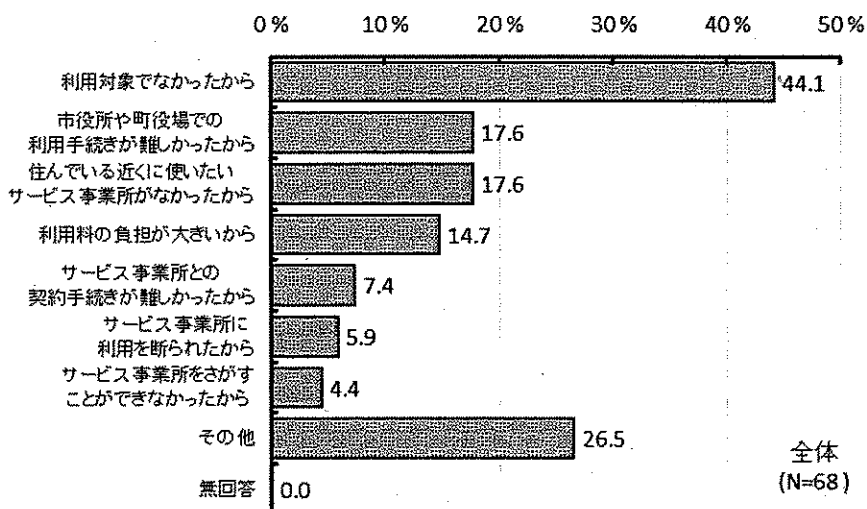


問 17 で「利用を希望したが利用できなかったから」と回答された方にお聞きします。
 問 17-2 その理由は何ですか。(複数回答)

サービスの利用を希望したが利用できなかった理由は、「利用対象でなかったから」が44.1%と最も多く、次いで「市役所や町役場での利用手続きが難しかったから」「住んでいる近くに使いやすいサービス事業所がなかったから」「住んでいる近くに使用したいサービス事業所がなかったから」がそれぞれ17.6%、「利用料の負担が大きいから」が14.7%などとなっています。(図表 70)

※回答肢「その他」26.5%の中では、「定員超過」が5.9%と多くなっています。

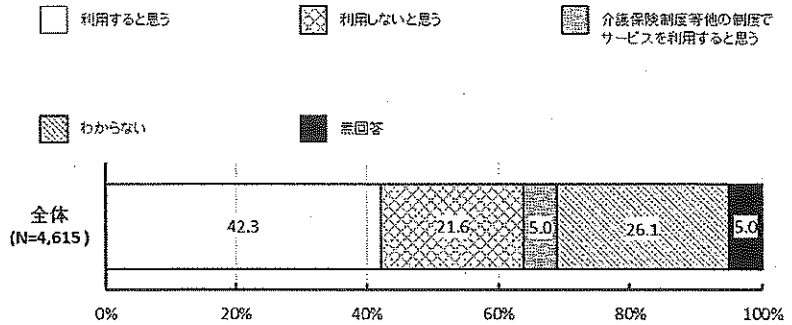
図表 70：全体集計



問 18 あなたは、今後(おおむね3年以内に)、障害福祉サービス等を利用しますか。(単数回答)

今後の障害福祉サービス等の利用意向は、「利用すると思う」が42.3%と最も多く、次いで「わからない」が26.1%などとなっています。(図表 71)

図表 71：全体集計

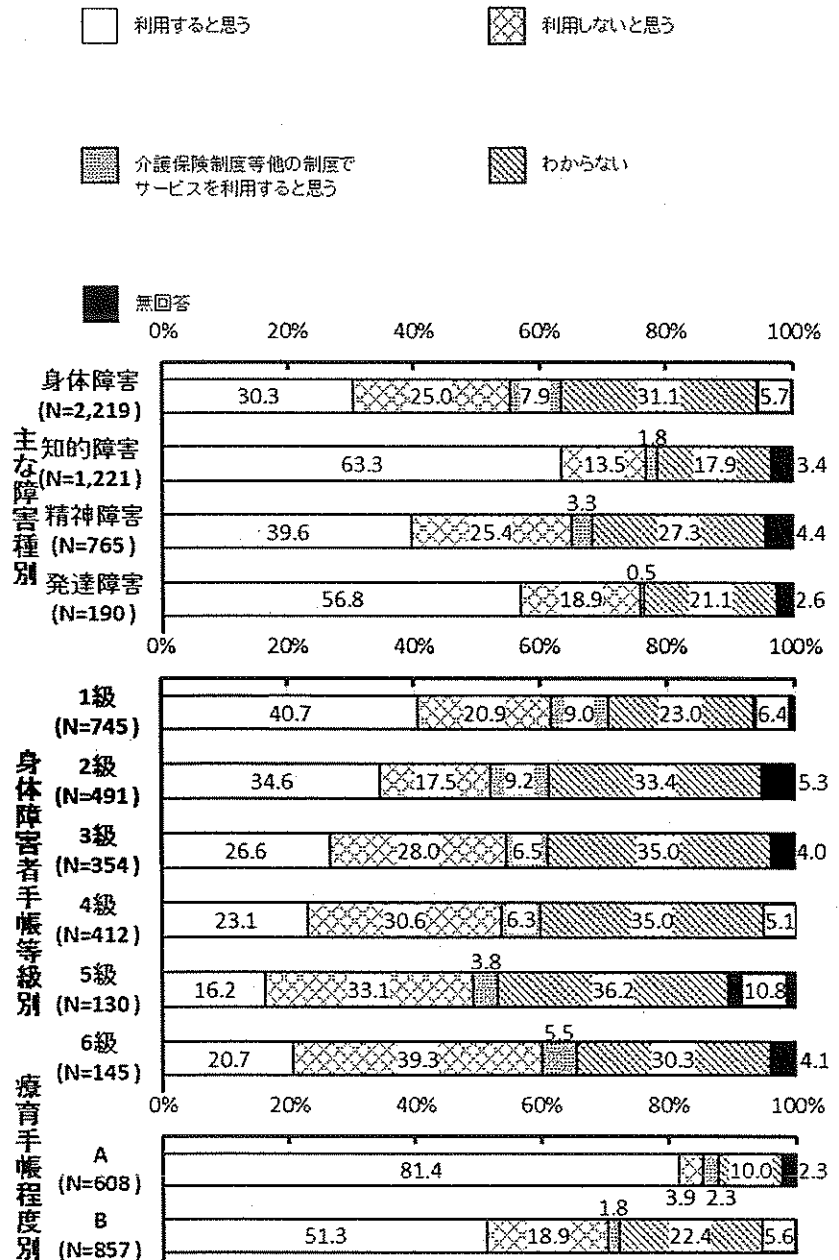


主な障害種別では、知的障害・発達障害において「利用すると思う」が半数を超えて多くなっています。(図表 72)

身体障害者手帳等級別では、1級において「利用すると思う」が40.7%と多くなっています。(図表 72)

療育手帳程度別では、Aにおいて「利用すると思う」が81.4%とBより30.1ポイント高くなっています。(図表 72)

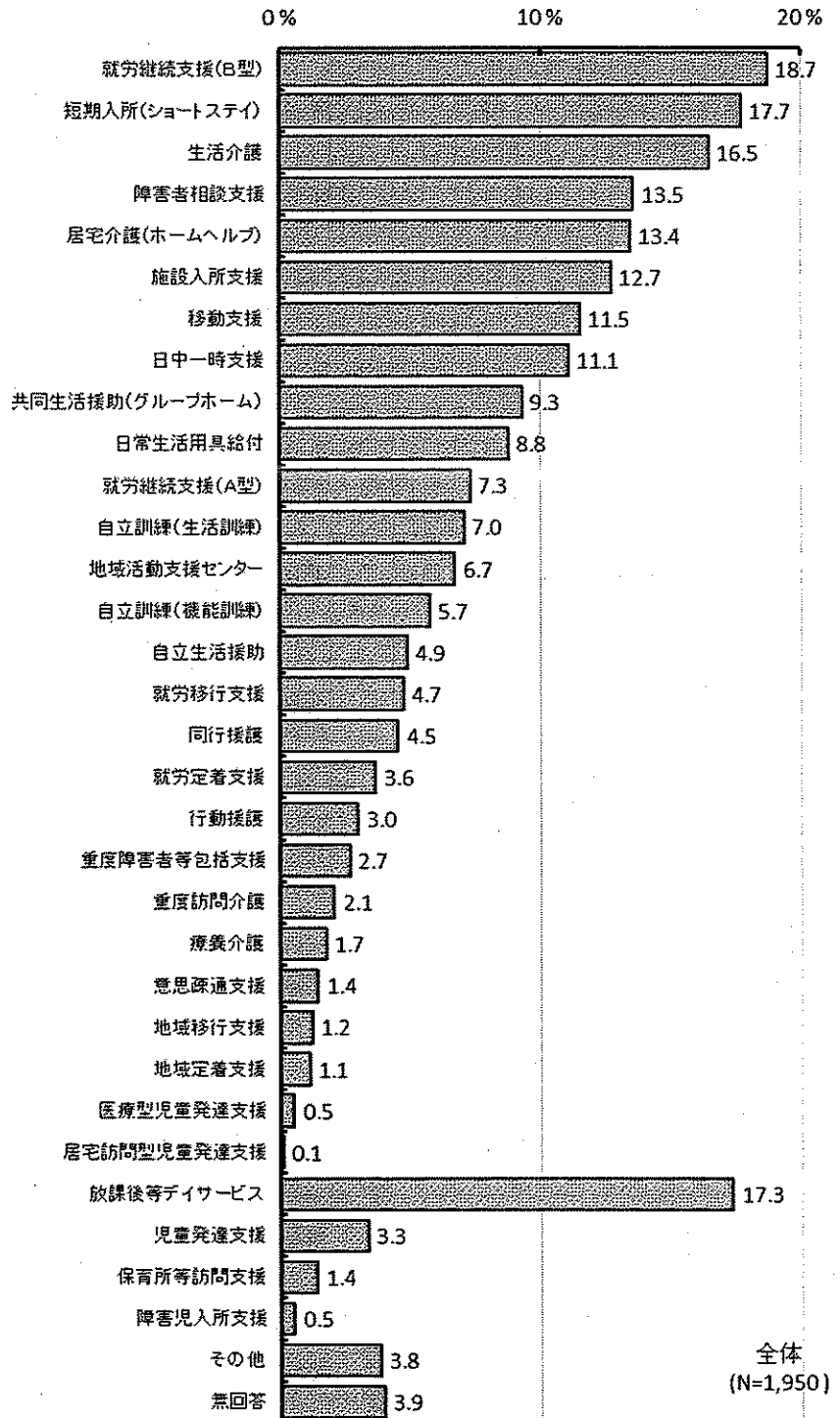
図表 72：主な障害種別・身体障害者手帳等級別・療育手帳程度別 集計



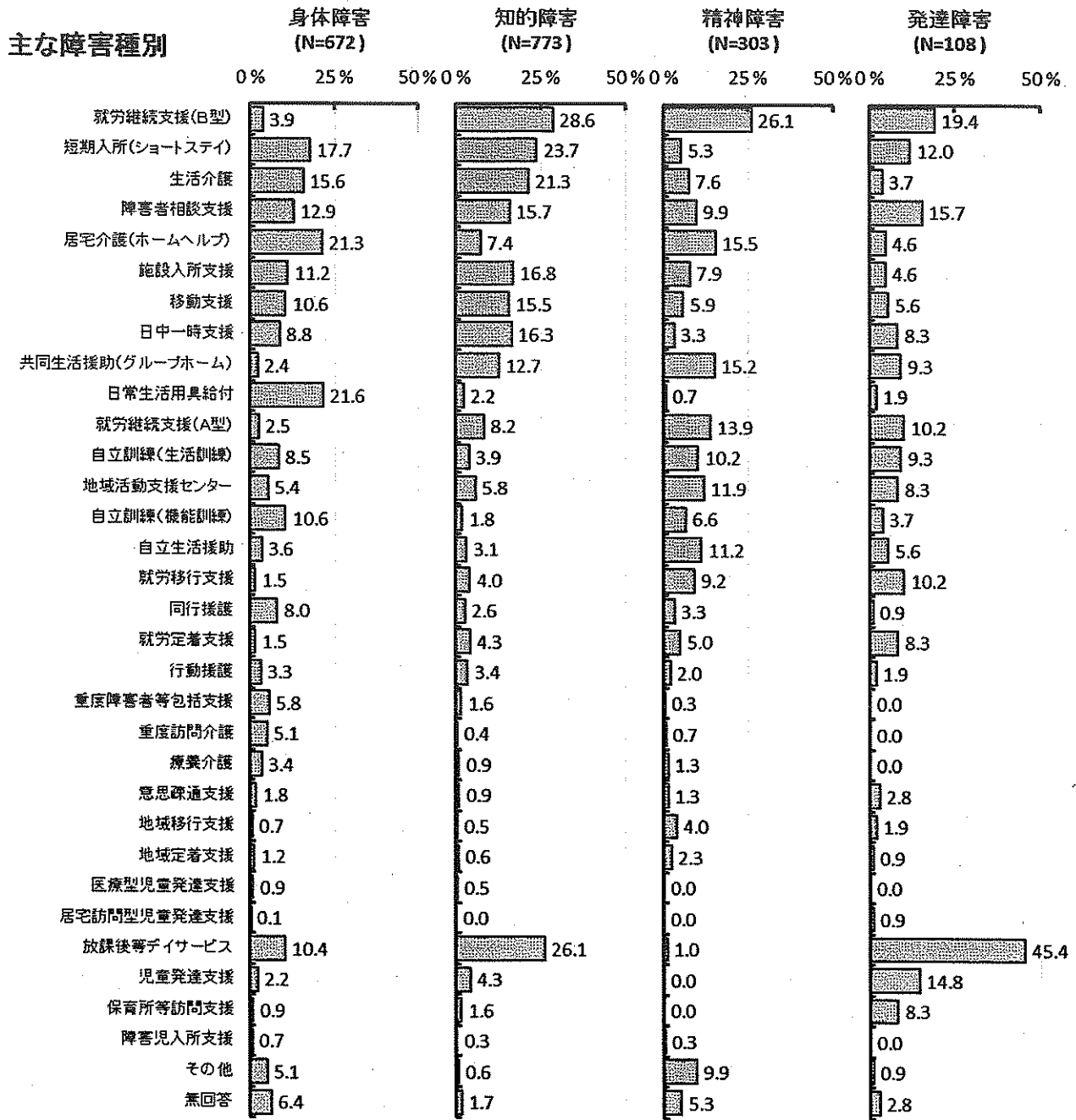
問 18で障害福祉サービス等を「利用すると思う」と回答された方にお聞きします。
 問 18-2 どのようなサービスを利用すると思いますか。(複数回答)

利用すると思うサービスは、最も多いサービスが「就労継続支援 (B型)」で18.7%、次いで「短期入所 (ショートステイ)」が17.7%、「放課後等デイサービス」が17.3%、「生活介護」が16.5%、「障害者相談支援」が13.5%、「居宅介護 (ホームヘルプ)」が13.4%などとなっています。(図表 73)

図表 73：全体集計

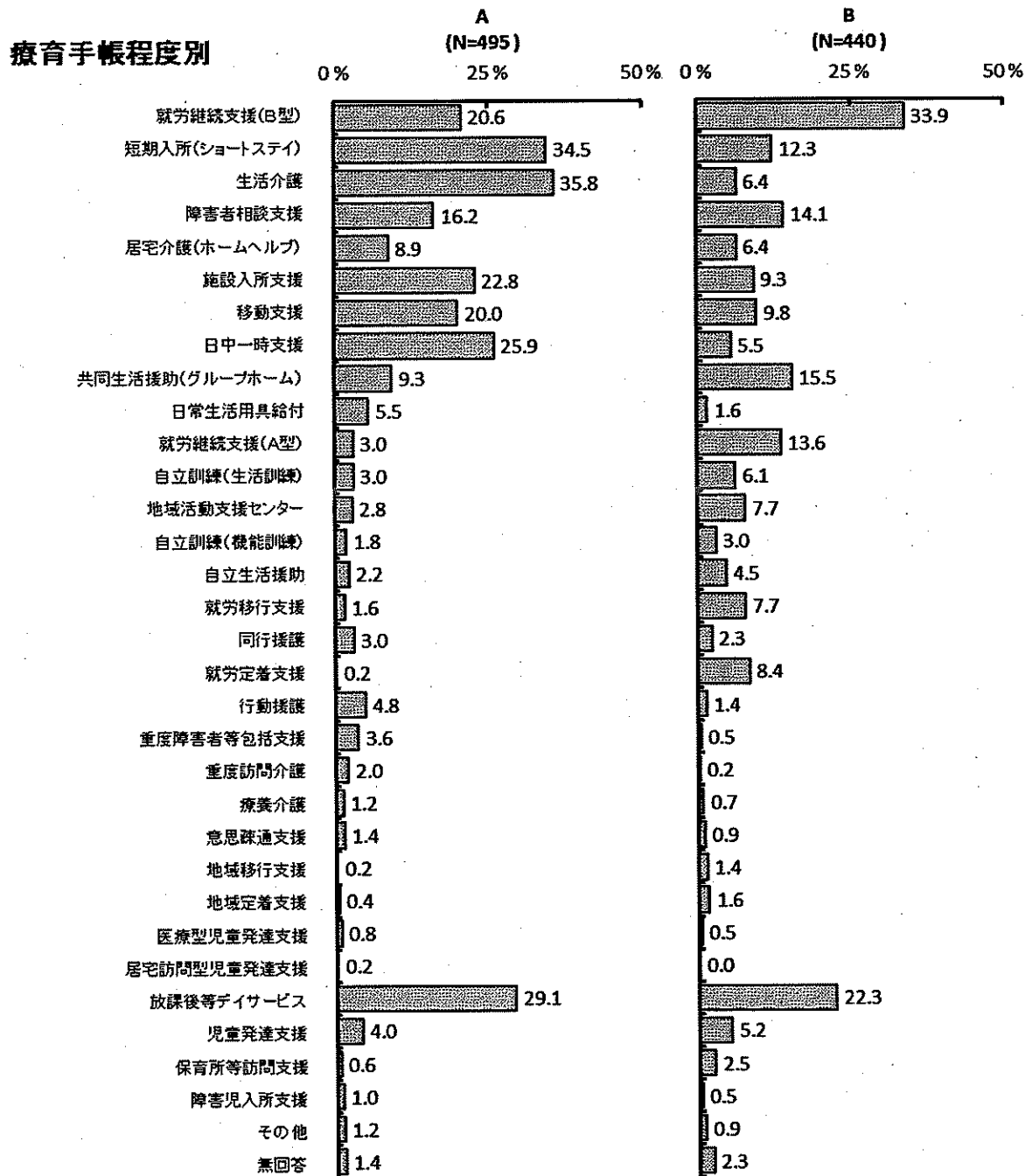


図表74：主な障害種別 集計



主な障害種別ごとに利用見込みが多いものは、身体障害では「日常生活用具給付」(21.6%)と「居宅介護(ホームヘルプ)」(21.3%)、知的障害では「就労継続支援(B型)」(28.6%)と「放課後等デイサービス」(26.1%)、精神障害では「就労継続支援(B型)」(26.1%)と「居宅介護(ホームヘルプ)」(15.5%)、発達障害では「放課後等デイサービス」(45.4%)と「就労継続支援(B型)」(19.4%)となっています。(図表74)

図表 75：療育手帳程度別 集計



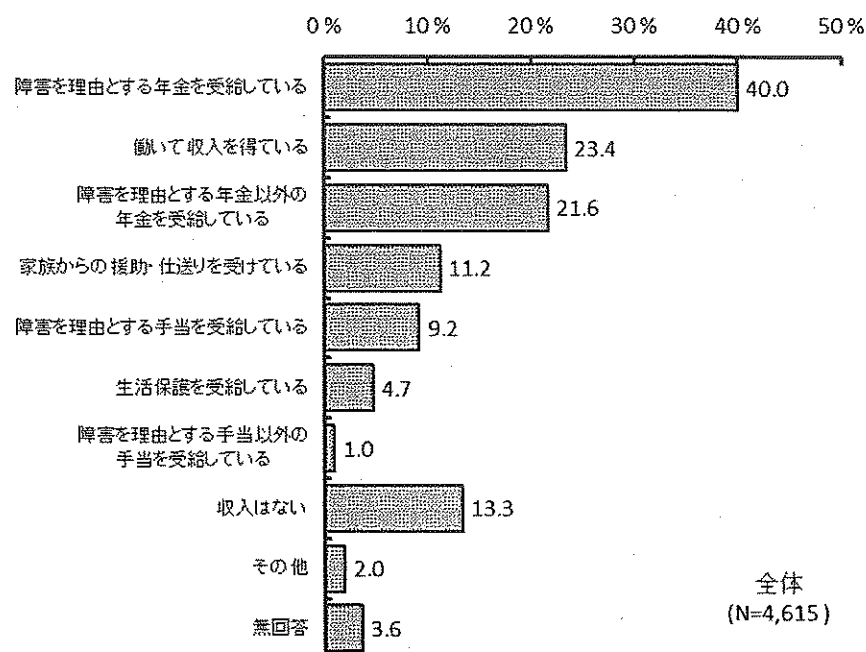
療育手帳程度別では、AはBも比べ「短期入所(ショートステイ)」、「生活介護」、「施設入所支援」、「移動支援」、「日中一時支援」が多く、BはAに比べ「就労継続支援(B型)」、「共同生活援助(グループホーム)」、「就労継続支援(A型)」、「就労移行支援」、「就労定着支援」が多くなっています。(図表 75)

4. 仕事や家計について

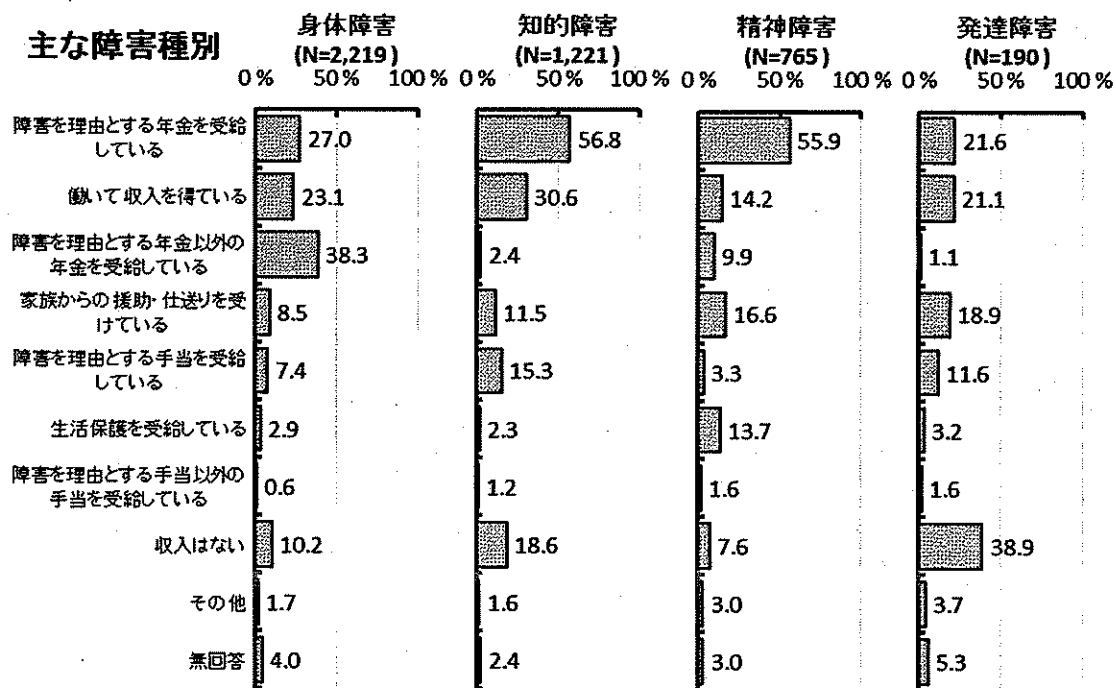
問 19 あなたの主な収入は、次のうちどれですか。(複数回答)

主な収入は、「障害を理由とする年金を受給している」が40.0%と最も多く、次いで「働いて収入を得ている」が23.4%、「障害を理由とする年金以外の年金を受給している」が21.6%などとなっています。また、「収入はない」は13.3%となっています(図表76)

図表 76：全体集計

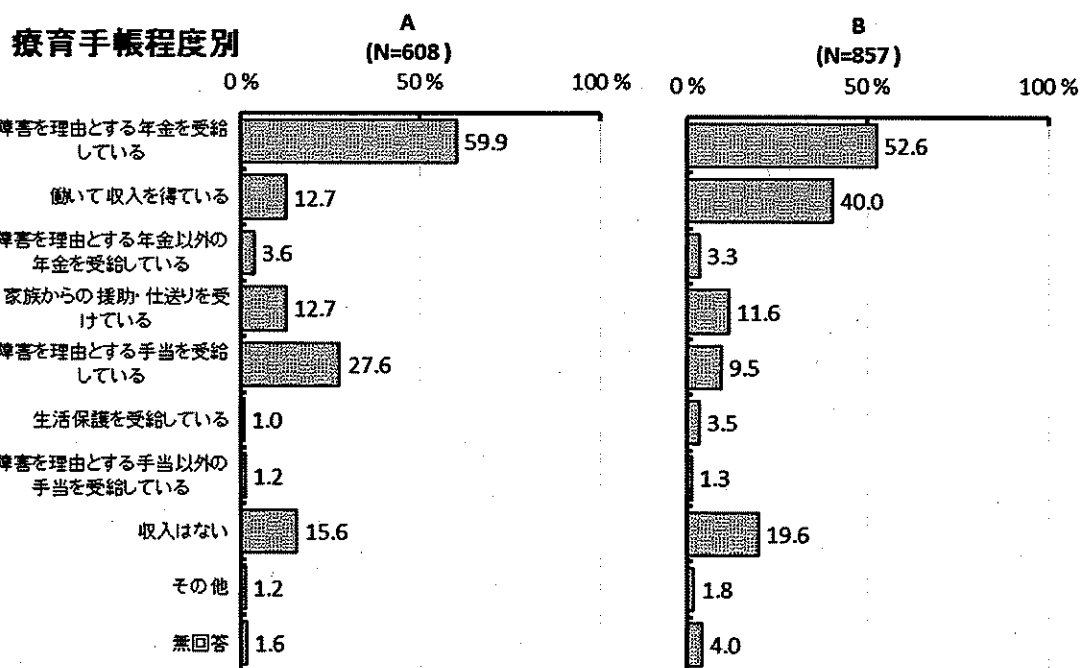


図表 77：主な障害種別 集計



主な障害種別では、知的障害・精神障害において「障害を理由とする年金を受給している」が半数を超えて多くなっています。(図表 77)

図表 78：療育手帳程度別 集計

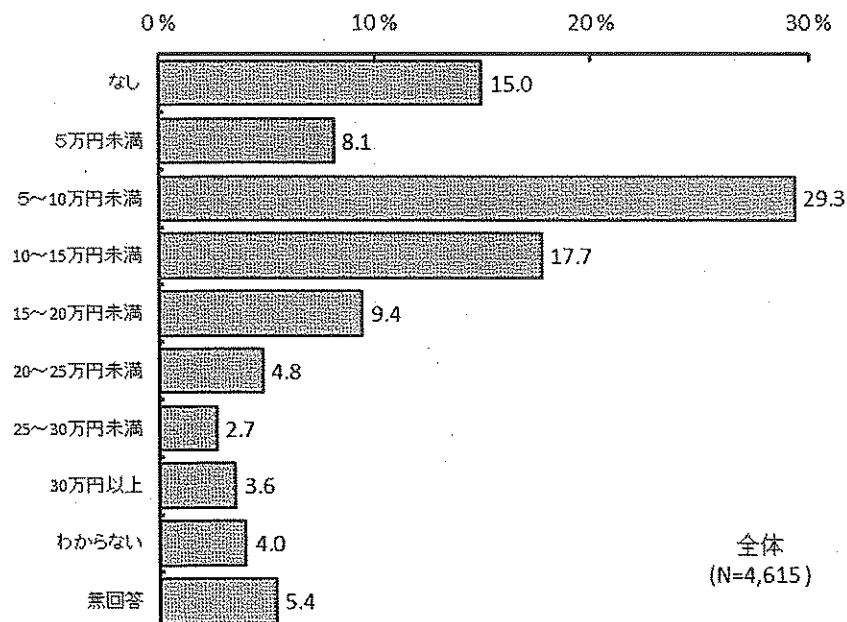


療育手帳程度別では、Aにおいて「障害を理由とする手当を受給している」が27.6%とBより18.1ポイント高く、Bにおいて「働いて収入を得ている」が40.0%とAより27.3ポイント高くなっています。(図表 78)

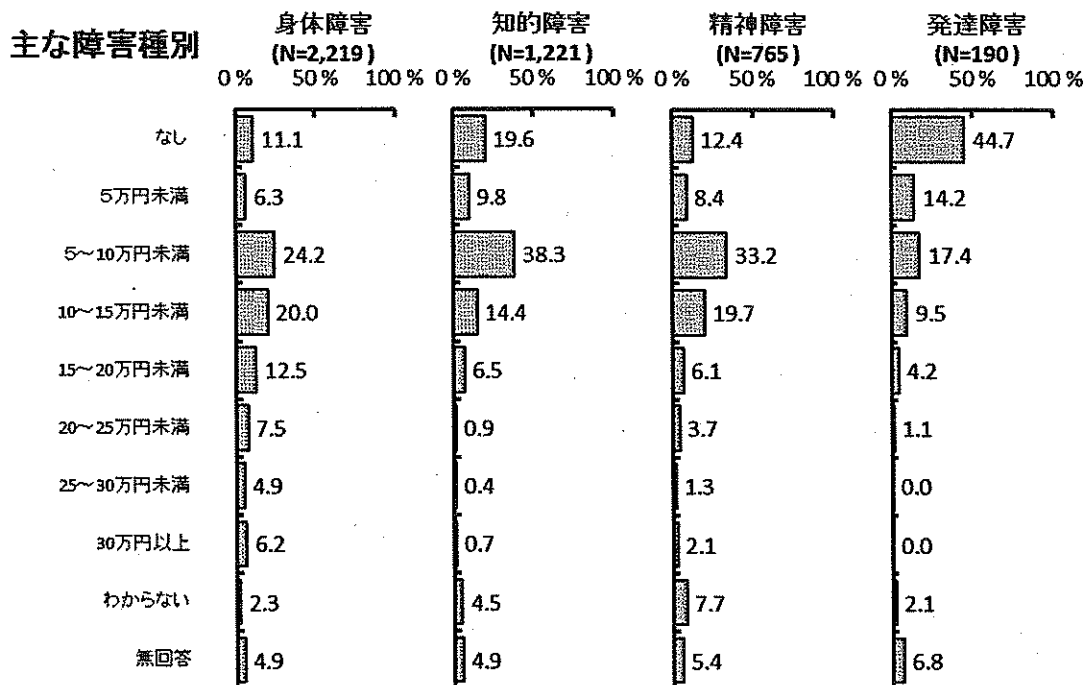
問 20 あなたの月平均の収入(税を含む)はいくらですか。(単数回答)
 (*収入には、あなたが働いて得た収入のほか、年金・手当等も含めてください。)

月平均の収入は、「5～10万円未満」が29.3%と最も多く、次いで「10～15万円未満」が17.7%、「なし」が15.0%などとなっています。(図表 79)

図表 79：全体集計

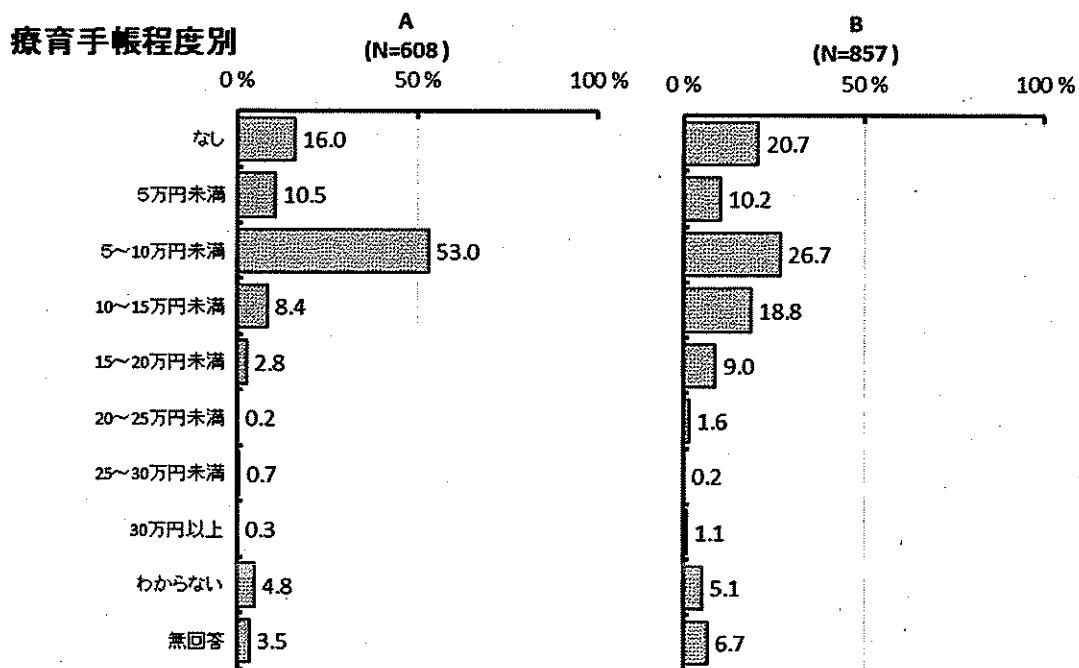


図表 80：主な障害種別集計



主な障害種別では、身体障害・知的障害・精神障害においては「5～10万円未満」が最も多くなっています。また、発達障害においては「なし」が44.7%と最も多くなっています。(図表 80)

図表 81：療育手帳程度別 集計

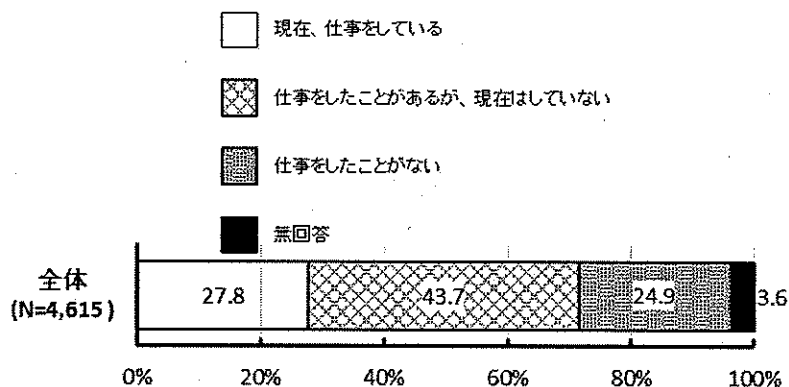


療育手帳程度別では、Aにおいて「5～10万円未満」が53.0%とBより26.3ポイント高く、Bにおいて「10～15万円未満」が18.8%とAより10.4ポイント高くなっています。(図表 81)

問21 あなたは、これまでに仕事をしたことがありますか。(単数回答)

就労状況は、「仕事をしたことがあるが、現在はしていない」が43.7%と最も多く、次いで「現在、仕事をしている」が27.8%、「仕事をしたことがない」が24.9%となっています。(図表 82)

図表 82：全体集計



稼働年齢（16歳～64歳）の就労状況は、「現在、仕事をしている」が42.8%と最も多く、次いで「仕事をしたことがあるが、現在はしていない」が37.3%、「仕事をしたことがない」が17.8%となっています。（図表83）

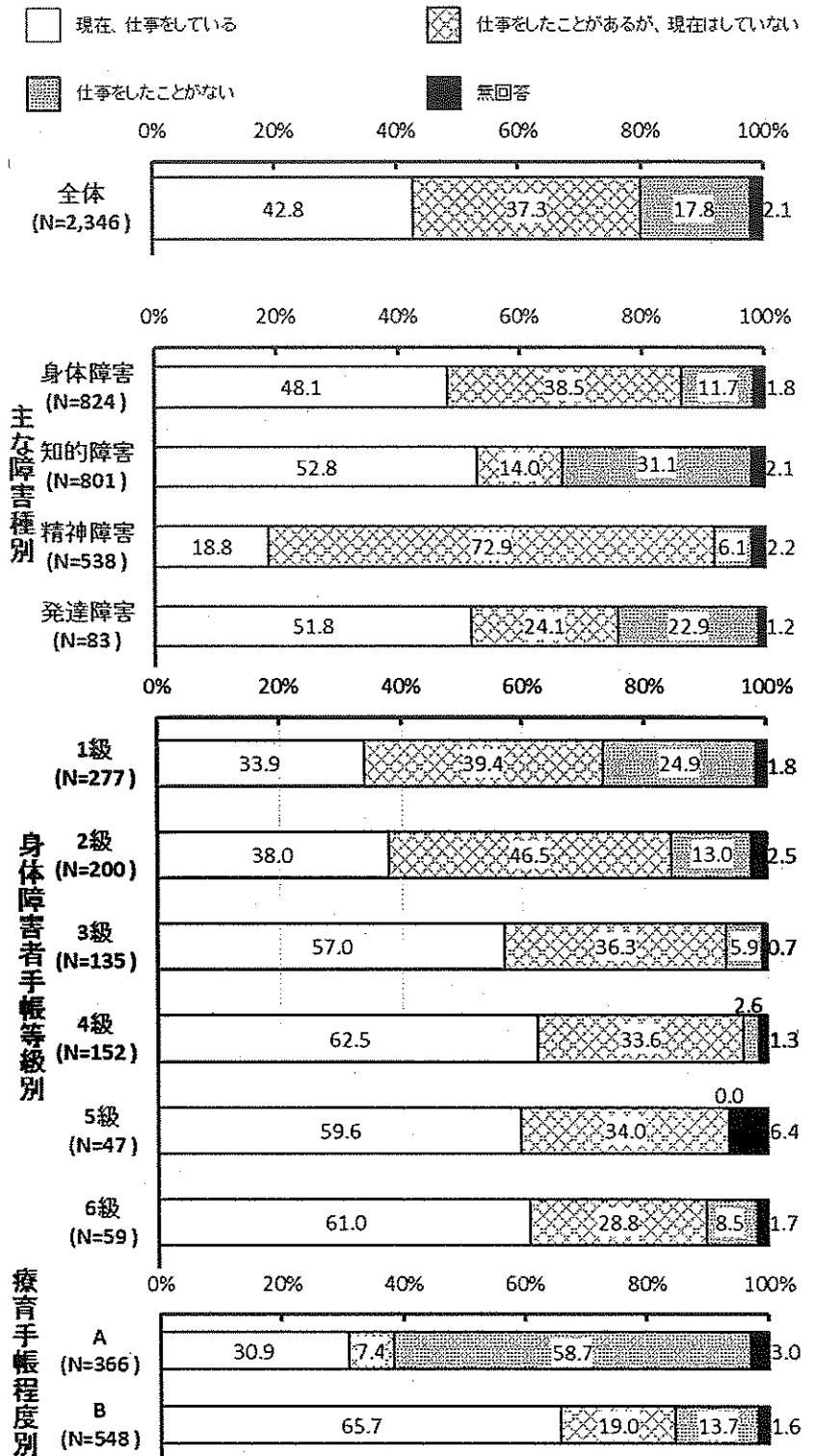
稼働年齢（16歳～64歳）の主な障害種別では、身体障害・知的障害・発達障害において「現在、仕事をしている」が最も多く、精神障害において「仕事をしたことがあるが、現在はしていない」が72.9%と最も多くなっています。（図表83）

稼働年齢（16歳～64歳）の身体障害者手帳等級別では、3～6級において「現在、仕事をしている」が半数を超えて最も多く、1級において「仕事をしたことがない」が24.9%と他の等級と比べ多くなっています。（図表83）

稼働年齢（16歳～64歳）の療育手帳程度別では、Aにおいて「仕事をしたことがない」が58.7%とBの13.7%より45.0ポイント高くなっています。（図表83）

図表83：稼働年齢での全体・主な障害種別・障害者手帳等級別

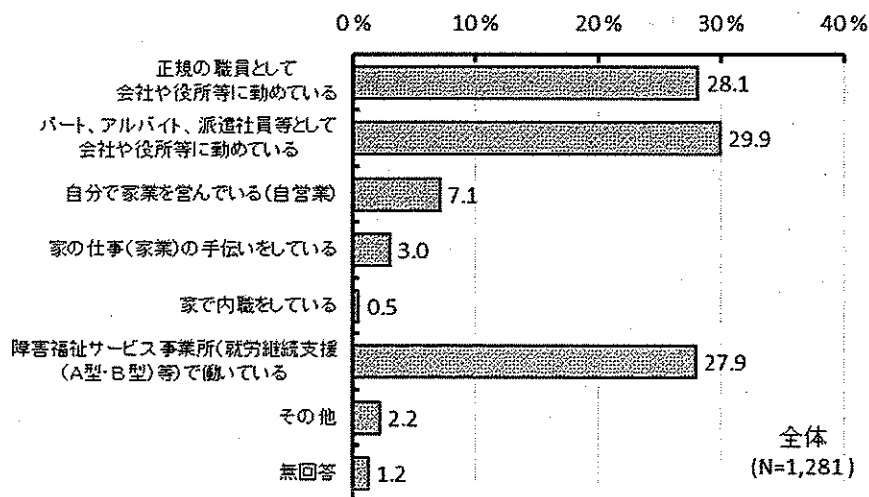
・療育手帳程度 集計



問21で「現在、仕事をしている」と回答された方にお聞きます。
問21-2 どのような仕事をしていますか。(単数回答)

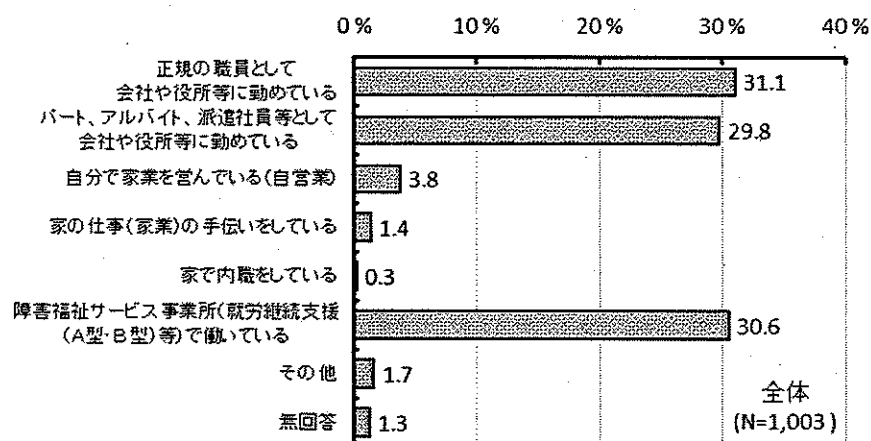
就労形態は、「パート、アルバイト、派遣社員等として会社や役所等に勤めている」が29.9%と最も多く、次いで「正規の職員として会社や役所等に勤めている」が28.1%、「障害福祉サービス事業所（就労継続支援（A型・B型）等）で働いている」が27.9%などとなっています。（図表84）

図表84：全体集計

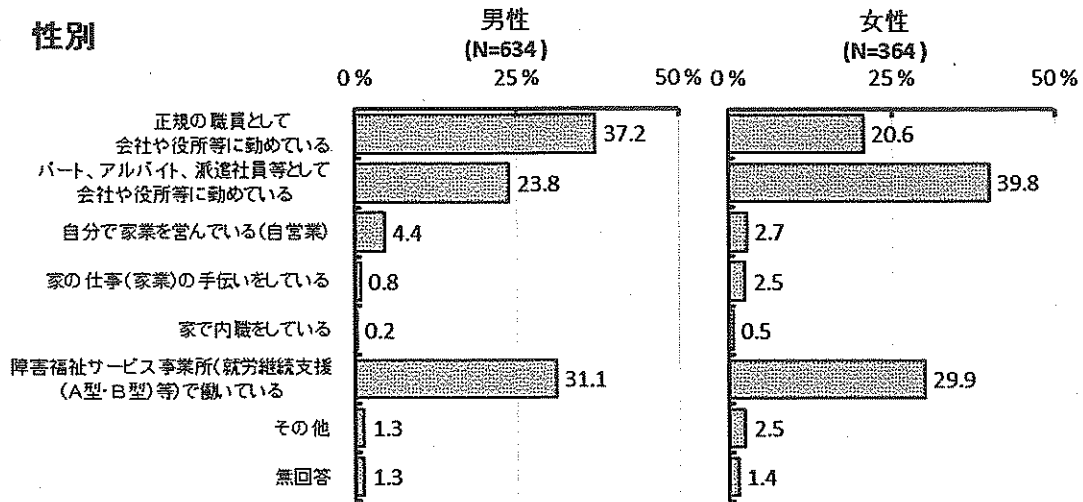


図表85：稼働年齢での全体集計

稼働年齢（16歳～64歳）の就労形態は、「正規の職員として会社や役所等に勤めている」が31.1%と最も多く、次いで「障害福祉サービス事業所（就労継続支援（A型・B型）等）で働いている」が30.6%、「パート、アルバイト、派遣社員等として会社や役所等に勤めている」が29.8%などとなっています。（図表85）

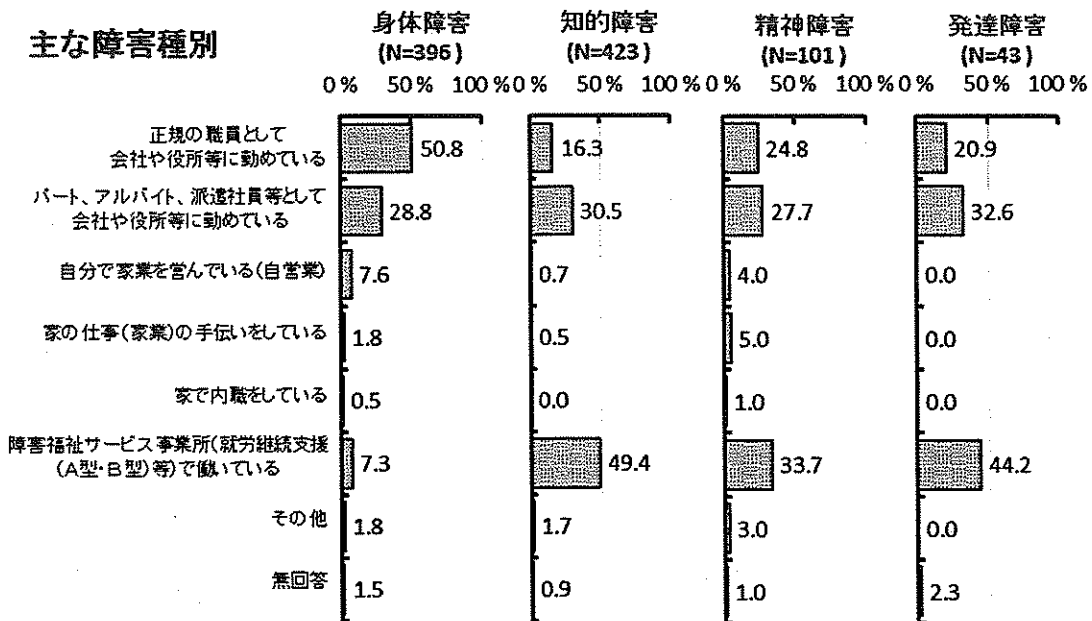


図表 86：稼働年齢での性別 集計



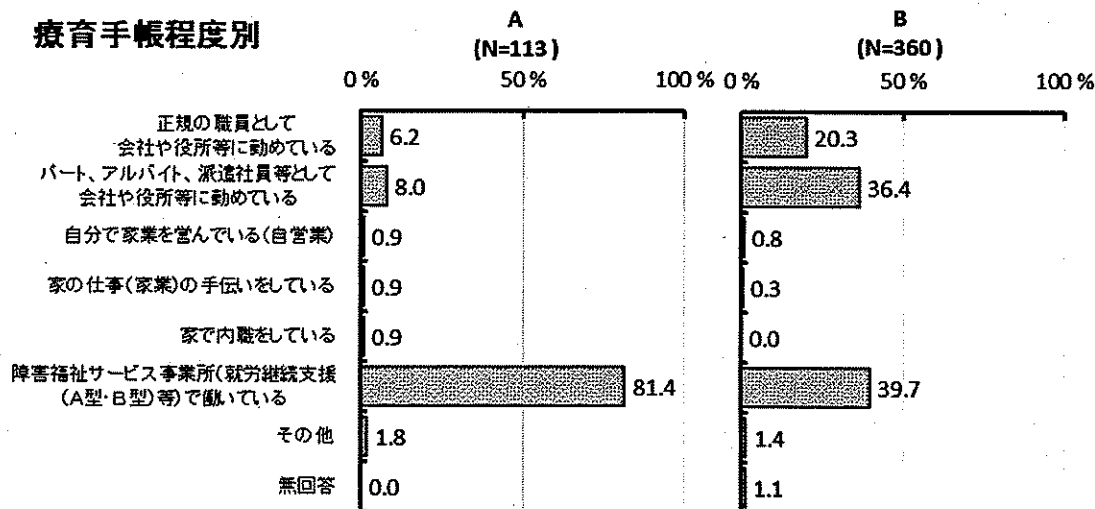
稼働年齢(16歳～64歳)の性別では、男性において「正規の職員として会社や役所等に勤めている」が37.2%と女性より16.6ポイント高く、女性において「パート、アルバイト、派遣社員等として会社や役所等に勤めている」が39.8%と男性より16.0ポイント高くなっています。(図表 86)

図表 87：稼働年齢での主な障害種別 集計



稼働年齢(16歳～64歳)の主な障害種別では、身体障害において「正規の職員として会社や役所等に勤めている」が50.8%と最も多くなっています。また、知的障害・精神障害・発達障害において「障害福祉サービス事業所(就労継続支援(A型・B型)等)で働いている」が最も多くなっています。(図表 87)

図表 88：稼働年齢での療育手帳程度別 集計

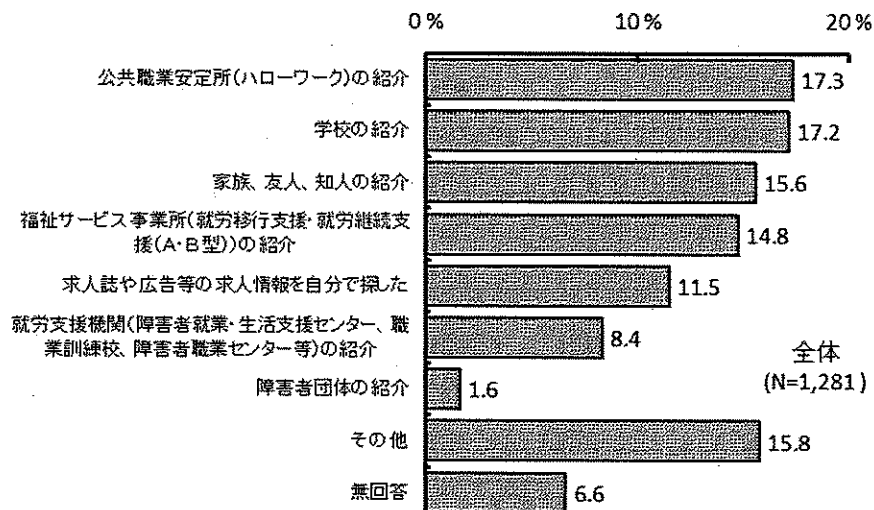


稼働年齢(16歳~64歳)の療育手帳程度別では、Aにおいて「障害福祉サービス事業所(就労継続支援(A型・B型)等)で働いている」が81.4%とBより41.7ポイント高く、Bにおいて「正規の職員として会社や役所等に勤めている」、「パート、アルバイト、派遣社員等として会社や役所等に勤めている」が多くなっています。(図表 88)

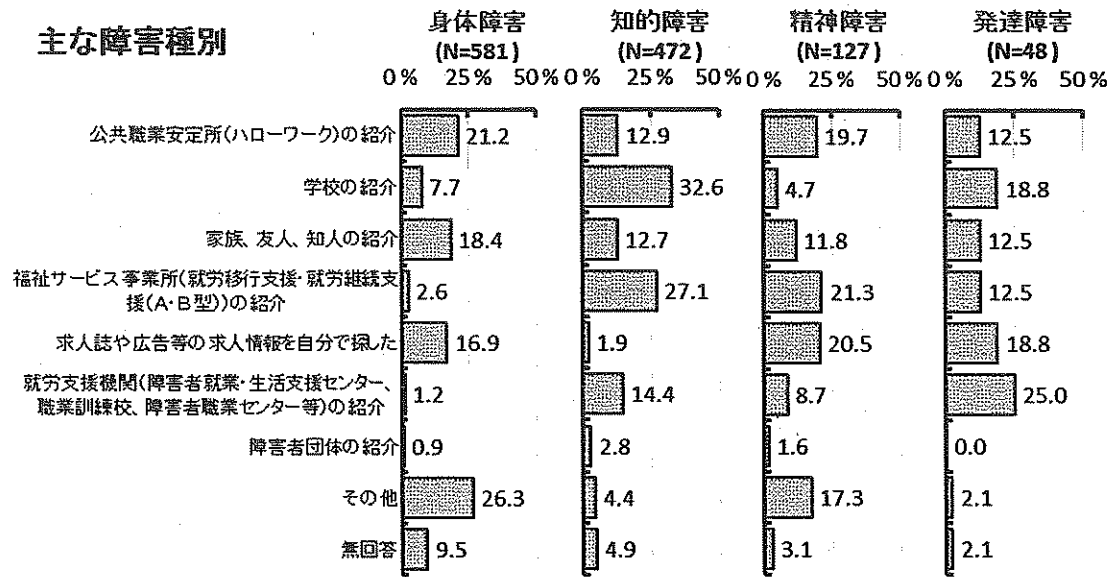
問 21 で「現在、仕事をしている」と回答された方にお聞きます。
問 21-3 現在の仕事をどのように見つけましたか。(複数回答)

現在の仕事に就いたきっかけは、「公共職業安定所(ハローワーク)の紹介」が17.3%と最も多く、次いで「学校の紹介」が17.2%、「学校、友人、知人の紹介」が15.6%などとなっています。(図表 89)

図表 89：全体集計



図表 90：主な障害種別 集計

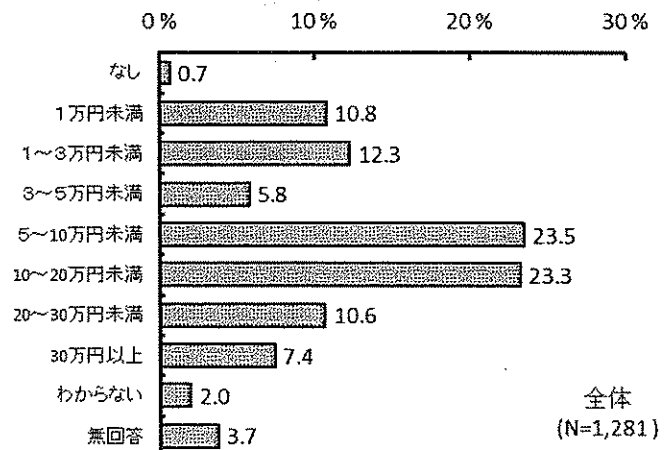


主な障害種別では、身体障害は「公共職業安定所（ハローワーク）の紹介」（21.2%）が最も多く、知的障害は他の障害に比べ「学校の紹介」（32.6%）や「福祉サービス事業所（就労移行支援・就労継続支援（A・B型））の紹介」（27.1%）が多くなっています。（図表 90）

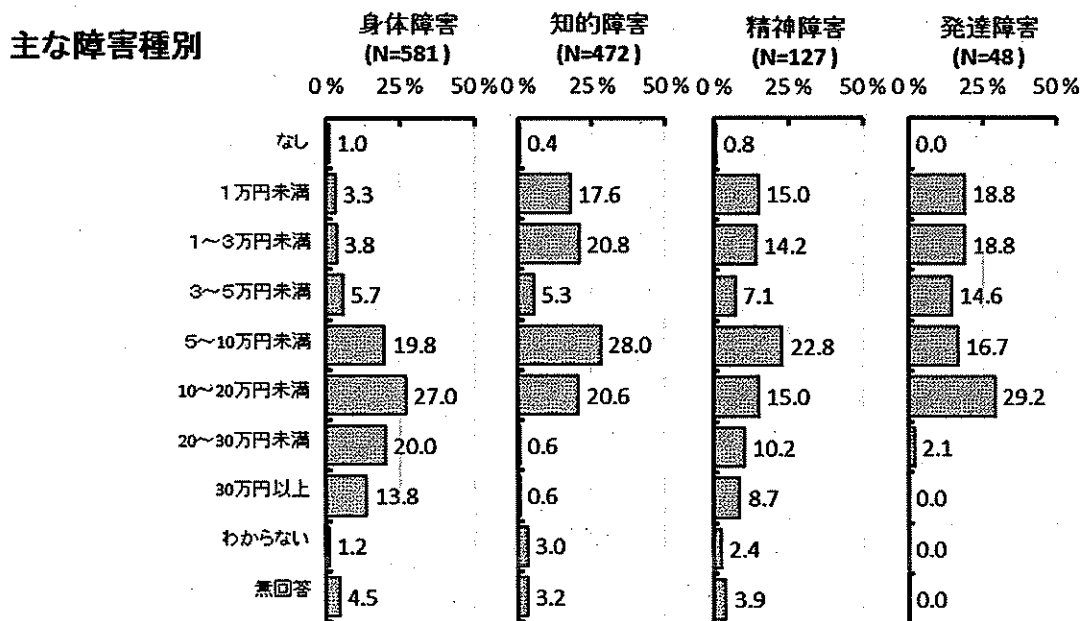
問 21 で「現在、仕事をしている」と回答された方にお聞きします。
 問 21-4 仕事によって得られる月平均の収入（税を含む）はいくらですか。（単数回答）

仕事によって得られる月平均の収入（税を含む）は、「5～10万円未満」が 23.5%と最も多く、次いで「10～20万円未満」が 23.3%、「1～3万円未満」が 12.3%、「1万円未満」が 10.8%、「20～30万円未満」が 10.6%などとなっています。（図表 91）

図表 91：全体集計

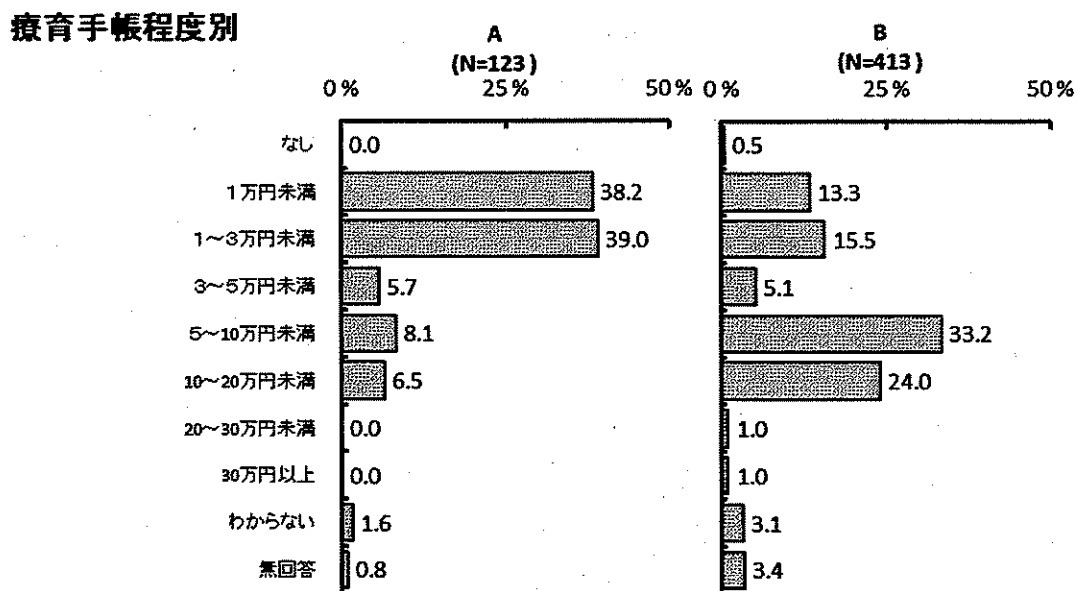


図表 92：主な障害種別 集計



主な障害種別では、身体障害と発達障害において「10~20万円未満」が最も多く、知的障害・精神障害においては「5~10万円未満」が最も多くなっています。(図表 92)

図表 93：療育手帳程度別 集計



療育手帳程度別では、Aにおいて「1万円未満」、「1~3万円未満」がBより多く、Bにおいて「5~10万円未満」、「10~20万円未満」がAより多くなっています。(図表 93)

問21で「仕事をしたことがあるが、現在はしていない」または「仕事をしたことがない」と回答された方にお聞きします。

問21-5 あなたは、将来、会社等で働きたいですか。(単数回答)

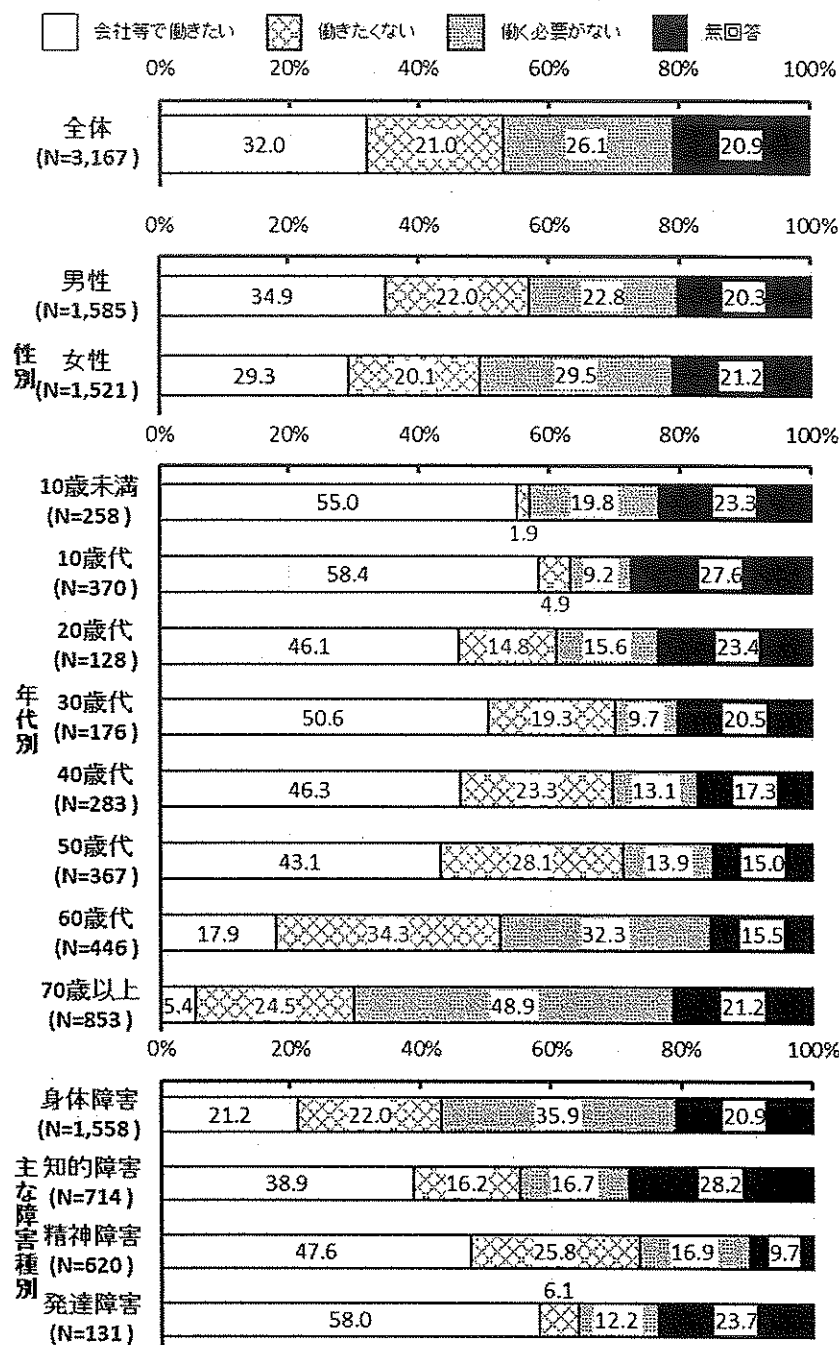
将来の就労意向は、「会社等で働きたい」が32.0%と最も多く、次いで「働く必要がない」が26.1%、「働きたくない」が21.0%となっています。(図表94)

性別では、男性において「会社等で働きたい」が34.9%と女性より5.6ポイント高くなっています。(図表94)

年代別では、60歳代において「働きたくない」が3割を超えて多くなっています。また、70歳以上において「会社等で働きたい」が5.4%と少なく、「働く必要がない」が48.9%と多くなっています。(図表94)

主な障害種別では、身体障害において「働く必要がない」が35.9%と最も多く、知的障害・精神障害・発達障害において「会社等で働きたい」が3割を超えて最も多くなっています。(図表94)

図表94：全体・性別・年代別・主な障害種別 集計



5 生活の環境や安全・安心について

問 22 自分の住んでいる街が、障害のある人にとって安心して暮らせるところだと思いますか。(単数回答)

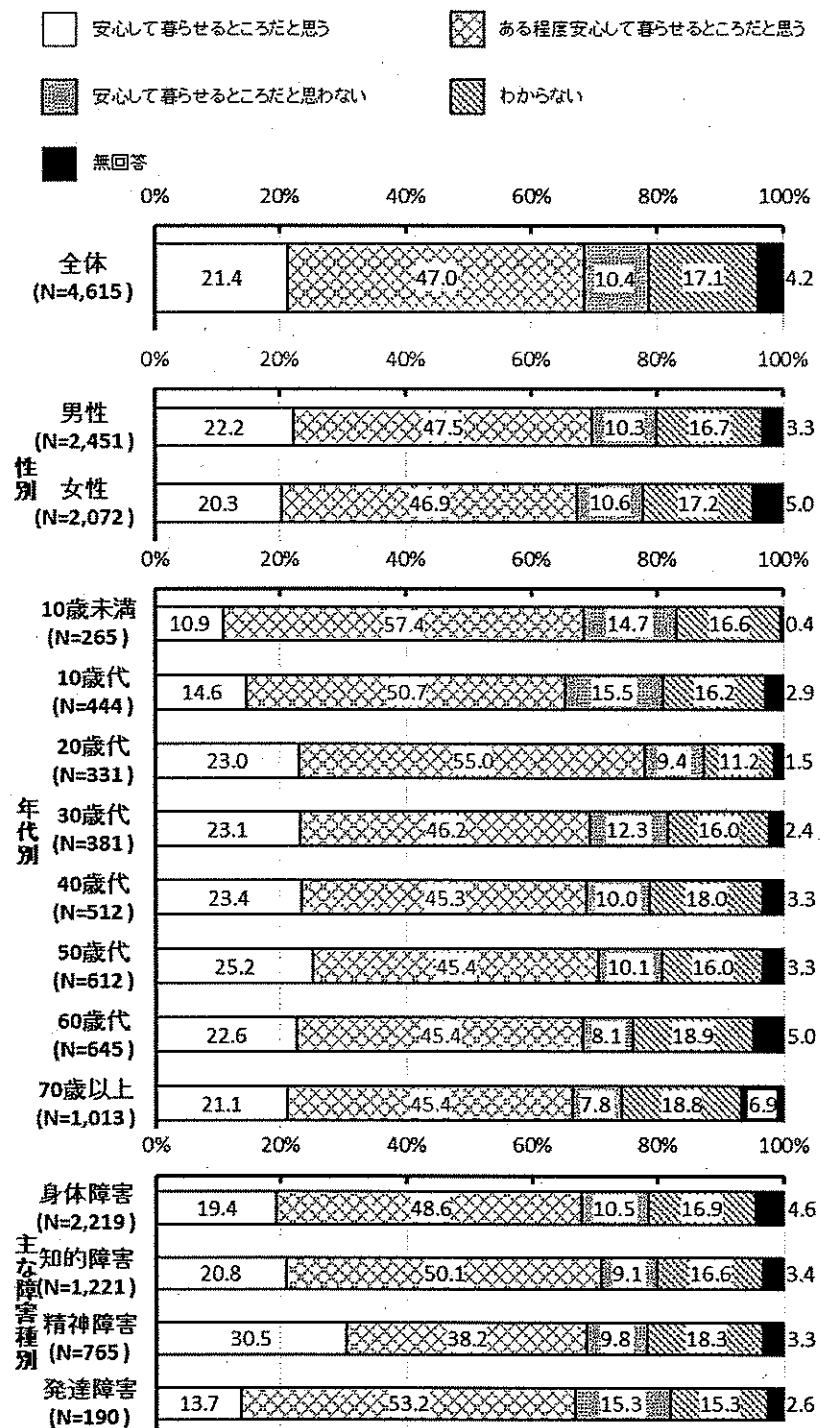
自分の住んでいる街が、障害のある人にとって安心して暮らせるところだと思うかについては、「ある程度安心して暮らせるところだと思う」が47.0%と最も多く、「安心して暮らせるところだと思う」が続いています。また、『安心して暮らせるところだと思う+ある程度安心して暮らせるところだと思う』は、68.4%となっています。(図表 95)

性別では、大きな差異はみられません。(図表 95)

年代別では、10歳未満において「安心して暮らせるところだと思う」が10.9%と少なく、20歳代から70歳代において「安心して暮らせるところだと思う」が全て2割を上回っています。また、『安心して暮らせるところだと思う+ある程度安心して暮らせるところだと思う』は、すべての年代において6割を超えており、20歳代と50歳代で7割を超えています。(図表 95)

主な障害種別では、精神障害において「安心して暮らせるところだと思う」が30.5%と唯一3割を超えて多くなっています。(図表 95)

図表 95：全体・性別・年代別・主な障害種別 集計



問22で「安心して暮らせるところだと思わない」と回答された方にお聞きします。
 問22-2 暮らしやすい街にするためには何が必要だと思いますか。
 具体的に記載してください。

問22の設問で、「安心して暮らせるところだと思わない」と回答した方が、暮らしやすい街にするために必要だと思うこととして記入されていたのは、「心のバリアフリー化・障害に対する理解」が最も多く、次いで「街のバリアフリー化等」の順となっています。

主な障害種別では、身体障害において「街のバリアフリー化等」が最も多く、知的障害・精神障害・発達障害において「心のバリアフリー化・障害に対する理解」が最も多くなっています。(図表96)

図表96：暮らしやすい街にするために必要だと思うこと 分類後の件数

(単位:件)	街のバリアフリー化等	心のバリアフリー化・障害に対する理解	福祉サービスの充実等	医療サービスの充実等	行政機関の対応等	防災対策	防犯対策	交通安全対策
身体障害	67	30	13	5	7	12	4	6
知的障害	8	31	25	0	4	0	2	3
精神障害	2	16	8	1	2	0	2	1
発達障害	0	7	3	0	0	2	2	1
その他	0	1	0	0	0	0	0	0
無回答	2	2	3	2	1	1	0	1
計	79	87	52	8	14	15	10	12

(単位:件)	情報保障	商業施設の充実	交通機関の充実・移動手段	雇用支援	経済的な支援・奨励・割引など	人間関係・コミュニケーション	その他	計
身体障害	5	6	13	4	6	8	20	206
知的障害	3	0	10	1	5	1	10	103
精神障害	1	1	1	1	3	4	15	58
発達障害	1	0	3	1	2	1	1	24
その他	0	0	2	0	0	0	0	3
無回答	0	0	5	1	1	1	3	23
計	10	7	34	8	17	15	49	417

主な意見（抜粋）

【街のバリアフリー化等】

- ・歩道の整備、点字ブロックなどしっかりやってほしい。
- ・車いすが安全に動くことのできる道路。家の近くでも歩道に段差があり車いすが動けない道がある（浜松市やなぎ通り）。
- ・横断歩道ではなく歩道橋しかない。道路で階段のみだとどうにもならない。
- ・バリアフリーの充実。道路、いろいろなお店、役所等、車いすでもスムーズに移動できるスペースが必要。

【心のバリアフリー化・障害に対する理解】

- ・差別、偏見はなくなる。こちらが慣れるしかない。
- ・障害者用の駐車場があっても、一般の人が停めてしまう。
- ・周りの方が障害をもっと理解していただけたらと思います。病院の中でパニックになっていても、待合室にいた他の方どころか病院の関係者も見つめふりをされ、その場に居られなくなって逃げて帰って来ました。特別扱いをしてほしいわけではありません。受診できる病院が欲しいです。それから震災などがあつた時のことを考えると、やっぱり周りの方の理解があると安心かな、と思います。
- ・お偉いさんがたの理解力。

【福祉サービスの充実等】

- ・児童発達支援の施設が少ない、受入れ体制が整っていない。
- ・児童発達支援、放課後等デイサービスの充実。親が仕事を続けられるような制度。
- ・ケースワーカー等安心して相談できる人を増やして欲しい。
- ・質の良い施設がない、訪問ヘルパーの教育。
- ・肢体不自由児の進学先の選択肢が少なすぎると思います。
- ・もう少し、SNSを通じて公的なサービスが必要だと思われる。

【医療サービスの充実等】

- ・病院、施設等が遠い、救急車の台数が少ない。
- ・医療ケアが必要な未就学児が利用できる保育所等の拡充。
- ・介護に安心感がもてない。近所に医療機関が一箇所、眼科がない。

【行政機関の対応等】

- ・福祉課が積極的でない。
- ・障害者に詳しい障害担当の役所の担当者。
- ・縦割り行政で相談しづらい。ワンストップ相談支援を充実させてほしい。

【防災対策】

- ・オムツ券が足りない。避難所に障害者用トイレがない。公民館は20人しか入れない。
- ・災害時の障害者の避難場所がきちんと考えられていない。
- ・聴覚障害者は広報を聞き取ることができない。
- ・災害時、医療ケアが必要な人がどこの避難場所へ行けばよいか分からない。近所の避難所に医療ケアに対応した準備が必要。
- ・防災マップを配って欲しい。

【防犯対策】

- ・弱い人間を騙す人のいない世の中。取締り強化。
- ・ガードレールが少なく危険、視覚障害者だとわかると犯罪にあう。

【交通安全対策】

- ・車中心の社会から歩行者中心の社会へ（足が不自由だと横断歩道でもゆっくり安心して歩行ができない。歩行者専用道路を歩いても車の飛び出しが多い）。
- ・歩行者と車の分離信号があると良い、中央分離帯に歩行者が止まっていられれるスペースがオーストラリアにはあつた。日本も工夫が必要だと思う。
- ・街灯を増やしてほしい。横断歩道や信号を増やし、車がスピードを出さない工夫をしてほしい（学校付近）。

【情報保障】

- ・役所がもう少し親切に色々使えるサービス等を教えてほしい。
- ・具体的な情報提供が少ない。どのような仕事に就くことができるのか不安。
- ・こちらから問い合わせるまで福祉を必要とする人への情報提供が無い。日常生活での肢体不自由児への具体的な対応がまったく見えない。市内で肢体不自由児が通える学校、学級すら無い(片道40分の隣市に通っている)。
- ・もう少し、どの程度の障害で何が利用できるのか、分かるように発信してほしい。

【商業施設の充実】

- ・バリアフリーが表面的で、田舎なので何もない。食料品などを配達してくれる店舗が少なく、かなり不便。
- ・日用品、食品などの店が遠い。

【交通機関・移動手段の充実】

- ・公共の交通手段が少ない。道路(点字ブロックやフェンスなど)の状態が良くない。
- ・月に4、5回の通院時、歩いては行けないので通院利用の相乗りタクシーがあると良い。
- ・自動車がないと生活に支障をきたすので公共交通機関の充実を望む。年齢が70を超え、そろそろ運転は卒業したい。

【雇用支援】

- ・難聴など障害者と健常者の中間だと仕事に就くのがかなり大変、障害に理解のある会社をもっと公表して欲しい。
- ・視覚障害者が働ける場所が少ない。サポートしてくれる所が少ない。

【経済的な支援・賃金上昇、割引など】

- ・障害者の給料が安い。同じ仕事をしているのに違う金額。
- ・年金が、微々たる金額である。
- ・手当等がほしい。

【人間関係・コミュニケーション】

- ・友達が必要です。
- ・近所との付き合いがうまくいってないのでそれを改善したい。
- ・地域の方が私の障害を分からないから。
- ・自分にはお母さんがもういないが親が必要だと思う。

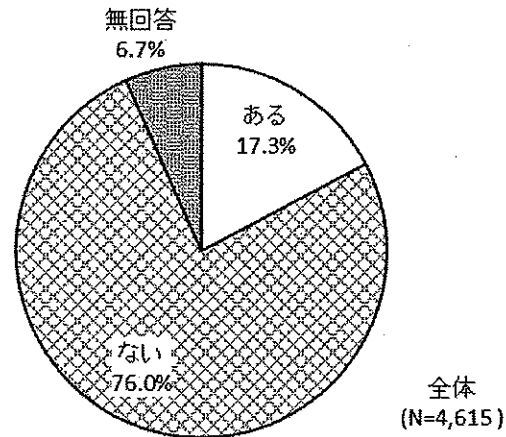
【その他】

- ・将来を考えると、親亡きあとが心配。グループホームに入所が必要。
- ・障害者用駐車場について、誰でも買えるシール(これも問題だと思う)を貼って障害でもないのに駐車する車が多く、いざ駐車したくても駐車できないことが多い。
- ・当方は外国人であるため、外国語が話せるかつ、専門的な知識を備わった人がいて欲しい。
- ・暮らしている人の住所や電話番号のプライバシー保護。
- ・障害者が安心して過ごせる公園や施設がない。また公園があっても車を停める所が少ないので、外で遊ばせることが難しい。
- ・衣食住の管理をしてくれる人が必要。

問 23 生活をしている中で、差別や虐待を受けたことはありますか。(単数回答)
 * 「虐待」とは身体的なものだけでなく、金銭的、心理的、性的な虐待を含みます。

生活をしている中で、差別や虐待を受けたことの有無は、「ある」が17.3%、「ない」が76.0%となっています。(図表 97)

図表 97：全体集計

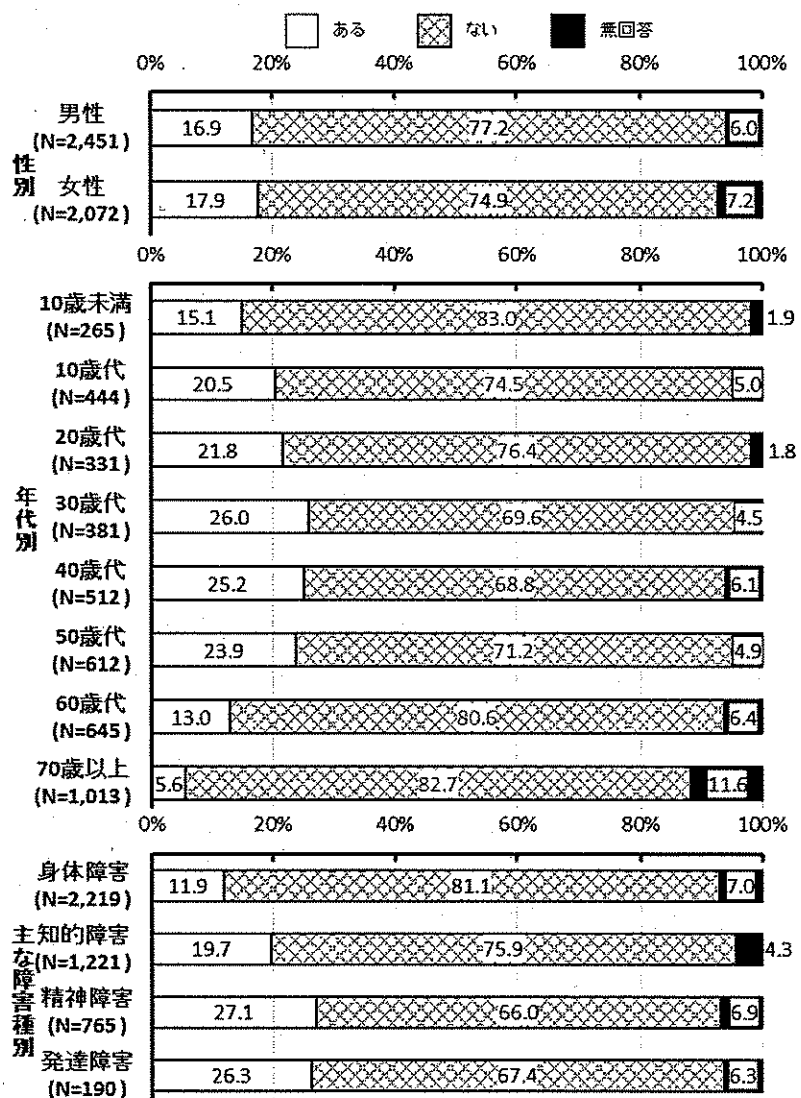


性別では、大きな差異はみられません。(図表 98)

年代別では、10 歳代から 50 歳代までの年代では「ある」が2割を超えて多くなっています。(図表 98)

主な障害種別では、精神障害・発達障害において「ある」が2割を超えて多くなっています。(図表 98)

図表 98：性別・年代別・主な障害種別 集計

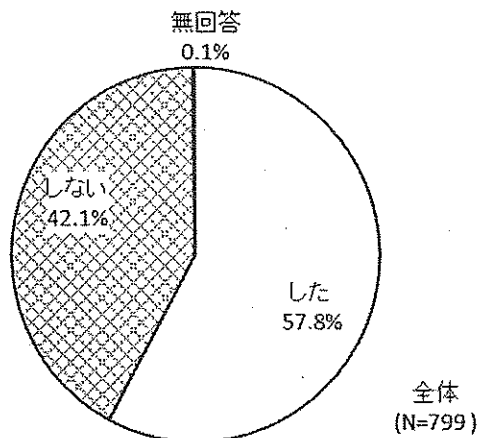


問23で「ある」と回答された方にお聞きします。

問23-2 差別や虐待を受けたことを誰かに相談しましたか。(単数回答)

差別や虐待を受けたこと
の相談経験は、「した」が
57.8%、「しない」が
42.1%となっています。(図
表 99)

図表 99：全体集計

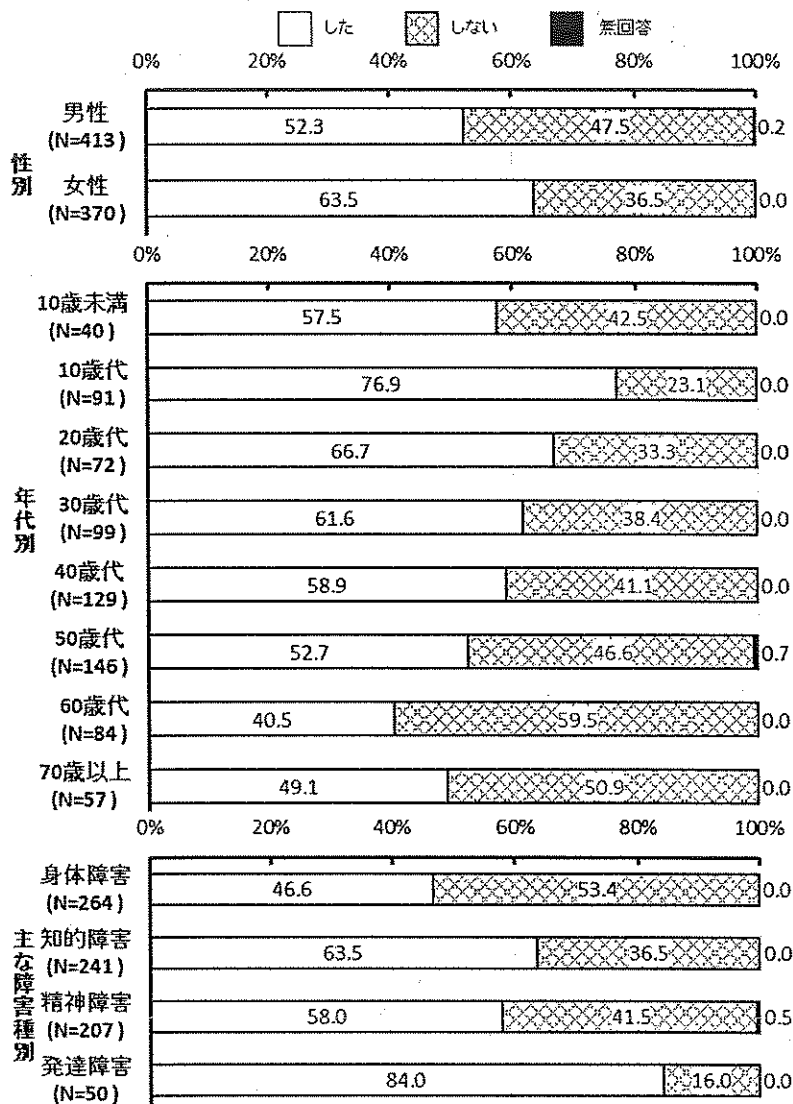


性別では、女性において
「した」が 63.5%と男性よ
り 11.2 ポイント高くなっ
ています。(図表 100)

年代別では、10 歳代から
60 歳代までの年代におい
て、年代が高くなるほど
「しない」が増える傾向に
あり、60 歳代では「しな
い」が 59.5%となってい
ます。(図表 100)

主な障害種別では、身体
障害において「しない」が
53.4%と5割を上回ってい
ます。(図表 100)

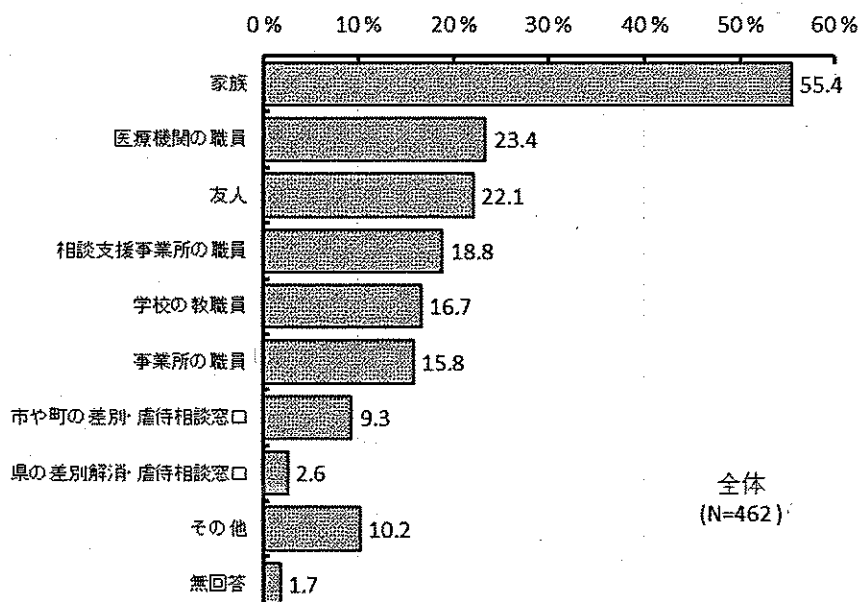
図表 100：性別・年代別・主な障害種別 集計



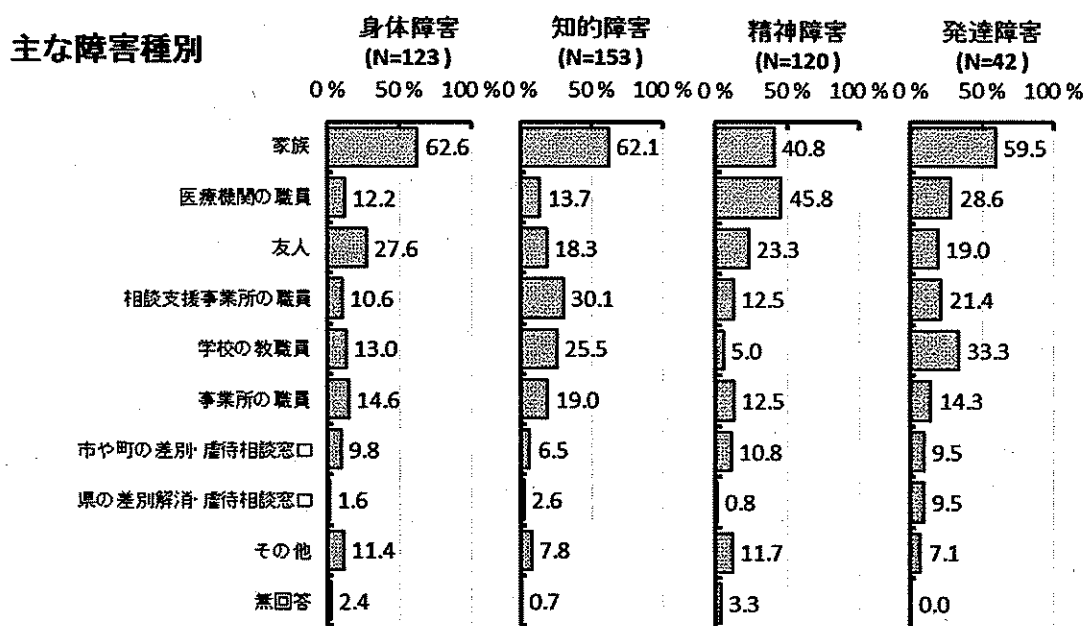
問23-2で「した」と回答された方にお聞きします。
 問23-3 どこに相談しましたか。(複数回答)

差別や虐待を受けた時の相談先は、「家族」が55.4%と最も多い。次いで「医療機関の職員」が23.4%、「友人」が22.1%、「相談支援事業所の職員」が18.8%、「学校の教職員」が16.7%となっています。(図表101)

図表101：全体集計



図表102：主な障害種別 集計

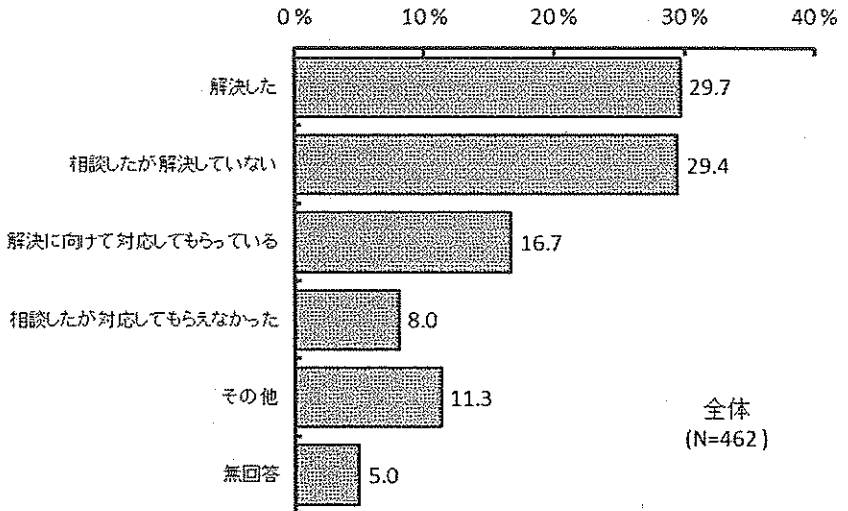


主な障害種別では、身体障害・知的障害・発達障害において「家族」が最も多く、精神障害においては「医療機関の職員」が45.8%と最も多くなっています。(図表102)

問23-2で「した」と回答された方にお聞きします。
 問23-4 その相談は解決しましたか。(単数回答)

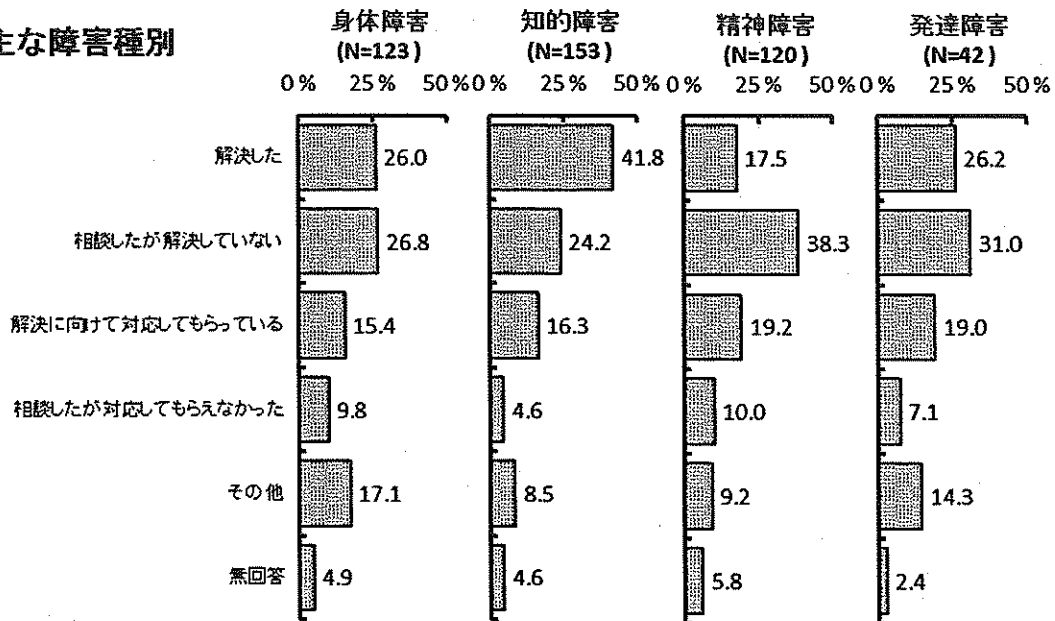
相談が解決したかどうかは、「解決した」が29.7%と最も多く、次いで「相談したが解決していない」が29.4%、「解決に向けて対応してもらっている」が16.7%、「相談したが対応してもらえなかった」が8.0%となっています。(図表103)

図表103：全体集計



図表104：主な障害種別 集計

主な障害種別



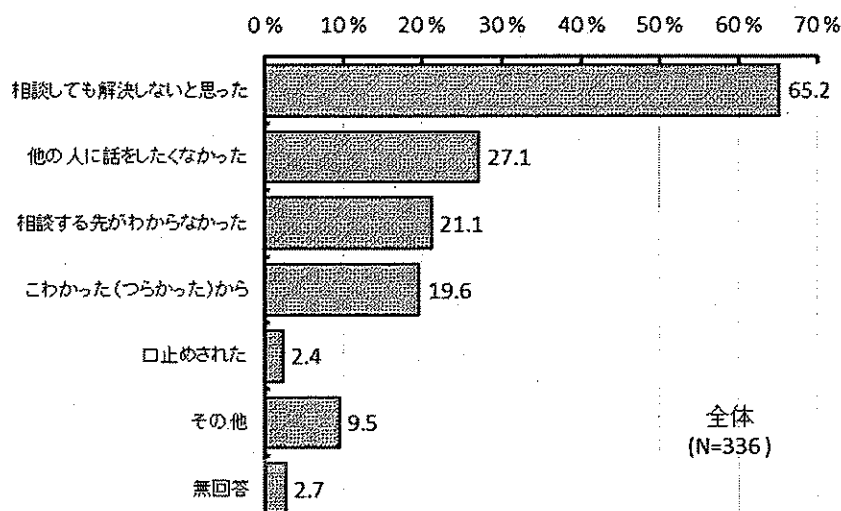
主な障害種別では、知的障害において「解決した」が41.8%と最も多く、精神障害・発達障害においては「相談したが解決していない」が3割を超えて最も多くなっています。(図表104)

問23-2で「しない」と回答された方にお聞きします。
問23-5 それはなぜですか。(複数回答)

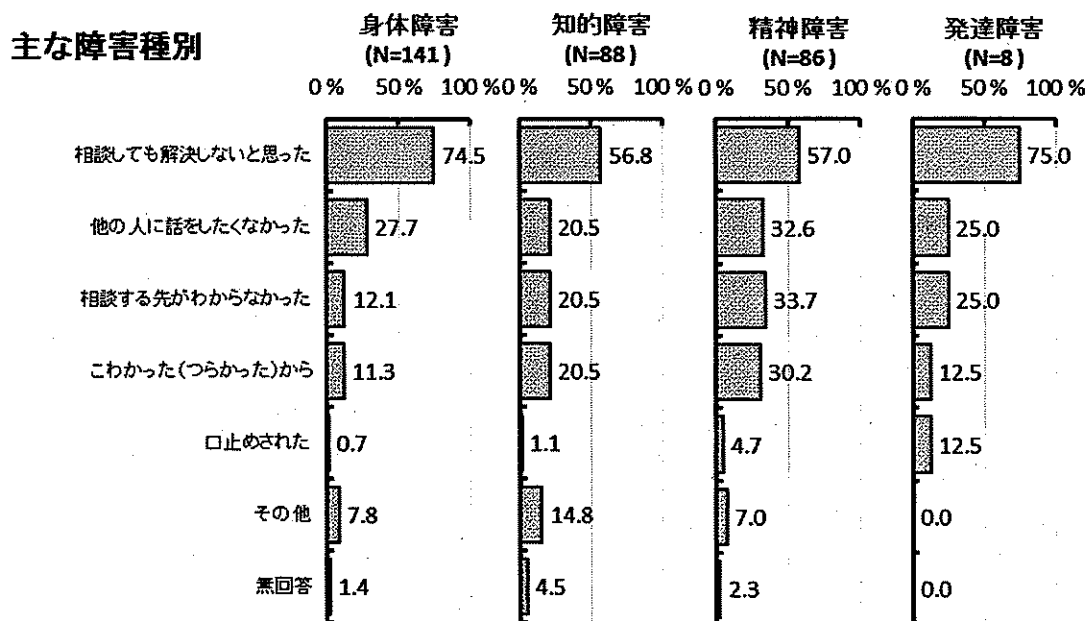
差別や虐待を受けても相談しなかった理由は、「相談しても解決しないと思った」が65.2%と最も多く、次いで「他の人に話をしなくなかった」が27.1%、「相談する先がわからなかった」が21.1%などとなっています。(図表105)

※回答肢「その他」9.5%の中では、「解決する事を諦めていた」が1.5%、「本人が差別虐待に気づいていない」が1.5%となっています。

図表105：全体集計



図表106：主な障害種別 集計



主な障害種別では、「相談しても解決しないと思った」が、身体障害・発達障害において7割を超えて最も多く、知的障害・精神障害においても5割を超えて最も多くなっています。(図表106)

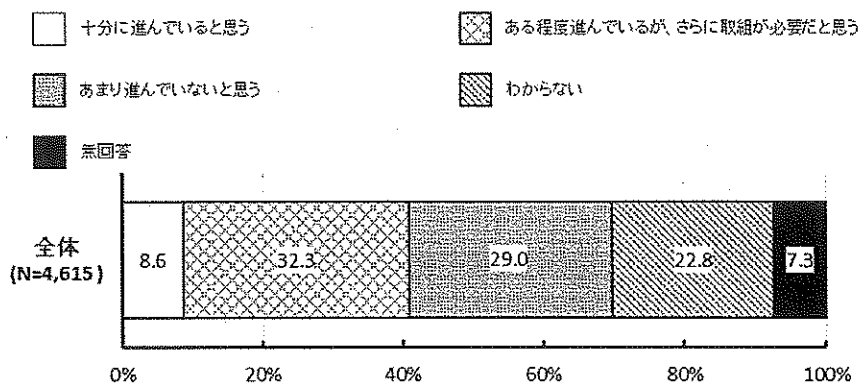
問 24 あなたは、バリアフリー化の現状についてどう思いますか。(単数回答)

*「バリアフリー化」とは、すべての人が不自由なく行動できるように環境を整えることをいいます。例えば、次のようなものがあります。

- 道路や建物で、段差をなくしたり、スロープを設置したりする
- 誰でも使いやすいような機能やデザインの製品を作る
- 視覚や聴覚に障害のある人等が、必要な時に必要な情報を得られるようにする

バリアフリー化の現状については、「ある程度進んでいるが、さらに取組が必要だと思う」が32.3%と最も多く、次いで「あまり進んでいないと思う」が29.0%、「わからない」が22.8%などとなっています。(図表 107)

図表 107：全体集計



地域別では、東部において「あまり進んでいないと思う」が33.0%と唯一3割を上回っています。(図表108)

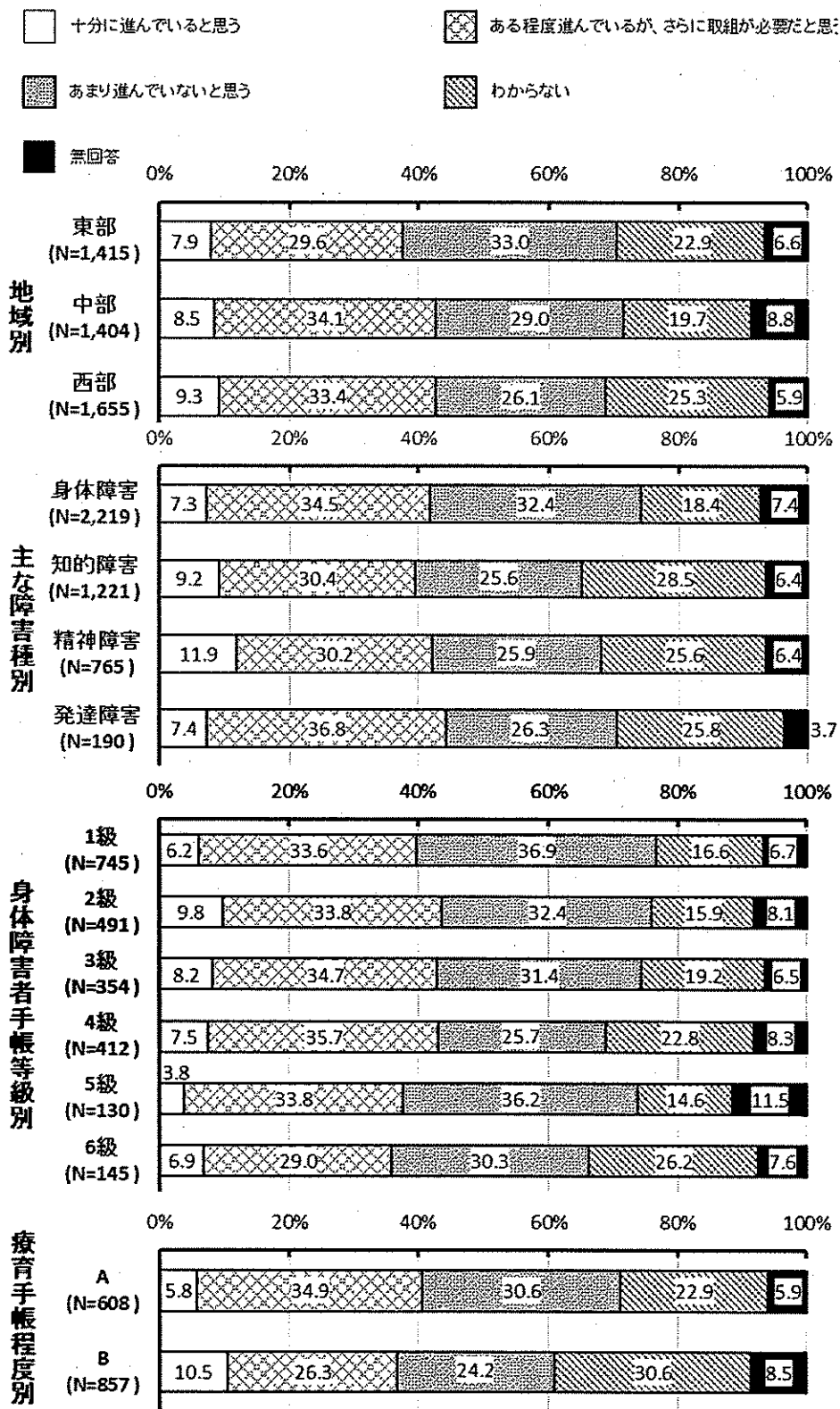
主な障害種別では、身体障害において「あまり進んでいないと思う」が32.4%と唯一3割を上回っています。(図表108)

身体障害者手帳等級別では、等級による回答割合に大きな差異はみられません。(図表108)

療育手帳程度別では、Bにおいて「わからない」が30.6%とAより7.7ポイント高くなっています。(図表108)

図表 108：地域別・主な障害種別・身体障害者手帳等級別

・療育手帳程度別 集計



問24でバリアフリー化が「ある程度進んでいるが、さらに取組が必要だと思う」または「あまり進んでいないと思う」と回答された方にお聞きします。
 問24-2 今後、バリアフリー化が必要なところはどこだと思いますか。

問24のバリアフリー化の現状についての設問で、「ある程度進んでいるが、さらにバリアフリー化が必要だと思う」または「進んでいないと思う」を選択した方が、バリアフリー化が必要なところとして記入されていたのは、「道路・歩道等」が最も多く、次いで「交通機関・乗り物」の順となっています。(図表109)

図表109：バリアフリー化が必要なところ 分類後の件数

(単位:件)	道路・歩道等	交通機関・乗り物	情報保障・表示等	階段・エレベーター・スロープ・手すり	商業施設・飲食店・娯楽施設	心のバリアフリー等	トイレ・お風呂	行政機関・公共施設	すべて・町全体等	医療機関	学校	住宅	外(街中・駅周辺)	公園
身体障害	346	77	62	60	49	21	32	44	33	31	26	23	12	12
知的障害	118	50	23	16	15	35	24	14	18	6	16	3	8	3
精神障害	68	24	8	15	21	12	13	13	7	15	4	21	2	3
発達障害	19	8	8	1	3	5	6	1	2	0	5	1	3	3
その他	9	1	1	0	1	1	0	0	1	0	1	1	0	1
無回答	22	7	4	3	3	1	0	1	0	2	1	3	1	2
計	582	167	106	95	92	75	75	73	61	54	53	52	26	24

(単位:件)	駐車場・駐輪場	街中・駅周辺	古い建物・古い施設	民間施設	避難場所・避難所	神社・寺	福祉施設	ベンチなど休めるところ	宿泊施設	銀行・郵便局	わからない	特にない	その他	計
身体障害	16	13	8	13	9	8	1	3	1	1	9	0	38	948
知的障害	4	3	6	4	7	4	2	0	0	0	2	0	18	399
精神障害	1	4	2	0	1	1	5	0	1	1	8	1	16	267
発達障害	0	1	3	1	0	1	0	0	0	0	2	0	5	78
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	18
無回答	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	52
計	21	21	19	18	17	15	8	3	2	2	22	1	78	1762

主な意見（抜粋）

【道路・歩道等】

- ・歩道、道路の段差。
- ・地下道にスロープがない所がある。交差点に横断歩道がない所がある。
- ・歩道上の紅白のポールに視力の弱い人がつまずいていた。
- ・路肩がデコボコしているし幅も狭い為シルバーカーや車いすが通りにくい。
- ・車いすの方が健常者と同じように生活できるよう、道幅を広げるなど必要だと思います。
- ・歩道が狭いので安心して歩くことができない。また歩道と車道の明確な区分けができていない。例えばブロックやガードレールや段々をつけた道が少ない。
- ・点字ブロックがある場所が少ない。障害者のトイレが少ない。
- ・道路の歩行者・自動車・自転車の区別して、通りやすくして欲しい。娘の住んでいる国立市などは道の区別がしっかりしていてみんなが安全に動ける。

【交通機関・乗り物】

- ・公共バスの完全ノンステップ化。
- ・公共の交通機関での乗降。駅などのスロープ。
- ・電車、JR等の情報がわからない。
- ・駅にエレベーターがあるといいです。
- ・駅のホームドア。
- ・鉄道や道路など危ないと感じることがある。
- ・エスカレーター、エレベーターが駅の隅にあり、そこまで歩くのが大変。

【情報保障・表示等】

- ・聴覚障害者には放送、口頭等の呼び掛けには聞き取れないので字幕、筆談、メール等サポートしてほしい。
- ・筆談用具の設置。
- ・情報元が少ない。インターネットの環境のない人へのケア。
- ・表示（言葉でなくもっとイラスト等を使用して欲しい）。
- ・危険な場所を分かり易く、絵と音声で示してほしい。
- ・ガラスが見えないのでぶつかるので目線の位置にラインを入れるなど工夫して欲しい。
- ・聴覚障害者でもわかるよう電光掲示板。広報で何を言っているか聞こえない。

【階段・エレベーター・エスカレーター・スロープ・手すり】

- ・エレベーターの奥行きがなく使えない（車いす）。
- ・スロープの傾斜が角度によって膝の関節に負担がかかるので階段に手すりを付けてほしい。
- ・大きな建物に手すりをつけてほしい。またはエスカレーターとかエレベーターをつけてほしい。
- ・段差があると下りるのが困難。階段の手すりは両側に欲しい。
- ・エレベーターの設置。スロープやフラットな入口デザイン。

【商業施設・飲食店・娯楽施設】

- ・フードコートなどのスペースは、テーブルの高さが低くて車いすがテーブルのしたに入らない。テーブルの上に物を置くと車いすから手が届かなくなる。
- ・デパートなどの商業施設にもっと点字パネルを取り入れてほしい。
- ・大型店ではかなりバリアフリー化が進んでいると思いますが、一般店での進み具合が遅れていると思う。
- ・車いすで移動しにくい。ショッピングモール等は絨毯で車いすが動かない場所がある。狭い。トイレも少ない。エレベーターの場所がわからない。遠いので移動するのに時間がかかってしまう。
- ・お店なども道路が狭く車いすやベビーカーでは通れないところもある。店舗への入口も階段のみのところがある。

【心のバリアフリー等】

- ・いなか、へき地では、変な目で見られる。
- ・福祉施設の職員で医療の教育を受けてない人が障害者に自己のストレスのはけ口にすること。
- ・知的障害者（療育手帳を出せば）の人は病院や役所である程度わかりやすい言葉で話しかけてくれるなどの対応が欲しい。

【トイレ・お風呂】

- ・風呂場。
- ・和式トイレしかない場所。
- ・段差が多い。赤ちゃん用のオムツ替えができるトイレはどこでもあるが、大人が寝ることができるオムツ替えできるトイレはとても少なく大変。
- ・多目的トイレに知的障害者が入ると冷たい目で見られる（車いすではないため）。
- ・トイレの水洗ボタン、レバーの位置や鍵のかけ方が違う。

【行政機関・公共施設】

- ・公民館、コミュニケーションセンター等。
- ・市役所等公共機関のすべての階段にスロープを作ること。
- ・区役所支所、図書館エレベーターがない所が多い。洋式トイレのない公共施設や店。
- ・市役所のトイレが狭く、押し車が入らない。

【すべて・町全体等】

- ・歩道が狭く、段差が多すぎる、町全体必要。
- ・特定の場所は言えませんが、車いすで通るとまだまだかなと思う所が多くあります。
- ・社会のあらゆる公共の場。

【医療機関】

- ・医療機関出入り口等。
- ・病院や公共機関の玄関口に、屋根付きロータリーや駐車スペースが増えるといい。
- ・バギーで散歩する時に段差で困ったことがある。総合病院は大丈夫だが、小さいクリニックはバギーだと狭かったり、バギーで乗り入れできない所もある。
- ・県立こども病院の駐車場。車いすユーザーや親一人対子一人での通院を考えると、雨の日の通院に不便を感じる。

【学校】

- ・児童発達支援を含む通所施設。学校。
- ・地域の避難所である小学校や中学校。
- ・小・中学校、高校 トイレ（兄弟の用事で行く時とか）困った。
- ・学校（もともと障害者用では無い為）。
- ・体が不自由な子はエレベーターのない県立高校には通えない現実がある。

【住宅】

- ・外観はバリアフリーに気を配られている場所でも、中は玄関、トイレなど段差があったりする。見えない所のバリアフリーもしやすい方法（補助等）あるといい。
- ・市営団地に引っ越したが、階段しかなく不自由がある。

【郊外（街中・駅周辺以外）】

- ・道路（田舎なので田んぼや小さな川も多く柵や塀などがなく落ちたら危険な場所は多い）。

【公園】

- ・公園、公共施設など見た目やデザインを重視していて手すりやスロープがなく安心して利用できない。
- ・公園等にあるトイレ、入り口に段差がある、万が一の場合の手すりが無い。
- ・公園の遊具など（だれでも簡単に楽しめるもの）やさしいものを増やしてほしい。

【駐車場・駐輪場】

- ・公共施設、ホテル、娯楽施設バリアフリーに加えて、駐車場には屋根をトイレにはベッドを。
- ・道路が狭い、どこの市町村も役所の駐車場が狭い。
- ・駐車場に車いすスペースが少ない。

【街中・駅周辺】

- ・駅中、駅前広場、道路等の公共施設。特に熱海市は歩道が極端に狭く、観光客も多く訪れる中では健常者であっても安全に歩行できない箇所が多いため、安全で快適や歩行者用空間が必要であると思います。

【古い建物・古い施設】

- ・古くなった公共施設。地下から地上に出るのに階段しかないとか駐車場から建物が遠い等。エスカレーターはありがたいのですが、動きが早くて乗降できません。
- ・古いビルだとエレベーターがない為不便。意外と病院（個人）でもバリアフリー化されてない所が多い。

【民間施設】

- ・まだまだ民間企業ではバリアフリー化する資金がなく手付かずの場所もある。

【避難場所・避難所】

- ・例えば、災害時障害者が安心して、避難できる、避難所があるかどうか？又障害の内容に応じた対応がなされるかどうかが気になります。
- ・避難タワーが全て階段なので車いすではどうしようもない。

【神社・寺】

- ・寺のバリアフリー化（お墓参り時）。
- ・神社、寺（階段しかない）。

【福祉施設】

- ・グループホームの居住スペースが2階にあった。足が不自由な自分にとってはバリアフリーが進んでいないと思った。
- ・通所施設の廊下等に手すりを設置すること等、必要だと思われる。

【ベンチなど休めるところ】

- ・周りがコミュニティ道路ですが、歩きにくいです。時折ある柵のような柱？の高さはいいですが、上がとがっているので、ちょっと座って休憩することが出来ません。座るための物ではないと思いますが、座れば助かります。

【宿泊施設】

- ・学校、公民館、食堂、民宿、旅館、エレベーターのない病院。

【銀行・郵便局】

- ・銀行や街づくりセンターの入り口に至るまでの階段に片方でも手すりがつけられているといいと思います。

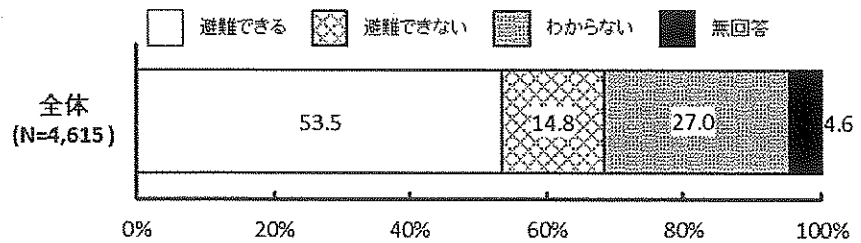
【その他】

- ・役所の手続きをネットで出来る様改善して欲しい。
- ・行政関係のオンライン化。セルフレジ導入（難聴の人は店員と話をしなくていいので楽）。
- ・タッチパネル操作は難しい。
- ・IT化に老人はついていけない。フォローが少なすぎる。
- ・道路にオブジェのような石の球体（ひざ下位のもの）が設置されているが視覚障害者にはとても危険なものだと思う。
- ・万人にあうようなものはないと思う。どこかにしわ寄せは有ると思う。
- ・発達障害だと、音や光触覚に敏感だったりするので、そういう人たちも無理なく暮らせるように配慮してほしい。

問 25 あなたは、災害等の緊急時に、自宅または施設から一人でまたは支援を受けながら、安全に避難できる環境にありますか。(単数回答)

災害等の緊急時に、自宅または施設から一人でまたは支援を受けながら、安全に避難できる環境にあるかについては、「避難できる」が53.5%と最も多く、次いで「わからない」が27.0%、「避難できない」が14.8%となっています。(図表 110)

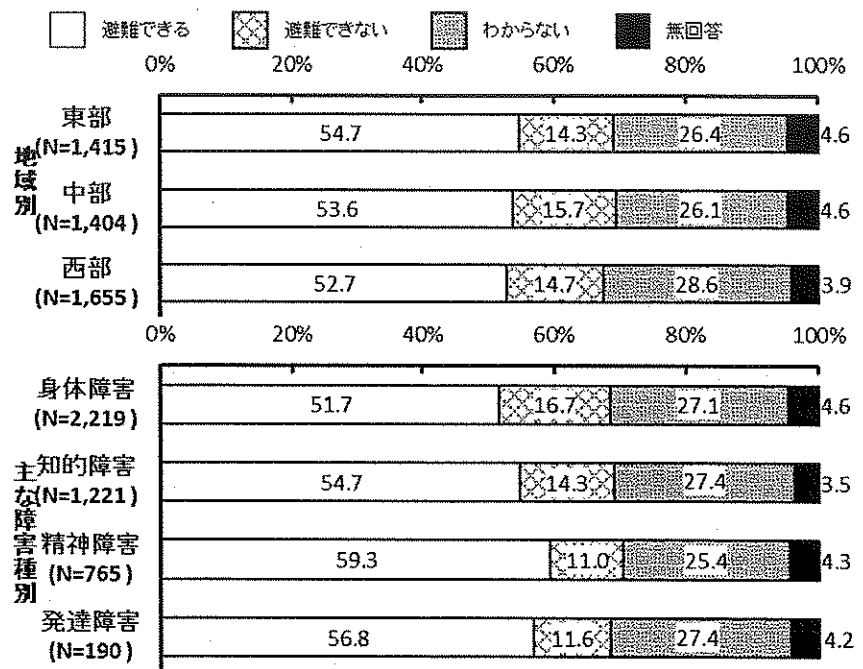
図表 110：全体集計



地域別では、大きな差異はみられません。(図表 111)

主な障害種別では、精神障害者において「避難できる」が59.3%と多くなっています。(図表 111)

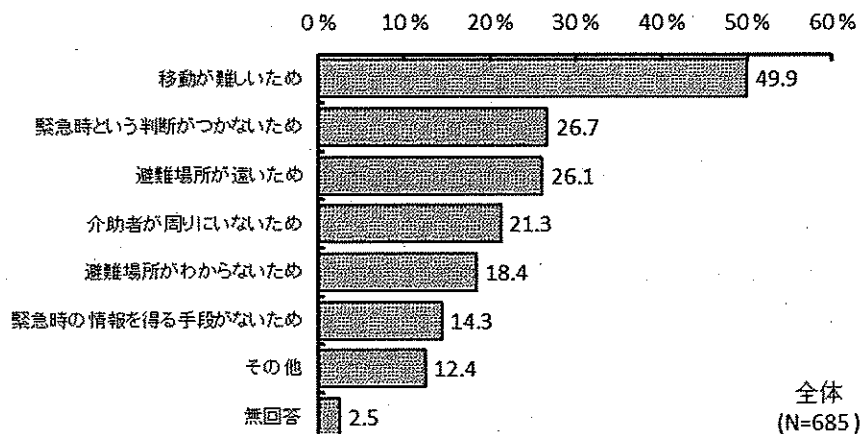
図表 111：地域別・主な障害種別 集計



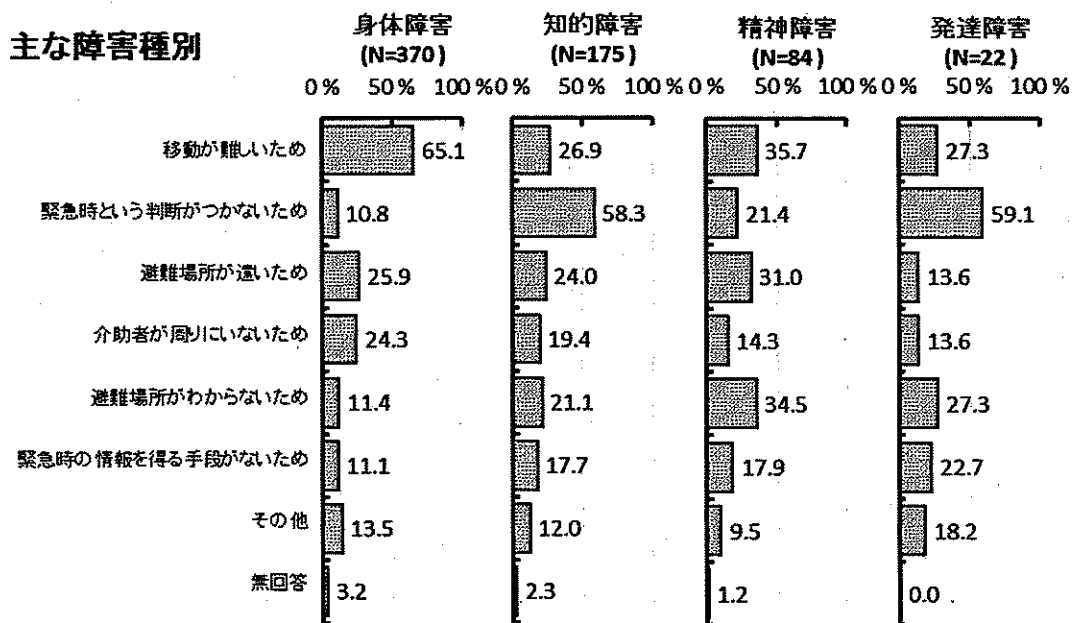
問25で安全に「避難できない」と回答された方にお聞きします。
 問25-2 避難できない理由を具体的に教えてください。(複数回答)

安全に避難できない理由は、「移動が難しいため」が49.9%で最も多く、次いで「緊急時という判断がつかないため」が26.7%、「避難場所が遠いため」が26.1%、「介助者が周りにいないため」が21.3%、「避難場所がわからないため」が18.4%、「緊急時の情報を得る手段がないため」が14.3%、「その他」が12.4%、「無回答」が2.5%となっています。(図表112)

図表112：全体集計



図表113：主な障害種別 集計



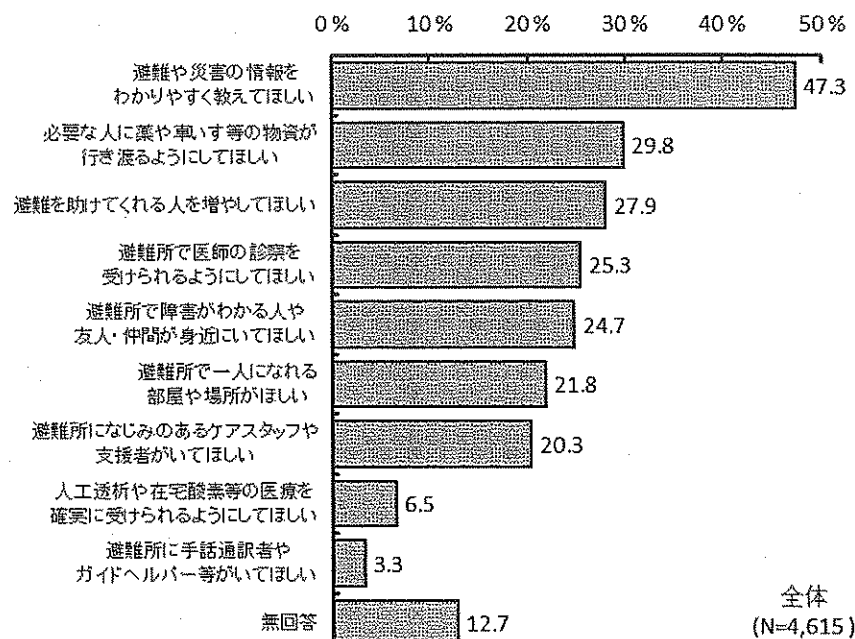
主な障害種別では、身体障害は「移動が難しいため」が65.1%と多く、知的障害と発達障害は「緊急時という判断がつかないため」が6割近くと多くなっています。(図表113)

問 25-3 地震や台風などの災害が発生した時に何が必要だと思いますか。

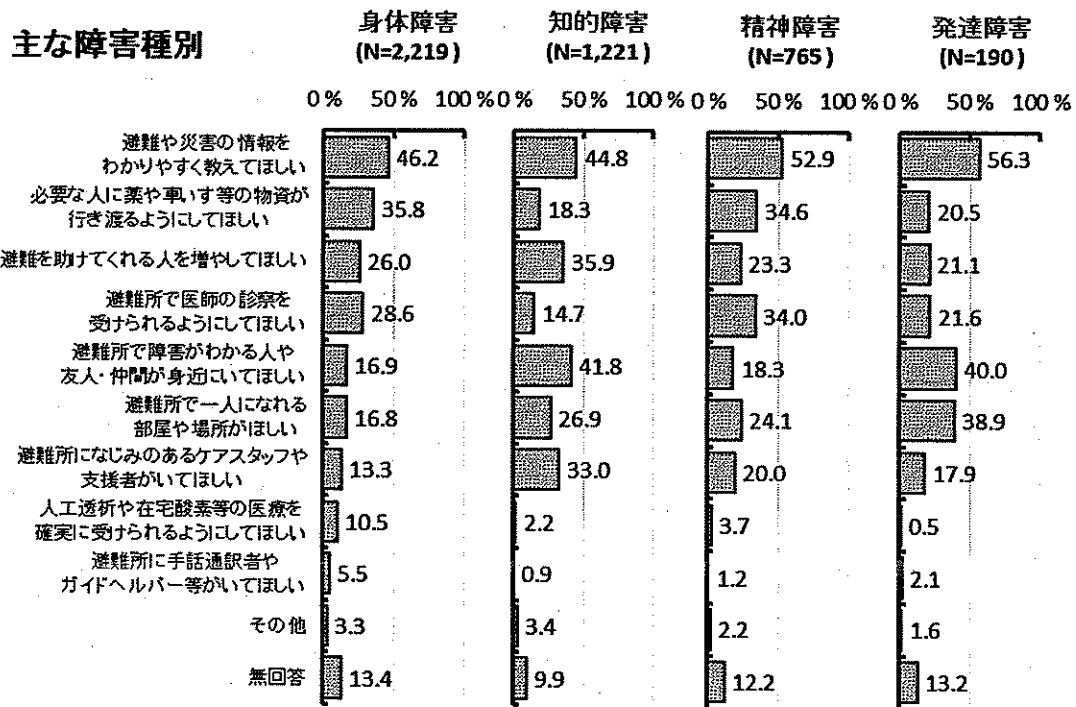
(複数回答：3つまで)

地震や台風などの災害が発生した時に必要だと思うことは、「避難や災害の情報をわかりやすく教えてほしい」が47.3%と最も多く、次いで「必要な人に薬や車いす等の物資が行き渡るようにしてほしい」が29.8%、「避難を助けてくれる人を増やしてほしい」が27.9%、「避難所で医師の診察を受けられるようにしてほしい」が25.3%などとなっています。(図表 114)

図表 114：全体集計



図表 115：主な障害種別 集計

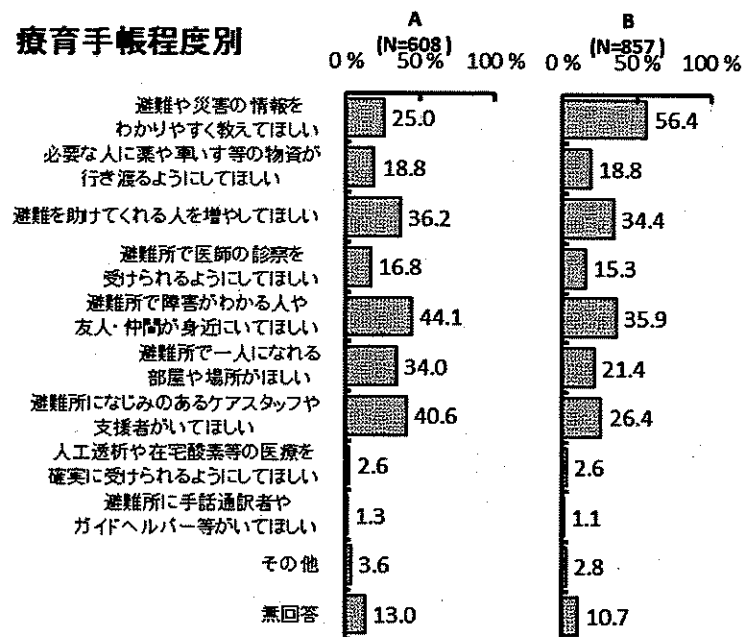


全ての種別で「避難や災害の情報をわかりやすく教えてほしい」が最も多くなっています。主な障害種別では、身体障害と精神障害では「必要な人に医薬品や車いす等の物資が行き渡るようにしてほしい」と「避難所で医師の診察を受けられるようにしてほしい」が多くなっています。一方、知的障害と発達障害では「避難所で障害がわかる人や友人・仲間が身近にいてほしい」が多くなっています。(図表 115)

図表 116：療育手帳程度別 集計

療育手帳程度別では、Aでは「避難所で障害がわかる人や友人・仲間が身近にいてほしい」が、Bでは「避難や災害の情報をわかりやすく教えてほしい」がそれぞれ多くなっています。(図表 116)

療育手帳程度別



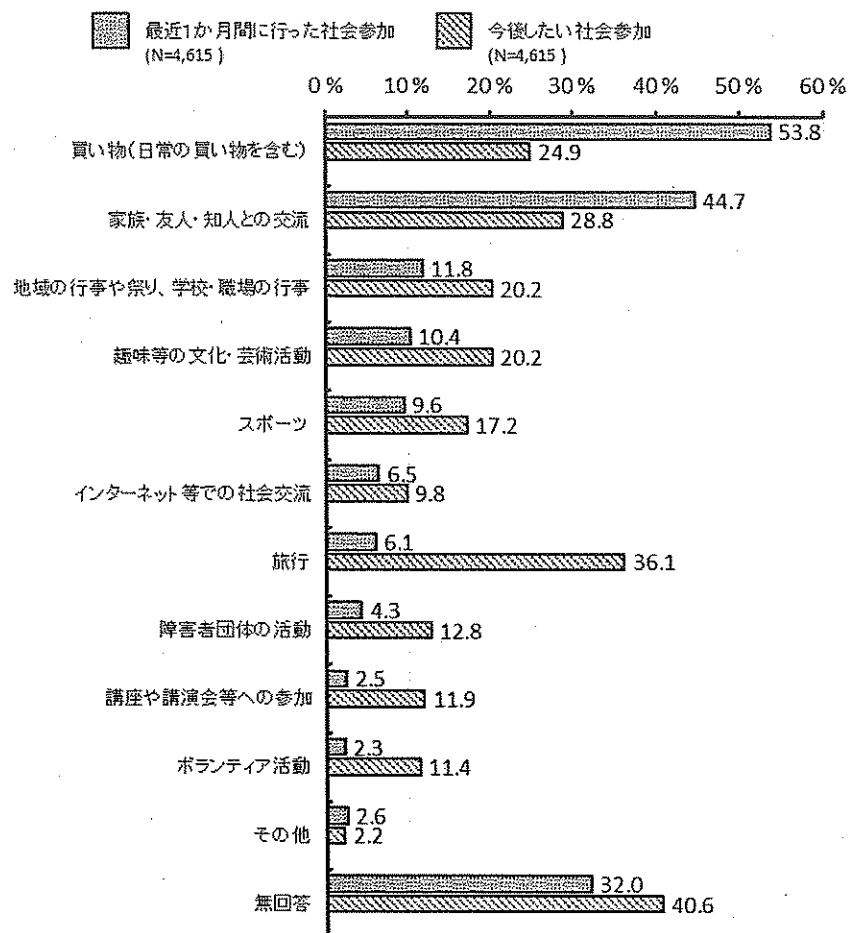
6 社会参加について

問 26 あなたは、最近どのような社会参加をしていますか。また、今後どのような社会参加をしたいと思いますか。(それぞれ複数回答)

最近1か月間に行った社会参加は、「買い物(日常の買い物を含む)」が53.8%と最も高く、次いで「家族・友人・知人との交流」が44.7%、「地域の行事や祭り、学校・職場の行事」が11.8%などとなっています。

また、今後したい社会参加は、「旅行」が36.1%と最も高く、次いで「家族・友人・知人との交流」が28.8%、「買い物(日常の買い物を含む)」が24.9%などとなっています。(図表117)

図表 117: 全体集計



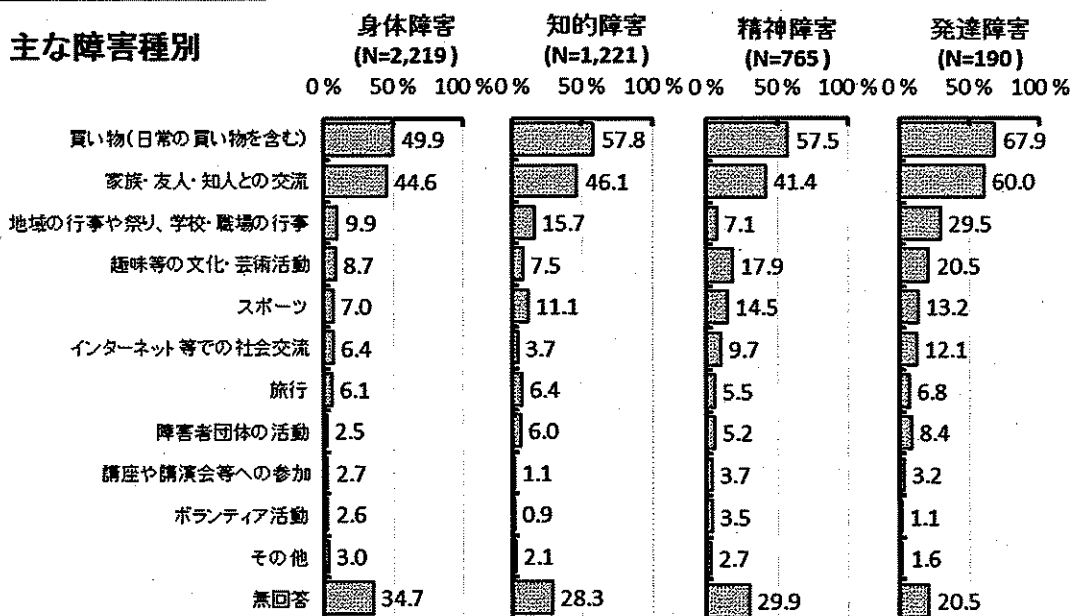
最近行った社会参加

図表 118：年代別 集計

	調査数	買い物(日常の買い物を含む)	家族・友人・知人との交流	地域・職場の行事や祭り、学校・職場の行事	趣味等の文化・芸術活動	スポーツ	インターネット等での社会交流	旅行	障害者団体の活動	講座や講演会等への参加	ボランティア活動	その他	無回答
10歳未満	265	160	188	96	20	40	5	34	13	2	2	3	56
10歳未満(%)	100.0	60.4	70.9	36.2	7.5	15.1	1.9	12.8	4.9	0.8	0.8	1.1	21.1
10歳代	444	284	270	154	45	74	43	28	18	10	8	7	98
10歳代(%)	100.0	64.0	60.8	34.7	10.1	16.7	9.7	6.3	4.1	2.3	1.8	1.6	22.1
20歳代	331	221	183	24	49	36	42	27	25	2	5	4	78
20歳代(%)	100.0	66.8	55.3	7.3	14.8	10.9	12.7	8.2	7.6	0.6	1.5	1.2	23.6
30歳代	381	237	184	35	51	43	42	29	30	11	12	9	103
30歳代(%)	100.0	62.2	48.3	9.2	13.4	11.3	11.0	7.6	7.9	2.9	3.1	2.4	27.0
40歳代	512	322	213	40	71	56	37	29	30	16	13	16	138
40歳代(%)	100.0	62.9	41.6	7.8	13.9	10.9	7.2	5.7	5.9	3.1	2.5	3.1	27.0
50歳代	612	359	242	41	63	50	42	39	24	14	13	16	186
50歳代(%)	100.0	58.7	39.5	6.7	10.3	8.2	6.9	6.4	3.9	2.3	2.1	2.6	30.4
60歳代	645	317	264	46	72	56	38	39	22	18	16	14	225
60歳代(%)	100.0	49.1	40.9	7.1	11.2	8.7	5.9	6.0	3.4	2.8	2.5	2.2	34.9
70歳以上	1013	377	351	58	68	52	25	35	16	30	27	43	443
70歳以上(%)	100.0	37.2	34.6	5.7	6.7	5.1	2.5	3.5	1.6	3.0	2.7	4.2	43.7

年代別では、10歳未満・10歳代において「地域の行事や祭り、学校・職場の行事」が3割を超えて多く、その他の年代では「買い物(日常の買い物を含む)」が最も多くなっています。(図表 118)

図表 119：主な障害種別 集計



主な障害種別では、全ての種別で「買い物(日常の買い物を含む)」と「家族・友人・知人との交流」が多くなっています。また、知的障害において「地域の行事や祭り、学校・職場の行事」が多く、精神障害において「趣味等の文化・芸術活動」と「スポーツ」が多くなっています。(図表 119)

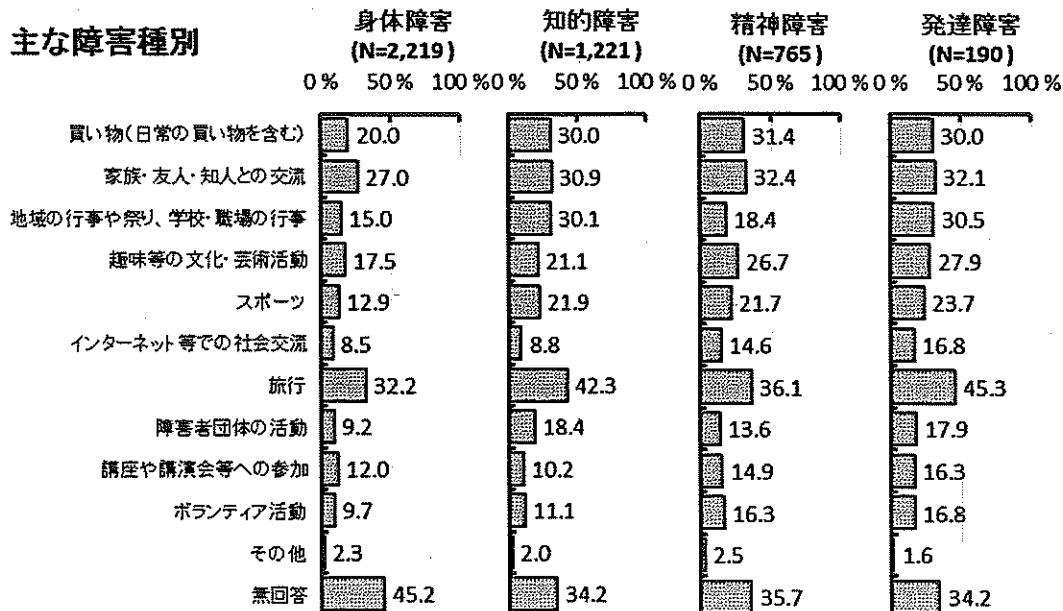
今後行いたい社会参加

図表 120：年代別 集計

	調査数	買い物（日常の買い物を含む）	家族・友人・知人との交流	地域の行事や祭り、学校・職場の行事	趣味等の文化・芸術活動	スポーツ	インターネット等での社会交流	旅行	障害者団体の活動	講座や講演会等への参加	ボランティア活動	その他	無回答
10歳未満	265	84	95	113	83	91	57	149	68	55	52	2	65
10歳未満 (%)	100.0	31.7	35.8	42.6	31.3	34.3	21.5	56.2	25.7	20.8	19.6	0.8	24.5
10歳代	444	122	143	172	115	120	60	206	77	59	75	6	132
10歳代 (%)	100.0	27.5	32.2	38.7	25.9	27.0	13.5	46.4	17.3	13.3	16.9	1.4	29.7
20歳代	331	104	115	108	86	87	46	160	71	42	53	8	89
20歳代 (%)	100.0	31.4	34.7	32.6	26.0	26.3	13.9	48.3	21.5	12.7	16.0	2.4	26.9
30歳代	381	95	92	89	93	83	54	169	88	58	71	12	142
30歳代 (%)	100.0	24.9	24.1	23.4	24.4	21.8	14.2	44.4	23.1	15.2	18.6	3.1	37.3
40歳代	512	144	161	103	109	120	64	214	87	69	68	16	185
40歳代 (%)	100.0	28.1	31.4	20.1	21.3	23.4	12.5	41.8	17.0	13.5	13.3	3.1	36.1
50歳代	612	159	173	120	150	98	68	238	67	76	78	17	231
50歳代 (%)	100.0	26.0	28.3	19.6	24.5	16.0	11.1	38.9	10.9	12.4	12.7	2.8	37.7
60歳代	645	168	194	85	130	77	44	213	62	80	67	14	264
60歳代 (%)	100.0	26.0	30.1	13.2	20.2	11.9	6.8	33.0	9.6	12.4	10.4	2.2	40.9
70歳以上	1013	191	257	71	96	61	29	197	28	73	33	20	565
70歳以上 (%)	100.0	18.9	25.4	7.0	9.5	6.0	2.9	19.4	2.8	7.2	3.3	2.0	55.8

年代別では、60歳代までにおいて「旅行」が最も多く、70歳以上においては「家族・友人・知人との交流」が最も多くなっています。（図表 120）

図表 121：主な障害種別 集計



主な障害種別では、身体障害において「買い物（日常の買い物を含む）」、「スポーツ」が少なく、知的障害・発達障害において「旅行」が4割を超えて多く、「地域の行事や祭り、学校・職場の行事」が3割を超えて多くなっています。精神障害・発達障害において「趣味などの文化・芸術活動」、「ボランティア活動」が多くなっています。（図表 121）

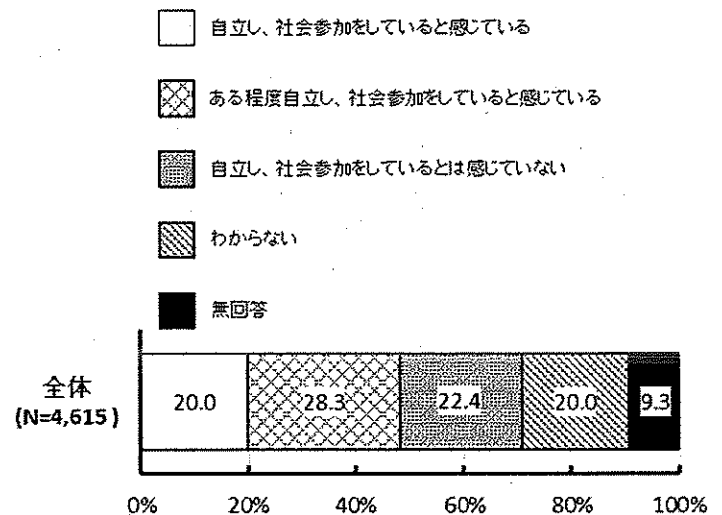
問27 あなたは、日常生活において自立し、社会参加をしていると感じていますか。

(単数回答)

*ここでいう、「自立」とは、必要とする支援を受けながらも、自分の意思をもって日常生活を送ることを含みます。

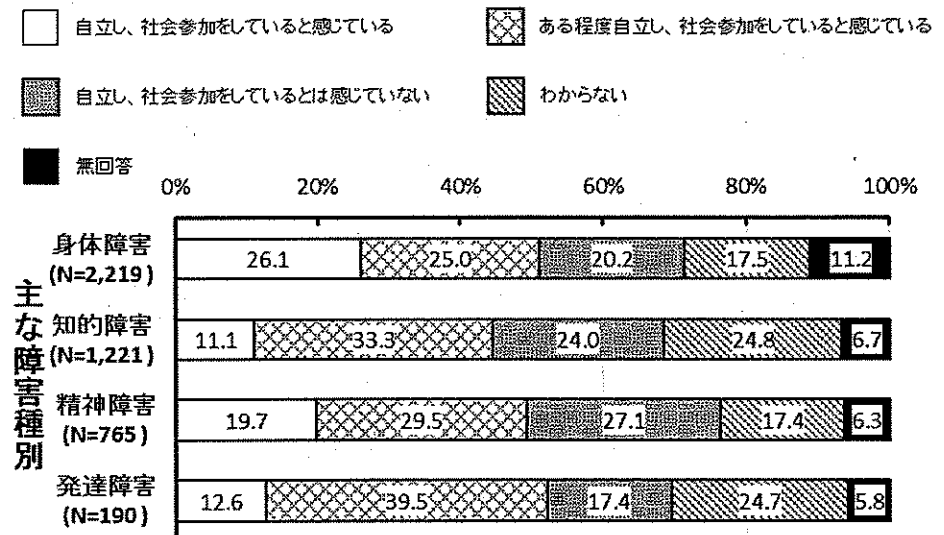
日常生活において自立し、社会参加をしていると感じるかについては、「ある程度自立し、社会参加をしていると感じている」が28.3%と最も多く、次いで「自立し、社会参加をしているとは感じていない」が22.4%、「自立し、社会参加をしていると感じている」と「わからない」がそれぞれ20.0%となっています。また、『自立し、社会参加をしていると感じている+ある程度自立し、社会参加をしていると感じている』は、48.3%となっています。(図表122)

図表122：全体集計



主な障害種別では、身体障害において「自立し、社会参加をしていると感じている」が26.1%と最も多く、知的障害、精神障害、発達障害においては「ある程度自立し、社会参加をしていると感じている」が最も多くなっています。(図表123)

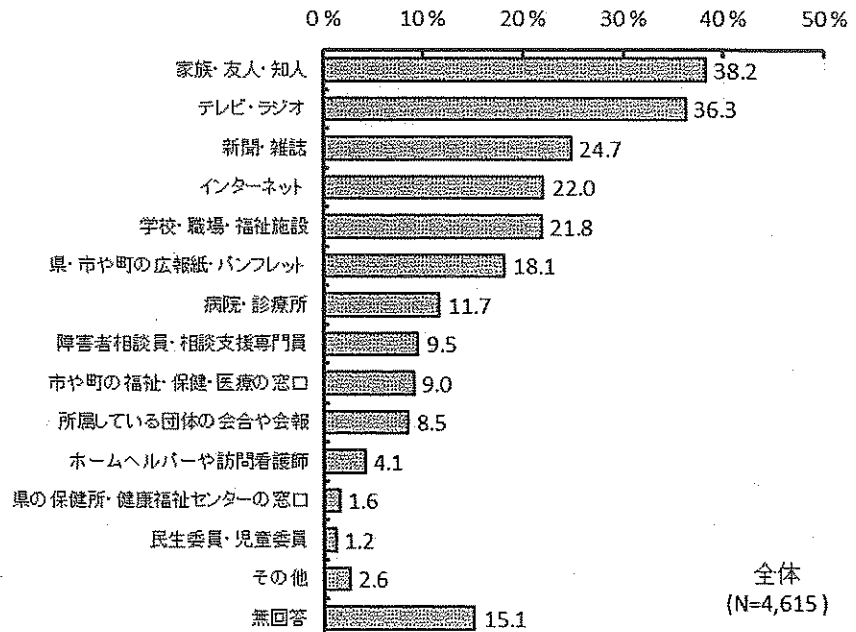
図表123：主な障害種別集計



問28 あなたは、問26のような社会参加のために必要な情報を、主にどこから得ていますか。(複数回答)

必要な情報の入手先は、「家族・友人・知人」が38.2%と最も多く、次いで「テレビ・ラジオ」が36.3%、「新聞・雑誌」が24.7%などとなっています。(図表124)

図表124：全体集計

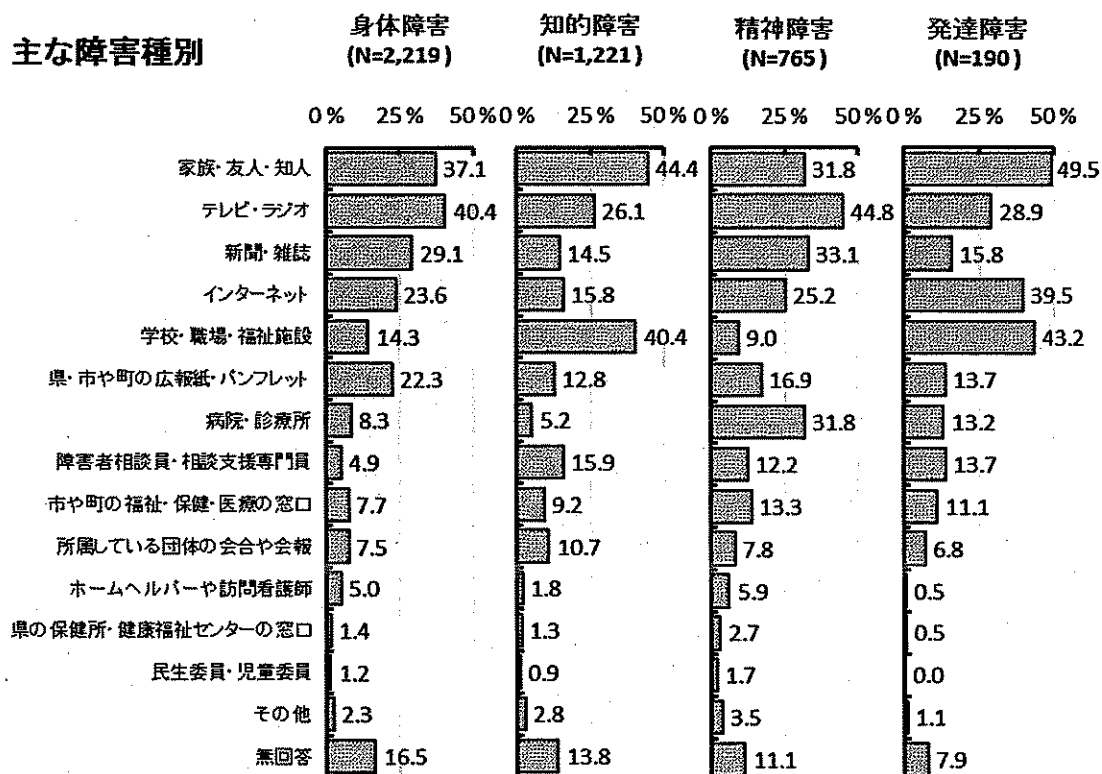


図表125：年代別集計

	調査数	家族・友人・知人	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	インターネット	学校・職場・福祉施設	県・市や町の広報紙・パンフレット	病院・診療所	障害者相談員・相談支援専門員	市や町の福祉・保健・医療の窓口	所属している団体の会合や会報	ホームヘルパーや訪問看護師	県の保健所・健康福祉センターの窓口	民生委員・児童委員	その他	無回答
10歳未満	265	150	32	18	63	165	37	41	31	36	17	8	5	2	6	27
10歳未満 (%)	100.0	56.6	12.1	6.8	23.8	62.3	14.0	15.5	11.7	13.6	6.4	3.0	1.9	0.8	2.3	10.2
10歳代	444	252	99	44	125	277	57	30	45	26	27	4	5	3	4	41
10歳代 (%)	100.0	56.8	22.3	9.9	28.2	62.4	12.8	6.8	10.1	5.9	6.1	0.9	1.1	0.7	0.9	9.2
20歳代	331	172	103	53	123	96	45	28	61	30	38	5	6	1	7	24
20歳代 (%)	100.0	52.0	31.1	16.0	37.2	29.0	13.6	8.5	18.4	9.1	11.5	1.5	1.8	0.3	2.1	7.3
30歳代	381	164	141	82	128	78	66	52	51	43	41	11	12	2	10	51
30歳代 (%)	100.0	43.0	37.0	21.5	33.6	20.5	17.3	13.6	13.4	11.3	10.8	2.9	3.1	0.5	2.6	13.4
40歳代	512	170	186	142	144	105	80	69	76	51	42	24	8	9	26	64
40歳代 (%)	100.0	33.2	36.3	27.7	28.1	20.5	15.6	13.5	14.8	10.0	8.2	4.7	1.6	1.8	5.1	12.5
50歳代	612	178	260	184	177	75	110	95	60	55	59	23	12	9	20	80
50歳代 (%)	100.0	29.1	42.5	30.1	28.9	12.3	18.0	15.5	9.8	9.0	9.6	3.8	2.0	1.5	3.3	13.1
60歳代	645	200	285	209	111	64	162	81	39	63	54	36	10	9	13	92
60歳代 (%)	100.0	31.0	44.2	32.4	17.2	9.9	25.1	12.6	6.0	9.8	8.4	5.6	1.6	1.4	2.0	14.3
70歳以上	1013	341	420	311	61	64	211	85	39	74	76	60	10	14	28	236
70歳以上 (%)	100.0	33.7	41.5	30.7	6.0	6.3	20.8	8.4	3.8	7.3	7.5	5.9	1.0	1.4	2.8	23.3

年代別では、年代が高くなるほど「新聞・雑誌」、「テレビ・ラジオ」が多くなる傾向がみられ、逆に「学校・職場・福祉施設」が少なくなる傾向がみられます。(図表125)

図表 126：主な障害種別 集計

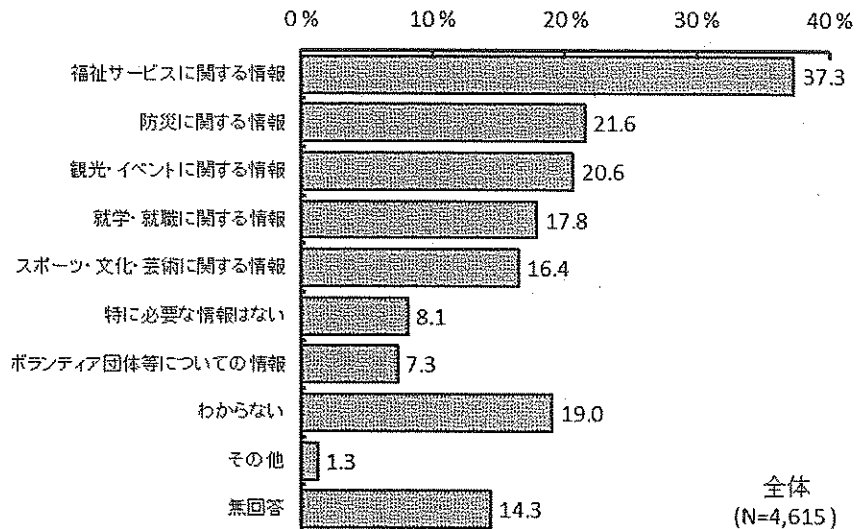


主な障害種別では、全ての種別で「家族・友人・知人との交流」が多くなっています。身体障害・精神障害において「テレビ・ラジオ」が、それぞれ40.4%と44.8%で多くなっています。また、知的障害において「学校・職場・福祉施設」が40.4%と多く、発達障害において「学校・職場・福祉施設」が43.2%、「インターネット」が39.5%と多くなっています。(図表 126)

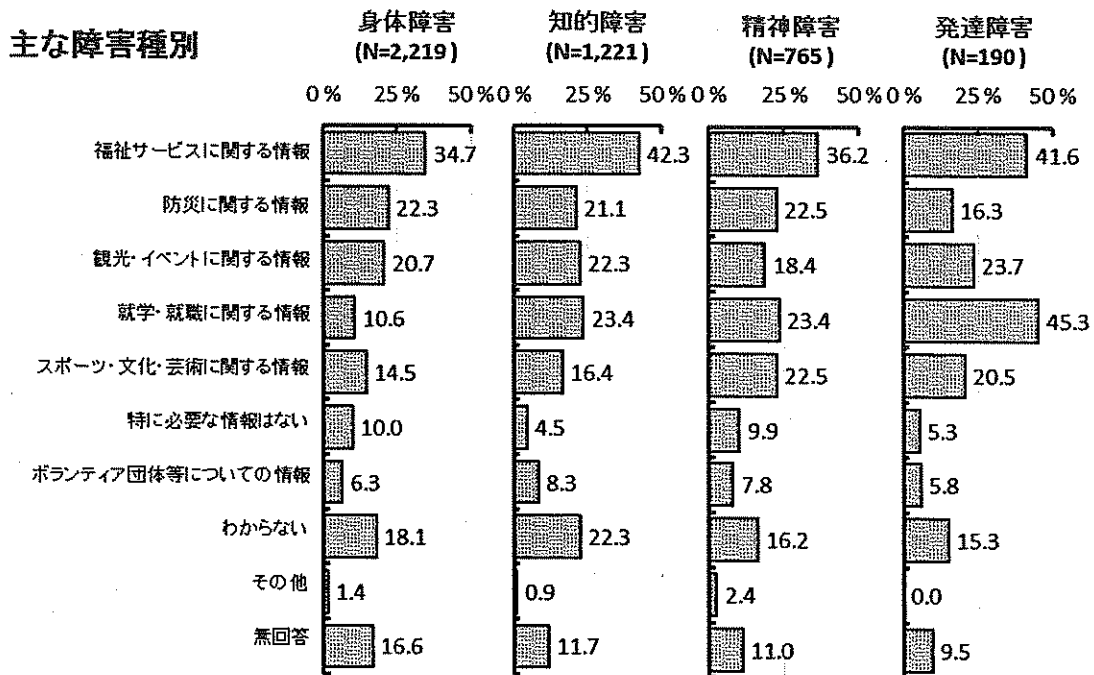
問 29 あなたにとって社会参加の機会を増やすために、今後充実してほしい情報は何か。
(複数回答：3つまで)

社会参加の機会を増やすために、今後充実してほしい情報は、「福祉サービスに関する情報」が37.3%と最も多く、次いで「防災に関する情報」が21.6%、「観光・イベントに関する情報」が20.6%などとなっています。(図表 127)

図表 127：全体集計



図表 128：主な障害種別 集計



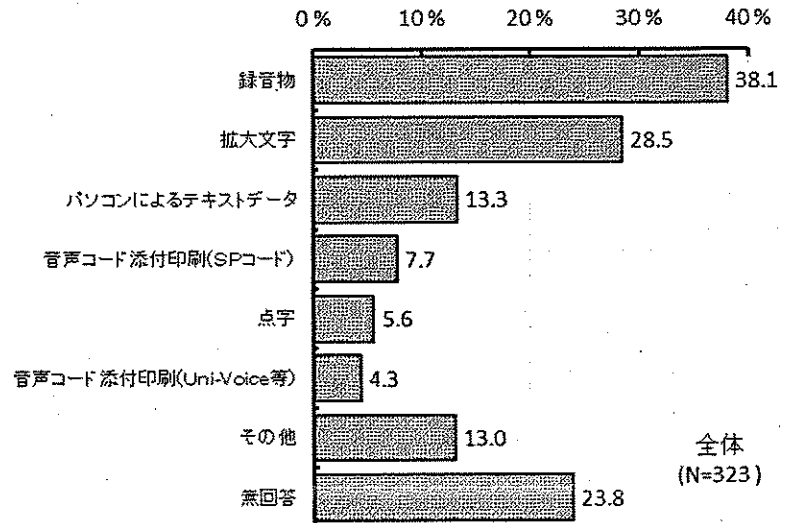
主な障害種別では、身体障害・知的障害・発達障害において「福祉サービスに関する情報」が最も多く、発達障害は「就学・就職に関する情報」が45.3%と最も多くなっています。(図表 128)

視覚障害のある方（問5-2で「視覚障害」と回答された方）にお聞きします。
 問30 あなたは、どのような媒体での情報提供を希望しますか。（複数回答）

情報提供を希望する媒体は、「録音物」が38.1%と最も多く、次いで「拡大文字」が28.5%、「パソコンによるテキストデータ」が13.3%などとなっています。（図表129）

※回答肢「その他」13.0%の中では、「対人」が4.6%と多くなっています。

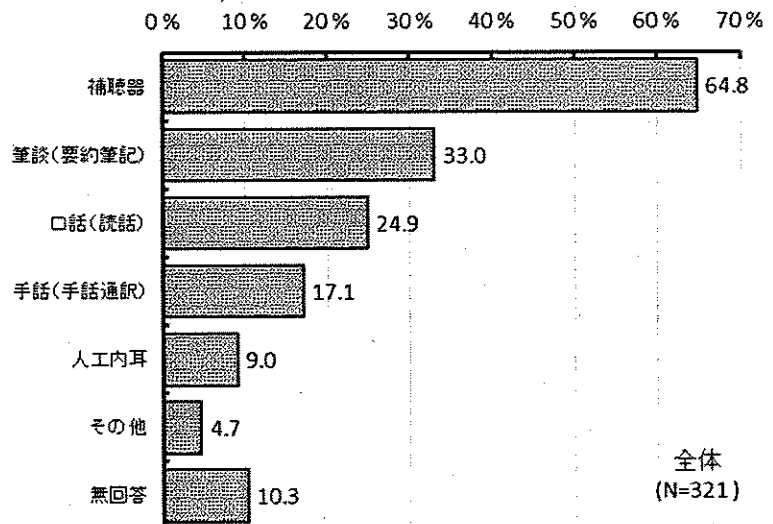
図表129：全体集計



聴覚障害のある方（問5-2で「聴覚障害」と回答された方）にお聞きします。
 問31 あなたのコミュニケーション手段を教えてください。（複数回答）

コミュニケーション手段は、「補聴器」が64.8%と最も多く、次いで「筆談（要約筆記）」が33.0%、「口話（読話）」が24.9%などとなっています。（図表130）

図表130：全体集計

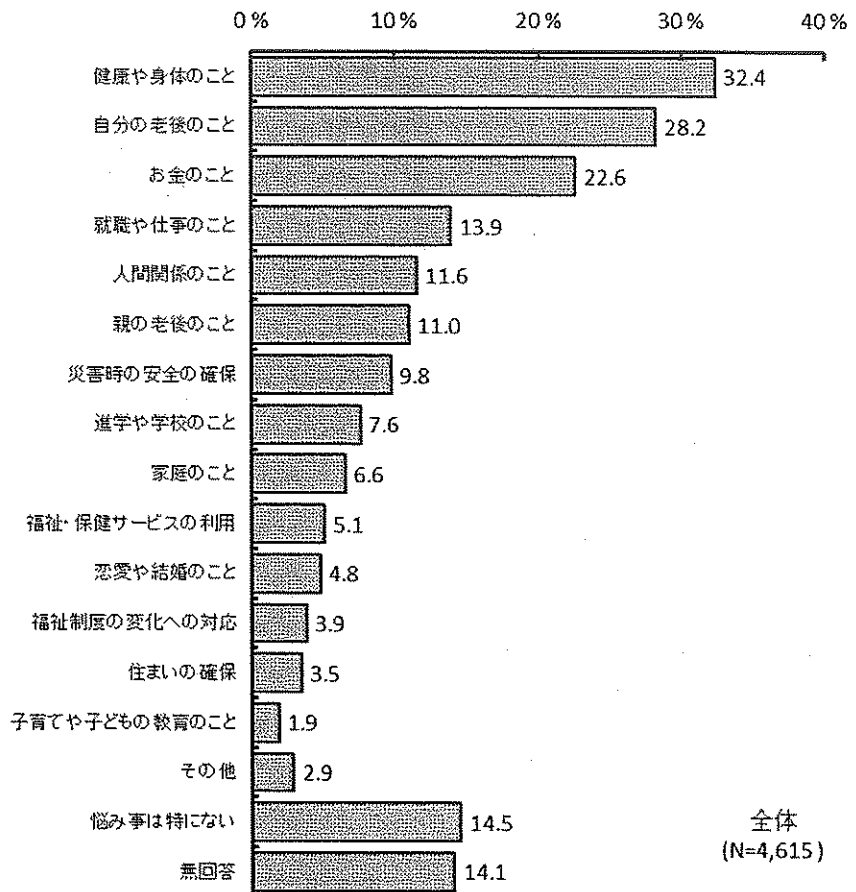


7 悩み事に対する相談について

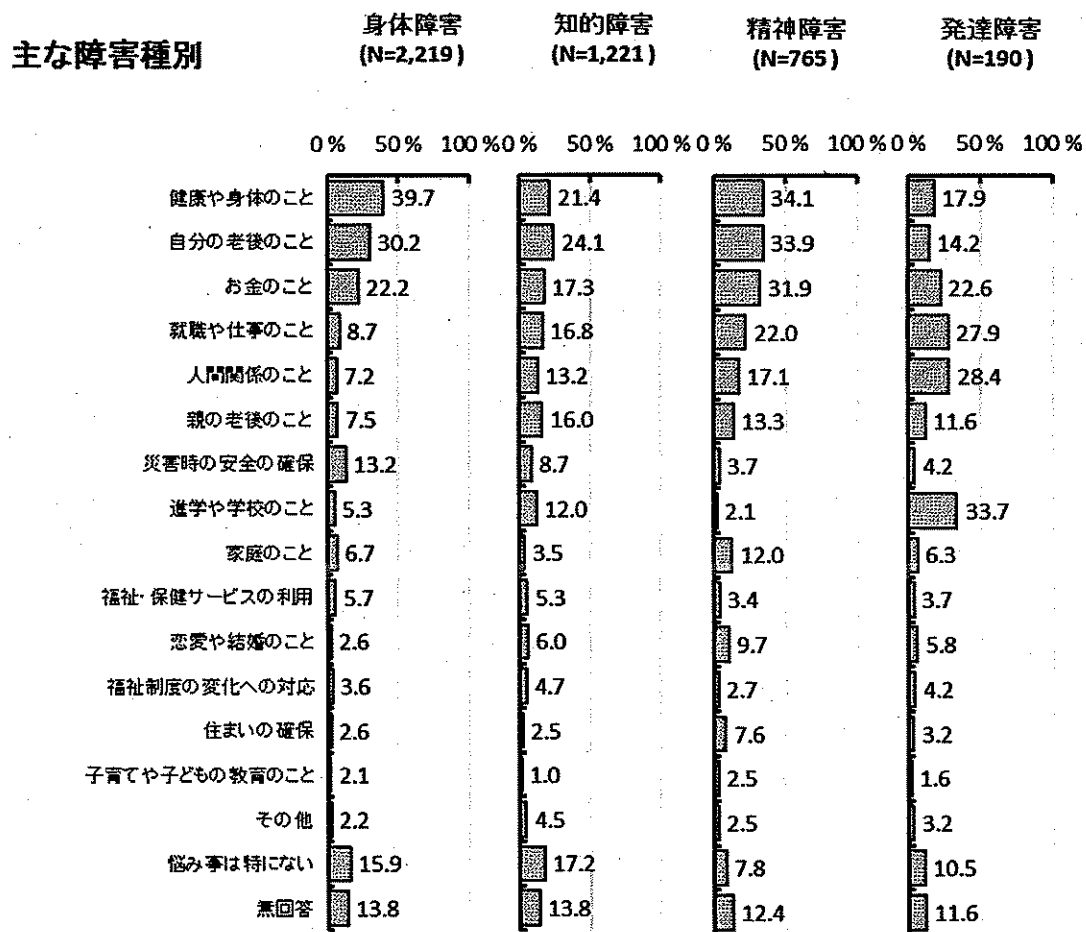
問 32 現在、悩み事がありますか。(複数回答：3つまで)

悩み事は、「健康や身体のこと」が32.4%と最も多く、「自分の老後のこと」が28.2%、「お金のこと」が22.6%などとなっています。なお、「悩み事は特にない」は14.5%となっています。(図表 131)

図表 131：全体集計



図表 132：主な障害種別 集計

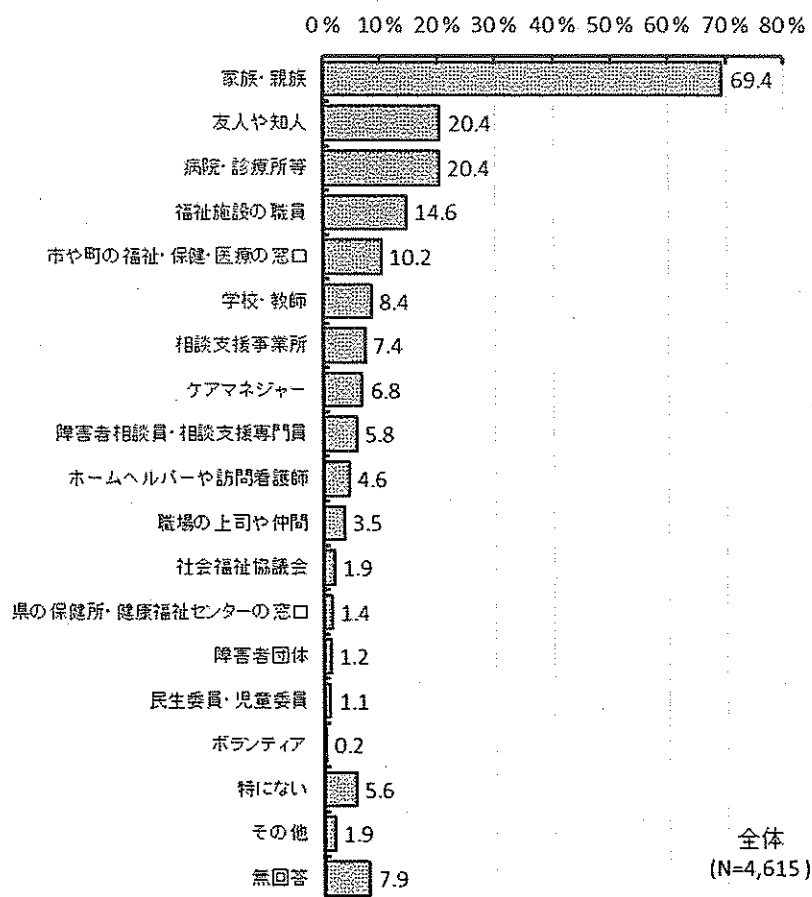


主な障害種別では、身体障害、知的障害、精神障害において「健康や身体のこと」、「自分の老後のこと」、「お金のこと」が多く、発達障害においては「進学や学校のこと」、「人間関係のこと」、「就職や仕事のこと」が多くなっています。また、精神障害では、他の障害種別と比べて「家庭のこと」が多くなっています。(図表 132)

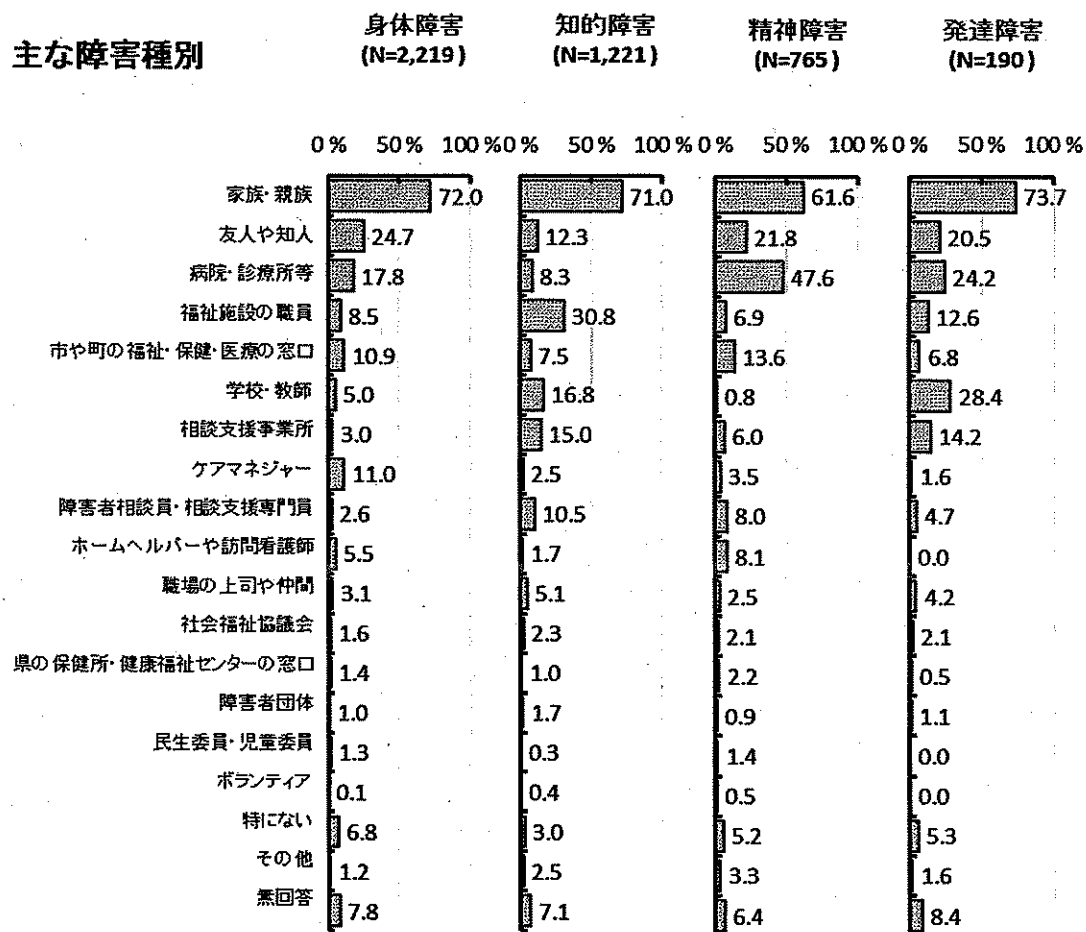
問 33 困った時のあなたの主な相談先はどこですか。(複数回答：3つまで)

困った時の主な相談先は、「家族・親族」が69.4%と最も多く、次いで「友人や知人」、「病院・診療所等」がそれぞれ20.4%などとなっています。(図表133)

図表 133：全体集計



図表 134：主な障害種別 集計

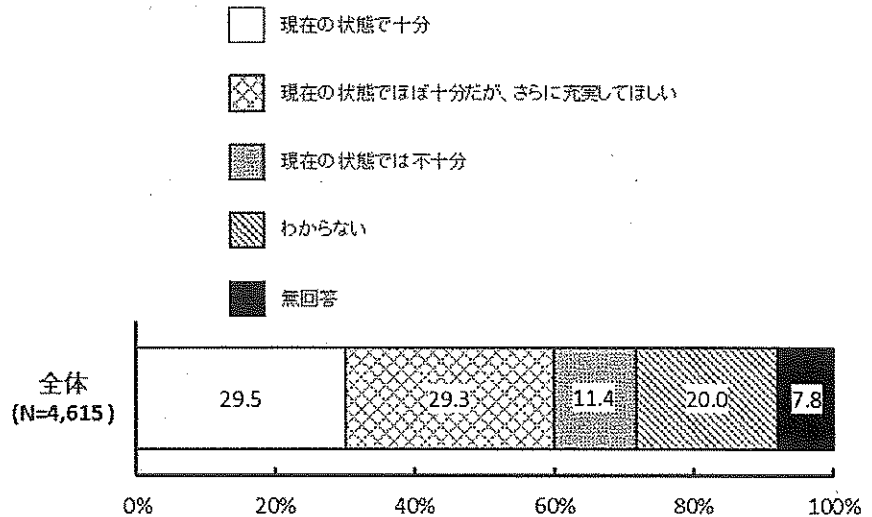


すべての種別で「家族・親族」が6～7割を占めています。また、主な障害種別では、身体障害は「友人や知人」(24.7%)、知的障害は「福祉施設の職員」(30.8%)、精神障害は「病院・診療所等」(47.6%)、発達障害は「学校・教師」(28.4%)が多くなっています。(図表 134)

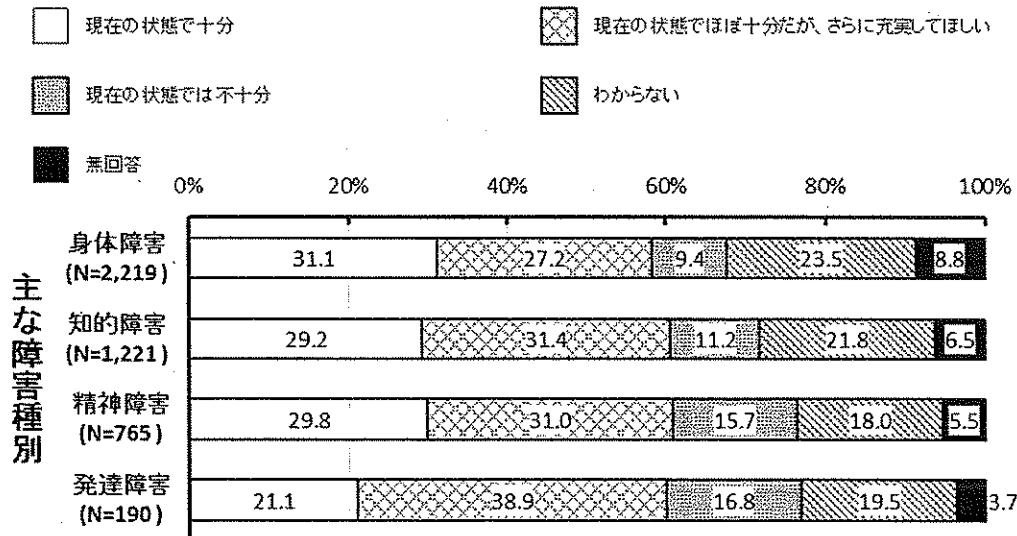
問 34 困った時の相談支援体制について、現在の状態はあなたにとって十分ですか。
(単数回答)

現在の困った時の相談支援体制の状態は十分かについては、「現在の状態で十分」が29.5%と最も多く、次いで「現在の状態ではほぼ十分だが、さらに充実してほしい」が29.3%、「わからない」が20.0%、「現在の状態では不十分」が11.4%となっています。また、『現在の状態で十分+現在の状態ではほぼ十分だが、さらに充実してほしい』は、58.8%となっています。(図表 135)

図表 135：全体集計



図表 136：主な障害種別 集計

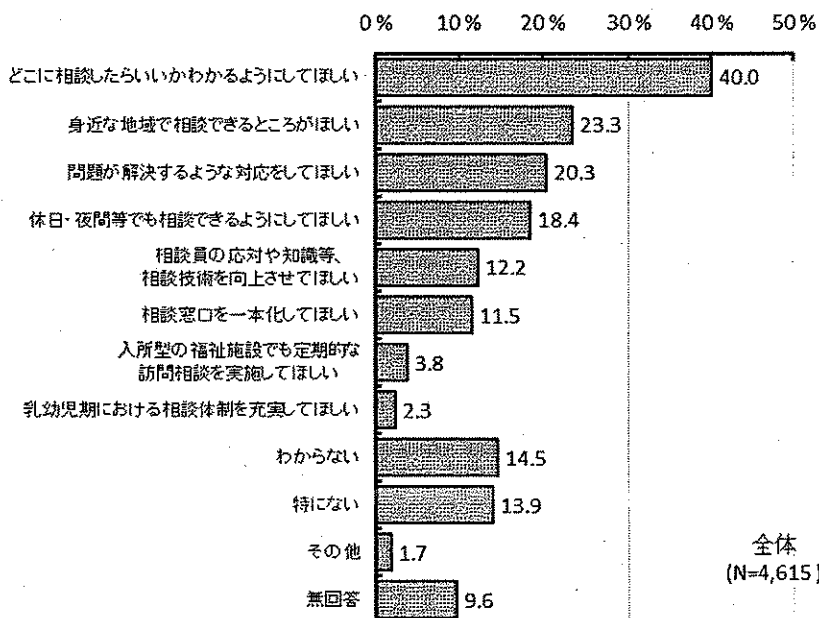


主な障害種別では、精神障害・発達障害において「現在の状態では不十分」の割合が少し高くなっています。(図表 136)

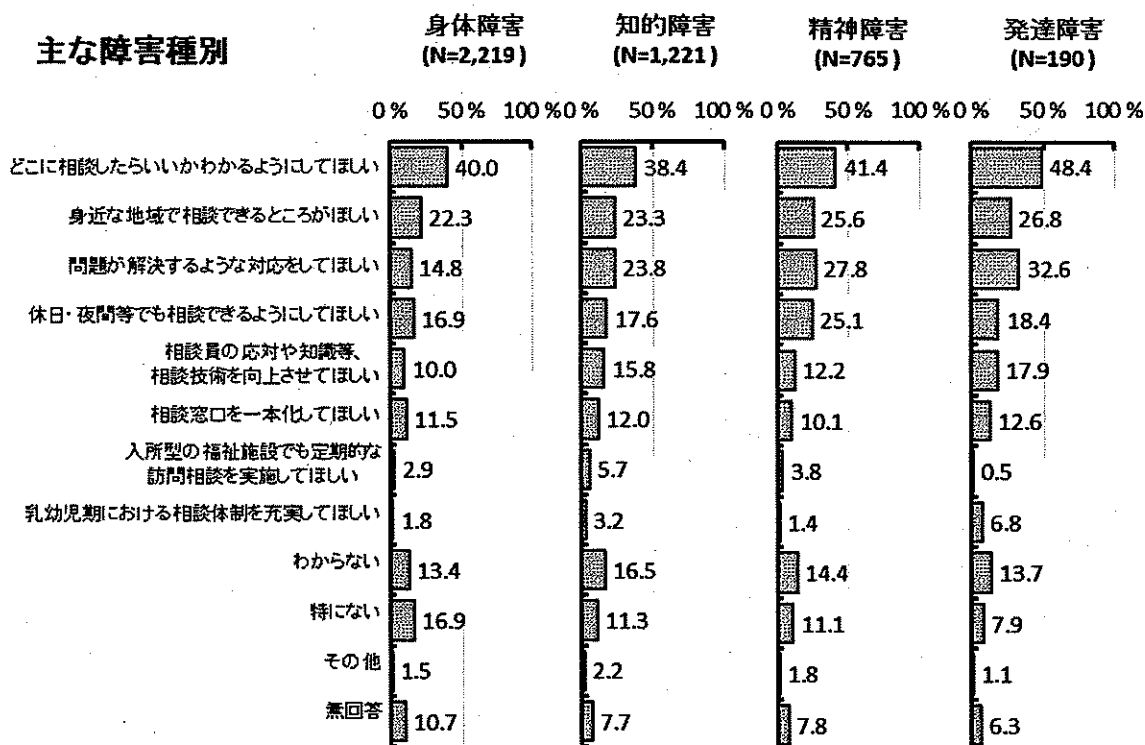
問 35 今後、福祉や生活に関する相談の支援体制として、どのようなことを希望しますか。
(複数回答：3つまで)

今後、福祉や生活に関する相談体制として希望することは、「どこに相談したらいいかわかるようにしてほしい」が40.0%と最も多く、次いで「身近な地域で相談できる場所がほしい」が23.3%、「問題が解決するような対応をしてほしい」が20.3%、「休日・夜間等でも相談できるようにしてほしい」が18.4%などとなっています。(図表 137)

図表 137：全体集計



図表 138：主な障害種別 集計



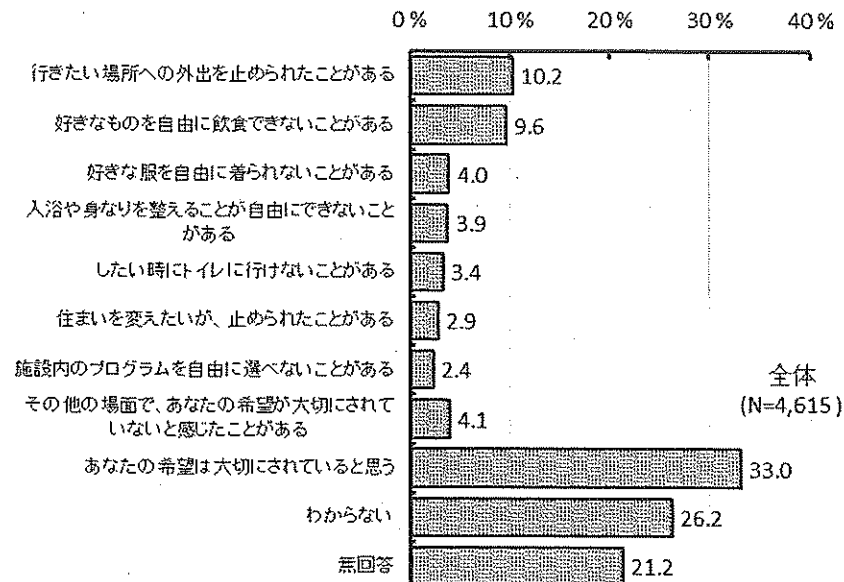
全ての種別で「どこに相談したらいいのかわかるようにしてほしい」が最も多いが、精神障害において「休日・夜間等でも相談できるようにしてほしい」が、発達障害において「問題が解決するような対応をしてほしい」と「相談員の対応や知識等、相談技術を向上させてほしい」が他の障害に比べて数値が高くなっています。(図表 138)

8 その他

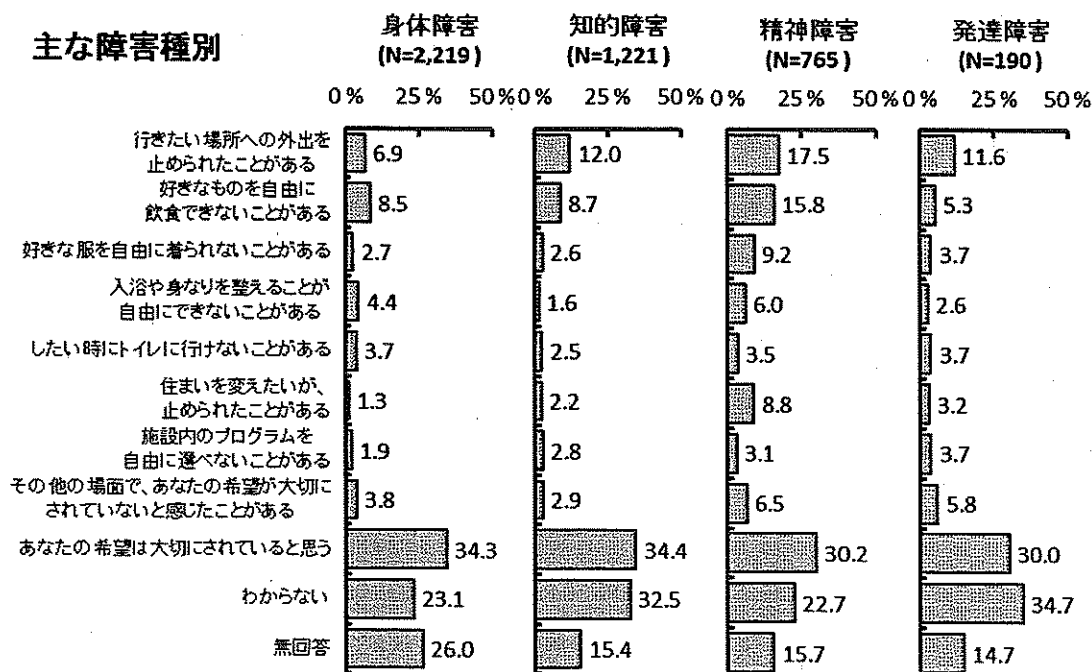
問 36 あなたは、次のような場面等で、理由や十分な説明もなく、あなたの希望や意思が、周りの人に理解（大切に）されないと感じたことはありますか。（複数回答）

「大切にされていると思う」が33.0%と最も多くなっています。理解されないと感じた場面では「行きたい場所への外出を止められたことがある」が10.2%、「好きなものを自由に飲食できないことがある」が9.6%となっています。（図表 139）

図表 139：全体集計



図表 140：主な障害種別 集計

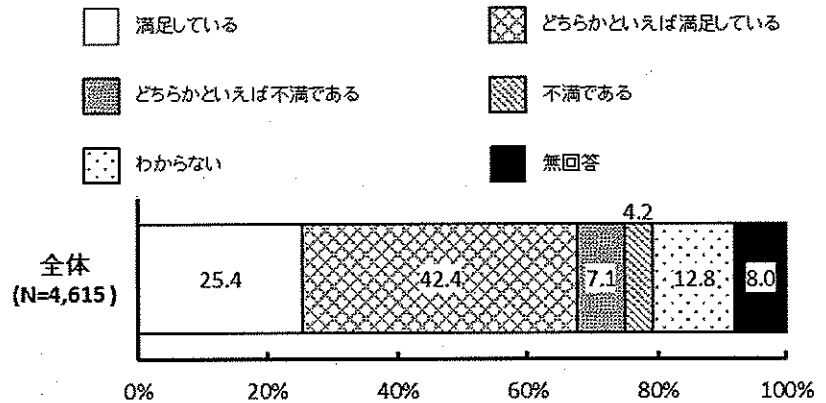


主な障害種別では、全ての障害において「大切にされていると思う」が3割以上と多くなっています。身体障害においては「好きなものを自由に飲食できないことがある」が8.5%と多くなっています。また、知的障害・精神障害・発達障害において「行きたい場所への外出を止められたことがある」が大切にされないと感じたことの中では最も多くなっています。（図表 140）

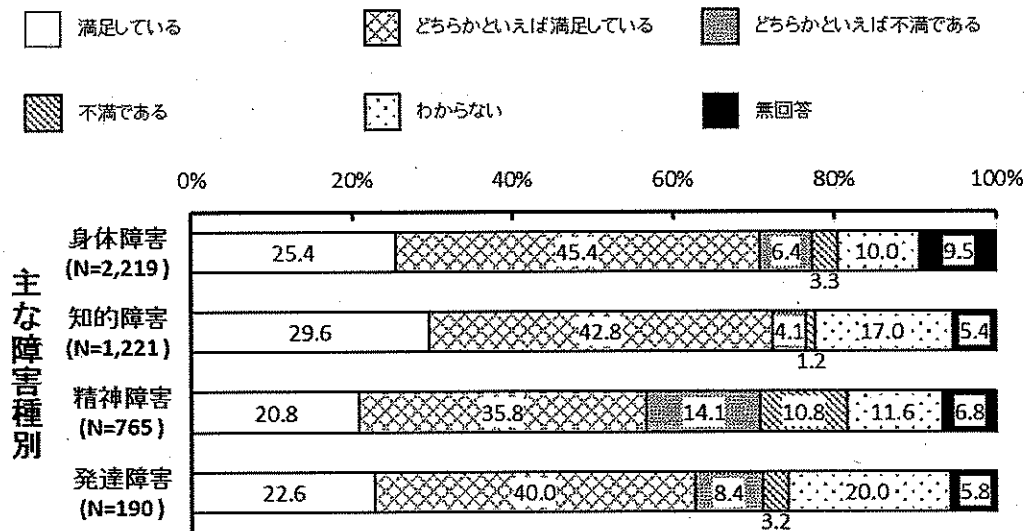
問 37 あなたは、現在の生活に満足していますか。(単数回答)

現在の生活の満足状況は、「どちらかといえば満足している」が42.4%と最も多く、次いで「満足している」が25.4%、「わからない」が12.8%、「どちらかといえば不満である」が7.1%、「不満である」が4.2%となっています。また、『満足している+どちらかといえば満足している』は、67.8%となっています。(図表 141)

図表 141：全体集計



図表 142：主な障害種別 集計



主な障害種別では、知的障害において「満足している」が29.6%と他の障害種別と比べると多くなっています。また、精神障害において「どちらかといえば不満である」、「不満である」を合計すると24.9%であり、他の障害種別と比べると多くなっています。(図表 142)

問37で現在の生活に「どちらかといえば不満である」または「不満である」と回答された方にお聞きします。

問37-2 現在の生活に不満がある理由を具体的に教えてください。

問37の現在の生活への満足度についての設問で、「どちらかといえば不満である」または「不満である」を選択した方が、現在の生活に不満がある理由として記入されていたのは、「行動に制約があること・やりたいことができないこと」が最も多く、次いで「家計・収入・金銭に関すること」、「家族や人間関係に関すること」の順となっています。(図表143)

図表 143：現在の生活に不満がある理由 分類後の件数

(単位:件)	きと行動に制約があること	家事・収入・金銭に関すること	自分の体調・障害・病	家族や人間関係に関すること	就労に関すること	家族とまたは地域で暮らし・結婚含む	入院中のため	福祉制度・サービスに関すること	将来のこと・介護者が
身体障害	35	27	29	16	9	6	2	10	5
知的障害	7	9	0	10	6	2	0	1	3
精神障害	24	18	14	13	18	12	17	6	5
発達障害	3	4	1	3	1	0	0	0	0
その他	0	1	1	1	0	0	0	0	0
無回答	1	3	3	2	1	0	0	1	1
計	70	62	48	45	35	20	19	18	14

(単位:件)	住まいのこと	障害への理解等に関すること	交通手段のこと	障・コアフリー・情報保	医療制度・サービスに関すること	教育に関すること	わからない・特にな	その他	計
身体障害	5	6	4	4	2	1	0	15	176
知的障害	0	0	1	0	2	0	2	4	47
精神障害	8	2	1	1	0	0	0	22	161
発達障害	0	3	0	0	0	1	0	3	19
その他	0	0	0	0	0	0	0	3	6
無回答	0	1	0	0	0	0	0	1	14
計	13	12	6	5	4	2	2	48	423

主な意見（抜粋）

【行動に制約があること・やりたいことができないこと】

- ・住まいをグループホームか一人暮らししたいのに止められるから。自分がレザークラフトという工芸がしたいができないから。仕事をしたいが就職活動を止められるから。
- ・下肢マヒの為、自由に独りで動けない。
- ・本当はアパートを借りて一人暮らししたいが、聴・視覚障害があるので賃貸が難しい。
- ・食事制限、移動制限がある為（歩行の際、見守りが必要な為）。自由がきかない為。

【家計・収入・金銭に関すること】

- ・作業所の給料。
- ・生活保護の制度が年々減り生活が大事であり、何をするにもお金がかかり生活が大変である。
- ・療育手帳を取得したが障害年金受給の対象にならず金銭的に非常に厳しい状態が数年続いている。療育手帳を返納し一般の仕事に戻って収入を得たいと考えている。そのような場合の相談先が良く分からず困っている。
- ・親の介護が大変。収入が少なくて生活が大変。

【自分の体調・障害・病気等に関すること】

- ・頑張っていますが出来ていない事まだあります。特にトイレ。
- ・聴覚障害なので就職活動に不安があります。店などで聞き取れない時があり、何度も聞いてしまう自分が嫌です。職場で電話に出られない。緊急時のアラームが聞こえないので行動ができない。
- ・目が悪いため、買い物や電車に乗るときなど、文字が小さすぎて見えない。電子化が進むが、画面が光っていて見えないのでタッチ操作等も出来ずに買い物も億劫になってしまう。
- ・口に出して言葉を発しないといけない場面が沢山ある。

【家族や人間関係に関すること】

- ・基本的に学校生活は楽しいが時に先生の指導が厳しく学校生活にストレスを感じている点。
- ・社会との交流がない。職場で相手にされない。
- ・対人関係が苦手で集団活動をうまくできない。
- ・家族とあまり仲良くできない。

【就労に関すること】

- ・仕事したいのに仕事できない不満がある。なんでダメだったのか説明がなく当たり障りが無い答えしかないからクレームを言いたいと言える機関が無い。
- ・障害があると正規職員にはなれない。職場で障害の理解を得られない。
- ・自分に合った仕事が見つけれず、この先仕事が見つかるか不安だから。
- ・仕事が見つからない、働く場所がない、社会人として不合格といわれているようで不満、働かないと収入が無い事が切なくて辛い。

【家族とまたは地域で暮らしたい（ひとり暮らし・結婚含む）】

- ・グループホームにいますのが早くひとり暮らししたいです。
- ・家族と暮らしたい。それができなければグループホーム等小人数で静かに暮らしたい。
- ・好きな人と結婚できない。

【入院中のため】

- ・入院中自由にならない事。
- ・入院中につき外出、外泊、面会もすべてダメでずっと檻の中の生活が続いているので何か楽しめる事を企画してほしい。

【福祉制度・サービスに関すること】

- ・介護保険でベッドを借りたいが借りることもできない。包括センターは施設を利用しなければ親身になってくれない。
- ・日祝に行けるデイサービスがない。家で一人の時、家電も携帯もないのでこわい。一人で外出できない（こわくて）。公共の交通機関が精神的に無理。ゲームをやらないとイライラして落ち着かない。
- ・障害者本人や家族に対し、障害者行政サービスの周知を今以上に図ってほしい。療育手帳の存在すら知りませんでした。
- ・都会に比べ、障害者手帳を使える範囲が少ない。就職したくても、そのプロセスが整っていない。

【将来のこと・介護者がいなくなった後の生活のこと】

- ・両親死亡後の自分の楽しい居場所はどこかわからない。どこで生活するのか大変不安である。
- ・1人暮らしなので仕方がないが、もし何か起きたらどうなるのか、自分で知らせられるのか、孤独死にならないか不安。

【住まいのこと】

- ・グループホームに窮屈さを感じる事。
- ・アパートがバリアフリーでない。収納棚が少ない。

【障害への理解等に関すること】

- ・感音性難聴を理解している人は稀。難聴の意思表示しても声を大きくすればよいと思っている人がほとんど。聴覚障害者用の手帳も感音性には対応していない。
- ・職場で上司やパートの人にコミュニケーションをとるように言われ、自分では精いっぱいやっているつもりなのにどうしたらいいのかわからない。だからといって発達障害の事を知られたくない。
- ・身体、知的、精神それぞれ異なる障害であるにもかかわらず世間一般では「障害者」という一つの枠で括られてしまっていてそれぞれの障害に応じた対応をしてもらえないことが多々ある。
- ・今、働いてる職場で自分が障害者手帳を持っているのにも関わらず健常者と勘違いされてしまう。

【交通手段のこと】

- ・近くに店が無い為買い物不便、バスの便も悪い。
- ・病院への行き帰り、移動手段が徒歩なので、大きな荷物の運搬などがなにかと大変。

【バリアフリー・情報保障・コミュニケーションに関すること】

- ・わかりあえる場が少ない、わかりあえる仲間が少ない機会がない。
- ・公共機関・施設でコミュニケーションができる人が増えてほしい。もう少し設備を配慮するようにお願いします。

【医療制度・サービスに関すること】

- ・医療機関が少なく、特に目に関する医院がないと治療にとっても不安。
- ・希望のレベルの医療機関が無い。

【教育に関すること】

- ・発達障害の軽度の子どものための学校のクラスがほしい。

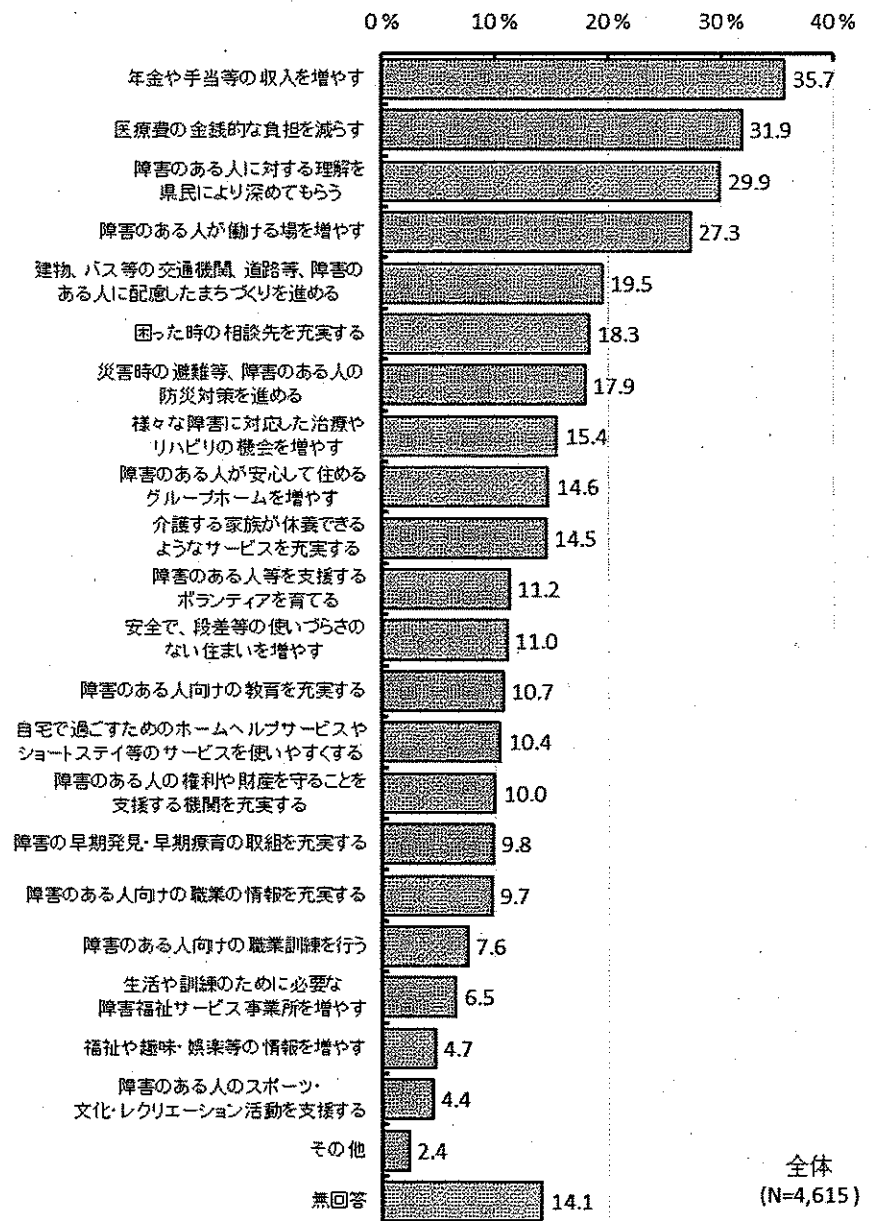
【その他】

- ・仕事を持つての生活、趣味などの活動をしたい。
- ・相談したい相手がいない。困ったときや不安なことを誰に相談したらいいかわからない。
- ・学校の人数が少なく、家も遠いので友達と遊ぶことができない。人との関りが少ない。
- ・行動範囲がある程度決まってしまう、それよりも外に行く事がないので目新しい物もなくつまらない。近所の目を気にするあまり好きなように散歩もできない。よってほぼ家に閉じこもりになってしまい何もできない。

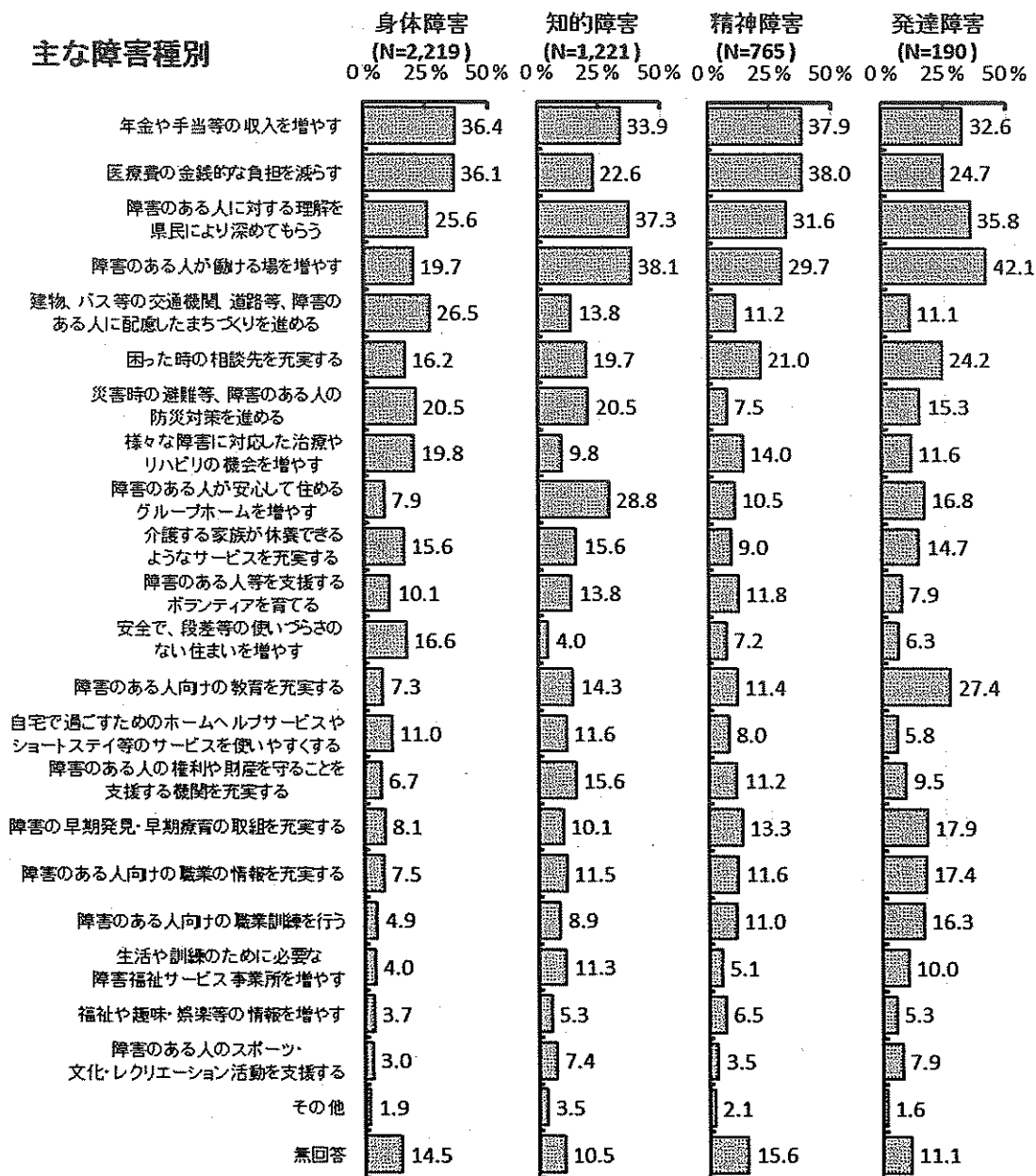
問38 今後、行政に力を入れてほしいことはどのようなことですか。(複数回答：5つまで)

今後、行政に力を入れてほしいことは、「年金や手当等の収入を増やす」が35.7%と最も多く、次いで「医療費の金銭的な負担を減らす」が31.9%、「障害のある人に対する理解を県民により深めてもらう」が29.9%、「障害のある人が働ける場を増やす」が27.3%などとなっています。(図表144)

図表 144：全体集計



図表 145：主な障害種別 集計



主な障害種別では、身体障害・精神障害において「年金や手当等の収入を増やす」、「医療費の金銭的な負担を減らす」が多く、知的障害・発達障害において「障害のある人に対する理解を県民により深めてもらう」、「障害のある人が働ける場を増やす」が多くなっています。また、身体障害においては「建物、バス等の交通機関、道路等、障害のある人に配慮したまちづくりを進める」(26.5%) も多くなっている。知的障害においては「障害のある人が安心して住めるグループホームを増やす」(28.8%)、発達障害においては「障害のある人向けの教育を充実する」(27.4%) が、他の障害種別に比べると多くなっています。(図表 145)

○ 選択肢だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望がありましたら、以下の欄に自由にお書きください。

問 38 の今後行政に力を入れてほしいことについての設問と関連して、選択肢では表現しきれなかったことや、意見・要望として自由記述欄に記入されていたのは、「障害福祉サービス等に関すること」が最も多く、次いで「この調査に関すること」、「障害の理解・権利擁護に関すること」の順となっています。(図表 146)

図表 146：自由記述 分類後の件数

(単位:件)	障害福祉サービス等に関すること	この調査に関すること	障害の理解・権利擁護に関すること	福祉制度・施策に関すること	経済的支援に関すること	就労・職場に関すること	教育に関すること	行政機関の対応・施策に関すること	現在の生活に関すること	まちづくり・理想の社会に関すること	職員に関すること	その他要望	介護者がいなくなった場合の生活のこと
身体障害	36	25	17	21	24	17	9	16	16	11	12	6	9
知的障害	43	24	13	15	9	12	14	12	9	13	10	5	12
精神障害	8	11	10	5	7	10	2	3	3	1	2	11	0
発達障害	8	2	6	1	3	2	5	0	0	2	1	2	1
その他	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
無回答	2	5	2	3	0	0	1	0	0	0	1	2	2
計	98	68	49	46	43	41	31	31	29	27	26	26	24

(単位:件)	情報保障に関すること	バリアフリー・ユニバーサルデザイン・その他道路や設備に関すること	相談支援体制に関すること	医療に関すること	家族支援・負担軽減に関すること	交通機関に関すること	防災・防犯・交通安全に関すること	人間関係・友人に関すること	住まいに関すること	ひとり暮らしに関すること	特にない・わからない・満足している	その他	計
身体障害	9	15	4	9	6	8	9	6	4	0	10	43	342
知的障害	6	1	7	2	8	6	3	3	2	0	4	18	251
精神障害	3	1	4	4	0	1	0	3	2	1	2	9	103
発達障害	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	2	39
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7
無回答	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	3	26
計	20	18	16	16	15	15	14	12	8	1	17	77	768

主な意見（抜粋。一部の意見は自由記述の中から重要な部分を要約しています）

【障害福祉サービス等に関すること】

- ・将来、高齢者になった時、年金で暮らせる老人ホームを作ってほしい。増やしてほしい。
- ・土日の放課後デイサービスを充実させて欲しい。土日に利用できるところが少ない。家族で出掛けることが難しく、兄弟にも我慢させている状況なので…。
- ・親が高齢になったときに一緒に入れる施設を確保してほしい。子供だけ施設へ入れるのはお互いに寂しいですし、一緒ならどちらかが倒れても誰かに気付いてもらえるから。そういった施設が欲しいです。
- ・支援学校を卒業した後の通える生活介護等の事業所が見つからなくて困っています。見学に行っても定員一杯で入所できないと言われる。
- ・田舎は老人向けサービスは充実しているが児童のサービスは足りません。
- ・障害児が行ける公園や施設が少ない。普通幼稚園などの一時預かりは、数回使って拒否されました。障害児は小さくても定型発達児とは全く違います。一ヶ所でもいいです。障害児のみが入れる居場所があれば。

【この調査に関すること】

- ・質問が多すぎる。もう少し少なくしてほしいです。
- アンケートを子供向け、大人向けに分けたほうが良いと思う（質問が子供向けではないものが多い）。
- ・福祉制度・支援の選択肢がどのようになっているか図でわかるようなものはないか？。文章を追っているうちにわからなくなる。このアンケート20Pの用語説明はありがたいがもう少しわかりやすいと嬉しい。単語・表現がかたい事が福祉のハードルを高めていると思う。
- ・現在精神病院に入院中で本人の意思を確認出来ない。面会しても聞いたことには少し答えるが自分から進んで話をしない。
- ・知的障害のある息子が障害を自覚することが辛いようなのであえて息子の目に触れさせないよう親が回答しました。
- ・このアンケート調査結果がどう使われてどんな事に反映されたかを今後わかる形で知らせて欲しいです！。何が変わり良くなったのか教えて下さい。

【障害の理解・権利擁護に関すること】

- ・障害者だからやめて下さいなど、こちらが出来ることでもダメと言われるのは辛い。スポーツジムなども健常者のことや利益の事ばかり考えず、もう少しやれる場を作ってほしい。
- ・我が子は自閉症児なので見た目ですぐに障害者と理解されず苦労している。
- ・見た目障害がわかりにくいので他人に誤解され本人が悲しい思いをしたり親がフォローする必要がある。第三者も悪気があるわけではないので、ある意味難しいなど思っている。
- ・バリアフリーだけでなく人の暖かさこそ障害者には大切です。「発達障害などあっても愛されて育った子と邪険にされた子ではすごく違う」と娘が感じたことを教えてくれました。障害者を持つ家族は本当に大変です。家族が愛を持てるように支援は大切だと思いました。障害者を隔離する社会では、どう接したらいいのか学ぶことができない、私もそうでした。
- ・親に対して発達障害の理解を深めてもらいたい。わがままや、あまえと判断されることもあるから辛い。
- ・知的障害者は障害者なのに社会では、身体・聴・ろうの方々には比べなかなかな障害を理解しにくいのではと感じています。
- ・若い人より年のいった人の方が障害者に対して冷たいと思うことがある。

【福祉制度・施策に関すること】

- ・障害者手帳のカード化を強く希望。現状のサイズだと微妙に大きく、財布の中に入れられない状態である。
- ・福祉サービスの利用者負担の上限が、現在は2段階ですが、二つの差があまりに開き過ぎ。
- ・内部疾患であるため手帳を見せて無料で利用する時に気まずい目で見られないかが心配な時もあります。
- ・成年後見人制度を福祉協議会など公的機関で進めてほしい。
- ・本人は重度の知的障害で、福祉サービスなどの手続きは到底自分ではできません。個人情報共有してかまわないので、簡単に必要なサービスや支援が受けられるようにしてもらいたいです。
- ・医療費支援について、自動償還払いでなく東京都のように自己負担分のみ窓口で支払うようにしてほしい。

【経済的支援に関すること】

- ・医療費申請を東京都などのように窓口支払いを自己負担で済むようにしてほしい。
- ・障害者が大病院受診時の特別料金の徴収負担が大変、なくしてほしい。初診時の五千元は無理。紹介状なしでも受診できるようにしてほしい。
- ・1人親にとっては障害年金だけではとても苦しい。児扶手もないと困るくらい。少しでも支援してくれると助かります。
- ・障害年金の等級が変わる事が多いので収入が安定しない
- ・特定疾患（難病）への医療費支援はとても助かっています。一部自己負担も市から支援をいただきありがたいと思っています。引き続き支援くださるよう継続をお願いします。

【就労・職場に関すること】

- ・私のような身体障害者で仕事は健常者と同じようにできるけど体力がない人はどこで働けばいいのか。健常者と同じ内容で時短で働ける仕事があればと思います。障害者雇用と難しく考えるのではなく、ただ障害者雇用（短時間勤務）をしてくれる会社が増えたらいいなと思います。
- ・製造業の仕事（パート）をしているが、能力があるほうなのに、正社員として登用してくれない。
- ・社会において障害のある人に働きやすい環境づくりをしてほしい。上司だけが障害を受け入れていても一緒に働いている人達が分かっていると意味がない。
- ・公務員の障害者雇用に関してもう少し門が開かれると良い（民間に比べて少ないと報道があった）。
- ・一般就労に向けて企業などへ面接や応募の機会があるのですが、全て精神障害者手帳を持っているためお断りされる事が多く、精神障害への理解が企業側に分かってもらえず、就職の機会を失っている状態です。

【教育に関すること】

- ・人工呼吸器使用者が付き添いなく学校へ通学できる環境を整えてください。
- ・具合の悪い子どもでも学校での授業がオンラインで受けられて単位習得ができる学校作りをしてほしい。
- ・特別支援学校の増設・拡充を望みます。高等学校などで定員割れが続いているような学校の統合を積極的に行い、その校舎を特別支援学校にしていくことがコスト面などの点においても有益なものと思われます。
- ・沼津市の特別支援学級の知的学級と自閉・情緒学級の区別が曖昧。自閉・情緒学級の児童生徒が適切な学習を受けられているとは思えない。知的学級の児童生徒の学習についても、各自のレベルに合わせたものにする工夫が必要。進路先の選択肢が少ないことも課題。評点をつけないことで、普通高校の受験の機会を奪っているのではないかと感じることもある。
- ・どうしても体育の成績が低くなってしまふ。実技の方では頑張っても人並みに行かないのでいつも成績が低い。成績は進学にも響くので理解して欲しいという考えがある。ですがそれは差別思われてもおかしくないし、自分でも普通の人と差別だと言うのではないかと思う。それは当たり前だと思います。でも頑張っても無理なものは無理なので配慮して欲しい。言ってることが矛盾してるのは自分でもわかっています。

【行政機関の対応・施策に関すること】

- ・特定医療費受給者証の更新手続きが繁雑。今少し簡素化できないでしょうか？
- ・民生委員や児童委員は、全く信頼していない。口が軽い、人間質的には大変疑問あり。まず人間育成から。そうでなければこの制度はいらない。
- ・区役所の窓口がどこに行ったらよいか分かりにくい。障害別、書類別で窓口が違いすぎる。わかりやすく表示してほしい。区役所に障害の書替え等で出向く時、近い物は二回行かなくて良い様まとめてほしい。
- ・県や市の対応は随所に遅い、不十分と感ずることがあります。担当者で差が出て不公平が生まれないようにお願いいたします。
- ・15歳で事故に遭い入院・手術をしましたがその時のカルテ等が無く障害年金の手続きができなかった。35年も麻痺があり左手左足が不自由なのにカルテがなければダメなんて。国や行政は話を聞いてくれない。

【現在の生活に関すること】

- ・新型コロナウイルスでさまざまなイベントが中止になっている、早く終息してほしい。
- ・コロナ感染拡大防止のためマスク着用が当り前の現在、難聴で口の動きを読み取ってコミュニケーションをとっている自分にはマスクをしている人との会話は困難で生きづらさを感じる。
- ・今までずっと介助してくれた夫をなくし、不安と悲しみと孤独に耐えるのが大変で今後どう生きていけばいいのかわからない。生きがいがない。社会に還元したくても自分の体調でできないので精神的にストレスを感じて苦しくなる。
- ・母の事で振り回されるのは困ります。早く施設に入らせてください。
- ・通所施設の職員の方々に良くしていただき、努力に感謝しています。私自身が高齢に近づいてきて介護する自分自身、家族、本人、皆が健康安全でいることが、最低条件と常に心がけています。

【まちづくり・理想の社会に関すること】

- ・助成金目当てでやっている障害者施設や、二トになるために障害者手帳をもらった人は、厳しく罰して良いと思う。
- ・障害者でも安心出来る世の中であってほしい。
- ・地域の人たち、子供たちと交流を持てる場をもっと増やしてほしい。息子（障害児）のやれる事、できない事、得意な事、得意じゃない事など地域の人たちに知ってもらえる機会があると良いなと思います。

【職員に関すること】

- ・病気で入院をし、高額医療の手続きをする時、事務の方がなかなか手続きをしてくれず、辛かった。病院の職員に言葉の暴力を受けたのは悲しかった。あってはならない事だと思う。
- ・社会福祉課の職員の誤った判断により受けられるべきサービスが受けられないという問題を解決していただきたい。職員の教育をして頂きたい。
- ・障害者年金の事が詳しく知りたくて役所に聞いたがまったくわからない。もっとわかりやすく説明してほしい。不親切だと思った。
- ・入居中のグループホームで資格や教育を有している人は責任者のみ。それ故、障害者への対応の不備を感じます。資格でなくても一定の講習や教育を経て採用するよう施設に義務付けていただきたい。
- ・もっと現場（学校の先生、放課後のデイサービスの先生）の意見をきいてほしい。

【その他要望】

- ・電話の声が聞き取れなくて相手の声が文字になって、それを見て相手と話しができるような電話がほしい。
- ・死産（臨月）が原因でうつ病になってしまった、私のような人が増えぬよう死産後のグリーフケアは大切、保健所の一か月訪問のように同じケアが必要。
- ・自分はアルコール依存症ですが、現在は回復しております。日本はアルコールに対して寛容な文化ですが、危険なドラッグであるということを、国や保健機関がもっと公に説明するべきだと思います。アルコールによる障害者の増加を事前に食い止める働きが必要だと考えています。
- ・習い事をさせておりますが、健常者と一緒のクラスです。不器用で、コミュニケーションが取れず、なかなか周りについていけません。障害者枠のある、スポーツ教室等があれば、有難いです。
- ・両親に対してサービス内容の具体的説明会が欲しい。障害者の親たちが困っていることを話し合う機会を作って欲しい。
- ・障害、不登校、ひきこもり、悩みを持っている人、仕事をしたいけど上手くできない人など、家にいる人など年齢関係なく、交流を増やしてほしい。とにかく交流をして楽しくいたい。
- ・もう一生治らない障害になって、もう死ぬしかない毎日思ってます。お金の不安、心のメンタルをケアしてくれる支援機関があればと思います。

【介護者がいなくなった後・介護ができなくなった場合の生活のこと】

- ・親も高齢化し親なき後子供の世話など兄弟、親戚に負担がかからぬような生活場所が欲しいです。
- ・重度発達、知的障害者で、自閉症、てんかんもある。両親が高齢になり後見人制度の利用を考えなければならぬ。できれば分かってくれている姉に後見人になってもらいたいが、第三者の人がなったら怖い。
- ・親が亡くなったあと子供がどうやって生活していくのか心配、その為の情報をもっと早くから知っておきたい。
- ・親が亡くなった後の日常生活が心配。事前にショートステイ等で家以外の場で生活する訓練をしたいのだが、施設、サービスが不足しているよう利用することが出来ない。日中一時支援も休日はいっぱいで必要な時に利用できず困っている。親から離れた場での障害者の生活について福祉の充実を希望します。

【情報保障に関すること】

- ・自分たちで治療するため、医療情報などを学ぶ機会が欲しい。ネット会議やネット動画、セミナー、意見交換会などがあると助かる。
- ・行政で行ってる、手当・サービスなど、名前が分かりにくいのもっと分かりやすくして教えてほしい。どんな手続きをどこでどのようにするとか、今現在受けられるもの、この先受けられるもの、などトータルで見通せるような内容の冊子みたいなのがあると分かりやすい。
- ・相談支援所（ケアマネ）が少ない。もっと積極的に情報を発信して欲しい（HP、広報、SNS）。
- ・就職先や求人情報など、広報紙などに記載してほしい。
- ・将来的にグループホームを考えていますが、どこに相談してよいのかわからない。幅広く話ができる所が、普通にわかるようなポスター・冊子を精神病院に置くことはできないのか？。

【バリアフリー・ユニバーサルデザイン・その他道路や設備に関すること】

- ・選挙の時、漢字にルビをふると同時に、写真に○をつけるなど自分で書けるようになると良いと思う。
- ・点字ブロックを増やしたり視聴覚障害者への配慮をしてほしい。手帳がなくても聞こえの悪い人や色覚異常があつて信号が見づらかったりするのでそういう人にも何か対策してほしい。ヘルプマークは持っていますが、同じようなマークが欲しい。
- ・障害者用トイレにおむつ交換台がないところがある、サービスエリアにお湯のサービスがあると良い。
- ・障害者駐車スペースに障害でない人が100円ジョップで買った車いすのシンボルマークを付けて堂々と車を止めている。登録番号制にして違法者追放してほしい。
- ・バスの整理券No.が緑内障のため見えない。紙は白紙に黒文字、それもほどほどの大きさでお願いしたい。
- ・ヘルプカードがもらえるようですが大き過ぎます。妊婦の方みたいに缶バッチがあると利用しやすいです。
- ・少しのウォーキングを日課としているが、つまずいての転倒が怖い。道路にはみ出した植木、排水口蓋の段差、割れ、すきま等。

【相談支援体制に関すること】

- ・生活の支援や維持について、相談し解決に向け支援してくれる場所の所在の明確と活動をお願いしたい。
- ・土日祝に相談できなくて困る時があります。そういう時どうしたらいいのか話を聞いてくれる所が欲しい。
- ・ひきこもりになった時、病院・保健所に相談に行っても、相談にのってくれなかった。ただ「病院に連れてきてください」というばかり。病院へ連れだせないからひきこもりが長引いてしまい手遅れになる。
- ・相談の窓口が多い為どこに相談していいかわかりづらい。一本化するように徐々に統一して欲しい。

【医療に関すること】

- ・どこの病院の何科に診察に行けばよいのかかかりつけ医院で明確にしてくれない。
- ・病院など連れていくのが大変な子に自宅診察をできるようにしてほしい。
- ・年金受給の為の診断書を地元か総合病院でも扱ってもらいたい。浜松まで通うのは大変です。
- ・精神科はどこの病院も初診予約は一ヶ月かかる。話を聞いてほしくても臨床心理士がいる病院が少なく薬だけもらうことになる。特に未成年は診断をつけてもらえない。もっと分かり易くしてほしい。
- ・病気は治るのか治らないのか、治るまでの道筋を教えてください。

【家族支援・負担軽減に関すること】

- ・介護介助する家族の心のケアにも目を向けてほしい。1人に負担がかかりすぎても言えない方が割と多いと思う。
- ・親の負担（付添保育や通学）を減らし、働ける環境づくりをしてほしい。
- ・障害児のお世話をする、主に母親のケアが何よりも大事だと感じます。障害児の母は孤独感と介護等での疲れから愛情を持ってお世話出来ない時もあります。親の、愛のない態度は子供にはすぐに伝わります。すると子供は反抗的になり、泣く、奇声をあげる。など、手のつけられない状態になり、親は益々、声をあげる等、自分の障害児である子供に対する向き合い方に自己嫌悪を感じ、常に情緒不安定です。

【交通機関に関すること】

- ・バス停をわかりやすくして欲しい。乗換無しで1本だけで行けるように支援学校の充実を増やして欲しい。
- ・今は車で買い物や気分転換ができていたが、運転ができなくなった時の事を考えると絶望的になる。バス停は遠く坂が多くてどうなるかと思う、一人暮らしなので。
- ・田舎に住んでいるので両親が免許を返納した後が心配。
- ・学校の通学方法も、親の送迎が必要なので、家から学校、学校から家への移動を支援してほしいです。スクールバスもありますが、乗り場まで親が送迎しています。なんとか家までお願いしたいです。
- ・バスの乗り降りがもう少しゆるやかになれば本当に幸せです。

【防災・防犯・交通安全に関すること】

- ・地震が起こった時、耳が不自由な人は音がわからないかわり、体や物が揺れればわかりますが、サイレンなど、わからないので道路側と柱の上に青ランプを付けてほしい。高齢者は耳が遠いから聞こえない。
- ・発達障害(ASD, ADHD)のため、歩くこと自体は可能でも、何か災害などが起きた時には避難所まで歩くことも避難所で過ごすことも実質不可能だと思います。どうして欲しいかと問われても具体的に答える事が難しく、歯がゆいのですが対応して下さる方が、理解のある人だといいなという思いです。
- ・感覚過敏の激しい発達障がい者には世の中の多くの場所で怖くなってしまったり、パニックになってしまいうことがあるので、そういうときの避難所がほしい。(静かでごちゃごちゃしていないシンプルな空間)。
- ・避難所を利用しないと食料や支援が貰えないとの噂をきいた。障害の為、避難所に行きたくても行けない家族の事を理解してほしい。

【人間関係・友人に関すること】

- ・人にはそれぞれの能力にあった居場所があることも大事。普通の人の中に入れは孤立するだけ。同じ仲間友達を作ることも大事。人も動物も縄張りに入れば安心、縄張りから離れれば不安。
- ・21年間仕事をしましたが、当時の人間関係が上手くいかなかった。親として、もっと手助けをすればよかったと後悔しています。障害者は、雇用するほうも、されるほうも大変だと思いますが、状況の改善が出来れば良いですね。

【住まいに関すること】

- ・障害年金収入のみだとローンが組めない。住居が老朽化しているため、集合住宅を借りたいが、連帯保証人がいない。
- ・施設と一人暮らしの間のような場所があると良い。

【ひとり暮らしに関すること】

- ・パニック障害で、症状として一人でいられない、なのに一人暮らし。不安と怖さでどうしたらいいですか？毎日外に出れず家にひきこもりです。毎日ずっと布団で過ごすだけ、何もできません。助けてほしいです。

【その他】

- ・日頃、福祉面でいろいろなお配慮や援助をいただきありがとうございます。今後も障害者が安心して生活できるようご支援をよろしくお願いいたします。
- ・支援や社会保障の制度に支えられて生活は満足。市のサービスは問い合わせ先が多面でそれぞれの人が多くネットの方が早くて便利。防災については、自助→共助→公助を徹底し自分で準備する。阪神の時人や行政はあてにならなかった。
- ・かなり前、通勤するのにICカード(定期券)を利用して、降りる時にどのような状態だったのかわかりませんが警察に連れていかれた事があり親が呼ばれました。警察からしっかりした説明もなく自閉の子も先方の問いに答えられず親として大変疲れた事がありました。先方も忙しいのもわかりますが、あの子が警察に連れていかれるということ、その親も大変苦になります。
- ・重度の知的障害と自閉症で相手の言うことは日常生活程度は理解していますが話すことが(言葉が出ない)ので何を欲求しているのか言いたいのか分からず難しいです。年齢を重ねるとだんだん性格が頑固になり相手の言うことも聞いてくれなくなりました。
- ・福祉用具が手に入る場所が少ない。

Ⅲ 付録：調査票

令和2年度 静岡県 障害のある方の実態調査

しずおかけん しょうがい かた じったいちよう さ
静岡県 障害のある方の実態調査

I あなたについて

とい 問1 はじめに、調査票の記入者をお答えください。 (番号を1つだけ○で囲む)

1 ご本人が自分で記入

2 ご本人の回答を他の方が代筆

3 ご本人以外の方が回答

↳ ご本人以外の場合は、回答いただく方を○で選択してください。

① 夫または妻 ② 親 ③ 子 ④ 兄弟姉妹 ⑤ 孫

⑥ 家族以外の介助者 (福祉施設の職員等を含む) ⑦ その他 ()

とい 問2 あなたの性別と年齢を教えてください。 (令和2年9月1日現在)

1 男性 2 女性 3 回答しない

まん () さい 歳

とい 問3 お住まいの市・町はどちらですか。 (市町名を記入)

() 市・町

とい 問4 あなたの主な障害は次のどれですか。障害が複数ある場合は、ご自分で主な障害と考えているものをお選びください。 (番号を1つだけ○で囲む)

1 身体障害 (難病の方を含む) →問5へ (2ページ)

2 知的障害 →問6へ (2ページ)

3 精神障害 →問7へ (2ページ)

4 発達障害 →問7へ (2ページ)

5 その他 () →問5へ (2ページ)

問5 しんたいしょうがいしやてちよう も かた き 身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きます。

も てちよう しょうがいてうきゆう なんきゆう お持ちの手帳の障害等級は何級ですか。

ばんごう かこ (番号を1つだけ○で囲む)

1	<small>きゆう</small> 1級	2	<small>きゆう</small> 2級	3	<small>きゆう</small> 3級
4	<small>きゆう</small> 4級	5	<small>きゆう</small> 5級	6	<small>きゆう</small> 6級

問5-2 しんたいしょうがいしやてちよう も かた き 身体障害者手帳を持っている方にお聞きます。

も てちよう ひようじ しょうがいくぶん おし お持ちの手帳に表示されている、あなたの障害区分を教えてください。

ばんごう かこ (あてはまる番号をすべて○で囲む)

1	<small>しかくしょうがい</small> 視覚障害	2	<small>ちようかくしょうがい</small> 聴覚障害	3	<small>へいこうきのうしょうがい</small> 平衡機能障害
4	<small>おんせい げんご しょうがい</small> 音声・言語・そしゃく障害	5	<small>したいふじゆう じようし か し たいかん うんどう きのうしょうがい</small> 肢体不自由 (上肢、下肢、体幹、運動の機能障害)		
6	<small>ないぶしょうがい しんぞう ぞう かんぞう こきゆうき ちよくちよう しょうちよう めんえき きのうしょうがい</small> 内部障害 (心臓、じん臓、肝臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫の機能障害)				
7	<small>た</small> その他 ()				

問6 りよういくてちよう も かた き 療育手帳をお持ちの方にお聞きます。

も てちよう きさい しょうがい ていど おし お持ちの手帳に記載してある障害の程度を教えてください。

ばんごう かこ (番号を1つだけ○で囲む)

1	<small>えー</small> A	2	<small>びー</small> B
---	---------------------	---	---------------------

問7 せいしんしょうがいおよ はつたつしょうがい かた き 精神障害及び発達障害のある方にお聞きます。

せいしんしょうがいしやほけんふくしてちよう も あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。

ばんごう かこ (番号を1つだけ○で囲む)

1	<small>も</small> 持っている	→問7-2へ (すぐ下の設問)
2	<small>も</small> 持っていない	→問8へ (3ページ)

問7-2 せいしんしょうがいしやほけんふくしてちよう も かた き 精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方にお聞きます。

も てちよう きさい しょうがい ていど おた お持ちの手帳に記載してある障害の程度をお答えください。

ばんごう かこ (番号を1つだけ○で囲む)

1	<small>きゆう</small> 1級	2	<small>きゆう</small> 2級	3	<small>きゆう</small> 3級
---	-----------------------	---	-----------------------	---	-----------------------

2 住まい・暮らしについて

問8 次の各項目について、あなたはどの程度一人で行えますか。それぞれ最もあてはまる番号を○で囲んでください。(補装具等をお使いの方は、使用した状態でお願いします。)

	一人でできる	時間をかければ一人でできる	一部介助が必要	全面的に介助が必要
食事	1	2	3	4
家の中での移動	1	2	3	4
トイレ	1	2	3	4
入浴	1	2	3	4
みだしなみ	1	2	3	4
寝返り	1	2	3	4
衣服の着替え	1	2	3	4
外出時の移動(通院を含む)	1	2	3	4
家事(調理・掃除・洗濯等)	1	2	3	4
買い物	1	2	3	4
現金(お小遣い)の管理	1	2	3	4
読み書き	1	2	3	4
健康に気を使うこと	1	2	3	4
自分の考えや気持ちを伝えること	1	2	3	4

問8-2 問8で「3 一部介助が必要」、「4 全面的に介助が必要」に○をつけた方にお聞きします。あなたを介助してくれるのはどなたですか。

また、次の1～6に○をつけた方は、あなたを介助してくれる方(複数いる場合は主に介助している方)の年齢層を教えてください。(あてはまる番号をすべて○で囲む)

1 夫又は妻 (歳代)	2 親 (歳代)	3 子・孫 (歳代)
4 兄弟姉妹 (歳代)	5 その他の家族 (歳代)	6 親せき (歳代)
7 ホームヘルパー	8 隣人・知人	9 ボランティア
10 施設等の職員	11 その他 ()	

問9 あなたは現在、どなたと暮らしていますか。(番号を1つだけ○で囲む)

1 家族と暮らしている	→問9-2へ(4ページ)
2 一人で暮らしている	→問10へ(4ページ)
3 家族以外の人と暮らしている	→問10へ(4ページ)
4 その他 ()	→問10へ(4ページ)

問9-2 問9で「1 家族と暮らしている」に○をつけた方にお聞きします。

いっしょに暮らしている方はどなたですか。(あてはまる番号をすべて○で囲む)

1 ちちおや 父親	2 ははおや 母親	3 きょうだいしまい 兄弟姉妹
4 おっと つま 夫または妻	5 こ 子	6 その他 ()

問10 あなたは現在、どこで暮らしていますか。(番号を1つだけ○で囲む)

1 も いえ 持ち家	2 みんかんちんたいじゅうたく 民間賃貸住宅 (アパート等)
3 こうきょうちんたいじゅうたく しちようえい けんえい こうだんとう 公共賃貸住宅 (市町営・県営・公団等)	4 しゃたく かんしゃとう 社宅・官舎等
5 グループホーム	6 せいしんかびょういん にゅういんちゅう 精神科病院 (入院中)
7 たびょういん にゅういんちゅう その他病院 (入院中)	8 にゅうしょがた ふくししせつ 入所型の福祉施設
9 その他 ()	

問10-2 問10で「1」～「5」に○をつけた方にお聞きします。

いぜん にゅうしょがた ふくししせつ せいしんかびょういんとう にゅうしょ にゅういん
以前、入所型の福祉施設または精神科病院等に入所・入院されていたことがありますか。

(番号を1つだけ○で囲む)

1 ある	2 ない
------	------

問11 問10で「6 精神科病院(入院中)」、「7 その他病院(入院中)」及び「8 入所型の福祉施設」に○をつけた方にお聞きします。

ふくししせつ びょういんとう なんねんかんせいかつ
福祉施設・病院等で、これまであわせて何年間生活していますか。(番号を1つだけ○で囲む)

1 ねんみまん 1年未満	2 ねんいじょう ねんみまん 1年以上3年未満
3 ねんいじょう ねんみまん 3年以上5年未満	4 ねんいじょう ねんみまん 5年以上10年未満
5 ねんいじょう ねんみまん 10年以上20年未満	6 ねんいじょう 20年以上

問11-2 問10で「8 入所型の福祉施設」に○をつけた方にお聞きします。

げんざい にゅうしょ ふくししせつ しゅるい
現在、入所している福祉施設の種類はどれですか。

(番号を1つだけ○で囲む)

1 しょうがいじ しゃ にゅうしょしせつ 障害児・者の入所施設	2 こうれいしゃ にゅうしょしせつ とくべつようごろうじん とう 高齢者の入所施設(特別養護老人ホーム等)
3 その他 ()	

問11-3 問10で「8 入所型の福祉施設」に○をつけた方にお聞きします。

今後、あなたはどこで暮らしたいですか。(番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1 今の福祉施設で引き続き暮らしたい | 2 家族と一緒に暮らしたい |
| 3 独立して一人で暮らしたい | 4 グループホーム等で仲間と一緒に暮らしたい |
| 5 別の福祉施設に移りたい | 6 わからない |
| 7 その他 () | |

問11-4 問10で「8 入所型の福祉施設」に○をつけた方にお聞きします。

入所型の福祉施設以外で暮らすためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | |
|---|
| 1 一人暮らしを支えるホームヘルプサービス等が身近にあること |
| 2 一緒に暮らす家族の理解があること |
| 3 地域住民に障害者への理解があること |
| 4 困った時に相談できる人がいること |
| 5 働いて収入を得られること |
| 6 夜間や休日を過ごせるグループホーム等の住まいが身近にあること |
| 7 夜間や休日に加えて平日の日中も過ごすことのできるグループホームが身近にあること |
| 8 何かあった時に一時的に入所できる施設があること |
| 9 わからない |
| 10 その他 () |

問12 あなたの現在の日常生活の様子について、主に該当するものに○をつけてください。

(問10で「6 精神科病院(入院中)」、「7 その他病院(入院中)」及び「8 入所型の福祉施設」を選択した方は、この問は回答不要です。)(番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 仕事をしている(就職・自営) | →問13へ(7ページ) |
| 2 医療機関に通院している | →問13へ(7ページ) |
| 3 幼稚園・保育園、学校に通っている | →問12-2へ(6ページ) |
| 4 福祉施設に通所している | →問13へ(7ページ) |
| 5 自宅で家事手伝いをしている | →問13へ(7ページ) |
| 6 特に何もしていない | →問13へ(7ページ) |
| 7 その他 () | →問13へ(7ページ) |

問12-2 問12で「3 幼稚園・保育園、学校に通っている」に○をつけた方にお聞きします。

通園・通学している学校等は次のどれですか。(番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 幼稚園・保育園 | 2 小学校 (通常の学級) |
| 3 小学校 (特別支援学級) | 4 中学校 (通常の学級) |
| 5 中学校 (特別支援学級) | 6 特別支援学校 (小学部) |
| 7 特別支援学校 (中学部) | 8 特別支援学校 (高等部) |
| 9 高等学校 | 10 大学・短大・専門学校等 |
| 11 その他 () | |

問12-3 問12で「3 幼稚園・保育園、学校に通っている」に○をつけた方にお聞きします。

あなたは、通園・通学している学校等に対して、ニーズに応じた教育や障害に応じた配慮と
いった点で満足していますか。(番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 満足している | →問12-5へ (6ページ) |
| 2 どちらかといえば満足している | →問12-5へ (6ページ) |
| 3 どちらかといえば不満である | →問12-4へ (すぐ下の設問) |
| 4 不満である | →問12-4へ (すぐ下の設問) |

問12-4 問12-3で「3 どちらかといえば不満である」または「4 不満である」に○をつけた方にお聞きします。学校等に対して、要望があれば具体的に教えてください。

問12-5 問12で「3 幼稚園・保育園、学校に通っている」に○をつけた方にお聞きします。

卒園・卒業後の進路をどう考えていますか。(番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 通常学校に進学したい | 2 特別支援学校等に進学したい |
| 3 大学・短大・専門学校等に進学したい | 4 就職したい |
| 5 職業訓練校等に通いたい | 6 福祉施設に通所・入所したい |
| 7 わからない | 8 その他 () |

問13 あなたが望んでいる日常生活について、教えてください。(番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 今の生活を続けたい | 2 仕事をしたい |
| 3 幼稚園・保育園、学校に通いたい | 4 福祉施設・医療機関に通所・通院したい |
| 5 福祉施設・医療機関に入所・入院したい | 6 自宅で過ごしたい |
| 7 わからない | 8 その他 () |

問14 ご本人の保護者の方(親御様やご家庭等で介助されている方)にお聞きします。

ご本人が生活していく上で今後心配になることは何ですか。(あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1 住まいのこと | 2 日常生活における介助のこと |
| 3 お金のこと | 4 仕事や職場のこと |
| 5 成年後見人等の権利擁護に関すること | 6 ご本人の健康や身体のこと |
| 7 保護者の方の健康や身体のこと | 8 ご本人の老後のこと |
| 9 保護者の方がいなくなった後の生活のこと | 10 特になし |
| 11 その他 () | |

3 障害福祉サービス等の利用状況について

問15 あなたは、ふだん障害福祉に関する情報をどこから得ていますか。

(あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | | |
|---------------------------------------|---------------|
| 1 市役所・町役場に問い合わせる | |
| 2 県の窓口(保健所、健康福祉センター等)に問い合わせる | |
| 3 相談支援事業所に問い合わせる | |
| 4 市や町の広報誌を見る | |
| 5 県の発行する「障害者福祉のしおり」等の冊子やパンフレットを見る | |
| 6 「県民だより」を見る | |
| 7 市や町のホームページやソーシャルネットワークサービス(SNS)を見る | |
| 8 県のホームページやソーシャルネットワークサービス(SNS)を見る | |
| 9 行政以外のホームページやソーシャルネットワークサービス(SNS)を見る | |
| 10 ホームヘルパー等の介助を頼んでいる人や障害者団体に聞いてみる | |
| 11 主治医や医療機関の職員に聞いてみる | |
| 12 利用している福祉施設の職員に聞いてみる | |
| 13 家族や友人に聞いてみる | 14 学校で聞いてみる |
| 15 わからない | 16 どこからも得ていない |
| 17 その他 () | |

問16 あなたは現在、障害福祉サービス等を利用していますか。

* 「障害福祉サービス等」の説明については、巻末の「調査票の用語説明」をご覧ください。
(番号を1つだけ○で囲む)

- | | | |
|---|-----------------------------------|------------------|
| 1 | 利用している | →問16-2へ (すぐ下の設問) |
| 2 | 利用していない | →問17へ (9ページ) |
| 3 | 利用していないが、介護保険制度等の他の制度のサービスを利用している | →問18へ (9ページ) |

問16-2 問16で障害福祉サービスを「1 利用している」に○をつけた方にお聞きします。

現在どのようなサービスを利用していますか。

* 各サービスの具体的な説明については、巻末の「調査票の用語説明」をご覧ください。
(あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | | | | |
|----|------------------|----|----------------|
| 1 | 居宅介護 (ホームヘルプ) | 2 | 重度訪問介護 |
| 3 | 同行援護 | 4 | 行動援護 |
| 5 | 重度障害者等包括支援 | 6 | 療養介護 |
| 7 | 生活介護 | 8 | 短期入所 (ショートステイ) |
| 9 | 施設入所支援 | 10 | 自立生活援助 |
| 11 | 共同生活援助 (グループホーム) | 12 | 自立訓練 (機能訓練) |
| 13 | 自立訓練 (生活訓練) | 14 | 就労移行支援 |
| 15 | 就労継続支援 (A型) | 16 | 就労継続支援 (B型) |
| 17 | 就労定着支援 | 18 | 児童発達支援 |
| 19 | 医療型児童発達支援 | 20 | 放課後等デイサービス |
| 21 | 居宅訪問型児童発達支援 | 22 | 保育所等訪問支援 |
| 23 | 障害児入所支援 | 24 | 地域移行支援 |
| 25 | 地域定着支援 | 26 | 障害者相談支援 |
| 27 | 意思疎通支援 | 28 | 日常生活用具給付 |
| 29 | 移動支援 | 30 | 地域活動支援センター |
| 31 | 日中一時支援 | 32 | その他 () |

問16-3 問16で障害福祉サービスを「1 利用している」に○をつけた方にお聞きします。

現在、利用しているサービスに満足していますか。

(番号を1つだけ○で囲む)

- | | | |
|---|----------------|----------------|
| 1 | 満足している | →問18へ (9ページ) |
| 2 | どちらかといえば満足している | →問18へ (9ページ) |
| 3 | どちらかといえば不満である | →問16-4へ (9ページ) |
| 4 | 不満である | →問16-4へ (9ページ) |

問16-4 問16-3で「3 どちらかといえば不満である」または「4 不満である」に○をつけた方にお聞きします。不満がある理由を、具体的に教えてください。

問17 問16で障害福祉サービス等を「2 利用していない」に○をつけた方にお聞きします。

サービスを利用していない理由は何ですか。(番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1 利用を希望したが利用できなかったから | →問17-2へ (すぐ下の設問) |
| 2 制度を知らなかったから | →問18へ (9ページ) |
| 3 利用する必要があるから | →問18へ (9ページ) |
| 4 その他 () | →問18へ (9ページ) |

問17-2 問17で「1 利用を希望したが利用できなかったから」に○をつけた方にお聞きします。

その理由は何ですか。(あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | |
|------------------------------|
| 1 市役所や町役場での利用手続きが難しかったから |
| 2 利用対象でなかったから |
| 3 住んでいる近くに使いたいサービス事業所がなかったから |
| 4 サービス事業所をさがすことができなかったから |
| 5 サービス事業所との契約手続きが難しかったから |
| 6 サービス事業所に利用を断られたから |
| 7 利用料の負担が大きいから |
| 8 その他 () |

問18 すべての方にお聞きします。

あなたは、今後(おおむね3年以内に)、障害福祉サービス等を利用しますか。

(番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1 利用すると思う | →問18-2へ (10ページ) |
| 2 利用しないと思う | →問19へ (10ページ) |
| 3 介護保険制度等他の制度でサービスを利用すると思う | →問19へ (10ページ) |
| 4 わからない | →問19へ (10ページ) |

問18-2 問18で障害福祉サービス等を「1 利用すると思う」に○をつけた方にお聞きします。

どのようなサービスを利用すると思いますか。(あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 居宅介護 (ホームヘルプ) | 2 重度訪問介護 |
| 3 同行援護 | 4 行動援護 |
| 5 重度障害者等包括支援 | 6 療養介護 |
| 7 生活介護 | 8 短期入所 (ショートステイ) |
| 9 施設入所支援 | 10 自立生活援助 |
| 11 共同生活援助 (グループホーム) | 12 自立訓練 (機能訓練) |
| 13 自立訓練 (生活訓練) | 14 就労移行支援 |
| 15 就労継続支援 (A型) | 16 就労継続支援 (B型) |
| 17 就労定着支援 | 18 児童発達支援 |
| 19 医療型児童発達支援 | 20 放課後等デイサービス |
| 21 居宅訪問型児童発達支援 | 22 保育所等訪問支援 |
| 23 障害児入所支援 | 24 地域移行支援 |
| 25 地域定着支援 | 26 障害者相談支援 |
| 27 意思疎通支援 | 28 日常生活用具給付 |
| 29 移動支援 | 30 地域活動支援センター |
| 31 日中一時支援 | 32 その他 () |

4 仕事や家計について

問19 あなたの主な収入は、次のうちどれですか。(あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 障害を理由とする年金を受給している | 2 1以外の年金を受給している |
| 3 障害を理由とする手当を受給している | 4 3以外の手当を受給している |
| 5 生活保護を受給している | 6 働いて収入を得ている |
| 7 家族からの援助・仕送りを受けている | 8 収入はない |
| 9 その他 () | |

問20 あなたの月平均の収入(税を含む)はいくらですか。(番号を1つだけ○で囲む)

* 収入には、あなたが働いて得た収入のほか、年金・手当等も含めてください。

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 なし | 2 5万円未満 | 3 5~10万円未満 |
| 4 10~15万円未満 | 5 15~20万円未満 | 6 20~25万円未満 |
| 7 25~30万円未満 | 8 30万円以上 | 9 わからない |

問21 あなたは、これまでに仕事をしましたことがありますか。(番号を1つだけ○で囲む)

- | | | |
|---|----------------------|------------------|
| 1 | 現在、仕事をしている | →問21-2へ (すぐ下の設問) |
| 2 | 仕事をしたことがあるが、現在はしていない | →問21-5へ (12ページ) |
| 3 | 仕事をしたことがない | →問21-5へ (12ページ) |

問21-2 問21で「1 現在、仕事をしている」に○をつけた方にお聞きします。
どのような仕事をしていますか。(番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | 正規の職員として会社や役所等に勤めている |
| 2 | パート、アルバイト、派遣社員等として会社や役所等に勤めている |
| 3 | 自分で事業を営んでいる (自営業) |
| 4 | 家の仕事 (家業) の手伝いをしている |
| 5 | 家で内職をしている |
| 6 | 障害福祉サービス事業所 (就労継続支援 (A型・B型) 等) で働いている |
| 7 | その他 () |

問21-3 問21で「1 現在、仕事をしている」に○をつけた方にお聞きします。
現在の仕事をどのように見つけましたか。(あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | | |
|---|--|
| 1 | 公共職業安定所 (ハローワーク) の紹介 |
| 2 | 求人誌や広告等の求人情報を自分で探した |
| 3 | 家族、友人、知人の紹介 |
| 4 | 学校の紹介 |
| 5 | 障害福祉サービス事業所 (就労移行支援・就労継続支援 (A型・B型)) の紹介 |
| 6 | 就労支援機関 (障害者就業・生活支援センター、職業訓練校、障害者職業センター等) の紹介 |
| 7 | 障害者団体の紹介 |
| 8 | その他 () |

問21-4 問21で「1 現在、仕事をしている」に○をつけた方にお聞きします。
仕事によって得られる月平均収入 (税を含む) はいくらですか。
(番号を1つだけ○で囲む)

- | | | | | | |
|---|-----------|---|----------|---|-----------|
| 1 | なし | 2 | 1万円未満 | 3 | 1~3万円未満 |
| 4 | 3~5万円未満 | 5 | 5~10万円未満 | 6 | 10~20万円未満 |
| 7 | 20~30万円未満 | 8 | 30万円以上 | 9 | わからない |

問21-5 問21で「2 仕事をしたことがあるが、現在はしていない」または「3 仕事をしたことがない」に○をつけた方にお聞きます。

あなたは、将来、会社等で働きたいですか。 (番号を1つだけ○で囲む)

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| 1 会社等で働きたい | 2 働きたくない | 3 働く必要がない |
|------------|----------|-----------|

5 生活の環境や安全・安心について

問22 自分の住んでいる街が、障害のある人にとって安心して暮らせるところだと思いますか。

(番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1 安心して暮らせるところだと思う | →問23へ (12ページ) |
| 2 ある程度安心して暮らせるところだと思う | →問23へ (12ページ) |
| 3 安心して暮らせるところだと思わない | →問22-2へ (すぐ下の設問) |
| 4 わからない | →問23へ (12ページ) |

問22-2 問22で「3 安心して暮らせるところだと思わない」に○をつけた方にお聞きます。

暮らしやすい街にするためには何が必要だと思いますか。具体的に記載してください。

問23 生活をしている中で、差別や虐待を受けたことはありますか。

* 「虐待」とは身体的なものだけでなく、金銭的、心理的、性的な虐待を含みます。

(番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|------|------------------|
| 1 ある | →問23-2へ (すぐ下の設問) |
| 2 ない | →問24へ (13ページ) |

問23-2 問23で「1 ある」に○をつけた方にお聞きます。差別や虐待を受けたことを誰かに相談しましたか。

(番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|-------|-----------------|
| 1 した | →問23-3へ (13ページ) |
| 2 しない | →問23-5へ (13ページ) |

問23-3 問23-2で「1 した」に○をつけた方にお聞きします。どこに相談しましたか。
(あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 市や町の差別・虐待相談窓口 | 2 県の差別解消・虐待相談窓口 |
| 3 家族 | 4 友人 |
| 5 事業所の職員 | 6 相談支援事業所の職員 |
| 7 学校の教職員 | 8 医療機関の職員 |
| 9 その他 () | |

問23-4 問23-2で「1 した」に○をつけた方にお聞きします。その相談は解決しましたか。
(番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1 解決した | 2 解決に向けて対応してもらっている |
| 3 相談したが解決していない | 4 相談したが対応してもらえなかった |
| 5 その他 () | |

問23-5 問23-2で「2 しない」に○をつけた方にお聞きします。それはなぜですか。
(あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 口止めされた | 2 他の人に話をしなかった |
| 3 相談する先がわからなかった | 4 相談しても解決しないと思った |
| 5 こわかった(つらかった)から | |
| 6 その他 () | |

問24 あなたは、バリアフリー化の現状についてどう思いますか。

* 「バリアフリー化」とは、すべての人が不自由なく行動できるように環境を整えることをいいます。例えば、次のようなものがあります。

- ・道路や建物で、段差をなくしたり、スロープを設置したりする
- ・誰でも使いやすいような機能やデザインの製品を作る
- ・視覚や聴覚に障害のある人等が、必要な時に必要な情報を得られるようにする

(番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1 十分に進んでいると思う | →問25へ (14ページ) |
| 2 ある程度進んでいるが、さらに取組が必要だと思う | →問24-2へ (14ページ) |
| 3 あまり進んでいないと思う | →問24-2へ (14ページ) |
| 4 わからない | →問25へ (14ページ) |

問24-2 問24でバリアフリー化が「2 ある程度進んでいるが、さらに取組が必要だと思う」または「3 あまり進んでいないと思う」に○をつけた方にお聞きします。
 今後、バリアフリー化が必要なところはどこだと思いますか。

問25 あなたは、災害等の緊急時に、自宅または施設から一人でまたは支援を受けながら、安全に避難できる環境にありますか。
 (番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|----------|-----------------|
| 1 避難できる | →問25-3へ(14ページ) |
| 2 避難できない | →問25-2へ(すぐ下の設問) |
| 3 わからない | →問25-3へ(14ページ) |

問25-2 問25で安全に「2 避難できない」に○をつけた方にお聞きします。
 避難できない理由を具体的に教えてください。
 (あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 介助者が周りにいないため | 2 避難場所が遠いため |
| 3 避難場所がわからないため | 4 緊急時という判断がつかないため |
| 5 緊急時の情報を得る手段がないため | 6 移動が難しいため |
| 7 その他 () | |

問25-3 地震や台風等の災害が発生した時にどのような支援や助けが必要だと思いますか。
 (主なものを3つまで○で囲む)

- | |
|----------------------------------|
| 1 避難や災害の情報をわかりやすく教えてほしい |
| 2 避難を助けてくれる人を増やしてほしい |
| 3 人工透析や在宅酸素等の医療を確実に受けられるようにしてほしい |
| 4 必要な人に薬や車いす等の物資が行き渡るようにしてほしい |
| 5 避難所で一人になれる部屋や場所がほしい |
| 6 避難所で障害がわかる人や友人・仲間が身近にいてほしい |
| 7 避難所になじみのあるケアスタッフや支援者がいてほしい |
| 8 避難所に手話通訳者やガイドヘルパー等がいてほしい |
| 9 避難所で医師の診察を受けられるようにしてほしい |
| 10 その他 () |

6 社会参加について

問26 あなたは、最近どのような社会参加をしていますか。また、今後どのような社会参加をしたいと思
 いますか。「最近1か月間に行った社会参加」と「今後したい社会参加」のそれぞれについて、あて
 はまる番号に○をつけてください。(あてはまる番号をすべて○で囲む)

	最近1か月間に行った社会参加	今後したい社会参加
スポーツ	1	1
趣味等の文化・芸術活動	2	2
旅行	3	3
買い物(日常の買い物を含む)	4	4
ボランティア活動	5	5
障害者団体の活動	6	6
講座や講演会等への参加	7	7
地域の行事や祭り、学校・職場の行事	8	8
インターネット等での社会交流	9	9
家族・友人・知人との交流	10	10
その他()	11	11

問27 あなたは、日常生活において自立し、社会参加をしていると感じていますか。
 *ここでいう、「自立」とは、必要とする支援を受けながらも、自分の意思をもって日常生活を送る
 ことを含みます。(番号を1つだけ○で囲む)

- 1 自立し、社会参加をしていると感じている
- 2 ある程度自立し、社会参加をしていると感じている
- 3 自立し、社会参加をしているとは感じていない
- 4 わからない

問28 あなたは、問26のような社会参加のために必要な情報を、主にどこから得ていますか。
 (あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 新聞・雑誌 | 2 テレビ・ラジオ |
| 3 所属している団体の会報や会報 | 4 県・市や町の広報紙・パンフレット |
| 5 市や町の福祉・保健・医療の窓口 | 6 県の保健所・健康福祉センターの窓口 |
| 7 インターネット | 8 学校・職場・福祉施設 |
| 9 病院・診療所 | 10 家族・友人・知人 |
| 11 ホームヘルパーや訪問看護師 | 12 民生委員・児童委員 |
| 13 障害者相談員・相談支援専門員 | 14 その他() |

問29 あなたにとって社会参加の機会を増やすために、今後充実してほしい情報は何か。

(主なものを3つまで○で囲む)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 福祉サービスに関する情報 | 2 就学・就職に関する情報 |
| 3 観光・イベントに関する情報 | 4 スポーツ・文化・芸術に関する情報 |
| 5 防災に関する情報 | 6 ボランティア団体等についての情報 |
| 7 特に必要な情報はない | 8 わからない |
| 9 その他 () | |

問30 視覚障害のある方(問5-2で「1 視覚障害」に○をつけた方)にお聞きします。

あなたは、どのような媒体での情報提供を希望しますか。(あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | | | |
|---------------------|--------------------------|--------|
| 1 録音物 | 2 点字 | 3 拡大文字 |
| 4 音声コード添付印刷 (SPコード) | 5 音声コード添付印刷 (Uni-Voice等) | |
| 6 パソコンによるテキストデータ | 7 その他 () | |

問31 聴覚障害のある方(問5-2で「2 聴覚障害」に○をつけた方)にお聞きします。

あなたのコミュニケーション手段を教えてください。(あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 筆談 (要約筆記) | 2 手話 (手話通訳) |
| 3 口話 (読話) | 4 補聴器 |
| 5 人工内耳 | 6 その他 () |

7 悩み事に対する相談について

問32 現在、悩み事がありますか。

(主なものを3つまで○で囲む)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 進学や学校のこと | 2 人間関係のこと |
| 3 恋愛や結婚のこと | 4 就職や仕事のこと |
| 5 子育てや子どもの教育のこと | 6 家庭のこと |
| 7 自分の老後のこと | 8 親の老後のこと |
| 9 健康や身体のこと | 10 福祉・保健サービスの利用 |
| 11 福祉制度の変化への対応 | 12 お金のこと |
| 13 住まいの確保 | 14 災害時の安全の確保 |
| 15 その他 () | 16 悩み事は特にない |

問33 困った時のあなたの主な相談先はどこですか。

(主なものを3つまで○で囲む)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 家族・親族 | 2 友人や知人 |
| 3 学校・教師 | 4 市や町の福祉・保健・医療の窓口 |
| 5 県の保健所・健康福祉センターの窓口 | 6 障害者団体 |
| 7 相談支援事業所 | 8 社会福祉協議会 |
| 9 病院・診療所等 | 10 福祉施設の職員 |
| 11 ホームヘルパーや訪問看護師 | 12 職場の上司や仲間 |
| 13 障害者相談員・相談支援専門員 | 14 民生委員・児童委員 |
| 15 ボランティア | 16 ケアマネージャー |
| 17 特にない | 18 その他 () |

問34 困った時の相談先等の支援体制について、現在の状態はあなたにとって十分ですか。

(番号を1つだけ○で囲む)

- | |
|---------------------------|
| 1 現在の状態で十分 |
| 2 現在の状態でほぼ十分だが、さらに充実してほしい |
| 3 現在の状態では不十分 |
| 4 わからない |

問35 今後、福祉や生活に関する相談の支援体制として、どのようなことを希望しますか。

(主なものを3つまで○で囲む)

- | |
|------------------------------|
| 1 どこに相談したらいいかわかるようにしてほしい |
| 2 休日・夜間等でも相談できるようにしてほしい |
| 3 身近な地域で相談できるところがほしい |
| 4 問題が解決するような対応をしてほしい |
| 5 相談員の対応や知識等、相談技術を向上させてほしい |
| 6 相談窓口を一本化してほしい |
| 7 入所型の福祉施設でも定期的な訪問相談を実施してほしい |
| 8 乳幼児期における相談体制を充実してほしい |
| 9 わからない |
| 10 特にない |
| 11 その他 () |

8 その他

問36 あなたは、次のような場面等で、理由や十分な説明もなく、あなたの希望や意思が、周りの人に理解（大切に）されていないと感じたことはありますか。 (あてはまる番号をすべて○で囲む)

- 1 自分の好きなものを自由に 飲食 できないことがある
- 2 自分の好きな服を自由に着られないことがある
- 3 自分が行きたい場所への外出を止められたことがある
- 4 自分がしたい時にトイレに行けないことがある
- 5 入浴 や身なりを整えることが自由でないことがある
- 6 施設内のプログラムを自由に選べないことがある
- 7 住まいを変えたいが、止められたことがある
(ひとり暮らし、グループホーム、自宅に帰る等)
- 8 その他の場面で、あなたの希望が大切にされていないと感じたことがある
(どのような場面で感じたか、記載してください。)

- 9 あなたの希望は大切にされていると思う
- 10 わからない

問37 あなたは、現在の生活に満足していますか。 (番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 満足している | →問38へ (19ページ) |
| 2 どちらかといえば満足している | →問38へ (19ページ) |
| 3 どちらかといえば不満である | →問37-2へ (すぐ下の設問) |
| 4 不満である | →問37-2へ (すぐ下の設問) |
| 5 わからない | →問38へ (19ページ) |

問37-2 問37で現在の生活に「3 どちらかといえば不満である」または「4 不満である」に○をつけた方にお聞きします。

現在の生活に不満がある理由を具体的に教えてください。

問38 今後、行政に力を入れてほしいのはどのようなことですか。(主なもの5つまで○で囲む)

- 1 障害のある人に対する理解を県民により深めてもらう
- 2 障害のある人向けの教育を充実する
- 3 障害のある人等を支援するボランティアを育てる
- 4 障害の早期発見・早期療育の取組を充実する
- 5 様々な障害に対応した治療やリハビリの機会を増やす
- 6 医療費の金銭的な負担を減らす
- 7 自宅で過ごすためのホームヘルプやショートステイ等のサービスを使いやすくする
- 8 障害のある人が安心して住めるグループホームを増やす
- 9 障害のある人向けの職業訓練を行う
- 10 障害のある人が働ける場を増やす
- 11 障害のある人向けの職業の情報を充実する
- 12 安全で、段差等の使いづらさのない住まいを増やす
- 13 生活や訓練のために必要な障害福祉サービス事業所を増やす
- 14 障害のある人の権利や財産を守ることを支援する機関を充実する
- 15 年金や手当等の収入を増やす
- 16 建物、バス等の交通機関、道路等、障害のある人に配慮したまちづくりを進める
- 17 困った時の相談先を充実する
- 18 福祉や趣味・娯楽等の情報を増やす
- 19 障害のある人のスポーツ・文化・レクリエーション活動を支援する
- 20 介護をする家族が休養できるようなサービスを充実する
- 21 災害時の避難等、障害のある人の防災対策を進める
- 22 その他 ()

○、選択肢だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望がありましたら、以下の欄に自由にお書きください。

— 質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。 —

問16及び問18 < 調査票の用語説明 >

障害福祉サービス等とは、以下のサービス等のことをいいます。

名称	サービス等の内容
1 居宅介護 (ホームヘルプ)	自宅で、入浴、排せつ、食事の介護等を提供するサービスを行います。
2 重度訪問介護	重度の障害者で常に介護を必要とする人に、自宅での介護、外出時の移動介護等を総合的に提供するサービスを行います。
3 同行援護	視覚障害により、移動に著しい困難がある人に、外出に関する支援を提供するサービスを行います。
4 行動援護	自己判断能力が制限されている人が行動するときに、危険を回避するために必要な支援等を提供するサービスを行います。
5 重度障害者等 包括支援	常時介護の必要性がとても高い人に、居宅介護等の複数のサービスを包括的に提供するサービスを行います。
6 療養介護	医療や常に介護を必要とする人に、医療機関での療養上の管理や日常生活上の世話を提供するサービスを行います。
7 生活介護	常に介護を必要とする人に、主に昼間、施設で介護等を行うとともに、創作的活動または生産活動の機会を提供するサービスを行います。
8 短期入所 (ショートステイ)	自宅で介護している人が病気等の場合に、短期間、施設で障害のある人に対して入浴、排せつ、食事の介護等を提供するサービスを行います。
9 施設入所支援	施設に入所している障害者に、主に夜間に介護等を提供するサービスを行います。
10 自立生活援助	入所施設を利用していた人等が一人暮らしを始めた時に、生活や健康面等に問題がないか、訪問して必要な支援を提供するサービスを行います。
11 共同生活援助 (グループホーム)	主に夜間や休日、共同生活を営む住居で、相談や日常生活上の援助を提供するサービスを行います。
12 自立訓練 (機能訓練)	障害のある人が自立した日常生活ができるよう、身体機能・生活能力の維持・向上のため、一定期間、必要な訓練を提供するサービスを行います。
13 自立訓練 (生活訓練)	障害のある人が自立した日常生活ができるよう、生活能力の維持・向上のために、一定期間、必要な訓練を提供するサービスを行います。
14 就労移行支援	一般企業等エラー! 非対応のEQフィールドです。働くことを希望する人に、働くために必要な知識および能力の向上のために、一定期間、必要な訓練を提供するサービスを行います。
15 就労継続支援 (A型=雇用型)	一般企業等で働くことが困難な人に、雇用契約に基づいて働く場を提供するとともに、働く機会を通じて知識および能力の向上のために必要な訓練を提供するサービスを行います。
16 就労継続支援 (B型=非雇用型)	一般企業等で働くことが困難な人に、働く場を提供するとともに、働く機会を通じて知識および能力の向上や維持のために必要な訓練を提供するサービスを行います。

名称 <small>めいしやう</small>	サービス等の内容 <small>たう ないやう</small>
17 就労定着支援 <small>しやうらうていちゃくしえん</small>	就労移行支援を利用して一般企業で働く人に、社会生活面の課題に対応できるよう、訪問や来所により必要な支援を提供するサービスをいいます。
18 児童発達支援 <small>じどうはつたつしえん</small>	通所している未就学児童に、日常生活における基本的な動作や知識技能を身に付ける等、集団生活へ適応するための訓練を提供するサービスをいいます。
19 医療型 児童発達支援 <small>いりやうがた じどうはつたつしえん</small>	肢体不自由である未就学児童に、日常生活における基本的な動作や知識技能を身に付ける等、集団生活へ適応するための訓練を提供するサービスをいいます。
20 放課後等 デイサービス <small>ほうかごたう でいサービス</small>	学校に就学している児童に、授業の終了後または休業日に、生活のうりよく向上のために必要な訓練や社会交流を促進するために必要な援助を提供するサービスをいいます。
21 居宅訪問型 児童発達支援 <small>きやたくほうもんがた じどうはつたつしえん</small>	通所することが難しい未就学児童に、日常生活における基本的な動作や知識技能を身に付ける等、集団生活へ適応するための訓練を提供するサービスをいいます。
22 保育所等 訪問支援 <small>ほいくじやうたう ほうもんしえん</small>	保育所等に通う児童に対し、施設の他の児童とともに集団生活への適応のために専門的な支援を提供するサービスをいいます。
23 障害児 入所支援 <small>しょうがいじ にゅうしよしえん</small>	障害児入所施設または指定医療機関に入所・入院している児童に対して行われる保護、日常生活の指導や知識技能を身に付けることを目的とするサービスをいいます。
24 地域移行支援 <small>ちいまいこうしえん</small>	施設や精神科病院に入所・入院している人に、今の居場所を出て、地域生活に移行するための相談を提供するサービスをいいます。
25 地域定着支援 <small>ちいまいていちゃくしえん</small>	一人で暮らしている障害のある人に、連絡体制を確保し、緊急の事態に応じた相談を提供するサービスをいいます。
26 障害者相談 支援 <small>しょうがいしや そうだん しえん</small>	障害のある人が抱える様々な問題について、相談に応じ、情報の提供や助言、サービスの利用支援等を行う支援をいいます。
27 意思疎通支援 <small>いしそつうしえん</small>	聴覚、言語機能、音声機能、視覚等の障害のある人に、手話通訳者や要約筆記者の派遣等を行う支援をいいます。
28 日常生活用具 給付 <small>にちじやうせいかつ ようぐ きゆうふ</small>	障害のある人に対して、日常生活用具を給付または貸与することをいいます。
29 移動支援 <small>いどうしえん</small>	屋外での移動が難しい障害のある人に対して、外出時の介助等を行う支援をいいます。
30 地域活動支援 センター <small>ちいまいかつどうしえん せんたー</small>	障害のある人が、創作的な活動や生産活動を行ったり、社会との交流を進める場所をいいます。
31 日中一時支援 <small>にちちゆういちじしえん</small>	障害のある人の家族が仕事をしたり、一時的な介護の休息を取るために、障害のある人が日中に活動する場所をいいます。

静岡県 障害のある方の実態調査

発行：令和3年11月

編集：静岡県健康福祉部障害者支援局 障害者政策課
〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6

電話：054-221-3599・FAX：054-221-3267

